

2012(平成24)年度
事業報告書



学校法人 日本大学

目 次

あいさつ	1
I 法人の概要	
1 日本大学沿革	3
2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)	4
3 設置する学校	5-7
4 学生・生徒数(入学定員・収容定員・現員)	8-10
5 事務組織	11-12
6 研究所組織	13
7 役員・教職員の概要	14-18
II 事業の概要	
1 主な事業の概要	19-20
2 部科校別の事業の概要	21-74
III 事業の概要(データ編)	
1 一般入学試験志願者数	75
2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数	76-77
3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数	78-82
4 学内奨学金制度	83-86
5 就職状況	87
6 保健体育審議会所属競技部の主な成績	88
7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業	89-91
8 公開講座	92-95
9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産	96-98
10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数	99-100
IV 財務の概要	
1 平成 24 年度資金収支計算書	101
2 資金収支計算書の概要	102-103
3 平成 24 年度消費収支計算書	104
4 消費収支計算書の概要	105
5 貸借対照表(平成 25 年 3 月 31 日現在)	106-107
6 貸借対照表の概要	108
7 財産目録(平成 25 年 3 月 31 日現在)	109
8 参考資料	
①平成 20 年度～平成 24 年度 財務比率の推移	110
②平成 20 年度～平成 24 年度 資金収支決算の推移	111
③平成 20 年度～平成 24 年度 消費収支決算の推移	112
④平成 20 年度～平成 24 年度 貸借対照表の推移	113
大学施設等所在地一覧	114-115

あ い さ つ

学校法人日本大学理事長 田中英壽

財政改革4年目となる平成24年度は、「教学施策と連携した積極的な環境整備」、「経営悪化の原因分析と速やかな改善策の実行」を財政の改善改革方針の中心に定め、教育・研究に関する施策をスピーディーかつ的確に実現していくための、磐石な財政基盤の確立を基本指標に掲げてまいりました。その磐石な財政基盤を実現するために、消費収支の均衡の実現を目指し、過去の決算の検証に基づく効率的な予算配分の徹底を図り、幅広い収支改善策の実行に努めてきたところです。

そのような中で、平成24年度は、大塚学長が提唱する教育の質の向上や研究推進支援基盤の充実にもつながる次の5つの事業に着手いたしました。①「首都圏大学」から「日本の大学」への回帰を実現する学生寮4棟（町田市、松戸市、世田谷区赤堤、同宮坂）の建設の推進、②最新設備のなかで診療体系をセンター化し、生活習慣病に重点を置いた災害拠点病院となる日本大学病院開院の推進、③初等教育からの一貫教育を実現する附属小学校開設の推進、④安心して安全な社会の構築に寄与できる社会貢献型の人材を育成する新しい学部となる人間総合科学部（仮称）の開設、⑤法学部との連携強化としての大学院法務研究科の三崎町移転及び関連する通信教育部の市ヶ谷移転です。これらは創立130周年記念事業に直結する教育・研究環境の整備事業となります。

本報告書ですが、今回から部科校における各事業の進捗状況を予算編成基本方針に沿って把握できるよう工夫し、その中でも特に進展が見受けられた事業については、トピックスとして掲載するようにいたしました。また、これまで形態区分別に掲載していた内容を部科校別に掲載することに改めたことで、従前に比べ、より見やすく、より分かりやすい構成に仕上がっております。

教職員の皆さんにおかれては、ここで得られた結果を次の計画に反映させ、今後の中長期計画の策定にご活用くださるようお願い申し上げます。PDCAサイクルの忠実な履行は大学の永続・安定的維持に不可欠なものです。我々が目指すゴールは、「日本一教育力のある大学」です。教学戦略と経営戦略は、車の両輪と同様で同じ方向を目指さなくてはゴールには到達できません。「思いを一つ」にして、日本大学を日本一にしましょう。

今後とも皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

I 法人の概要

1 日本大学沿革

明治 22 年(1889)	10 月	日本法律学校(現・法学部)創立 学祖は山田顕義(時の司法大臣) 初代校長に金子堅太郎(後の司法大臣)就任	3 月	業経営学科(後の第一工学部, 現・生産工学部)設置 農学部に獣医学科を増設し, 農獣 医学部と改称	
明治 23 年(1890)	9 月	皇典講究所で開校式举行	昭和 29 年(1954)	4 月	歯学部付属歯科技工士養成所を 設置(現・歯学部付属歯科技工専 門学校)
明治 26 年(1893)	12 月	第 2 代校長(後に学長, 総長)に松 岡康毅(後の農商務大臣)就任 校友会を結成	昭和 32 年(1957)	8 月	豊山高校・中学校を合併
明治 29 年(1896)	5 月	神田三崎町に初の校舎落成	昭和 33 年(1958)	12 月	三島高校を設置
明治 31 年(1898)	3 月	高等専攻科を設置	昭和 33 年(1958)	1 月	文学部に中国文学科, 地理学科, 数学科, 物理学科を増設し文理学 部と改称
明治 34 年(1901)	10 月	高等師範科(現・文理学部)設置			工学部に物理学科を増設し理工 学部と改称
明治 36 年(1903)	8 月	日本大学と改称		4 月	歯科衛生士養成所を設置(現・歯 学部付属歯科衛生専門学校)
明治 37 年(1904)	3 月	商科(現・経済学部ならびに商学 部)設置		6 月	会頭に古田重二良就任 第 5 代総長に永田菊四郎就任
	4 月	専門学校令による大学となる	昭和 34 年(1959)	9 月	「日本大学の目的および使命」を 改定
大正 2 年(1913)	2 月	中学校を設置(現・一高, 一中)	昭和 35 年(1960)	4 月	明誠高校を設置
大正 3 年(1914)	4 月	「建学の主旨及綱領」を制定	昭和 37 年(1962)	11 月	山形第一高校を合併(現・山形高)
大正 9 年(1920)	4 月	大学令による大学となる	昭和 41 年(1966)	1 月	第一工学部を生産工学部と改称 第二工学部を工学部と改称
	6 月	高等工学校を設置(現・理工学部)		3 月	豊山女子高校を設置
大正 10 年(1921)	3 月	美学科(現・芸術学部)設置	昭和 44 年(1969)	9 月	第 6 代総長に鈴木勝就任 会長に古田重二良就任 理事長に高梨公之就任
	4 月	東洋歯科医学専門学校を合併(創 立は大正 5 年, 現・歯学部)	昭和 46 年(1971)	2 月	日本大学松戸歯科大学を設置 (現・松戸歯学部)
大正 11 年(1922)	3 月	初代総長に松岡康毅就任	昭和 47 年(1972)	9 月	理事長に永澤滋就任
大正 12 年(1923)	11 月	第 2 代総長に平沼騏一郎(後の総 理大臣)就任	昭和 49 年(1974)	3 月	松戸歯科大学付属歯科衛生専門 学校を設置(現・松戸歯学部付属 歯科衛生専門学校)
大正 14 年(1925)	3 月	専門部医学科(現・医学部)設置		10 月	総長鈴木勝理事長を兼任
昭和 2 年(1927)	3 月	第二中学校を設置(現・二高, 二 中)	昭和 50 年(1975)	10 月	日本大学松戸歯科大学を廃止し, 松戸歯学部を設置
	12 月	幼稚園を設置	昭和 53 年(1978)	12 月	国際関係学部を設置
昭和 4 年(1929)	3 月	工業学校を設置(現・習志野高)	昭和 56 年(1981)	9 月	理事長に柴田勝治就任
	10 月	赤坂中学校を合併(現・三高, 三 中)	昭和 57 年(1982)	6 月	市ヶ谷に日本大学会館が落成
昭和 5 年(1930)	3 月	第四中学校を設置(現・日大高, 中)	昭和 59 年(1984)	9 月	第 7 代総長に高梨公之就任
昭和 7 年(1932)	1 月	医学科付属看護婦養成所設置 (現・医学部付属看護専門学校)	昭和 62 年(1987)	12 月	薬学部を設置
昭和 8 年(1933)	8 月	第 3 代総長に山岡萬之助就任	平成 2 年(1990)	9 月	第 8 代総長に木下茂徳就任
昭和 18 年(1943)	5 月	農学部を神奈川県藤沢市に設置 (現・生物資源科学部)	平成 5 年(1993)	9 月	第 9 代総長に瀬在良男就任, 理事 長を兼任
昭和 21 年(1946)	1 月	第 4 代総長に呉文炳就任	平成 7 年(1995)	12 月	農獣医学部を生物資源科学部に 改組
	6 月	三島予科を静岡県三島市に開設	平成 8 年(1996)	9 月	第 10 代総長に瀬在幸安就任
	7 月	理事長に圓谷弘就任	平成 11 年(1999)	9 月	理事長に森田賢治就任
	9 月	理事長・会頭に呉文炳就任		4 月	大学院総合社会情報研究科(通信 制大学院), 大学院グローバル・ビ ジネス研究科を設置
昭和 22 年(1947)	3 月	理事長に佐藤運雄就任	平成 16 年(2004)	4 月	大学院法務研究科設置
	3 月	専門部工科(現・工学部)を福島県 郡山市に移転	平成 17 年(2005)	4 月	大学院総合科学研究科(総合研究 大学院)設置
昭和 23 年(1948)	11 月	通信教育部を設置		9 月	第 11 代総長に小嶋勝衛就任, 理 事長を兼任
昭和 24 年(1949)	2 月	新学制に移行(第一部の 7 学部 34 学科)	平成 19 年(2007)	6 月	教育理念を「自主創造」とし、新ロ ゴ及びキャッチフレーズを決定
	3 月	同 (第二部の 4 学部 15 学科)	平成 20 年(2008)	9 月	第 12 代総長に酒井健夫就任
	4 月	農林高校を設置(現・藤沢高)	平成 23 年(2011)	9 月	理事長に田中英壽就任
	4 月	「日本大学の目的および使命」を 制定			第 13 代総長に大塚吉兵衛就任
	12 月	理事長に古田重二良就任			
昭和 25 年(1950)	2 月	世田谷高校を設置(現・櫻丘高)			
	3 月	短期大学を設置(現・短期大学部)			
昭和 26 年(1951)	2 月	東北工業高校を設置(現・東北高)			
	4 月	大学院を設置			
	10 月	東京獣医畜産大学付属高等学校 を合併, 鶴ヶ丘高校と名称変更			
	11 月	農学部を東京獣医畜産大学を合 併			
昭和 27 年(1952)	2 月	医学部医学科, 歯学部歯学科が 新学制に移行 工学部に薬学科(現・薬学部), 工			

2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)



学祖 山田顕義

日本大学の前身である日本法律学校は、明治22年(1889)に創立された。同年は大日本帝国憲法が公布され、また欧米の近代法を取り入れた刑法・民法・商法などの諸法典も整備されつつある時期であった。

この頃、司法大臣で本学学祖となる山田顕義は、欧米諸国の法律を学ぶことが主流の法学教育に疑問を持ち、日本の伝統・慣習・文化を踏まえた日本法律を教育する学校構想を抱いていた。同時期、帝国大学教授宮崎道三郎や憲法起草にあたった金子堅太郎などの若き法律学者たちも、日本法学教育の必要性を認識し、日本法律学校設立構想を進めていた。それを知った山田顕義は、彼らを全面的に支援し、明治22年10月4日、日本法律学校は創立されるに至ったのである。

日本法律学校の創立目的は「日本法律学校設立主意書」に記されている。要約すると、日本の法律は新旧を問わず学ぶ、海外の法律を参考として長所を取り入れる、日本法学という学問を提唱するという3点であり、欧米法教育が主流な時代にあつて、大いに独自性を発揮することとなった。

明治36年(1903)には、校名を日本大学として改組し、翌37年、専門学校令による認可を受けた。大正3年(1914)、「建学の主旨及び綱領」が制定され、本学の建学の理想と教学方針が示された。大正9年(1920)、大学令による大学となり、総合大学への道を歩むこととなる。

昭和24年(1949)、新制大学として再スタートした本学は、「建学の主旨及び綱領」をあらためて「日本大学の目的および使命」を制定した。しかし、この「目的および使命」は、教育基本法に準じたものではあるが本学の伝統から離れており、私学の独自性が発揮されないという意見が出された。そのため改訂の検討がなされ、数年間の審議を経て、昭和34年(1959)、本学70周年を迎える際に、現在の表現に改訂した。

〔目的および使命〕

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしな
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする



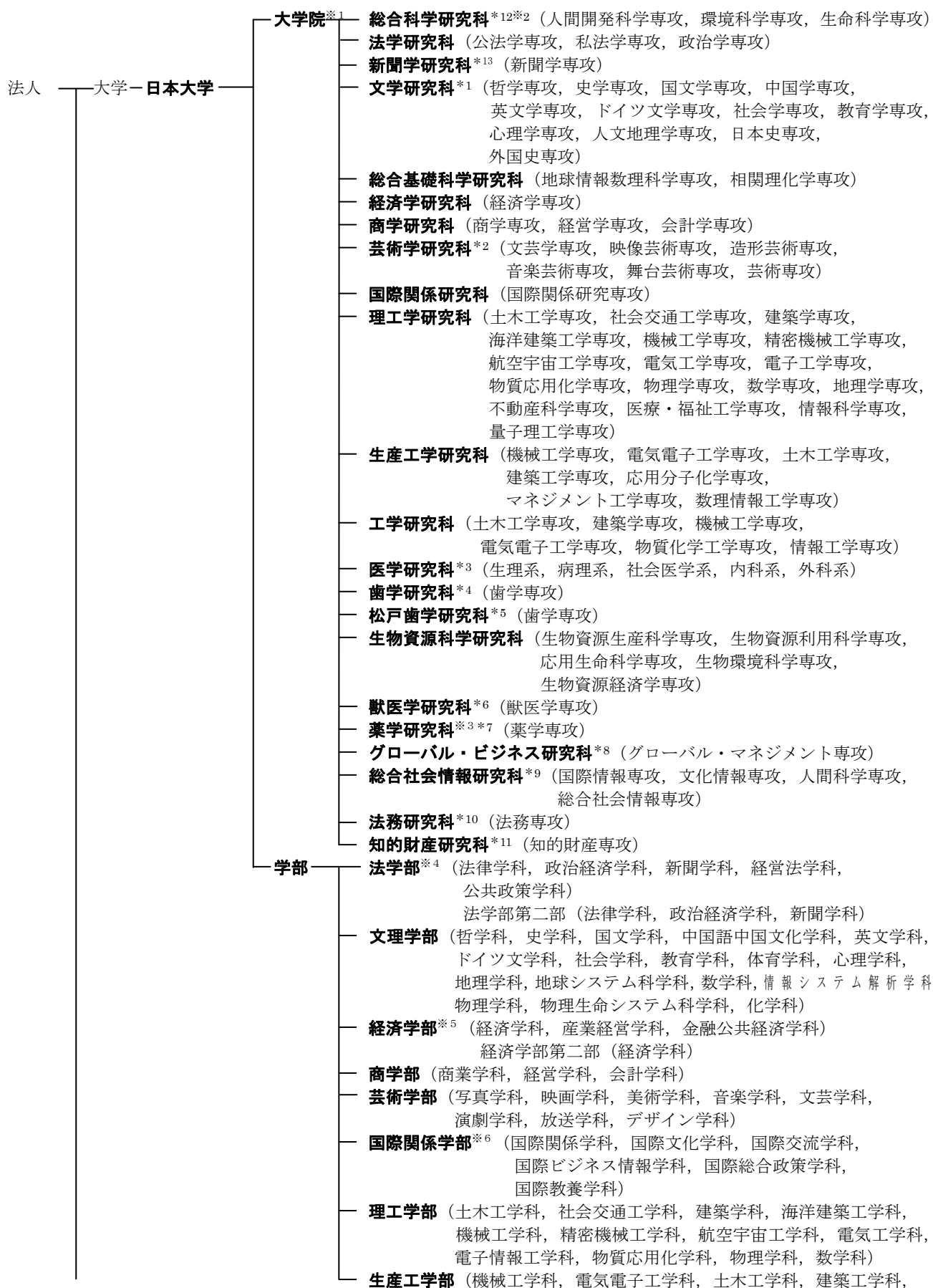
日本大学会館2階の学祖立像と歴代総長・理事長胸像

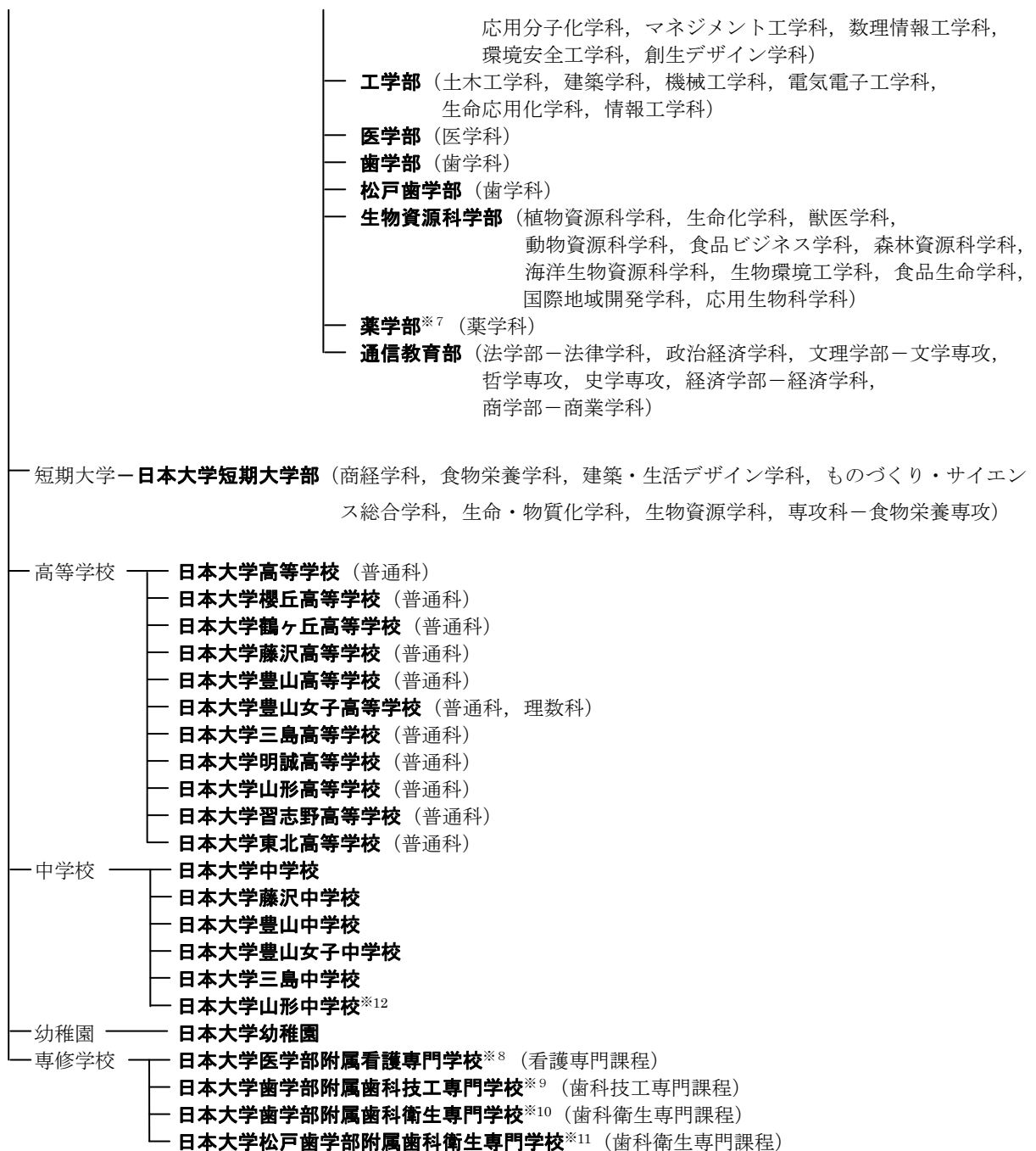
日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

平成18年(2006)、企画検討委員会において、現在の社会状況に即応し、かつ本学の総合性を発揮することを目的として、新しい理念及び目的が検討された。その結果、平成19年、本学の教育の理念と目的は「自主創造」と定められた。

3 設置する学校

※平成24年4月1日現在





※1：下記以外は博士前期及び後期課程を設置。

- *1：文学研究科史学専攻は博士前期課程。日本史専攻及び外国史専攻は博士後期課程。人文地理学専攻（学生募集停止中）は修士課程。
- *2：芸術学研究科文芸学専攻, 映像芸術専攻, 造形芸術専攻, 音楽芸術専攻及び舞台芸術専攻は博士前期課程。芸術専攻は博士後期課程。
- *3, *4, *5, *6, *7：医学研究科, 歯学研究科, 松戸歯学研究科, 獣医学研究科及び薬学研究科は博士課程。
- *8：グローバル・ビジネス研究科は修士課程。
- *9：総合社会情報研究科国際情報専攻, 文化情報専攻及び人間科学専攻は博士前期課程。総合社会情報専攻は博士後期課程。
- *10, *11：法務研究科及び知的財産研究科は専門職学位課程。
- *12：総合科学研究科は5年一貫制博士課程。
- *13：新聞学研究科新聞学専攻は修士課程。
- ※2：総合科学研究科人間開発科学専攻, 環境科学専攻及び生命科学専攻は平成23年4月から学生募集停止。
- ※3：薬学研究科薬学専攻博士後期課程は平成24年4月から学生募集停止。
- ※4：法学部第二部新聞学科, 政治経済学科は平成19年4月から学生募集停止。
- ※5：経済学部第二部経済学科は平成22年4月から学生募集停止。
- ※6：国際関係学部国際関係学科, 国際文化学科, 国際交流学科及び国際ビジネス情報学科は平成23年4月から学生募集停止。
- ※7：薬学部薬学科は6年制課程。

- ※8：医学部附属看護専門学校は3年制課程。
- ※9：歯学部附属歯科技工専門学校は3年制課程。
- ※10：歯学部附属歯科衛生専門学校は3年制課程。
- ※11：松戸歯学部附属歯科衛生専門学校は3年制課程。
- ※12：山形中学校は平成24年4月から生徒募集停止

○準付属校の取扱いに関する契約を締結した学校法人の設置する高等学校・中学校等

法人名	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
学校法人日本大学第一学園	日本大学第一高等学校, 千葉日本大学第一高等学校	日本大学第一中学校, 千葉日本大学第一中学校	千葉日本大学第一小学校	
学校法人日本大学第二学園	日本大学第二高等学校	日本大学第二中学校		
学校法人日本大学第三学園	日本大学第三高等学校	日本大学第三中学校		
学校法人大垣日本大学学園	大垣日本大学高等学校			
学校法人土浦日本大学学園	土浦日本大学高等学校, 岩瀬日本大学高等学校	土浦日本大学中等教育学校		土浦日本大学附属幼稚園
学校法人宮崎日本大学学園	宮崎日本大学高等学校	宮崎日本大学中学校		
学校法人佐野日本大学学園	佐野日本大学高等学校	佐野日本大学中等教育学校		
学校法人長崎日本大学学園	長崎日本大学高等学校	長崎日本大学中学校		
学校法人長野日本大学学園	長野日本大学高等学校	長野日本大学中学校		
学校法人札幌日本大学学園	札幌日本大学高等学校	札幌日本大学中学校		

4 学生・生徒数（入学定員・収容定員・現員）

※平成24年5月1日現在

※（ ）内は女子内数

大学院研究科(博士前期・修士課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
法 学	75	150	40	37	77 (26)
新 聞 学	10	20	11	15	26 (18)
文 学	140	280	59	78	137 (54)
総合基礎科学	20	40	46	54	100 (27)
経 済 学	30	60	36	28	64 (19)
商 学	90	180	37	28	65 (39)
芸 術 学	75	150	60	77	137 (73)
国 際 関 係	10	20	6	11	17 (4)
理 工 学	420	840	462	547	1,009 (106)
生 産 工 学	140	280	122	177	299 (37)
工 学	140	280	99	125	224 (10)
生物資源科学	115	230	122	108	230 (80)
グローバル・ビジネス	50	100	31	57	88 (40)
総合社会情報	90	180	44	48	92 (39)
計	1,405	2,810	1,175	1,390	2,565 (572)

大学院研究科(博士課程(5年一貫制))

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
総合科学	0	120	0	0	0	0	4	4 (2)

大学院研究科(博士後期・博士課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法 学	15	45	9	4	4		17 (2)
文 学	30	90	10	20	23		53 (20)
総合基礎科学	4	12	2	1	2		5 (1)
経 済 学	6	18	3	2	7		12 (4)
商 学	13	39	0	1	3		4 (1)
芸 術 学	8	24	3	6	17		26 (19)
国 際 関 係	3	9	2	2	7		11 (3)
理 工 学	79	237	22	28	40		90 (13)
生 産 工 学	21	63	8	8	5		21 (2)
工 学	12	36	4	4	8		16 (1)
医 学	64	256	36	32	22	28	118 (26)
歯 学	30	156	38	26	29	45	138 (50)
松 戸 歯 学	30	150	27	15	16	29	87 (35)
生物資源科学	26	78	9	15	9		33 (10)
獣 医 学	6	24	6	7	9	7	29 (8)
薬 学	5	13	3	11	5	0	19 (6)
総合社会情報	9	27	5	5	11		21 (12)
計	361	1,277	187	187	217	109	700 (213)

大学院研究科(専門職学位課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
法 務	80	260	41	67	29	137 (25)
知的財産	30	60	20	26		46 (11)

学部(第一部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	1,400	5,600	1,562	1,666	1,841	2,019			7,088 (2,142)
文 理	1,750	7,000	2,153	2,180	1,988	2,522			8,843 (3,351)
経 済	1,400	5,500	1,641	1,560	1,573	1,779			6,553 (1,788)
商	1,200	4,800	1,511	1,439	1,426	1,582			5,958 (1,930)
芸 術	840	3,360	1,016	1,042	1,035	1,111			4,204 (2,703)
国 際 関 係	650	2,600	721	757	796	903			3,177 (1,239)
理 工	2,020	8,080	2,119	2,085	2,252	2,883			9,339 (1,035)
生 産 工	1,400	5,600	1,613	1,579	1,597	1,943			6,732 (832)
工	1,030	4,120	934	1,140	1,098	1,395			4,567 (312)
医	120	720	126	132	118	123	103	119	721 (214)
歯	130	930	167	127	136	110	128	120	788 (312)
松 戸 歯	130	930	124	105	119	120	122	144	734 (276)
生 物 資 源 科	1,410	5,880	1,672	1,640	1,870	1,692	144	145	7,163 (3,007)
薬	240	1,440	275	286	236	233	240	258	1,528 (843)
計	13,720	56,560	15,634	15,738	16,085	18,415	737	786	67,395 (19,984)

学部(第二部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	300	1,200	193	282	305	344			1,124 (190)
経 済	0	200	0	1	0	155			156 (23)
計	300	1,400	193	283	305	499			1,280 (213)

通信教育部

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法	3,000	12,000	108	108	232	744	1,192 (382)
文 理	3,000	12,000	250	233	887	2,437	3,807 (2,144)
経 済	1,500	6,000	63	69	130	424	686 (116)
商	1,500	6,000	92	104	218	623	1,037 (378)
計	9,000	36,000	513	514	1,467	4,228	6,722 (3,020)

短期大学部

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
商 経	80	230	97	107	204 (97)
食 物 栄 養	120	240	112	121	233 (197)
建築・生活デザイン	80	160	90	87	177 (41)
ものづくり・サイエンス総合	60	120	62	79	141 (17)
生命・物質化	40	80	42	51	93 (43)
生 物 資 源	150	300	166	167	333 (178)
計	530	1,130	569	612	1,181 (573)

短期大学部専攻科

専 攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
食 物 栄 養	20	40	22	11	33 (28)

高等学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	600	1,800	482	582	418	1,482 (570)
櫻 丘	602	1,806	454	469	462	1,385 (652)
鶴ヶ丘	450	1,350	474	417	414	1,305 (728)
藤 沢	520	1,560	496	375	373	1,244 (675)
豊 山	585	1,755	487	486	493	1,466
豊山女子	240	720	271	237	254	762 (762)
三 島	760	2,280	642	656	713	2,011 (1,010)
明 誠	440	1,320	284	343	336	963 (291)
山 形	550	1,650	468	445	474	1,387 (450)
習 志 野	400	1,170	502	430	438	1,370 (579)
東 北	480	1,440	440	487	484	1,411 (583)
計	5,627	16,851	5,000	4,927	4,859	14,786 (6,300)

中学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	400	1,200	270	312	297	879 (345)
藤 沢	80	240	94	134	104	332 (162)
豊 山	200	600	212	230	230	672
豊山女子	160	480	138	161	159	458 (458)
三 島	70	210	57	66	37	160 (90)
山 形	60	120	-	17	18	35 (18)
計	970	2,850	771	920	845	2,536 (1,073)

幼稚園

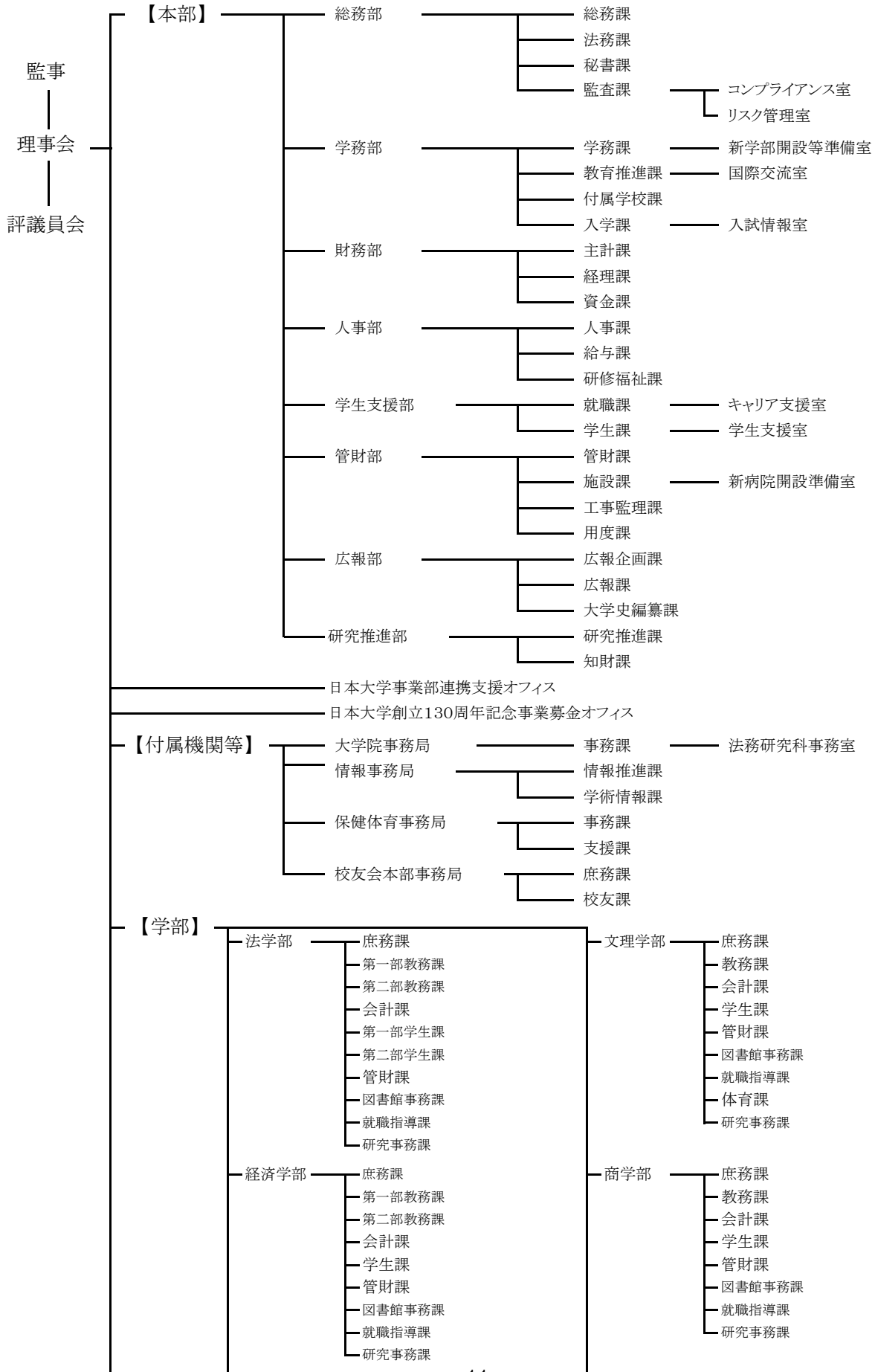
学 校	入園定員	収容定員	3歳児	4歳児	5歳児	計
日 本 大 学	3歳児70, 4・5歳児105	280	48	54	59	161 (88)

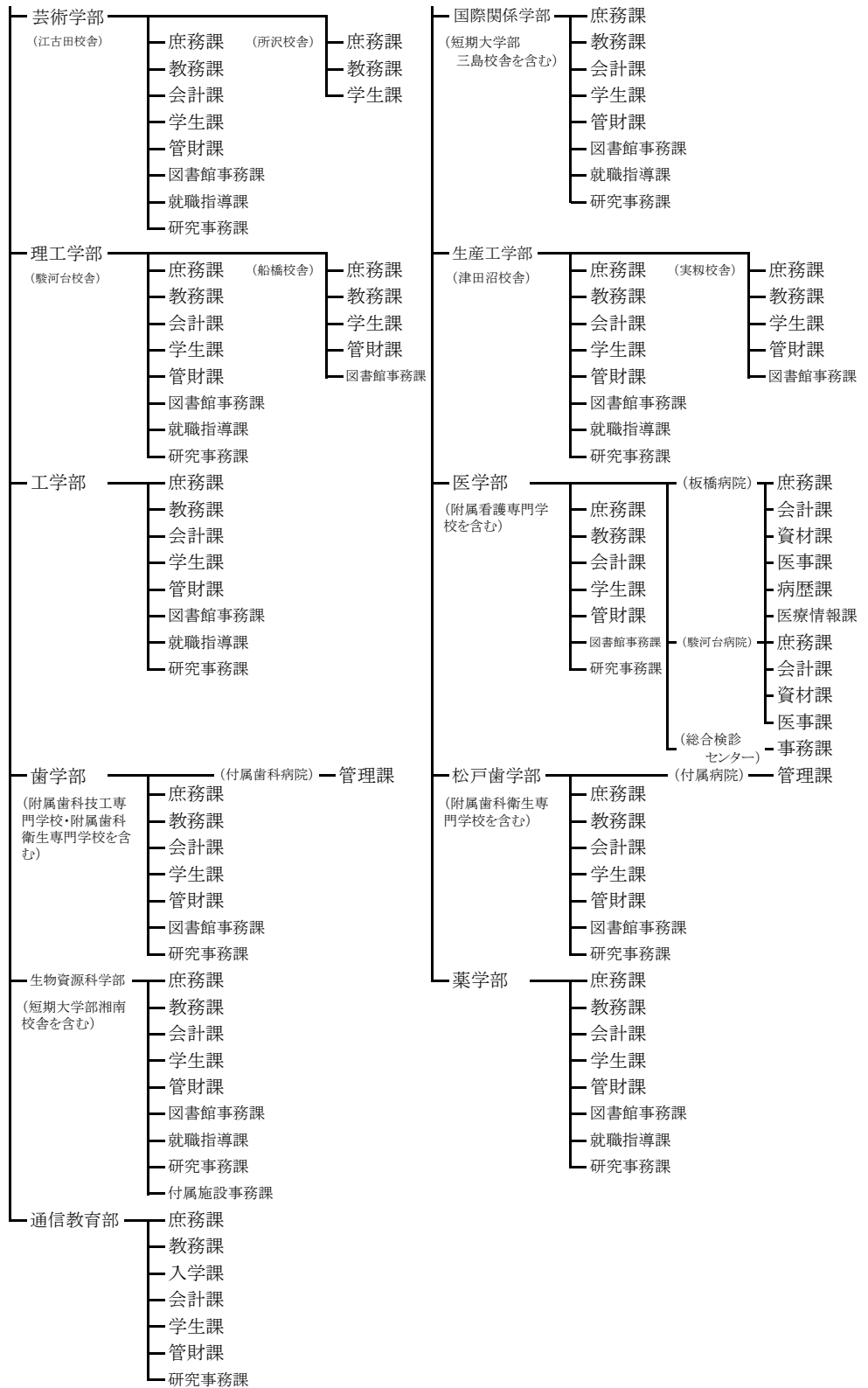
専修学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
医学部附属看護専門学校	80	240	87	96	100	283 (260)
歯学部附属歯科技工専門学校	35	105	16	16	25	57 (19)
歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	35	41	33	109 (109)
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	51	48	33	132 (132)
計		195	585	189	201	191 (520)

5 事務組織

※平成25年3月31日現在





【高等学校・中学校・幼稚園】

- ※ 櫻丘高校は文理学部併設
- ※ 鶴ヶ丘高校、藤沢高校・中学校は生物資源科学部併設
- ※ 三島高校・中学校は国際関係学部併設
- ※ 習志野高校は理工学部併設
- ※ 東北高校は工学部併設

- 日本大学高等学校・中学校
- 日本大学櫻丘高等学校
- 日本大学鶴ヶ丘高等学校
- 日本大学藤沢高等学校・中学校
- 日本大学豊山高等学校・中学校
- 日本大学豊山女子高等学校・中学校
- 日本大学三島高等学校・中学校
- 日本大学明誠高等学校
- 日本大学山形高等学校・中学校
- 日本大学習志野高等学校
- 日本大学東北高等学校
- 日本大学幼稚園

- 事務室
- 事務課
- 事務課
- 事務課
- 事務室
- 事務室
- 事務課
- 事務室
- 事務室
- 事務課
- 事務課

6 研究所組織

大学付置研究所

総合科学研究所	(昭和25年7月7日設置)
量子科学研究所	(昭和38年12月3日設置)
教育制度研究所	(昭和31年10月1日設置)
精神文化研究所	(昭和33年4月1日設置)
人口研究所	(昭和55年5月23日設置)

学部付置研究所

法学部法学研究所	(昭和31年10月1日設置)
法学部政経研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部比較法研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部新聞学研究所	(平成19年3月9日設置)
法学部国際知的財産研究所	(平成19年3月9日設置)
文理学部人文科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部自然科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部情報科学研究所	(昭和58年3月11日設置)
経済学部経済科学研究所	(昭和52年4月1日設置)
経済学部産業経営研究所	(昭和52年4月1日設置)
商学部商学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部会計学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部情報科学研究所	(昭和57年6月4日設置)
芸術学部芸術研究所	(昭和44年4月1日設置)
国際関係学部生活科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
国際関係学部国際関係研究所	(昭和55年7月4日設置)
理工学部理工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
生産工学部生産工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
工学部工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
医学部総合医学研究所	(昭和52年5月13日設置)
歯学部総合歯学研究所	(昭和51年5月14日設置)
松戸歯学部口腔科学研究所	(昭和49年10月18日設置)
生物資源科学部総合研究所	(昭和42年4月1日設置)
生物資源科学部国際地域研究所	(昭和51年5月14日設置)
生物資源科学部生命科学研究所	(平成11年4月2日設置)
薬学部薬学研究所	(平成元年4月7日設置)
通信教育部通信教育研究所	(昭和59年2月3日設置)

7 役員・教職員の概要

① 役員等

※平成25年3月31日現在

	定数	実数	氏名
理事長	1人	1人	田中 英 壽
総長	1人	1人	大塚 吉兵衛
副総長	3人以内	3人	牧村 正 治 草間 貞 杉本 稔
常務理事	(若干名)	6人	田中 範 男 板橋 文 男 成澤 文 明 古屋 尚 高松 雄 行 石井 進

理事 (定数:25人以上32人以内 実数:32人(常勤27人,非常勤5人))

選任区分(寄附行為第9条)	定数	実数	氏名
総長	1人	1人	大塚 吉兵衛
理事長の推薦した者	1人以上2人以内	2人	森 晃 道 加藤 了
日本大学本部及び日本大学各学部の教職員評議員のうちから選出された者	13人以上15人以内	15人	大工原 孝 杉本 稔 加藤 直 人 小 柳 治 宣 小 関 勇 野 田 慶 人 佐藤 三武朗 滝 戸 俊 夫 松井 勇 出 村 克 宣 片山 容 一 越 川 憲 明 渋谷 鑛 河 野 英 一 草間 貞
この法人の設置する学校の校友評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	7人	石井 進 高野 和 雄 高松 雄 行 田中 英 壽 中村 克 夫 馬場 邦 明 若女井 光 男
この法人の学識経験評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	7人	板橋 文 男 小澤 一 郎 小野沢 元 久 田中 範 男 成澤 文 明 古屋 尚 牧村 正 治

監事 (定数:3人以上5人以内 実数:4人(うち2人は常任監事))

選任区分(寄附行為第18条)	定数	実数	氏名
監事	3人以上5人以内	4人	越智光昭(常任) 齋藤 貢(常任) 小磯 一 男 佐藤 正 弘

② 教員数

※平成24年5月1日現在

大学院研究科

研究科	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
総合科学	13	2	0	0	0	15	9	27
法学							4	21
新聞学							0	4
文学							7	60
総合基礎科学							1	18
経済学							54	28
商学							32	12
芸術学							77	87
国際関係学							40	9
理工学							219	151
生産工学							114	42
工学							92	42
医学							370	0
歯学							92	0
松戸歯学							65	0
生物資源科学							142	15
獣医学							32	0
薬学							46	0
グローバル・ビジネス	8	3	0	0	0	11	4	36
法務	22	2	0	4	0	28	8	38
総合社会情報	5	1	0	0	0	6	16	39
知的財産	7	1	0	0	0	8	7	11
計	55	9	0	4	0	68	1,431	640

学部等

学部	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
法(一部)	83	30	1	9	5	128	25	313
法(二部)	7	4	0	0	0	11	7	39
文理学	167	42	7	27	58	301	30	680
経済(一部)	65	26	6	5	3	105	13	305
経済(二部)	8	0	1	0	0	9	2	13
商	52	29	10	9	0	100	10	233
芸術	81	21	3	6	42	153	7	571
国際関係	43	13	0	14	4	74	10	119
理工	162	63	46	53	63	387	7	429
生産工	108	63	8	34	6	219	4	257
工	61	55	11	17	0	144	1	163
医	54	84	61	183	112	494	16	68
歯	33	32	43	69	5	182	56	36
松戸歯	37	28	59	20	18	162	17	42
生物資源科	106	63	32	29	54	284	5	214
薬	32	19	5	17	2	75	1	15
小計	1,099	572	293	492	372	2,828	211	3,497
通信教育部	9	3	1	1	0	14	104	167
計	1,108	575	294	493	372	2,842	315	3,664

研究所

研究所	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助手	助教	計		
総合科学研究所	3	5	0	0	0	8	2	0
量子科学研究所	1	0	1	0	0	2	7	0
教育制度研究所	0	0	0	0	0	0	1	0
精神文化研究所	0	0	0	0	0	0	1	0
人口研究所	0	0	0	0	0	0	8	0
計	4	5	1	0	0	10	19	0

短期大学部

学 科	専 任 教 員						兼担教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
商 経	6	2	0	1	0	9	6	} 25
食 物 栄 養	7	3	0	0	3	13	2	
建 築 ・ 生 活 デ ザ イン	4	4	2	1	2	13	0	} 135
も の づ く り ・ サ イ エ ン ス 総 合	4	3	4	0	3	14	0	
生 命 ・ 物 質 化	2	0	2	2	2	8	0	
生 物 資 源	6	2	3	1	2	14	0	15
計	29	14	11	5	12	71	8	175

高等学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日 本 大 学	54	40	94
櫻 丘	55	31	86
鶴 ヶ 丘	56	31	87
藤 沢	50	39	89
豊 山	53	39	92
豊 山 女 子	31	27	58
三 島	70	78	148
明 誠	38	33	71
山 形	51	41	92
習 志 野	57	38	95
東 北	53	45	98
計	568	442	1,010

中学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日 本 大 学	28	25	53
藤 沢	17	6	23
豊 山	27	20	47
豊 山 女 子	17	16	33
三 島	8	21	29
山 形	5	0	5
計	102	88	190

幼稚園

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日 本 大 学	8	9	17

専修学校

学 校	専任教員	兼務(学内)	兼務(学外)	計
医学部附属看護専門学校	16	93	28	137
歯学部附属歯科技工専門学校	6	33	53	92
歯学部附属歯科衛生専門学校	5	59	17	81
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	7	86	9	102
計	34	271	107	412

③ 職員数

※平成24年5月1日現在

学部等

学部等	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
本部	220	68	3	0	0	2	6	0	8	4	237	74	311
法	49	30	3	0	0	2	0	0	2	0	54	32	86
文理	48	25	4	1	0	2	2	2	1	0	55	30	85
経済	44	30	2	0	0	2	0	0	0	0	46	32	78
商	39	21	0	0	0	1	0	0	0	0	39	22	61
芸術	39	19	4	0	0	2	16	0	1	0	60	21	81
国際関係	39	16	2	2	0	1	0	1	0	0	41	20	61
理工	68	44	0	0	0	4	13	7	2	0	83	55	138
生産工	38	29	4	0	0	2	14	0	0	0	56	31	87
工	40	10	2	0	0	2	0	0	2	0	44	12	56
医	95	165	5	9	274	1,548	13	23	17	63	404	1,808	2,212
歯	35	28	0	0	12	48	5	3	1	1	53	80	133
松戸歯	37	29	4	0	14	48	4	2	3	2	62	81	143
生物資源科	47	20	4	0	0	2	21	1	5	0	77	23	100
薬	28	10	0	0	0	1	5	0	0	0	33	11	44
通信教育部	34	13	1	0	0	0	0	0	0	0	35	13	48
計	900	557	38	12	300	1,667	99	39	42	70	1,379	2,345	3,724

短期大学部

校舎	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
三島	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3
船橋	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	4
湘南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	2	0	0	0	0	1	0	1	0	5	2	7

高等学校

学 校	専任職員数
日本大学	11
櫻丘	7
鶴ヶ丘	8
藤沢	8
豊山女子	11
豊山女子	8
三島	6
明誠	11
山形	10
習志野	6
東北	7
計	93

中学校

学 校	専任職員数
日本大学	5
藤沢	0
豊山	2
豊山女子	3
三島	1
山形	0
計	11

幼稚園

学 校	専任職員数
日本大学	4

専修学校

学 校	専任職員数
医学部附属看護専門学校	0
歯学部附属歯科技工専門学校	2
歯学部附属歯科衛生専門学校	2
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	1
計	5

Ⅱ 事業の概要

1 主な事業の概要

平成 24 年度 予算編成基本方針(抜粋)

「教学施策と連携した積極的な環境整備」に関する事項

① 教育力を誇る大学への再生

- (1) FD活動の全学的・組織的推進
- (2) 新時代にマッチした共通教養教育プログラムの構築
- (3) 大学規模のメリットを活かした相互履修制度の積極的活用
- (4) 建学の精神を引き継ぐ自校教育の充実
- (5) 単位制度実質化及びGPA運用方針策定など教育の質的強化に向けた取組
- (6) 基礎学力到達度テストの検討など一貫教育推進のための中高大連携強化

② ビジョンに基づく施策の推進

- (1) 生活習慣病の診療に特化した新病院開院の推進
- (2) 社会貢献型の人材を養成する新学部開設の推進
- (3) 初等教育からの一貫教育を実現する小学校開設の推進
- (4) お茶の水キャンパス整備に資する大学院法務研究科移転の推進
- (5) 「首都圏大学」から「日本の大学」への回帰を実現する学生寮建設の推進
- (6) 選択と集中による学部再編の検討

③ 日本の基盤を作る有為な人材の育成

- (1) グローバルな時代にあった自主創造型人材育成の徹底
- (2) 教育機会を保障するための震災特別措置を含む奨学金制度等の充実
- (3) 「スポーツの日大」の復活に向けた保健体育審議会の活動環境の充実

④ 「首都圏大学」から「日本の大学」への回帰

- (1) 大学統一試験（N方式入試）の拡充の検討
- (2) AO入試，付属推薦入試などの入学者選抜方式の見直し
- (3) 本学の独自価値を明確にする「日大ブランド」の確立

⑤ 「就職に強い日本大学」の推進・強化

- (1) 教育課程におけるキャリア教育の充実並びに就職指導との連携強化
- (2) 職業指導の義務化に向けた支援・指導体制の整備並びに強化
- (3) 公務員試験支援センター強化等による各種国家試験対策充実への戦略的取組

⑥ メリハリのある研究費配分

- (1) メリハリのある研究費配分などによる研究費の充実
- (2) 全学を挙げての連携研究の推進
- (3) 大学の質的評価の向上に貢献する経常費補助金・科学研究費補助金，企業との共同研究，受託研究など学外研究資金の積極的確保
- (4) 科学研究費補助金等研究費の適正使用の徹底

⑦ 安心・安全なキャンパス実現

- (1) 大学の公共性を考慮した環境対策・節電対策等への積極的取組
- (2) 情報管理，著作権保護，個人情報保護などに留意したコンプライアンス（社会規範，社会的要請との調和）の徹底
- (3) 学生・生徒等の安全管理に対応する危機管理体制構築への取組
- (4) 災害や計画停電等のリスクに対応した建物，情報システム等運用管理の徹底
- (5) 学生・生徒等の就学環境及び教職員の就業環境維持向上への取組

主な事業の進捗状況

OFD 活動の推進

FD 推進センターにおいて，機能別に分化した 3WG 体制（調査・分析WG，プログラムWG，教育情報マネジメントWG）の下，『日本大学FDガイドブック』や『日本大学FD研究』，「日

本大学 FD NEWSLETTER」の発行，全学 FD シンポジウム等の開催，学内外を対象にした各種 FD 関連調査の実施など，様々な施策を展開した。

○付属校-基礎学力テスト・卒業前教育の実施

平成 25 年度入学生より付属高校において基礎学力定着を目的とした基礎学力到達度テストを実施する。また、平成 25 年度より高校 3 年生の 12 月から 2 月までの 3 ヶ月間に国語、英語、数学の卒業前教育を 15 回実施することを決定した。

○新学部の開設

新学部開設に伴い、学部名称及び学科構成案を検討し、新学部の名称が「人間総合科学部」に決定した。今後は、人間総合科学部開設委員会及びその下に教学小委員会を設置し、教育課程等の具体的な事項について検討を進める。

○小学校の開設

日本大学藤沢小学校設置に関して、平成 25 年 1 月 4 日付けで学校設置計画が神奈川県知事に承認され、同年 1 月 10 日付けで報道関係あてプレスを行った。入学定員は 72 名(1 学年 2 学級)、男女共学、平成 27 年 4 月 1 日開校の予定である。

○学生寮建設の推進

日本大学の在学生は、首都圏出身学生の割合が多く、地方出身者は少なくなっている。遠隔地から東京へ出てくる家庭の経済的負担に応え、全国からの学生を受け入れている大学を目指すため、町田、松戸、赤堤、宮坂に約 250 名収容の学生寮を建設する。いずれも平成 26 年 3 月完成予定で、平成 26 年度の在学生から入寮する予定である。

○自主創造型パーソンの育成

教育理念・目的である「自主創造」を備えた学生を「自主創造型パーソン」と定め、その育成の第 1 段階として、全学共通の初年次教育科目の設置を進めている。

○保健体育審議会活動環境の充実

学生が学生生活と部活動の両方に全力で取り組めるように活動環境の整備を進める。平成 24 年度は、ソフト部学生寮、野球部練習場改修工事を完了した。

○日大統一入試(N方式)の拡充

平成 26 年度入試より、1 日の試験で複数の学部学科を受験できる N 方式第 1 期(2 月 1 日実施)を新たに導入する。実施学部は 9 学部及び短期大学部 5 学科と従来の 3 月に実施していた試験より大幅に拡大する。また、地方試験場を全国の主要都市に設置する予定である。

○入学者選抜方式の見直し

平成 25 年度付属高校入学生から日本大学への進学が新付属推薦入試制度により行われる(平成 27 年度実施)。また、入試制度の簡略化、推薦機会の増加等を目的にレクシオンのエントリー方法として WEB エントリーの導入や、新付属推薦入試スケジュールの設定、各推薦の調査書・願書の統一化等について検討している。

○日大ブランドの確立

ロゴマーク **M** (エヌ・ドット) を多用するシンプルな広告を、様々な広告媒体で活用することで、「日大ブランド」の確立に努めた。

○キャリア教育・就職支援体制の強化

各学部の特色に沿ったキャリア教育を実施し、低学年次からのキャリアガイダンス、インターシップへの参加、各種スキルアップ講座等により就職支援体制を強化している。また、本部・各学部間で NU 就職ナビを中心とした情報共有等を行い、総合的な就職指導體制を整備している。

○各種国家試験対策の充実

公務員試験支援センター主催講座として 1・2 年次対象講座を新設し、学部主催講座と連動して総合的なサポートを行う。それに伴い、講座・模擬試験・行事等を関連付けて実施するよう見直し、平成 25 年度から実施する予定である。

○学内研究費の充実

大学として特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進する目的で、総長・理事長特別研究を創設し、全学的に募集を行った。審査委員によるヒアリング審査及び web 上での教職員による投票を実施し、全体で 6 件の研究課題に研究費を配分し、複数学部の研究組織による 3 年間の研究が開始された。

○学部横断連携研究の推進

若手研究者を中心に学部連携ポスターセッションを開催し、学部横断の共同研究プロジェクトへの進展を図るための取り組みを行っている。参加者へのアンケート調査の結果、すべての参加者から継続を希望する回答があったため、平成 25 年度は、参加者増加に向けた計画を検討している。

○学外研究資金の積極的確保

学外研究資金の積極的確保については、各学部を中心として、研究者と連携を図り、その獲得に努めている。特に、科学研究費助成事業(以下科研費)については、事務担当者研修会を開催し、過去に科研費を獲得した実績のある研究者を招き、応募書類の記載方法等、実践的な内容について議論し、その技術を習得することで、全学的な科研費採択率向上に資する取組を行った。また、企業等との共同・受託研究についても積極的な獲得に努めた結果、契約金額において前年度実績を上回った。

○研究費の適性使用の徹底

研究費の不正使用に関して重要なのは再発防止である。研究不正行為防止への対応として、平成 25 年 1 月 1 日から公的資金及び本部助成金等による物品及び修理の発注・検収については、管財課等事務局職員が行うこととし、全学的に周知した。

○危機管理体制の構築

自然災害や人為的な事故等、本学の継続的運営に支障を来すようなリスクに対し、事前の予防措置を講じ、また緊急事態が発生した場合には迅速に対応する危機管理体制構築に向け、総務部監査課内に「リスク管理室」を設置した。

2 部科校別の事業の概要

達成度については、A:「おおむね達成」、B:「具体的実施中」、C:「検討中」、D:「未実施」として表示

総合科学研究科

【教育研究】

- 事業計画:コミッティ(集団指導体制)の構築
事業概要:本研究科の目的である学問の統合・融合を具現化するために、学生の研究課題に対し、指導教授を中心としながらも多領域からなるコミッティを編成し、多方面からアプローチできるシステムを構築する。
進捗状況:授業科目「プロジェクト特別講義Ⅰ・Ⅱ」及び「プロジェクト特別研究Ⅰ・Ⅱ」についてコミッティ構成教員が指導にあたった。また、これら研究指導科目を修得後も修了までの間、博士学位論文の作成等指導をコミッティで行った。(達成度:A)
- 事業計画:研究指導体制及び研究環境の維持
事業概要:平成23年度からの学生募集停止後においても、本研究科学生の在学期間中は、学生が教育・研究を受けるために必要な研究指導体制や研究・生活環境を維持する。
進捗状況:研究指導は問題なく行われており、実験実習費等も十分活用された。4名の在籍学生のうち3名が博士学位を取得して修了する見込みである。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:学外団体における委員活動を通じた社会貢献
事業概要:政府・地方自治体の審議会及び委員会等に積極的に参画し、教員の専門を活用することにより本研究科の社会貢献を目指す。
進捗状況:多数の教員が学外の公共団体や学会の委員を委嘱されている。(達成度:A)
- 事業計画:NUBICとの連携
事業概要:大学の産官学連携の方針を受け、NUBICと連携する。
進捗状況:本研究科教員がNUBIC副センター長を兼務するなど、NUBICにおける教員間の個人的連携は増えつつあるが、組織的な連携実施に向けさらに検討中である。(達成度:C)

【財政】

- 事業計画:積極的な外部資金獲得
事業概要:外部資金を獲得する。
進捗状況:積極的な外部資金獲得に努めた結果、科学研究費補助金11,370,000円(全7件)、受託研究費11,902,215円(全2件)を獲得した。(達成度:A)

グローバル・ビジネス研究科

【教育研究】

- 事業計画:FDの実践(講義評価の実施と公表、教員研修会等の実施)
事業概要:組織的なFD推進を図るに当たり、本研究科における教育・授業等に関する現状及び問題点の把握並びにその改善方法等について、共通の知識等を習得することを目的として実施する。
進捗状況:講義評価の実施と公表及び教員研修会を計画どおり実施した。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:諸経費の見直しを行う。

- 事業概要:平成25年度予算については、平成24年度予算比マイナス5%を目標に見直しを行った。
進捗状況:平成25年度予算は、平成24年度予算に対し、815万円削減した。(達成度:A)
- 事業計画:外部資金の戦略的な獲得と補助金への対応を行い、資金調達に積極的に取り組む。
事業概要:研究委員会から専任教員へ積極的な外部資金調達を依頼した。
進捗状況:平成25年度科学研究費補助金申請者は3名である。また、平成24年度の新規採択者はいなかったが、継続して交付を受けた者は3名である。引き続き専任教員の意識向上に努めている。(達成度:A)

総合社会情報研究科

【教育研究】

- 事業計画:FDの実践(講義評価の実施と公表、教員研修会の実施)
事業概要:教員の教育能力を高めるための実践的方法として、講義評価アンケートを履修者に対して実施し、教育内容の改善・質の向上のための資とした。また、通信制大学院としての指導理念・学習指導方法等に関する教員間の共通認識を更に徹底するための教員研修会を実施した。
進捗状況:講義評価結果を各教員が認識、分析することができた。また、教員研修会には34名(約4割)が参加した。(達成度:B)
- 事業計画:日本大学大学院総合社会情報研究科坂東奨学金の給付

- 事業概要:本研究科修了生からの寄付金を基に、本研究科独自の奨学金を給付する。
進捗状況:平成24年度は3名の学生に20万円を給付することができた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:公開講座の実施
事業概要:大学院校舎(所沢)で3回、日本学生会館(市ヶ谷)で1回の計4回開催し、合計158名の参加者を得た。(このほかインターネット中継視聴者は延べ331名)
進捗状況:新規の来客があまり得られていないが、固定客からは一定の評価を得ている。(達成度:B)
- 事業計画:「2012年オープン大学院in東京」の実施

事業概要:10月27日(土),日本大学会館(東京・市ヶ谷)にて「2012年オープン大学院 in 東京」を実施した。講演及び研究発表並びに大学院の紹介,進学相談などを行った。進捗状況:例年よりも多くの参加者(80名)を得て,学生・修士の発表機会を設けた。学園祭の機能を有している。また,進学相談者のうち数名が,入学試験を受験し,入学手続をした。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:国際情報専攻の教員採用
事業概要:大学設置基準による教員充足数を満たすため,国際情報専攻の専任教員を採用する。
進捗状況:国際情報専攻の専任教員2名を採用し,不足数は1となったが,平成25年度の採用者はなかった。また,教員の割愛により,不足数は2となった。平成26年度に1名の採用を検討している。(達成度:C)

【財政】

- 事業計画:パソコンの有償貸与
事業概要:平成24年度より,学生使用のパソコンを有償貸与(年額3万円)とし,収支差を減少する。

進捗状況:学生使用のパソコンを有償貸与(年額3万円)としたことにより,収支差が減少した。(達成度:B)

- 事業計画:学生への基本教材給付の取りやめ
事業概要:学生への基本教材給付を取りやめることにより,経費を削減する。
進捗状況:学生への基本教材給付を取りやめることにより,経費を削減した。(達成度:A)
- 事業計画:教員自宅インターネット料金給付の取りやめ
事業概要:教員自宅インターネット料金給付を取りやめることにより,経費を削減する。
進捗状況:教員自宅インターネット料金給付を取りやめることにより,経費を削減した。(達成度:A)
- 事業計画:諸経費の見直しを行う。また,外部資金の戦略的な獲得と補助金への対応を行い,資金調達に積極的に取り組む。
事業概要:諸経費の見直しを行い,収支の改善を図る。また,科学研究費など外部資金の獲得に積極的に臨んだ。
進捗状況:外部資金として,平成24年度の科学研究費補助金獲得状況は,基盤研究Cが1名,挑戦的萌芽研究が1名,厚生労働科学研究費補助金(地球規模保健課題推進研究事業)が1名の計3名である。(達成度:B)

法務研究科

【教育研究】

- 事業計画:夏季合宿の実施
事業概要:合宿による教員との意見交換の場を設けることにより,法科大学院教育への不安の解消及び学習に対するモチベーションを高めることを目的とする。
進捗状況:本学教員及び日大法曹会の弁護士等が参加して8月中旬に3泊4日で実施した。特に教職員と学生との懇親会では,親睦を深めて教職員と学生との連帯感が深まった。また,夏季合宿を実施した学生からは是非冬季合宿を実施してほしいとの要望があり有志を募り実施した。参加学生が少なかったので次年度はより多くの学生が参加できるよう工夫したい。(達成度:B)
- 事業計画:FD研修会の実施
事業概要:教員の教育能力の向上を図るFD活動の一環として研修会を開催する。外部講師を招いた講演や,教育内容・方法等の様々な課題に対し教員相互の連携の下,研修を実施することにより,個々の教育内容・方法等の不断の改善・向上を図り,もって本研究科の教育及び研究の質の向上を図る。
進捗状況:専任教員に対するFD研修会を7回開催した。研修会では教育研究システムの活用や試験のあり方,さらには,平成24年度から作成した共通的到達目標についての達成状況についても領域別に発表を行い,意識向上に努めた。また,外部講師を招いて講演会を開催し,法科大学院教育と企業法務の関係についての認識を新たにさせた。更に非常勤教員を含めた学務・FD合同研修会を開催し,厳格な成績評価の徹底及び本研究科の教育内容・方法等の様々な課題について認識を共有した。(達成度:A)
- 事業計画:奨学金(授業料免除)制度の充実
事業概要:平成24年度入学試験では,優秀な入学者を確保するため,入学試験の成績上位者から初年度授業料免除候補者(全額免除20名,半額免除10名)を選出した。今後,司法試験合格者数を改善させるために,さらなる奨学金(授業料免除)制度の充実を図る。

進捗状況:平成24年10月に「日本大学大学院法務研究科奨学金給付規程」を制定し,平成25年度以降の入学者を対象に奨学金を大幅に拡充した。第1種奨学生は授業料全額(年額98万円),第2種奨学生は授業料半額相当額(年額50万円)で,従来の1年間のみのおくみを変更し,最低修業年限(既修は2年間,未修は3年間)にわたって奨学金を継続して給付し,入学者の質の向上に努めた(学業成績によっては次年度の継続給付を取り消される場合がある)。採用人数について,既修が第1種奨学生・第2種奨学生それぞれ10名ずつ,未修者がそれぞれ5名ずつとした。また,第3種奨学生では,1年次に入学試験による奨学生とならなかった学生が,前年度成績が一定の基準を充足した場合,授業料全額(年額98万円)を給付し,司法試験合格に向けて,学生のモチベーションの維持に努める。採用人数について,既修5名,未修2・3年合わせて5名とした。(達成度:A)

- 事業計画:特別講演会の実施
事業概要:教員の教育能力の向上と学生の学習意欲の向上を図る。
進捗状況:学生の勉学意欲の向上を図るために特別講演会を5回開催した。講師は著名な他大学の教授及び弁護士等により行い,参加者に対して行ったアンケート調査結果は大変好評であった。参加者数が100名を超える回もあった。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:授業(クリニック・ローリング)の一環として無料法律相談の実施
事業概要:授業の一環として無料法律相談を実施する。
進捗状況:5月29日から7月3日の毎週火曜日各1時間,授業の一環として無料法律相談を実施し,6名の相談を受けた。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:平成23年度に引き続き、改善充実推進委員会を開催し、法務研究科の充実、推進を図る。
事業概要:法曹養成の強化策の検討及び法学部との連携について、関係教職員及び有識者等から広く意見を求め、法務研究科の充実、推進を図る。
進捗状況:改善充実推進委員会では、委員の改善アンケート回答等を基に司法試験合格者の増加並びに教育の質向上等に係る実施策及び短・中・長期における将来計画の策定に向けた議論を行った。(達成度:B)

【人事(人件費)】

- 事業計画:専任教員組織の充実について

事業概要:法令上の必要教員数を安定的に維持できるよう法律基本科目担当者の後任補充を計画的に実施する。具体的には、若手の研究者教員を採用し、長期・継続的に教育研究を担当することにより法務研究科の教員組織の充実、年齢構成の適正化、教育研究水準の維持向上及び活性化を図る。
進捗状況:平成24年4月1日付けで公法系教授1名、民事系教授1名、准教授1名、助教1名、合計4名採用した。さらに平成24年9月1日付けで民事系教授1名を採用した。今後も、定年を迎える教員の充足を行うため、若手研究者教員を採用し、教員組織の充実、教育研究の向上を図るための採用計画を継続して実施する。(達成度:A)

法学部・法学研究科・新聞学研究科・知的財産研究科

○法学部

【教育研究】

- 事業計画:授業ポータルシステムの導入
事業概要:WEBを利用して学生全員に情報を知らせるシステムを導入し、非常時でも安否確認等対応できるよう構築を行う。
進捗状況:平成24年度はポータルシステムの運用を開始し、第1段階として、お知らせ機能、スケジュール機能の利用が可能となった。今後も順次、レポート機能、安否確認機能などの機能を利用可能とする。(達成度:A)
- 事業計画:FD活動の充実
事業概要:現在実施している授業アンケート結果の学生への情報公開及び教員アンケートの実施等、教育のより一層の向上を目指し検討を行う。
進捗状況:平成24年度は、学生へのアンケート結果の公開には至らなかったが、FD委員会内に、アンケートの実施、集計等に関する検討及びアンケート結果を基に教育効果向上を目的としたワーキンググループをそれぞれ設置し検討を行った。(達成度:B)
- 事業計画:新カリキュラムの導入
事業概要:平成25年3月をもって、現在のカリキュラムが完成し、セメスター制の導入を視野に入れた新カリキュラム制度を検討する。
進捗状況:セメスター制の実施、導入教育の導入を主軸に、基幹科目の明確化、必修科目の充実を図ることで、より特長のあるカリキュラムが作成される。平成26年度運用開始を目指して検討を重ねている。(達成度:B)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)被災者のための経済的な支援。
進捗状況:東日本大震災の罹災学生(45名)及び福島第一原子力発電所事故の被災学生(3名)の学費免除等経済的な支援を行った。(達成度:A)
- 事業計画:貴重書データの登録
事業概要:図書館システムに、貴重書の書誌・所蔵情報を登録する。
進捗状況:所蔵情報の登録は完了し、現在は書誌情報を登録している。(達成度:B)
- 事業計画:貴重書の電子化
事業概要:ブックスキャナーを利用し、貴重書の電子化を行う。

進捗状況:専門領域の教員の協力を得て、スキャンする貴重書の優先順位を決定し、電子化作業を進めている。(達成度:B)

- 事業計画:電子データベースの導入
事業概要:法学部の学生・教職員に必要なデータベースを導入し、学術情報を収集できる環境を整備する。
進捗状況:現在、12種類のデータベースを保有しており、本部総合学術情報センター等が提供している電子情報とともに、本学部ホームページの図書館ページにリンクして利用できるようにしている。(達成度:B)
- 事業計画:キャリア教育講座の実施
事業概要:社会に出てから各方面で活躍できる基礎力、自己の進路決定に向けた意識付けの強化を図り、幅広い知識の習得を促進。
進捗状況:就職(進路)指導委員会と連携の下、ニュース検定試験・日本語検定、日経講座「ビジネスの基本語」、キャリアコンサルタントによるキャリア教育講座の実施など、就職以外の選択肢について学生に熟考させる機会を種々提供した。(達成度:A)
- 事業計画:各種就職関係行事の実施
事業概要:種々情報の分析・研究から諸々の技術的対策等具体的実力向上を図る。
進捗状況:総合就職ガイダンスを始めとし、就職活動における基礎的知識、業界・職種研究、企業研究さらにはSPI等の筆記試験、個人・集団面接試験対策などについて、近年の最新動向を見計らいながら、就職指導委員・就職指導課員・外部招へい講師による各種対策ガイダンスを実施した。(達成度:A)
- 事業計画:法学部創設125周年記念出版物発行準備作業
事業概要:法学部創設125周年を記念して出版物を発行する予定であり、そのための準備作業を行う。(平成26年度出版予定)
進捗状況:法学研究所では、法学部創設125周年記念出版物について執筆関係者との調整を図りつつ発行計画について協議検討を重ねている。(達成度:C)

【社会貢献】

- 事業計画:法律相談会・行政相談会の開催
事業概要:無料法律相談会(定期・巡回)、行政相談会を行うことで、地域社会との交流活動を推進する。
進捗状況:法律相談会として山梨県甲府市で本学部関係弁護士を中心とした巡回無料法律相談会を開催。また、本学部3号館において定期無料法律相談会を年間8回開

催した。行政相談会として学部祭期間中に3日間「行政なんでも相談」窓口を開設し、多岐にわたる相談に応じた。いずれも、一般社会への貢献と住民との交流活動として大きな成果を挙げた。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:防災備蓄品の購入
事業概要:非常食・防災用具を備えることにより、災害等発生時に対応。
進捗状況:従前から非常食の備蓄を行っていたが、東日本大震災の経験を踏まえ、食料の内容の見直しや、食料以外の非常用品(簡易トイレ、簡易寝袋、非常用毛布、救急セット等)を購入し備えた。(達成度:A)
- 事業計画:受験生に特化したモバイルサイト・ホームページの構築
事業概要:受験生への利便性を図り、法学部の魅力を伝え、志願者増を図る。
進捗状況:モバイルサイト・受験生向けホームページのアクセス数が年々増加していることから、引き続きコンテンツの充実化を図り、受験生へのきめ細やかな情報提供を行うことで志願者の増加へ繋げる。(達成度:A)
- 事業計画:法曹資格取得希望学生への対応
事業概要:法曹資格取得希望学生に対し、法科大学院進学や司法試験予備試験合格及び司法試験合格を目的とした講座の充実を図る。
進捗状況:法科大学院入学者(平成24年度入学者41名、平成25年度入学者については調査中)、司法試験予備試験合格者(3名)を輩出しており、法曹資格を取得するための講座を実施し、更なる充実を図っている。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:本館学生食堂の整備-食堂内設備備品の更新
事業概要:学生にとってより快適な生活環境の実現。
進捗状況:当初の計画に従い、更新を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:5号館隣接地購入(土地・建物付178.01㎡)
事業概要:新5号館建設環境の整備及び建築条件の向上。
進捗状況:隣接地の購入を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:本館リニューアル工事
事業概要:本館外壁及び内部(講堂・便所)改修工事を行うことで、建物の耐久性の強化による教育環境の拡充を図る。
進捗状況:当初の計画に従い、平成24年度に設計を完了させ、平成25年度に施工予定である。(達成度:B)
- 事業計画:6号館新築工事
事業概要:安全かつ快適な課外活動スペースの整備・確保
進捗状況:現在、建設工事を進めている。(平成25年7月竣工予定)(達成度:B)
- 事業計画:本館耐震補強工事
事業概要:耐震性能の改善による教育環境の安全確保。
進捗状況:平成25年3月、予定どおり工事を完了し安全を確保した。(達成度:A)
- 事業計画:特別書の書架増設

事業概要:図書館内カード検索コーナーを貴重書・特別書閲覧室とし、特別書用の書架を増設する。

進捗状況:平成24年4月に、図書館内のカード検索コーナーを貴重書・特別書閲覧室に名称変更し、特別書用の書架を増設した。(達成度:A)

○法学研究所,政経研究所,比較法研究所,新聞学研究所

【教育研究】

- 事業計画:研究所研究員の受入れ
事業概要:法学研究所,政経研究所,比較法研究所及び新聞学研究所の各研究所にて研究員の受入れを行う。
進捗状況:(1)法学研究所では、5名(再委嘱4名・新規1名)の研究員の受入れを行い、研究会等における発表により、研究員自身の研究の推進及び更なる研究所の活性化を図ることができた。(2)政経研究所では、1名(再委嘱1名)の研究員の受入れを行い、研究会における発表等により、研究員自身の研究の進展及び更なる研究所の研究発展・活性化を図ることができた。(3)比較法研究所では、研究員が10名(再委嘱8名・新規2名)おり、研究会等における専門的知識の提供や発表を行い、研究所の発展及び活性化に寄与することができた。(4)新聞学研究所では、10月1日付けで研究員を2名新規に受け入れた。これにより、専門的知識をもって研究会等における活動に貢献し、研究所の発展及び活性化に資するとともに、研究員自身の研究の深化を図ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:政経塾の開催
事業概要:政治家を招き、政経塾を開催することで、政治の道へ進む学生を支援する。
進捗状況:政経研究所では、7月・11月・12月に政経塾を開催し、法学部出身の政治家と交流する機会を設けることにより、学生の政治に対する関心や志を高め、政治に関わる人材育成の契機とした。(達成度:A)
- 事業計画:メディア・イノベーション講座の開講
事業概要:平成23年度実施の「メディア・イノベーション講座」を更に拡充してテーマや講師を追加・変更し、メディア企業の最前線で活躍している民間企業人を講師とする講座を開講する。
進捗状況:新聞学研究所では、9/3～5/1日3時限編成でメディア・イノベーション講座を開講した。受講生58名のうち、修了者41名、修了課題レポート優秀賞6名。昨年度に比べ3講座増やしての開催となったが、出席数及び講師への質問の様子から、受講生においてはメディア業界への理解・関心を深めることができたと思える。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:シボジウム開催
事業概要:シボジウム「社会的危機とメディア・システム」を、平成23年度に開催したシボジウムとの接続のなかで、全4回小規模で開催する。
進捗状況:新聞学研究所では、研究成果を発表するには年度末の開催を望ましいとして計画したが、講師の調整が難しく今年度は開催を見送ることとした。(達成度:D)

文理学部・文学研究科・総合基礎科学研究科

○文理学部・文学研究科・総合基礎科学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:(1)学部一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除14名,住居半壊:授業料等半額免除27名,原発事故避難地区:授業料等全額免除前期4名・後期4名,(2)大学院一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除1名,住居半壊:授業料等半額免除2名。(達成度:A)

○文理学部

【教育研究】

- 事業計画:教職志望者への支援
事業概要:平成22年度から教職指導室を設置し,教職志望者に対し,試験対策講座の開催,個別相談に応じている。平成23年度からは現役教諭を招き,採用試験を受験する学生に対し,一次試験の論作文・面接対策や二次試験対策を個別指導している。
進捗状況:3年生に対し,1年後の一次試験を見据え,段階的に対策を実施した。また,一次試験合格者を対象に,現役教諭(公立中学校の校長先生)を招き,二次試験の対策を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:外国語教育センターにおける外国語能力の向上
事業概要:学生の外国語運用能力を向上させるための課外講座の開催,留学の相談・指導など。
進捗状況:課外講座の開催,各種外国語検定に関する情報や団体受験機会の提供,留学等の相談・指導を行った。また,留学経験や各種資格高スコアの学生をアドバイザーとして採用し,学生間で気軽に相談できるコーナーを設けた。(達成度:A)
- 事業計画:経済的困窮者に対する奨学金制度の充実
事業概要:(1)文理学部奨学金(第3種)の運用開始(2)後援会奨学金の運用開始。
進捗状況:(1)文理学部奨学金(第3種)から,平成25年3月卒業予定者2名に対し,計67万円を給付した(達成度:B)。(2)後援会奨学金については,平成24年度より主たる家計支持者給与所得の制限を設け(給与所得者は年収600万円以下,給与所得者以外は300万円以下),経済困窮者45名,東日本大震災被災学生5名に対し,計1,200万円を給付した。(達成度:A)
- 事業計画:就職意識の高い学生への選抜就職支援
事業概要:就職意識の高い3年生を選抜し「本気就職塾」を実施。学年をリトする学生を育成する。
進捗状況:各学科を代表する意識の高い学生49名に早期に就職のノウハウを提供できたことで,参加者は難易度の高い企業にも挑戦している。また昨年度の塾生は就職行事にも参加し後輩の就職支援に積極的に当たっている。(達成度:A)
- 事業計画:OB・OG懇談会の実施
事業概要:民間企業・教員・公務員で働くOB・OGを招聘し,仕事体験・就職活動体験を聞く。

進捗状況:OB・OGという社会人に初めて触れることで,社会で働くイメージを高め,仕事を理解することにより,これからの学生生活や就職活動に役立たせる。(達成度:A)

- 事業計画:優良企業合同セミナーの実施
事業概要:OB・OGが在籍する,業界シェアを有する優良企業に特化した合同説明会の実施。
進捗状況:セミナーに参加した企業のほぼ全てから毎年内定者が出ている。中には複数の内定者を出す企業もあり,学生にとっても優良企業の探し方が理解できた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:資料館企画展の実施
事業概要:文学・社会科学・自然科学といった文理学部の教育研究分野に関する資料の収集,保管,調査研究並びに展示を行い,教職員,学生及び一般の利用に供し,合せて本学における教育,研究成果を社会に還元する。
進捗状況:平成24年度は4つの企画展を開催し,入場者数が延べ7,755名であった。(達成度:A)
- 事業計画:公開講座の実施
事業概要:前期は「自然災害を考える」,後期は「防災と代替エネルギー」という統一テーマを設けて実施。
進捗状況:東日本大震災以降,人々の自然災害に対する関心が高い今,まず災害そのもののメカニズムを知り,またその上で防災という面から災害を捉えるという講義で,今必要とされている情報を発信した。特に前期は地球システム科学科教員の専門分野の講義であった。5月~11月に16回開講。受講者は158名。(達成度:A)
- 事業計画:桜上水駅内京王ほっとネットワークでのイベントの共催
事業概要:地域向け講習会の開催。
進捗状況:平成24年度については,京王ほっとネットワークが他団体のイベント等開催により実施に至っていない。(達成度:C)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:オープンキャンパスの実施・拡充
事業概要:夏季及び秋季オープンキャンパスの実施。
進捗状況:「文理学部オープンキャンパス2012SUMMER」として7月15日(日)及び16日(祝)に夏季オープンキャンパス,「オープンキャンパス2012AUTUMN」として9月23日(日)に秋季オープンキャンパスを実施した。夏季は7,165名,秋季は1,935名の来場があった。実施月の違いにより受験生の意識が異なるため,夏季オープンキャンパスでは学科企画を重視し,多くの学科を見学してもらい,推薦入学試験や志望校の絞り込みが迫った時期に実施した秋季オープンキャンパスでは,進学相談コーナーでの対応や学科別体験授業により,大学における学習の必要性,意義などを理解してもらい,本学部への進学動機付けを喚起した。(達成度:A)
- 事業計画:防災備蓄
事業概要:災害発生に備え,カンパシ・飲料水6,000名分を確保する。
進捗状況:平成24年度は,①学生用帰宅セット(軍手,防塵マスク,アルミブランケット,ホーチ),②スプー-保存水(500ml),③カンパシ110gを1,200セットに加え,保存食,組立式トイレ等を購入した。(達成度:A)

- 事業計画:キャンパスマスタープランの構築
事業概要:(1)老朽化著しい5号館・6号館の代替施設を建築することにより、学生の安全確保を図るとともに、より充実した教育・研究環境を提供する。(2)計画的な施設(建物)更新計画の履行により、キャンパスの有効活用を図る。
進捗状況:キャンパス構想委員会においてキャンパス全体の整備計画が立てられ、新5・6号館の新築工事の申請を行い、平成25年度以降の大規模整備計画における予算原案の計上が認められた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:4号館耐震補強及び屋上防水工事
事業概要:竣工(昭和40年)より47年を経過した、本建物の耐震基準数値の確保及び老朽化による漏水防止工事等を実施し、学生・教職員、建物の安全確保を図る。
進捗状況:耐震補強及び屋上防水工事(10月)を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:本館防犯設備設置工事
事業概要:本館各事務課に人感センサーを設置し、夜間・休日等の防犯対策の向上を図る。
進捗状況:キャンパス全体の防犯設備の再度検討を進めている。(達成度:B)
- 事業計画:中央監視装置改修工事
事業概要:各棟の空調機器等の集中管理への第一段階の工事として、老朽化した本システムを交換し、日常の監視体制の強化を図る。
進捗状況:2号館及び総合体育館系統中央監視(空調・熱源・衛生ポンプ)装置更新工事(3月)を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:オハル・ホール機器更新
事業概要:経年による機器の陳腐化・老朽化が著しいため設備のリニューアルを図り、新たなメディアによる授業・講演会・シンポジウム等実施の利便性を向上させる。
進捗状況:オハル・ホールの機器更新が(9月)完了し、使用を開始した。(達成度:A)
- 事業計画:陸上競技場更衣室棟改修工事
事業概要:老朽化に伴い、外装・内装とも著しく傷んでいるため、全面改修工事を実施することにより、学生が快適に利用できる環境を整備する。
進捗状況:更衣室棟の全面改修が(11月)完了した。(達成度:A)
- 事業計画:山中湖セミナーハウスボイラー入替工事
事業概要:細かなメンテナンスを行いながら、稼働している本ボイラーは、交換用の部品の調達も難しくなっており、故障した場合、セミナーハウスの機能が全面ストップしてしまうため、入替工事を実施する。
進捗状況:ボイラー入替が(10月)完了した。(達成度:A)
- 事業計画:学術研究用サーバー機器取替更新
事業概要:専任教職員、研究所所属研究員及び大学院生が学術研究に必要な不可欠なサーバーであるが、機器・部品等の故障が多くなってきたため、リプレースする。
進捗状況:学術研究用サーバー機器取替更新が完了(4月)し、使用開始した。(達成度:A)
- 事業計画:教育用サーバー機器取替更新
事業概要:コンピュータ教室及び実習室のPC約700台を管理しているが、リース期間終了に伴い、機能向上、仮想化技術の取り入れ及びコスト削減に向けたシステム導入のため、リプレースする。

- 進捗状況:教育用サーバー機器取替更新が完了(10月)し、使用開始した。(達成度:A)
- 事業計画:メディアラボネットワーク機器取替更新
事業概要:メディアラボ教室と教育用サーバー群を接続する重要なネットワーク機器であるが、メーカーからの保守対象期限切れの通知があり、今後の教育活動接続の点からもリプレースする。
進捗状況:メディアラボネットワーク機器取替更新が完了(6月)し、使用開始した。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:文理学部施設設備整備資金への組入れ
事業概要:建物の建替え及び内部改修のため、毎年度1億円を文理学部施設設備整備資金(第2号基本金)に組入れ、自己資本の充実を図る。
進捗状況:組入計画に基づき、1億円を引当資産に組み入れた。(達成度:A)
- 事業計画:文理学部後援会奨学基金への組入れ
事業概要:経済的理由により学費等の支弁が困難な学生へ奨学金の給付を行うため、毎年度1,000万円を文理学部後援会奨学基金(第3号基本金)に組み入れる。
進捗状況:組入計画に基づき、1,000万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○文学研究科,総合基礎科学研究科

【教育研究】

- 事業計画:大学院生への研究支援
事業概要:従前の奨学金制度を見直し、特に博士後期課程の大学院生の研究活動に対する支援を充実させる。
進捗状況:博士後期課程在籍学生に対し、研究活動を直接的に支援する制度を制定し、運用を開始した。大学院生の研究活動への直接的な財政的支援体制を充実するとともに、研究奨励費の申請・報告手続きの過程を通じ、将来、学外研究費を獲得するための手続きに習熟する機会としての間接的な効果も期待できる制度となった。(達成度:A)

○人文科学研究所

【教育研究】

- 事業計画:研究活動の推進
事業概要:公開講演会の開催、学際的共同研究・総合研究の実施、研究紀要・研究活動報告書の発行等。
進捗状況:講演会を11月に開催。共同研究・総合研究は計19件の研究課題を実施し、人文科学分野を中心として、同一学科内の複数の専任による共同研究と複数学科の専任教員による総合研究を行うことで、特定分野に偏らない研究成果を上げることができた。研究の報告・発表として『研究紀要』は9月と3月、研究所の活動を表すものとして『研究活動報告書』を11月に発行。(達成度:A)

○自然科学研究所

【教育研究】

- 事業計画:研究活動の推進
事業概要:シンポジウム(研究集会)への助成、学際的共同研究・総合研究の実施、研究紀要・研究活動報告書の発行等。

進捗状況:所員が役員を務めるシボジウム(研究会)に対し助成(2件)。共同研究・総合研究は計17件の研究課題を実施し、自然科学分野を中心に同一学科内の複数の専任による共同研究と複数学科の専任教員による総合研究を行うことで、広範囲にわたる研究成果を上げることができた。研究の報告・発表として『研究紀要』は3月、研究所の活動を表すものとして『研究活動報告書』を3月に発行。(達成度:A)

- 事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実施
事業概要:本学部の特色を活かした研究を行うため、その拠点としての研究基盤を形成する。
進捗状況:「構造制御および電子状態制御に基づく新物質の開発」において、本学部が研究拠点となり、学外の研究者とも協力して行うことなどにより、大学のイメージアップにも寄与できた。(達成度:A)

経済学部・経済学研究科

○経済学部・経済学研究科共通

- 【教育研究】
 - 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災及び福島原発事故被災者に対する学費の減免を行う。
進捗状況:被災者(40名)に対しては、被災状況に応じた学費の減免(入学金の全額及び授業料・施設設備資金の全額又は半額)を行った。内訳は次のとおりである。(1)学部一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除14名、住居半壊:授業料等半額免除24名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前期2名・後期2名(2)大学院一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名、住居半壊:授業料等半額免除0名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前期0名・後期0名。(達成度:A)

○経済学部

- 【教育研究】
 - 事業計画:海外協定校の拡大
事業概要:現在の15協定校から20協定校に増加することを目標に、欧州諸国の大学を視察する。
進捗状況:平成24年度は、新たにスペイン・コルドバ大学法経営経済学部との覚書を締結した。また、提携の覚書が満了する大学で、交流実績のない大学については更新をせず、交流が期待できる大学との新たな提携等について検討中である。(達成度:A)
 - 事業計画:国際シボジウムの開催
事業概要:研究成果の一環として「新シルクロード地域の経済発展に関する研究」をテーマに国際シボジウムを陝西師範大学(中国西安)にて開催する。
進捗状況:シボジウムは、中国、日本及び中央アジアの研究者や政府関係者が共同で取り組み、「都市経済導報」や「陝西改革新聞網」など多数の現地有力メディアの取材を受け、シボジウムの盛況と情報は、新聞やインターネットを通じて世界に報道された。(達成度:A)
 - 事業計画:奨学金制度の柔軟な対応
事業概要:家計困窮者及び東日本大震災・原子力発電所事故に伴う被災者に対して、奨学金を給付する。

○情報科学研究所

- 【教育研究】
 - 事業計画:研究活動の推進
事業概要:シボジウムの開催、年次研究報告書の発行等。
進捗状況:シボジウムを2回開催。年次研究報告書は3月に発行。(達成度:A)
 - 事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実施
事業概要:本学部の特色を活かした研究を行うため、その拠点としての研究基盤を形成する。
進捗状況:共同研究として「東アジアにおける都市形成プロセスの統合的把握とそのデジタル化をめぐる研究」を実施。4分野の研究者が参加し、様々な角度から研究を進めることで十分な研究成果を上げることができた。(達成度:A)

- 進捗状況:家計困窮者(30名)には学部奨学金等、被災者のうち申請条件を満たした全員(31名)には大学奨学金又は学部奨学金等を給付し、経済的支援を行った。(達成度:A)
- 事業計画:留学生交流を強化する
事業概要:4月に「留学生懇親会」を開催する。
進捗状況:当初予定していた開催日が悪天候の影響で延期となり、別日程で行った結果、参加者数が減少した。(達成度:B)
- 事業計画:ヨーロッパ研修旅行の開催
事業概要:平成23年度は開催中止とした「ヨーロッパ研修旅行」をリニューアルして開催する。
進捗状況:研修テーマを「世界遺産と産業」とし、東欧を含む魅力ある旅行行程を企画した。父母へのパンフレット送付も行った結果、申込者が130名以上と急増したため、定員も80名に増員して実施した。(達成度:A)
- 事業計画:三崎祭の開催
事業概要:実施日数を1日少なくして「三崎祭(学部祭)」を開催する。
進捗状況:日数の減少により、一部の企画を見送り、効率的な実施に向けて企画の調整を行い実施した。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:図書館内閲覧サービス
事業概要:平成23年度に引き続き、千代田区民で経済・経営分野を研究テーマとする方への館内閲覧サービスを提供する。
進捗状況:平成25年2月28日現在の利用登録者数は7名、延べ入室者数は25名である。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:水道橋及び神保町地区の避難所サービス
事業概要:大規模災害(巨大地震)等が発生した場合の周辺地区の企業等の帰宅困難者等の避難所として開放する。
進捗状況:平成24年度中に首都圏において大規模災害は発生しなかったが、今後も避難所としてのサービスが行えるよう施設開放の用意をする。(達成度:A)
- 事業計画:水道橋及び神保町地区の環境美化

事業概要:地区の環境美化運動にボランティア参加を続ける。
進捗状況:平成 24 年度においても千代田区と水道橋周辺
の商店街と協力し、水道橋駅から神保町駅までの周辺
環境美化運動に参加した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:広報活動の強化
事業概要:車内ビジョン広告及び新聞広告を掲載する。
進捗状況:従来実施の東京トコに加え、都営地下鉄にも動
画広告を拡充し、一般入試出願促進のみならず近隣学部
と共同でオープンキャンパス告知も行った。新聞広告につい
ては、出願関係告知 4 回と学部の教育内容告知等を 7 回行
った。(達成度:A)
- 事業計画:学部情報の発信
事業概要:学部案内・入試ガイド、学部紹介 DVD を制作す
る。
進捗状況:学部案内、学部紹介 DVD をリニューアルし、受験希望
者が経済学の学問内容や本学部での教育・学生生活・就
職支援等を、従来よりもさらに理解しやすいように制作
した。また、入試ガイドもデータを見やすくした。(達成
度:A)
- 事業計画:就職指導支援事業
事業概要:(1)就職支援では、学部 3 年生を主対象に就職
支援セミナーを約 30 種 90 回開講する。(2)資格取得支援講座
では、学内講座 6 種及び学外講座 4 種を実施する。
進捗状況:(1)就職活動支援講座を 35 種約 100 回実施し
た。なお、平成 23 年度の就職率は 71.7%で全国平均を上
回り、平成 24 年度も厳しい就職状況の中、平成 23 年度を
上回る見通しである。※就職率=就職者数/(卒業者数-大
学院進学者数)(2)資格取得支援講座 10 種を、延べ 372
名が受講した。なお、検定試験の結果が得られる講座の
合格者数は、日商簿記検定 2 級 25 名、証券外務員(二種)3
名、販売士 2 級 37 名である。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア形成支援事業
事業概要:(1)2・3 年生を対象にインターシップを正規授業「キ
ャリア形成論」として実施する。(2)1 年生全員の履修科目
「基礎研究」において「キャリア教育」を 2 コマ実施する。また 1・
2 年生対象のキャリア講座を約 20 回開講する。
進捗状況:(1)「キャリア形成論」のビジネスコースを 47 名、行政コ
ースを 25 名が受講し、インターシップを通して、就業意識、自己
発見、大学での学修意欲の向上等を図っている。(2)1 年
生全員の履修科目「基礎研究」でのキャリア教育は、5 月下旬
から 2 週間にわたり合計 8 回実施した。アンケート調査(回答
者数:延べ 2,638 名)では、90%以上が「得るものがあっ
た」と回答し、将来を考える機会になっている。また、1・2
年生対象のキャリア講座は、自己理解を深め、将来の自分を

考え、目標設定を行うことを内容として 9 回実施した。
(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:情報機器の更新
事業概要:教室のパソコン及びオンデマンド用プリンターを更新す
る。
進捗状況:7 号館の 7031 教室、7073 教室のノートパソコン及び
本館 1 階読書コーナー設置のオンデマンド用プリンター 3 式を、平成
24 年 8 月の夏季休暇中に更新を行った。(達成度:A)
- 事業計画:本館・4 号館借地権の更新
事業概要:本館の土地の一部が借地(校地面積:3,128 m²、
借地面積:1,245 m²)になっており、平成 24 年 9 月には賃
貸借契約期間が満了となるため、更新する。
進捗状況:平成 24 年 9 月に満了となった賃貸借契約につ
いては、現在法定更新中である。今後、3 号館・5 号館の建
替えを含めた三崎町キャンパスの整備に関する事業計画の
見通しを立てた上で、更新内容を検討する。(達成度:B)
- 事業計画:三崎町キャンパス整備事業
事業概要:経済学部校舎をシンボリックな学びの舎とし、更
には、三崎町地区のランドマーク的存在の確立を目指す。
進捗状況:三崎町キャンパス整備事業の一環として、まず、3
号館・5 号館を建て替えるため、教室及び図書館の機能
を持った新校舎の設計を開始した。なお、新校舎の稼働
は、平成 29 年 4 月を予定している。(達成度:B)
- 事業計画:教員研究室棟の新規賃借
事業概要:教員研究室が耐震基準を満たしていないため
外部に賃借する。
進捗状況:本館に近い研究室棟としての条件を満たした
地上 7 階建てのビルを新規に賃借し、1 階部分を図書業務
フロア、2 階以上を研究室フロアとして改装の上、平成 24 年 9
月から使用を開始した。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:教員の計画的採用
事業概要:定年延長制度の廃止と再雇用制度の開始に伴
う人事計画の策定。
進捗状況:直近 10 年間を中心に退職予定である教員と
担当科目について精査し、計画的に必要な人員を確
保している。(達成度:A)
- 事業計画:再雇用制度の導入に必要な「教育評価基準」の
検討
事業概要:本部が決定した再雇用に係る申請書類以外の
経済学部における再雇用を決定するために必要な基準
の検討。
進捗状況:現在、鋭意検討中である。(達成度:B)

商学部・商学研究科

○商学部・商学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)
に伴う特別措置
- 事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)
に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
- 進捗状況:(1)学部-住居全壊(含大規模半壊):授業料等
全額免除 15 名、住居半壊:授業料等半額免除 19 名、原発
事故避難地区:授業料等全額免除 前期 1 名・後期 1 名(2)

大学院-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 0
名、住居半壊:授業料等半額免除 1 名、原発事故避難地
区:授業料等全額免除 前期 0 名・後期 0 名。(達成度:A)

○商学部

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)
に伴う特別措置

- 事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う後援会費減免の特別措置を実施した。
- 進捗状況:学部-住居損害(一部損壊を含む):後援会費全額免除 128名。(達成度:A)
- 事業計画:GPAの実質化による教育の質の保証
- 事業概要:成績評価の相対評価による GPAの実質化を図る。
- 進捗状況:平成 22 年度から実施している成績評価の相対評価が、専任教員及び非常勤教員に浸透が進み科目間の成績評価の極端な差異がみられなくなっており、GPAの実質化が図られてきていると考える。(達成度:A)
- 事業計画:学外研究費申請・受給率の向上
- 事業概要:昨今の厳しい財政状況を鑑み、積極的に学外研究費の申請を行い、外部資金の獲得を目指す。
- 進捗状況:科研費について、平成 24 年度採択は 20 件(前年度 21 件)であったが、交付金は 37,180,000 円となり、前年比で 1,989,000 円増加した。平成 25 年度新規申請も 25 件(前年度 26 件)となり、外部資金獲得への意識が定着してきている。(達成度:A)
- 事業計画:研究活動の活性化
- 事業概要:既存の研究所等の枠を超えた学際的な共同研究を実施することにより、学内の研究活動を活性化させ、将来的には大型外部資金獲得が可能なプロジェクトへの発展を目指す。
- 進捗状況:1 年振りに横断的プロジェクト「持続可能な経済・社会の構築とエネルギー政策の総合的研究」をスタートさせ、定例の研究会等、精力的な活動を行った。平成 25 年度も継続予定であり、成果が期待される。(達成度:A)
- 事業計画:海外大学等の交流事業拡充等
- 事業概要:海外大学等の交流事業を拡充する。
- 進捗状況:平成 23 年度に海外提携校との協定内容の見直しを行い、現在はフランスのサント・マゼンヌ・マニエール校のみとなったが、新たな英語圏の協定校の調査を平成 25 年度に始める予定である。(達成度:C)

【社会貢献】

- 事業計画:ホームカミングデーの実施
- 事業概要:商学部の校友を母校に招き、教職員及び校友相互の旧交を温め、母校との絆を強くすることを目的とする。
- 進捗状況:平成 24 年度は、対象卒業年度の 24,212 名の校友へ案内状を送付し、約 300 名を超える OB・OG が参加した。商学部を平成 4 年度卒業の衆議院議員を講演者とする講演会や校友会、OB・OG からの寄贈された協賛品の福引抽選会を交えた懇親会を実施するなど親睦を深めた。(達成度:A)
- 事業計画:公開講座等の充実
- 事業概要:本学部の研究成果を幅広く地域に還元し、社会に向けて発信することを目的とする。
- 進捗状況:平成 22~23 年度に本学部で実施した共同研究の成果を、平成 24 年 10 月 27 日に『知識と暮らしの融合 8-祖師ヶ谷に根ざすネットワーク構築とその応用』として公開講演会を開催し、好評を博した。(達成度:A)
- 事業計画:寄付講座の開設及び企業・団体との共同研究の促進
- 事業概要:寄付講座を開設し学生に実学を提供する。
- 進捗状況:平成 24 年度は、寄付講座は 5 講座を維持し、そのうち 1 講座を大学の遠隔授業として他学部へ配信

した。日本税理士会連合会の寄付講座は契約期間を満了したが、これを基に本学出身税理士による新たな寄付講座を平成 26 年度以降に検討している。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:オープンキャンパスの実施
- 事業概要:商学部を広く社会に周知するとともに、志願者数の増大を目的とする。
- 進捗状況:高校生及び保護者、高校教員等を対象に 7 月 28 日(土)、29 日(日)の 2 日間に渡りオープンキャンパスを開催し、学部説明会、体験授業等を実施した。その他、駅張りポスターやホームページの作成により事前告知を行い、2 日間で合計 3,422 名(1 日目 1,694 名、2 日目 1,728 名)の参加者が集まった。(達成度:A)
- 事業計画:学生会館入館費補助事業
- 事業概要:遠隔地からの入学者に対し、学部が提携した特別指定学生寮の入寮費を補助する。
- 進捗状況:新入生 16 名に対し、合計で 4,310,000 円の補助を行った。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア教育支援
- 事業概要:1 年次からの大学生活に対する意識付けを行い、職業選択に至るまでを段階的かつ体系的に構築し、就職意識の向上を図る。
- 進捗状況:「初年次教育」におけるキャリア教育の時間を拡充し、1・2 年次対象のキャリア形成講座との連携を図った。また、就職支援行事は学生の意識付けや社会との接合を考慮し、具体的な就職対策まで体系的に設置した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:図書館内電気設備改修工事
- 事業概要:電灯回路等の工事を集中的に行い、安全・安心な環境を整え、図書館機能の基盤整備を行う。
- 進捗状況:予定通り施工を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:図書館 2 階リディングルーム整備改修工事
- 事業概要:学習環境を向上させるため、同エリアの整備改修を行う。
- 進捗状況:予定通り施工を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:砧キャンパス新本館(管理・研究棟)(仮称)建設工事
- 事業概要:耐震強度不足と診断された 3,4 号館に代り、建設する。
- 進捗状況:平成 24 年 9 月工事開始。平成 26 年 9 月供用開始、平成 27 年 4 月外構を含む全工程完了予定。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:教員の年齢構成の適正化
- 事業概要:教員の平均年齢が高いため、平成 24 年度に若手教員の採用を計画した。
- 進捗状況:公募制の募集を行い、准教授 1 名、助教 4 名の計 5 名を採用した。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:日本大学商学部後援会奨学基金の増資
- 事業概要:経済困窮学生向け奨学基金の充実を図るため 10,000,000 円増の 30,000,000 円を組み入れた。
- 進捗状況:計画どおり 30,000,000 円を組み入れた。(達成度:A)

芸術学部・芸術学研究科

○芸術学部・芸術学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:(1)学部-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除7名,住居半壊:授業料等半額免除12名,原発事故避難地区:授業料等全額免除前期3名・後期3名,(2)大学院-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名,住居半壊:授業料等半額免除1名,原発事故避難地区:授業料等全額免除前期0名・後期0名。(達成度:A)
- 事業計画:年間に予定している10企画展の中で美術学科卒業制作展,大学院映像芸術専攻修了制作展など4企画の卒展・修了展の開催
事業概要:学部・大学院における教育の成果を社会に還元するとともに,これを一般に周知する。
進捗状況:美術学科・写真学科卒業制作展,大学院映像芸術専攻修了制作展等を開催し,学生・院生の作品を広く一般にも公開することによって,本学部の教育の成果を社会に還元することができた。(達成度:A)

○芸術学部

【教育研究】

- 事業計画:芸術教養課程を含む新カリキュラムの実施
事業概要:本学部の教育目標に掲げる芸術創造教育並びに芸術総合教育の成果を高める。
進捗状況:平成24年度より学則変更によって芸術教養課程が開始されたことで,真の芸術総合教育が促進された。(達成度:A)
- 事業計画:芸術総合講座の実施
事業概要:芸術総合学部としての特色を教育・研究両面において反映できる。
進捗状況:7講座を実施した。いずれも学生への教育効果が高かった。(達成度:A)
- 事業計画:地震等に対する特別措置に係る授業料等免除
事業概要:東日本大震災のような突発的な災害の被災者への支援が可能となる。
進捗状況:芸術学部奨学金制度を改訂し,第1種・第2種に加え第3種奨学生を設け,突発的な災害に対応し,被害状況に応じ授業料1年分相当額を限度とする奨学金の運用を平成25年度から予定している。(達成度:A)
- 事業計画:海外交流の活性化【米国ワシントン州立大学サマースクール実施】
事業概要:心身の健康と英会話に重点を置いた短期研修を継続実施し,異文化体験を通じて各人の視野の拡大を図る。
進捗状況:単位認定を行い実施した。更なるアジア,欧米地区の交流校の開拓を進めている。(達成度:B)
- 事業計画:冠講座の実施【NPO法人分子栄養整合医学研究所「食育と栄養」及び財団法人アジア財団「アジア共同体としての芸術の価値と役割」】
事業概要:本学部と関連業界が連携した実践的教育の展開を図るとともに,学外研究資金を獲得し,本学部の研究成果を教育に還元する。

- 進捗状況:①分子栄養整合医学協会(受講生79名)。②アジア財団(受講生66名)。(達成度:A)
- 事業計画:学部研究費(個人・共同)の確保と研究・創作成果の発信の支援
事業概要:学部における研究及び創作活動の成果を公表することで社会貢献する。これにより,本学部の社会的な評価を高めるとともに,研究・創作意欲の向上を図る。
進捗状況:学部研究活動は,従来レベルを維持。また,本学部における創作研究成果を社会に向けて積極的に発信するため,「バーチャリアリティコンテンツの現実空間への移植」をはじめ,7件の創作研究活動に対して支援した。(達成度:A)
- 事業計画:学科単位の研究活動支援(学部長指定研究)と補助金獲得を視野に入れた研究活動支援
事業概要:各学科の特徴を活かした高度な研究拠点を形成し,研究活動の活性化と他大学との差別化を図るとともに,若手研究者の育成を図る。
進捗状況:学部長指定研究として,「コミュニティにおける演劇的資源の開発研究」をはじめ,学部長指定研究4件を実施した。学部長指定研究には若手研究者も多く参加しているので,当初の目的はほぼ達成したが,若手育成に特化した施策は検討中。(達成度:A)
- 事業計画:学科横断的かつ情報発信型の研究活動支援【日芸アートプロジェクト】
事業概要:芸術総合学部の特徴を活かした日芸らしい研究を実施し,本学部の研究活動を学外に対し積極的に公表するとともに若手研究者の育成を図る。
進捗状況:NAPとして「芸術総合大学における学外からの発信-第5回大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2012への参加-」を実施し,学外での作品の公開及びFacebookを通じた公表を行った。NAPには若手研究者も多く参加しているので,当初の目的はほぼ達成したが,若手育成に特化した施策は検討中。(達成度:A)
- 事業計画:リジナルプリント展「銀塩黒白フインプリントの名作」ほか10企画の特別展開催
事業概要:例年5000人程度の来場者があり,無料で一般公開されているミュージアムとして多数の博物館案内書などに掲載され広報効果が見込まれる。
進捗状況:「実存村-漫画家の現在-日野日出志展示会-」など一般にも興味をもってもらえる展示会を開催したことにより,日野日出志展示会だけでも1363名の入場者があった。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:日藝賞の授与及び記念講演会の開催
事業概要:日芸OBと大学の絆を深めるとともに,受賞者の体験や思いを学生が直接汲み取ることで,将来の創作活動への意欲向上が期待できる。
進捗状況:昨年を上回る最多投票率を更新し,小説家のよしもとばなな氏,作曲家の森田公一氏を選出。入学歓迎式内に行う日藝賞授与式への出席及び受賞記念講演会を実施することがそれぞれ内定している。(達成度:A)
- 事業計画:江古田・所沢両校舎にて公開講座を実施
事業概要:地域(練馬区・所沢市)への教育研究成果の還元と交流の促進が図れる。
進捗状況:①練馬区との共催で江古田校舎公開講座実施(前期)「墓・弔い今昔物語」受講生302名。②所沢校舎公

開講座(後期)「林芙美子・文学散歩のすすめ」受講生 61名。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:大規模災害時に備えた,防災用品の整備・調達
- 事業概要:学生教職員の生命保護,自衛消防隊の救助・救護活動の支援,学部の事業継続に必要な備蓄品を調達し,非常時における学生・教職員の安全を保障することが可能となる。
- 進捗状況:非常用防災袋(保温シート・携帯用トイレ・防塵マスク・軍手・乾パン・水入り)を江古田・所沢両校舎に各 1000 セット配備したほか,帰宅困難者用食料品,救助工具類等を調達した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:江古田校舎通年化計画
- 事業概要:一貫教育の実施及び経費削減。
- 進捗状況:学部長の諮問を受け「江古田通年化実行委員会」でプランの検討を行った。所沢校舎の一部売却に向け,所沢市との協議を継続している。(達成度:B)
- 事業計画:入試対策室の設置
- 事業概要:学部長直轄で機動力のある入試・広報戦略を企画・実行できる。
- 進捗状況:学部長を責任者に学務・広報の各担当及び各学科の若手教員並びに事務局所管課長等で組織する入試対策室を設置。隔週で開催し,学部の魅力発信に主眼をおいた入試・広報施策を実行した。(達成度:A)
- 事業計画:学部主催による合同企業説明会の実施
- 事業概要:就職支援の強化とキャリア教育の充実化を図る。
- 進捗状況:平成 24 年 12 月 19 日(火),本学部大ホールで平成 26 年 4 月に新卒採用予定のある企業 23 社を招き合同説明会を実施した。他学部を含め出席の 3 年生 440 名は,企業や就職活動への理解を大いに深めていた(アンケート回答より)。(達成度:A)
- 事業計画:芸術学部ホームページの充実化
- 事業概要:技術者の導入等により情報更新の迅速化及び充実化を図るとともに,広報効果を高める。
- 進捗状況:広報業務専属スタッフ 2 名を常駐させ,迅速なホームページ情報更新や新規バナー増設等,きめ細やかな対応を行うことができ,学部広報効果の向上の一助となった。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:所沢校舎自動火災報知設備更新事業
- 事業概要:機器の更新を機に,現在キャンパス内複数の建物内に点在する受信機を守衛所に集約するシステムに変更し,防災機能の向上を図る。
- 進捗状況:老朽化した主受信機並びに各棟設置の発信機 35 台の更新などを実施し,第 1 期分として計画した事業は遅滞なく完了し,安心安全な防災機能の構築が図られ

た。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:学科の再構築を踏まえた補充採用を原則とした若手教員採用
- 事業概要:年齢構成の適正化及び適切な配置による人事バランスに基づく人件費の抑制を図る。
- 進捗状況:採用計画どおり実施した。(達成度:A)
- 事業計画:任期制教授の任用と客員教授の積極的な活用
- 事業概要:著名な研究者あるいは顕著な業績を有する人材による教育研究の充実化を図る。
- 進捗状況:著名な作家を新たに任期制教授として任用したほか,各界の著名人 6 名を客員教授として再委嘱した。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:第 3 号基本基金引当資産への組入れ
- 事業概要:学生が安心して学業に専念出来るように,学部奨学金の充実を図る。
- 進捗状況:計画どおり 2 千万を組入れし,基金残高は 8 億 1 千万円となった。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:私立大学等研究設備整備費等補助金及び私立学校施設整備費補助金の申請
- 事業概要:教育基盤設備 1 件,教育装置 1 件の獲得で増収を図る。
- 進捗状況:申請は計画どおり 2 件申請したが,採択は私立大学等研究設備整備費等補助金(教育基盤設備)の 1 件だった。しかし,新たに特定図書 2 件を申請し採択となった。(達成度:A)

○芸術学研究科

【教育研究】

- 事業計画:教員情報を掲載した芸術学研究科案内冊子 GSA の継続作成
- 事業概要:大学院広報誌として情報を公開するとともに,FD 活動においても重要な役割を果たす。
- 進捗状況:教員の研究内容を公表することによる FD 活動を推進中。また,受験希望者への送付により受験生により深い研究科への理解が得られている。(達成度:A)
- 事業計画:芸術学研究科博士課程研究誌「芸術・メディア・コミュニケーション」の継続発行
- 事業概要:芸術学研究科博士課程在籍者の研究発表の場として重要な役割を果たす。
- 進捗状況:後期課程在学者の研究発表の場が欲しいとの声に応じて進められた計画で,図書館・国会図書館でも閲覧できるようになっている。(達成度:A)

国際関係学部・国際関係研究科・短期大学部(ビジネス教養学科,食物栄養学科,専攻科食物栄養専攻)

○国際関係学部,国際関係研究科,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:学部指定学生寮の確保
事業概要:財政的リスクを発生させないため,土地・建物は業務委託先の学生寮運営業者からの提供により運営している。
進捗状況:平成24年度は5棟143部屋を確保。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:三島後援会から支援を受け,自宅通学不可能な者に対しては「下宿補助」奨学金として,また新幹線通学者に対しては「新幹線通学補助」奨学金として前期・後期の年2回,選考の上,給付する。
事業概要:三島後援会から支援を受け,「下宿補助」,「新幹線通学補助」として奨学金を年2回選考の上給付する。
進捗状況:平成24年度日本大学三島後援会特別奨学金給付者延べ人数202名。(達成度:A)(春期給付者数)(1)下宿補助76名(国際関係学部学生65名,短期大学部学生11名)(2)新幹線通学補助25名(国際関係学部学生23名,短期大学部学生2名),(秋期給付者数)(1)下宿補助76名(国際関係学部学生68名,短期大学部学生8名)(2)新幹線通学補助25名(国際関係学部学生24名,短期大学部学生1名)
- 事業計画:震災等発生時の学生及び教職員の安否確認システム導入
事業概要:安否確認システムを導入し,学生及び教職員に一斉の緊急連絡及び安否確認を行う。
進捗状況:平成24年度に安否確認システムを導入した。(達成度:B)
- 事業計画:環境教育の推進
事業概要:15%を目標に校内節電を実施する。ゴミの分別及び古紙等資源の再利用をする。環境活動を通じて,エコジョー及び3R(リサイクル・リユース・リデュース)の意識を高める。
進捗状況:校内節電を実施した。ゴミの分別及び古紙等資源再利用した。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:寄付金募集
事業概要:「日本大学国際関係学部教育振興募金」の募集。
進捗状況:平成25年3月11日現在,校友,在校生の父母から159件286万2千円,企業から22件219万円の寄付金を受けた。(達成度:B)

○国際関係学部,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:入学前学習支援プログラム実施
事業概要:A0入試や推薦入試等,入試選抜の早期化に対応し,入学者に対する事前学習支援プログラム(国語及び英語)を課す。
進捗状況:年内の推薦入試等合格者563名に対する入学

前教育を実施し,510名が受講した。内容として,国語及び英語(A0入学試験合格者には日本語読解力の課題を追加)の課題を課した。(達成度:A)

- 事業計画:海外提携校による英語集中講座実施(ハワイ大学)
事業概要:ハワイ大学から英語講師を招へいし,英語集中講座を実施。
進捗状況:40名の学生が参加した。(達成度:A)
- 事業計画:国際交流プログラム(送り出し)実施
事業概要:(1)海外提携大学への1年間の交換留学を実施する。(2)海外提携大学への6か月の中期留学を実施する。(3)海外提携大学への短期1か月の海外研修を実施する。(4)ティーチング・インターシッパプログラムを実施する。
進捗状況:(1)平成24年度の交換留学生は7名であった。(達成度:A)(2)海外提携大学への6か月の中期留学生は47名であった。(達成度:A)(3)海外提携大学への短期1か月の海外研修参加者は86名であった。(達成度:A)(4)ティーチング・インターシッパプログラム派遣者は11名であった。(達成度:A)
- 事業計画:FD活動の実施
事業概要:FD委員会を中心とした新任教員による授業研究,学生による授業評価アンケート,FD講演会の実施及びFDニュースを発行する。
進捗状況:新任教員4名中3名の授業研究を実施した。前期及び後期に学生による授業評価アンケートを実施した。日本大学文理学部教授を招いてFD講演会を実施した。7月及び2月にFDニュースを発行した。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:国際機関資料室の市民への開放,国連デーや日・EUフレンドシップウィーク等の開催
事業概要:市民,学生,教職員を対象に国連寄託図書館やEU情報センターとしての広報活動を行う。
進捗状況:5月に日・EUフレンドシップウィーク2012「イギリス展〜ロンドン五輪を記念して〜」を開催。イギリスの歴史,文化,そしてロンドン五輪等に関する資料を展示すると共に正解するとEUグッズがもらえるクイズ企画も実施。274名の来場者を記録した。(達成度:A)
- 事業計画:「昭和30年頃の伊豆箱根」伊豆修善寺出身の写真家上田彦次郎がガラス乾板写真展の開催
事業概要:市民,学生,教職員を対象に図書館が所蔵する昭和30年頃のガラス乾板写真の公開を行う。
進捗状況:学園祭(富桜祭)に合わせて展示会を三島駅北口校舎ホールにて実施。11月2日からの3日間で300人以上の一般来場者を記録した。好評であったため,12月1日まで展示期間を延長した。(達成度:A)
- 事業計画:市民公開講座・エクステンション講座の実施
事業概要:市民公開講座は,近隣市町の後援を得て年2期・各期5講座を開講する。エクステンション講座は,年2期外国語講座等を開講する。
進捗状況:上期市民公開講座(平成24年5月30日より5回,統一テーマ「伊豆再発見」),下期市民公開講座(平成24年10月3日より5回,統一テーマ「日本はどこに行くのか」)を開催した。エクステンション講座は,春期9講座・秋期11講座を実施した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:就職率向上を図るための事業計画
事業概要:(1)学生の実力アップを図るため、各種就職対策テストの実施(2)公務員講座のコース別講座の実施、各種就職支援講座の実施(3)学部独自で合同業界研究会の実施(4)日本大学国際関係学部校友会との連携。
進捗状況:(1)SPI 試験等の試験対策のため、7回の模擬試験を実施し、延べ910名が受験した。また、小論文対策として、エントリーの添削模擬試験を2回実施し、延べ323名が受験した。試験対策の強化に寄与した。(達成度:A)(2)各種公務員試験対策講座を実施した。受講者数は、昨年度と比較して80名増加し、出席率は、約60%を維持した。就職支援講座については、新たに業界セミナーを実施するなどの結果、約200名の受講者増となった。(達成度:A)(3)11月下旬に5日間で96社を招き業界研究会を開催。延べ1,316名が参加した。2月上旬には、短大の栄養士求人対象の3社を招き、業界研究会を開催。述べ215人が参加した。学生の業界に関する見地を高めた。(達成度:A)(4)12月初旬に、校友会が、企業15社を招き、就職未内定者の学生を対象とした就職合同面接会を開催した。学部4年生6名と短大2年生5名の計11名参加で、内5名が採用に結びつく結果となり、開催効果があった。(達成度:A)
- 事業計画:入学志願者増加のための対策
事業概要:(1)オープンキャンパス及び進学フェスタ at Tokyo 開催(2)校友、付属高校等へのダイレクト・メールによる広報。
進捗状況:(1)平成24年7月15日(日)日本大学法学部校舎にて進学フェスタ at Tokyo を実施。来場者数は、保護者を含め819名(昨年度比156名増)の参加があった。本学部在籍学生による留学報告体験及び就職活動体験、教職員による学部説明を通して都内近郊の受験生に対し積極的な広報活動を行うことができた。(達成度:A)(2)関東1都7県(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県)の校友会正会員(昭和61年3月～平成2年3月卒業生)及び付属高等学校(25校)に計957通のダイレクト・メールを送付。オープンキャンパス・進学フェスタ at Tokyo への実施を案内した。(達成度:A)

○国際関係学部

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(原子力発電所事故等)により被災し経済的、修学的に修学が困難になった者に対して、入学金、授業料等の免除を行う。
進捗状況:平成24年度は2名に対し授業料、施設設備資金の免除を行った。(達成度:A)
- 事業計画:海外ゼミナール合宿実施
事業概要:教員が自ら取り組む地域研究において海外のフィールドに学生を引率する。
進捗状況:9つのゼミナールで計92名が10か国で実施する海外ゼミナールに参加した。(達成度:A)
- 事業計画:国際交流プログラム(受入れ)実施
事業概要:(1)海外提携校のストーンブルック大学から短期の研修団を受け入れる。(2)海外提携校のゴア大学から短期の研修団を受け入れる。
進捗状況:(1)ストーンブルック大学より18名を受け入れた。(達成度:A)(2)ゴア大学は応募者が集まらず中止となっ

た。(達成度:D)

- 事業計画:日本語研修プログラム実施
事業概要:(1)春期と秋期の約4か月プログラムでは、海外提携校から本学部へ交換留学を希望する者のうち、日本語能力が大学での学習レベルに達していない学生に対して入学前に本学部において日本語研修を実施する。(2)夏期の短期プログラムでは海外提携校からの学生に対する日本語研修を中心に日本体験プログラムを実施する。
進捗状況:(1)応募者が集まらず中止となった。今後の募集については休止することとした。(達成度:D)(2)応募者が集まらず中止となった。今後の募集については休止することとした。(達成度:D)
- 事業計画:国際交流プログラム(送り出し)実施
事業概要:ストーンブルック大学とのジョイント・ティンダリングプログラムにより留学する。
進捗状況:1名の学生を派遣した。(達成度:A)
- 事業計画:ステディ・スキルズ及びキャリアデザイン科目の実施
事業概要:初年次教育としてのステディ・スキルズ及びキャリアデザインを必修科目として設置する。
進捗状況:1年次設置の必修科目として開講した。複数回の学術講演会も交え、学生のキャリア形成に向けて計画的に授業を実施することができた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:産学協同事業への参加
事業概要:(1)これまでに進めてきたタイ・カンボジア支援の縮小。(2)新規事業としてフィリピンへの支援を進めるにあたり現地NGOとの調整。
進捗状況:(1)タイ・カンボジアへの給水塔の新設をやめ、各国の自立を支援する体制に移行。(達成度:A)(2)フィリピンへの支援を進めるにあたり、現地調査と現地NGOとの合意文書を交換。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:1号館、4号館解体工事
事業概要:耐震基準を満たしていない老朽化した校舎を解体することにより、学生の安全が図れる。
進捗状況:平成25年2月までに校舎解体工事完了。(達成度:A)
- 事業計画:4号館付属倉庫、12号館・13号館渡り廊下、女子俊英学寮(旧)、女子俊英学寮(新)、付属食堂解体工事
事業概要:耐震基準を満たしていない老朽化した校舎を解体することにより、学生の安全が図れる。
進捗状況:平成25年2月までに校舎解体工事完了。(達成度:A)
- 事業計画:校舎13号館AV設備取替え
事業概要:校舎13号館5室のプロジェクター等のAV機器を取り替えることにより、教育環境が改善する。
進捗状況:平成24年9月に取替工事完了。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:平成24年度は、教授「日米比較文化」1名、准教授「政治学」及び「英語」各1名、助教「英語」1名を採用する。
事業概要:平成23年度退職した教員の補充をする。
進捗状況:教授1名、准教授2名、助教1名を採用した。(達成度:A)

○国際関係研究科

【教育研究】

- 事業計画:大学院生の基礎力養成と研究能力の充実
事業概要:(1)学際研究会の実施(2)大学院生研究発表会及び課程による学位(博士)取得予定者によるプレゼンテーションの実施(3)博士前期課程発表会の実施(4)英語・中国語による論文・プレゼンテーション講座の実施(5)大学院論集の発行。
進捗状況:(1)平成24年4月19日から平成25年1月24日まで16回開催した。(達成度:A)(2)平成24年10月25日に大学院生研究発表会を3名により実施した。平成25年2月21日に課程による学位(博士)取得予定者によるプレゼンテーションを2名により実施した。(達成度:A)(3)平成24年10月20日に「研究指導Ⅱ」受講者(修士号取得予定者)発表会を10名により実施した。(達成度:A)(4)英語による論文・プレゼンテーション講座を実施したが、中国語については希望者がなく実施しなかった。(達成度:B)(5)平成24年11月に大学院論集第22号を発行した。(達成度:A)

○短期大学部

【教育研究】

- 事業計画:カリキュラム変更,学科名称変更,入学定員の見直し
事業概要:商経学科においては,平成24年度からビジネス社会に対応した特定の分野に偏らない,ビジネススキルや教養をバランスよく兼ね備えた人材を輩出していくためのカリキュラム改定並びに150名の定員を80名とする入学定員の変更を行う。また,平成25年度には学科名称を変更し,学科運営の安定化を図る。
進捗状況:商経学科の新しい定員80名に対し,95名の入学者(平成24年5月1日現在)があった。また,平成25年度からの「ビジネス教養学科」への名称変更についても文部科学省への届出を行い,受理された。(達成度:A)
- 事業計画:管理栄養士国家試験対策室の設置
事業概要:専任教員全員がそれぞれの専門の講師となり,講義を実施する。前期は基礎学力の向上,後期は実践的な試験対策として様々な模試を行う。
進捗状況:週4日,90分の講義を実施した。(前期5月~7月,後期10月~翌年3月)前期は,過去の国家試験解説,基礎学習講座を実施した。後期は,専門模試,専門模試復習,市販模試,市販模試解説に加え3月17日の試験日に前に直前対策を実施した。(達成度:B)

【社会貢献】

- 事業計画:産学協同事業への参加
事業概要:地域貢献を目的として,地元の企業や団体,行

政等と室伏ゼミナールが連携し,地域の産物を使用したお菓子,お茶,お酒などの開発を行う。
進捗状況:富士山の湧水や名物のワギの未利用部位を使用したお菓子など,地域の魅力をアピールできる製品を県外にも広めて地域振興を図っている。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:平成24年度は,教授「栄養教育」1名補充採用する。
事業概要:平成23年度退職した教員の補充をする。
進捗状況:准教授1名を採用した。(達成度:A)

○生活科学研究所

【教育研究】

- 事業計画:学術講演会開催及び『生活科学研究所報告』の発行
事業概要:有識者を招へいし,学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表として『生活科学研究所報告』を発行する。
進捗状況:平成24年12月14日に国際関係研究所と共催で学術講演会(講演者:ロバート・キャンベル氏,演題:Pain and Pleasure— 苦楽の日本文学再見 —)を開催した。平成24年12月12日~20日に研究発表会(ホスター発表による)を開催した。平成25年3月に『生活科学研究所報告』第35号を発行した。(達成度:A)

○国際関係研究所

【教育研究】

- 事業計画:国際シンポジウムの開催
事業概要:外部団体からの支援を受け,日本・中国・韓国 の3か国の研究者により,国際諸問題に沿ったテーマで国際シンポジウムを開催する。
進捗状況:平成24年11月16日に国際シンポジウム2012(テーマ:日本と東南アジアの過去,現在,未来)を開催した。(達成度:A)
- 事業計画:学術講演会開催及び『国際関係研究』の発行
事業概要:有識者を招へいし,学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表として『国際関係研究』を発行する。
進捗状況:平成24年12月14日に生活科学研究所と共催で学術講演会(講演者:ロバート・キャンベル氏,演題:Pain and Pleasure— 苦楽の日本文学再見 —)を開催した。平成24年10月に『国際関係研究』第33巻第1号,平成25年2月に『国際関係研究』第33巻第2号を発行した。(達成度:A)

理工学部・理工学研究科・短期大学部(建築・生活デザイン学科,ものづくり・サイエンス総合学科,生命・物質化学科)

○理工学部・理工学研究科・短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。

進捗状況:学部一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除18名,住居半壊:授業料等半額免除35名,原発事故避難地区:授業料等全額免除前期4名・後期4名,大学院一:住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除3名,住居半壊:授業料等半額免除3名,短期大学部一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除1名。(達成度:A)

- 事業計画:理工学部学術講演会の開催
事業概要:第56回理工学部学術講演会。

進捗状況:第 56 回理工学部学術講演会は駿河台校舎において、11 月 28 日(水)に開催した。4 年前より導入したポスター発表も定着し、理工学部及び理工学研究科学生を主として発表件数は 676 件に達した。また、当日の優秀発表者に対する表彰を後日実施して、成功裡に終了した。(達成度:A)

- 事業計画:理工学部学術賞等表彰式の開催
事業概要:第 35 回理工学部学術賞等表彰式。
進捗状況:第 35 回理工学部学術賞等表彰式は 11 月 8 日(木)に開催した。当日は学術の発展に顕著な功績があり、本学部における学術の振興と学術水準の向上に資する者として「理工学部学術賞」受賞者、また、研究・教育、運営・施設管理における技術・支援を通じて顕著な功績・貢献があり、本学部の研究教育活動の振興と向上に資する者として「理工学部技術・支援賞」受賞者を表彰したほか、優れた研究業績を挙げて国内外の学会・協会等の学術団体から表彰された者などを表彰した。(達成度:A)
- 事業計画:各種就職対策セミナーの増設
事業概要:各プログラム内容を「就職を知る」「自分を知る」「自分を磨く」「社会を知る」「就職に勝つ」の 5 段階に分類し、大学院 1 年生・学部 3 年生・短大 1 年生対象に 48 の講座(講座数は昨年より 1.5 倍増設)を設けた。また、キャリアデザインを描けるように低学年講座も充実させた。
進捗状況:プログラムを 5 段階に分類し、昨年不足していた分野の講座を増設させたことにより、よりきめ細やかな支援を行えた。また、低学年からキャリアデザインを考えさせることにより、学業と社会とのつながりを考えられるようになった。(達成度:A)
- 事業計画:業界セミナー・企業説明会の増設
事業概要:企業規模を考慮した段階的な説明会の増設、未内定者に対する個別企業説明会及びカウンセリングの実施。
進捗状況:12 月には大手優良企業 128 社、2 月には優良企業 85 社、公務員・教育委員会 25 団体を学内に招き、学生と直接面談する機会を設け、述べ 9,000 名の学生が参加した。また、6 月以降は、4 年生対象説明会と並行して、学内個別企業説明会を行い、未内定者に対する面談・選考を行った。その結果、学生と企業とのマッチングが促進し、内定に結びついた。(達成度:A)
- 事業計画:教育支援体制の充実
事業概要:パワーアップセンターで、基礎講座及び個別指導を中心とした学習サポートを行い、また、キャリア支援センターと協働して学生のキャリア形成の手助けをする体制をとっている。
進捗状況:パワーアップセンターでは、従来の船橋校舎に加え、平成 24 年度から駿河台校舎で新規開講し、数学・物理・化学などの講座に加え、キャリア支援を意識した講座(小論文・自己分析/グループディスカッションなど)を開講した。(達成度:A)
- 事業計画:就職指導対策の充実
事業概要:(1)OB・OG とのネットワークの構築。(2)学年からのキャリア支援内容の充実。(3)キャリアカウンセラーの常置。(4)公務員対策・教員対策講座内容の充実。
進捗状況:(1)社会人 OB との座談会などの講座を開催し、学生と社会人が直接意見交換できる場を積極的に設け、学生の社会への接点を多く提供している。(2)保護者版キャリアサポートガイド・1 年生向けキャリアサポートガイドを作成配布し、保護者会等で好評を得た。また、コンピテンシー診断、キャリアデザイン講座を低学年から導入し、自らの強み・弱点の把握、学問と社会及び将来へのつながりについて行動計画を認識させ、就業意識の醸成に繋げている。(3)2 名のキャリアカウンセラーを常置し、学生相談に専従することで、キャリア形

成、就職について知識提供が拡大し、進路選択支援の充実が図られた。(4)公務員希望者には既存講座のほか、模擬面接の回数を増加し面接対策を充実させている。また、教員希望者には従来の教員 DVD 講座に新たに実力錬成・教職教養(24 コマ)、応用演習・教職教養(10 コマ)、一般教養人文系(16 コマ)計 50 コマを導入し、学習支援を行っている。(達成度:A)

- 事業計画:FD の取組の推進
事業概要:ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会を FD の取組の推進における主たる委員会として、FD 研修会及び授業改善のためのアンケートなどを実施している。
進捗状況:FD 研修会については、専任教員を主たる対象とした研修会、新任専任教員を主たる対象とした研修会を実施。研修内容は前年からの見直しにより実施。授業改善のためのアンケートは、実施内容は前年と変更していないが、回答率を上げるため広く周知を行った結果、回答率の改善が見られた。(達成度:A)
- 事業計画:リソース応援プロジェクト
事業概要:理系の能力を生かし、社会で活躍できる女性を輩出するため、理系女子の処世術、女性限定面接マナー講座、メイクアップ講座を開催した。
進捗状況:女子学生に特化したセミナーも取り入れたことにより、ビジョンが描きづらかった理系女子が将来に対する見通しを明確にすることができた。セミナー後に行ったアンケートでも、参加学生から高い評価を得ている。今後継続的に支援をすることにより、学生全体の行動意識が良い方向に変わる効果が期待できる。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展「日大のちから」の開催(年間 1 回)
事業概要:日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展の開催。
進捗状況:(1)第 8 回特別展日大のちからⅣ「谷藤正三展—交通技術の発展に夢をかけた技術官僚と交通工学科誕生からの五十年—」を 6 月末まで 1 ヶ月延長して開催。(2)第 9 回特別展日大のちからⅤ「電気工学科のあゆみ展—過去から未来への継承—」を 7 月 23 日から平成 25 年 5 月末まで開催。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:地球温暖化防止への取組
事業概要:キャンパス毎の電力使用抑制計画に基づき実行することにより、地球温暖化対策(二酸化炭素削減)に寄与する。
進捗状況:キャンパス毎に設置した電力使用量(テラワット)計での監視や空調運転方法の見直しをするなど、省エネルギー化を図った。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:校舎の耐震計画
事業概要:駿河台校舎及び船橋校舎の既存建物の耐震診断を実施し、校舎の耐震化を推進する。
進捗状況:平成 23 年度に策定した耐震補強工事実施順位計画に従い、駿河台校舎においては、8 号館の第 1 期耐震補強工事を実施、船橋校舎においては、12 号館の耐震補強工事を完了した。(達成度:B)
- 事業計画:駿河台校舎及び船橋校舎キャンパス内改修・補修工事

事業概要:両校舎共に、築年数が多い建物を中心に改修・補修を実施し、より良い教育環境を提供する。
進捗状況:駿河台校舎に於いては、約 220 件、船橋校舎に於いては約 300 件の修繕工事等を実施した。(達成度:A)

○理工学部・理工学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:学術研究戦略事業の推進
事業概要:日本大学学術研究戦略プロジェクトの遂行。
進捗状況:本学学術研究戦略プロジェクトは、本学部教員を研究代表者として「ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追求」を研究テーマに学部連携の下、平成 21 年度から 5 年計画の 4 年目を実施した。研究計画に掲げた目標を概ね遂行して、多岐にわたる分野での研究成果が得られた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:日本大学理工学部図書館(駿河台)公開講座の開催
事業概要:図書館蔵書資料に基づく学部教員による公開講座の実施。
進捗状況:(1)「我が国のエネルギー事情に及ぼす有機資源の役割(石炭・石油・天然ガス・バイオマス)」を 6 月に開催(2)「ネット評判情報を使った新安心社会に向けて」を 12 月に開催。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学理工学部図書館(駿河台)の千代田区民への開放及び日本大学理工学部図書館(船橋)市民への開放
事業概要:大学図書館の地域住民への利用解放。
進捗状況:館内閲覧及びセルフコピーサービスの実施。(達成度:B)
- 事業計画:夏休み自由研究教室の開催
事業概要:地域社会への還元を図り、小学生を対象として理工系の面白さを体験してもらう機会を設ける。
進捗状況:千代田区を含め、隣接する区の小学校及び児童館に開催案内(ポスター・チラシ)を送付した。12 学科を擁する本学部では、理工系志望者の将来の夢を叶える力を育むため、多彩な学問分野の一端に触れる経験をしてもらうことにより、地域社会への還元を図った。今後は、千代田区からの後援申請を活かし、広報誌等での案内を実施する予定である。(達成度:A)
- 事業計画:八海山セミナーハウスの有効活用
事業概要:セミナーハウスの利用者が増加し、収支改善が図れる。また、地元小中高生が利用することにより、「日本大学理工学部」の存在感をアピールできる。
進捗状況:今年度は、196 名の小中高生が当セミナーハウスを利用した。また、八海山セミナーハウスの天文台を利用したプロジェクト「地球を取り巻く天体と磁気圏の科学—最先端科学と情報ネットワーク—」が、科学学術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」において採択されている。(達成度:B)

○理工学部・短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:研究推進戦略の確立
事業概要:理工学部各種研究費の充実。
進捗状況:理工学部シボリックプロジェクト形成支援事業を実施して本学部の学術の核となる研究推進を図った。東日本大震災復興支援研究プロジェクトを実施して研究成果に

基づく被災地復興・復旧への技術貢献を図った。ほかにも、理工学部プロジェクト研究、理工学部基礎科学研究助成金を実施して各種研究費の充実を図り、更に来年度に向けて理工学部応用科学研究助成金を制定した。外部資金の獲得に繋がる研究を支援することにより、本学部の総合力の向上を図った。(達成度:A)

- 事業計画:理工学研究施設の充実
事業概要:理工学部研究施設でのリサーチ&ディベロップメント体制の強化、研究部門の利活用。
進捗状況:理工学研究施設は研究開発領域、研究支援領域、実験領域での 8 研究施設を有し、研究開発、研究支援体制の強化を図っている。また、共同利用などの有効な活用によって、本学部の持つ研究資源の利活用に努めた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:理工学部及び短期大学部(船橋校舎)共催による、公開市民大学講座の開催
事業概要:日本大学理工学部、短期大学部(船橋校舎)が有する人的・知的財産等を地域社会の市民に提供し、社会の発展に貢献するために、10 月 13 日(土)、20 日(土)、27 日(土)に合計 7 講座を開催した。公開市民大学講座の開催を年 2 回、各回 7 講座のうち 3 講座は学術的な要素を取り入れたものとし、2 講座はスポーツのテニス教室と初心者向けゴルフ教室、2 講座はパソコンの Word 教室と Excel 教室を実施。
進捗状況:平成 24 年度第 51 回のテーマは、昨年度に引き続き「東日本大震災からの復興と安全な暮らしへ Part. 2」とし、「建物の耐震・免震・制震技術」、「交通・通信システム」、「情報システム」の分野で講演を行った。また、スポーツ教室及びパソコン教室も各 2 講座開催し、合計 322 名が受講した。なお、今年度は会場をバリアフリー設備の整った 14 号館に移したところ、受講者から大変好評であった。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:広報活動の充実
事業概要:(1)高校生とその保護者対象の広報手段の見直し(2)在校生とその保護者対象の理工サーキエーター(学部広報誌)の見直し(3)社会人及び卒業生対象に様々な広報媒体との連携(4)高校生へのダイレクトメール発送。
進捗状況:ホームページのリニューアルを実施すると共にスマートフォンほか SNS 対応も実施。オープンラボと称した各学科の公開イベントもホームページ上で紹介し、体験できる理工学部・開かれた理工学部を目指した。学科新設に合わせて様々な広報を展開し、オープンキャンパスについては年間 9,693 名来校いただいた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:駿河台キャンパス整備事業
事業概要:老朽化した建物及び実験施設等の建替えにより、学生・教職員への安全・安心なキャンパスを形成すると共に、周辺住民の災害時の一時避難場所など地域貢献という大学の社会的使命を果たす。
進捗状況:駿河台校舎 5・6・9 号館の建替えによる南棟(仮称)建設実行委員会が設置され、基本設計中である。(達成度:B)
- 事業計画:船橋校舎校地の建築基準法に基づく敷地分割
事業概要:資産の適正な管理と建築基準法に基づく確認申請が必要な新規事業計画を円滑に推進する。
進捗状況:平成 23 年 9 月から測量を実施し、平成 25 年 3

月末までに分割案作成の完了予定。(達成度:B)

○理工学部

【教育研究】

- 事業計画:のびやかな教育・研究・学部組織のあらたなる創成

事業概要:社会的に信用を得ることのできる卒業生の質の保証を柱の一つとしたカリキュラムの変更、駿河台キャンパスの新校舎建設計画による教育研究環境整備、学科の再編による新たな体制をつくる。

進捗状況:平成20年度からのカリキュラム適用となって2度目の卒業生を出し、平成24年度は、卒業生の質の確保のために各学科の教育目標に適合した卒業達成度評価を行う科目の内容の見直しを行った。教育研究環境整備の主要な取組として、駿河台キャンパスの新校舎(仮称:南棟)建設計画に着手することができた。また、学科の再編に伴う届出等が終了し、平成25年度から新たな体制でスタートする。再編の方針は、理工系産業界の将来ニーズを見据えたものであり、入試結果から順調な志願者を集めることができたと評価される。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:資源ごみの有効利用

事業概要:資源の有効な利用の確保を図るとともに廃棄物の発生の抑制及び環境保全に寄与できる。

進捗状況:平成24年度から駿河台校舎だけでなく、船橋校舎でも資源ごみの回収を開始。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:防災体制の充実

事業概要:学生及び教職員の防災意識の向上を図る。非常時に効果的な災害援助ができる体制づくりの構築。

進捗状況:消防計画に則り、12月に防火・防災訓練を実施(駿河台・船橋両校舎)。また、緊急時用のヘルメットを新たに購入。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:新教員人事制度の施行

事業概要:65歳定年制厳守に関する経過措置期間終了後、定年に達した教授の再雇用は行わず、特任教授(月手当)としての委嘱を限定的に行うこととし、順次、教員組織を若返らせ、教員の年齢構成をバランスよくすることによって効率的な人件費支出を図る。

進捗状況:理工学部教員人事委員会内規により、教員組織・人事計画を組織的に検討する体制を整え、理工学部教員資格審査に関する内規により、平成28年度以降は、専任教員は65歳以下の者のみで構成することとした。また、平成32年度までの人事計画を定め、当該計画に基づき採用等を行うこととした。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:寄付金の募集

事業概要:理工学部駿河台・船橋キャンパス整備事業募金。

進捗状況:今年度は、理工学部駿河台・船橋キャンパス整備事業募金において134件の寄付があった。(達成度:C)

○理工学研究科

【教育研究】

- 事業計画:ガラムシュット工科大学とのデュアルテックイノベーションの実施

事業概要:日本大学理工学部とガラムシュット工科大学との学術交流提携の下、3カ年で日本大学理工学研究科及びガラムシュット工科大学(大学院)の2つの学位(修士)を修得することを可能としたプログラムである。各々異なる文化圏で専門教育を受ける機会を与え、国際社会において自身のキャリア展開を行い、グローバルな技術者・研究者を育成することを目的としている。

進捗状況:学生の募集を行っているが、現在実績はない。このため今後も、ガラムシュット工科大学において学部学生に周知するなど広く普及徹底を図る。(達成度:B)

○短期大学部

【教育研究】

- 事業計画:キャリア教育の充実

事業概要:(1)授業科目「短大入門講座(必修2単位)」の授業に「マナー講座」、「SPI2適性検査」及び「就職常識試験」を組み入れた。(2)教育課程に「キャリア・職業教育部門」を設置し、キャリア教育や資格取得支援のための科目を開設した。

進捗状況:(1)学生が自身の能力・性格を把握することにより、主専攻分野の選択等が適切に行われるようになった。(達成度:A)(2)言葉遣い・態度を含め、社会人としての自覚を促すことができた。また、社会貢献という動機付けがなされたことにより、学習意欲の向上が見受けられるようになった。(達成度:A)

- 事業計画:学生支援

事業概要:経済的な事由により学業の継続が不可能となる学生に対し、主な奨学金情報をホームページ等に掲載するとともに学生への情報開示方法の向上を図る。

進捗状況:学生に対し、学生課掲示板、ポータルサイト等によりこまめに奨学金情報を開示している。予算等の事由によりリーフレットは作成されなかった。(達成度:B)

- 事業計画:学生生活満足度調査

事業概要:アンケートを実施し、施設に関する学生の不満足度を把握する。集計結果は学生に開示した。

進捗状況:アンケート集計が、経年変化等の分析がされていない。貴重な資料のため、今後、分析方法については再検討する予定。(達成度:B)

【社会貢献】

- 事業計画:オープンカレッジ「ものづくり&サイエンス・スクール」の開催

事業概要:短期大学部(船橋校舎)のPR活動の一環として、大学施設を利用した体験学習の場を提供し、小学生から大人まで参加できるようなものづくりの面白さを体験実施する。11月4日(日)に船橋校舎において建築・環境系、機械系、電気系、サイエンス系、健康系分野の9プログラムによるものづくり体験が実施された。

進捗状況:いずれのプログラムも子供から大人まで大勢の地域住民(合計233名)の参加があり計画通り遂行した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:高等学校訪問

事業概要:短期大学部(船橋校舎)の特色をアピールするために、教職員が年数回、進学実績校、指定高校、オープンキャンパス参加校、沿線高校、日本語学校などの訪問を行う。第1回(6・7月)、第2回(1・2月)と年2回高等学校を訪問し、進路指導教員を通じて受験生に短大の情報を伝える。

進捗状況:第1回105校、第2回71校を訪問した。(達成度:A)

- 事業計画:志願者増を図るための事業計画
事業概要:学校説明会。
進捗状況:短期大学部(船橋校舎)の新教育課程をアピールするために高校教員向けの説明会を行う。9月29日(土)船橋校舎で開催し、大学設備等を実際に見ていただき本学の特徴をより深く理解してもらえた。参加校は24校。(達成度:B)

○理工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:理工学部理工学研究所講演会の開催
事業概要:第8回理工学部理工学研究所講演会。
進捗状況:第8回理工学研究所講演会を11月28日(水)に理工学部学術講演会と同時開催し、「東日本大震災復興支援研究プロジェクト」をテーマにした講演を始めとして、文部科学省教育支援プログラム「気づかせ教育による社会還

元力と学士力保証」, 日本大学 N.プロジェクト「ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追及」の3つのテーマに基づく特別セッションで行った。各部会とも盛況であった。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:産学官連携研究
事業概要:委託研究・共同研究の推進による産学官連携研究, 東葛テクノサでの技術相談等。
進捗状況:一昨年度から千葉県産学官連携研究連絡会を通じて「千葉大学サイエンスパークセンター」へ参加し、船橋校舎が所在する千葉地域の産学官連携・交流を図っている。また、千葉エリア産学官連携オープンフォーラム2012では研究成果の紹介を通じて広く企業や地域社会に公開し、東葛テクノサでのセミナーなどの情報共有を行った。(達成度:A)

生産工学部・生産工学研究科

○生産工学部・生産工学部共通

【教育研究】

- 事業計画:内規・要項で定めている独自の奨学制度で、奨学援助を積極的に行う。
事業概要:学業成績・人物ともに優秀な者。あるいは優良な資質を持ちながら経済的事情により学費等の支弁が困難な学生・大学院生ならびに私費外国人留学生に対し、独自の奨学助成制度により就学援助を行う。
進捗状況:学部生・大学院生あわせて36名に1,390万円(生産工学部第1種奨学生9名, 生産工学部第2種奨学生9名, 生産工学部第3種奨学生2名, 生産工学部校友会奨学生15名, 大学院前期課程から後期課程進学者奨学生1名)を給付した。(達成度:B)
- 事業計画:学生相談に対する体制強化を図る。
事業概要:学生相談の対応として、相談室(サポートセンター)へのカウンセラーの派遣, 更に日本大学学生相談研修会へ教職員の参加を促しインテカ認定者の増員を行い、学生相談に対する体制強化を図る。
進捗状況:カウンセラーの派遣は、津田沼校舎に週3回, 実籾校舎に週1回である。更にインテカ認定者増員のため日本大学学生相談研修会への教職員の積極的な参加を促し、潜在的クライアントの早期発見・対応への体制強化を図っている。(達成度:B)
- 事業計画:キャンパスジョブの創出
事業概要:学内に学生のための就労の場を設け、そこで収入を得て修学の資とするとともに、就労経験を経ることにより社会人としての基礎力の養成を図る。
進捗状況:清掃業務を希望した学生が月曜日～土曜日週2日・1日2時間以上, 学内の食堂業務や清掃業務に就いている。(達成度:B)

○生産工学部

【教育研究】

- 事業計画:JABEE(日本技術者教育認定機構)への対応
事業概要:JABEE認定コースを電気電子工学科, 土木工学科, 応用分子化学科及び数理情報工学科に設置し, プログラム修了者は「修習技術者」となり, 申請することによって「技術士補」の資格を取得することができる。この認定を受けることにより, 本学部の技術者教育の質の高さを学

外に広め, 国際的に通用する技術者に必要な基礎教育の要求水準への到達を図る。

進捗状況:数理情報工学科が平成23年度に認定継続の審査を受け, 平成24年4月に認定継続の承認を受けた。なお, ほかの3学科については認定維持期間中である。(達成度:A)

- 事業計画:新入生のTOEIC Bridge IPテスト実施
事業概要:英語に関する自己習得レベルを認識させ, さらに学生の英語習熟度の把握・学習指導及び進路指導等に活用する目的に加え, 自ら英語能力を向上させる意識を促すために, 1年生を対象として入学時にTOEIC Bridge IPテストを実施する。

進捗状況:4月7日(土)にTOEIC Bridge IPテストを実施し, 1,548名(受験率約96%)が受験した。また, 各学科に受験結果を配布し学習指導に役立てた。(達成度:A)

- 事業計画:FD講演会の実施
事業概要:生産工学部の「教育に関する啓発活動の一環」として外部講師を招聘し, 『授業改善』を中心としたFD活動の重要性に対する教員の認識を深める。

進捗状況:千葉大学大学院工学研究科教授を招き, FD講演会「JABEE(日本技術者教育認定機構)2012年度の諸改定について」(6月30日開催)を開催した。非常勤講師を含め163名の参加があり, FD活動の重要性に対する教員の認識向上を図った。また, 教育貢献賞受賞講演会を合同で開催することにより, 継続的な教育改善努力への取組を促し, 教育能力の向上と教育活動の活性化を図ることができた。(達成度:A)

- 事業計画:教員に対する教育貢献賞の授与
事業概要:教員個々の教育活動の点検, 継続的な教育改善努力への取組の促進, 優れた教育活動の共有化を目的として教育貢献賞を授与し, 教員の教育能力の向上と教育活動の活性化を図る。

進捗状況:優れた教育活動の実施が認められる10名に教育貢献賞を授与し, 教育貢献賞受賞講演会(6月30日開催)において受賞講演を行った。このことにより, 教員に継続的な教育改善努力への取組を促し, 教育能力の向上と教育活動の活性化を図ることができた。また, FD講演会を合同で開催することにより, FD活動の重要性の認識を深めることができた。(達成度:A)

- 事業計画:学生による授業評価アンケートの実施

事業概要:学生の批判・要求を知り、授業及び教育環境を可能な限り改善し、教育の質の向上に関する有益な資料を得ることにより、効果的に授業改善にフィードバックするとともに教育の充実を図る。

進捗状況:前年度実施した授業評価アンケート(7月及び12月実施)の集計結果を基に、分析を行い各教員の授業に関する改善及び教育の充実を図るための冊子の作成を行っている。(達成度:B)

○事業計画:出席管理システムの構築

事業概要:現在運用している各科目の出席管理システムから各学生の出席を管理するシステムの構築を行い運用することにより、不登校による退学予備群や卒業延期予備群の早期発見・指導を行い、退学者及び卒業延期者の低減を図る。

進捗状況:学務幹事会で出席管理システムの概要をまとめた上、学生情報データベース検討委員会を立ち上げた。本委員会において学生が確認するために使用するポータルサイトを含めて平成26年度本稼働を目標に、仕様に関して検討を行っている。(達成度:A)

○事業計画:平成21年度に新設した2学科(環境安全工学科・創生デザイン学科)の授業等実施環境を整える。

事業概要:文系学生を含む、従来とは異なる資質・志向を持った在学生の存在により、既存学科の学生に対しても教育効果の活性化による新たな工学教育の実施を図る。

進捗状況:2学科(環境安全工学科・創生デザイン学科)の学科棟として40号館が2月6日に竣工し、実験及び卒業研究指導等の環境整備の推進が図られた。また、2学科は完成年度を迎え、環境安全工学科134名、創生デザイン学科116名、計250名の卒業生を輩出した。(達成度:A)

○事業計画:新カリキュラムの策定及び改定後の運用に関する検討

事業概要:ディプロマポリシーやカリキュラムポリシーに則り、教養科目及び基盤科目と専門科目へのシームレスな連携を図ることにより学習の質の保証をより高め、社会の要請に応える卒業生を輩出するためのカリキュラムの策定を行う。併せて、学修時間の保証や理解不足による単位未修得者を減らす方策等、教育の運用法の充実を図り、卒業延期者や進路変更等による退学を減らす。

進捗状況:第1回教授会(4月19日開催)の承認を経て、本部に学則変更に関する内申を行った。また、学修時間の保証のため、履修科目登録単位数の上限に関する基準に関して、第6回教授会(9月20日開催)において各学期24単位を上限とする旨の改正案の承認を得た。さらに、理解不足による単位未修得者を減らす方策として、第9回教授会(12月20日開催)において、一度受講した科目で未修得となった科目に関して、集中授業(授業期間外での授業実施)を施行し、効果等を検証の上、平成26年度以降の実施に関して再検討する旨の承認を得た。(達成度:A)

○事業計画:父母懇談会の津田沼校舎(9月実施予定)及び地方7都市(11月実施予定)での開催

事業概要:個々の学生の学習状況及び授業出席状況について、より多くの父母と情報の共有を図り、父母との連携の下で教育効果の強化を図る。

進捗状況:9月29日の父母懇談会(津田沼校舎実施)では1,138名の父母が出席した。また、11月5日の父母懇談会(全国7地方都市[札幌・山形・郡山・新潟・長野・名古屋・福岡])では255名の父母が出席した。この取組により父母と学生の学習状況に基づく情報の共有を図り、修学等に関する指導に効果を発揮した。(達成度:A)

○事業計画:高大連携教育の推進

事業概要:本学部では、日本大学の附属高校5校との連携教育に係る覚書を締結しており、本学部を設置された一部の授業科目を高校生が履修できる体制を整えている。本覚書に基づき高校生が入学前に単位修得した科目について、入学後に単位認定を行うことにより、本学部への入学促進及び入学後の教育効果の向上を図る。

進捗状況:附属高校5校から64名の受講希望があり、61名の生徒が単位を修得した。また、今年度入学者で高大連携教育を受けた学生60名から単位認定の申請があり、認定を行った。(達成度:A)

○事業計画:東邦大学理学部との協定に基づく単位互換の実施

事業概要:他大学との単位互換を推進することにより、学生の学問に対する興味に応じて、幅広い視野と能力を育むとともに、学生への便宜を図る。

進捗状況:東邦大学から13名の学生を受け入れ、7科目の開講を行った。また、本学部から6名の学生を5科目の受講のため送り出した。(達成度:B)

○事業計画:米国ケント州立大学との協定に基づく派遣留学及び短期語学研修の実施

事業概要:ケント州立大学の授業を正規学生として受講(派遣留学)し単位を修得することにより、国際的な物の考え方並びに学生の学問に対する興味に応じた幅広い視野と能力を育む。また、夏季(短期)語学研修を実施し、ケント州立大学が準備したプログラムを体験することにより、総合的な英語力を修得させるとともに、日常会話等におけるリスニングやヒアリング等の向上を促し、国際的なコミュニケーション能力の向上を図る。

進捗状況:派遣留学の募集定員2名に対して1名の志望者がおり、書類審査と面接の結果、3月から1名の派遣を行った。また、夏季(短期)語学研修は学部生17名が参加し、ESL(英語教育センター)の研修プログラムを受講した。(達成度:A)

○事業計画:米国ケント州立大学との学術文化交流に関する覚書の更新

事業概要:平成20年3月17日に更新した学術文化交流に関する覚書の期間満了に向けて再更新を行う。

進捗状況:第10回教授会(1月24日開催)承認の上、1月29日付で覚書(案)、訳文(案)並びに更新計画書(案)を本部へ内申し、承認(2月25日付承認)を経て、ケント州立大学との学術文化交流に関する覚書の更新を行った。(達成度:A)

○事業計画:台湾中国科技大学資訊學院との学術交流に関する覚書の締結

事業概要:中国科技大学規劃與設計學院及び管理學院と学生・教員の交流、教育行事への相互参加、研究員の相互受入れ並びに学術交流を目的として締結(平成24年3月21日締結)した交流に関して、中国科技大学の要請を受け、更に学術交流を拡大するために資訊學院との学術交流に関する覚書の締結を行う。

進捗状況:第10回教授会(1月24日開催)承認の上、1月29日付で覚書(案)、訳文(案)並びに締結計画書(案)を本部へ内申し、承認(2月25日付承認)を経て、中国科技大学資訊學院との学術交流に関する覚書の締結を行った。(達成度:A)

○事業計画:千葉県工業系高大連携加盟校間における連携教育に関する協定の締結

事業概要:千葉県における工業教育の振興を図るために相互に協力・連携し、教育・研究活動を発展させることを

目的として、千葉県の工業系高等学校との連携教育における包括的協力協定の締結を行う。

進捗状況:第3回教授会(6月21日開催)承認の上,同日付で本部へ内申し,承認を経て,第2回千葉県高等学校工業教育研究会高大連携委員会,第2回千葉県工業系高大連携推進委員会合同会議(1月16日千葉県立市川工業高等学校にて開催)の場において,新規加盟が承認され,調印式が行われた。(達成度:A)

- 事業計画:新入生に対し学外リエンテションを実施する。
事業概要:新入生がスムーズに大学生活をスタートできるように,入学直後に一泊二日の学外リエンテションを学科単位で実施。更に,フォローアップとして9月の後期ガイダンス時にクラス担任による個人面談を実施している。
進捗状況:平成24年度は4月に8学科,5月に1学科が実施した。全学科平均の参加率は90%を超え,学生生活を送る上でのきっかけとして機能している。(達成度:B)
- 事業計画:サークル活動への支援助成を積極的に行う。
事業概要:課外活動が人格形成,並びに社会経験への効果を期待できることから,課外活動の重要性を認め積極的な支援を行う。
進捗状況:サークル活動助成として,基本助成金(一律3万円)を53団体,総額159万円。27万円を上限とした特別助成金を39団体,総額505万円を支給した。また,特定行事助成金として1団体に30万円を支給した。(達成度:A)
- 事業計画:ピアサポートシステム
事業概要:新入生に対し,大学での授業等で困っていること,また学生生活上で悩んでいることを上級生がサポートする。
進捗状況:大学院生・学部4年生154名がピアサポーターになり,教員の補助として学部1年生の修学及び学生生活に関する相談・アドバイスをを行っている。(達成度:B)
- 事業計画:WINCOM(風力発電コンペ)の実施
事業概要:自然環境エネルギーを効率よく利用するための風力発電装置を作製し,発電量やデザインを競う風力発電コンペWINCOMを実施した。
進捗状況:発電量部門・オープン参加の部に3学科の学部生による6チームが参加した。なお,高校生を対象とした発電量部門・高校の部に17チームの参加があった。(達成度:B)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除10名,住居半壊:授業料等半額免除24名,原発事故避難地区:授業料等全額免除前期5名・後期5名。(達成度:A)
- 事業計画:研究基盤の強化—研究プロジェクト形成プログラム(研究装置購入費・研究費補助)及び若手研究者を交付対象とする研究費補助プログラムの推進
事業概要:研究基盤の強化を図るため,私立大学戦略的研究基盤形成支援事業研究費獲得のソース育成及び若手研究者の研究のステップアップを目的とした研究費を生産工学研究所で交付する。
進捗状況:研究プロジェクト形成推進研究費を,学部内の6名からなる研究グループに交付し,研究費・研究装置導入の補助を行った。また,若手研究者支援研究費を10名(各50万円)に交付した。(達成度:A)
- 事業計画:科学研究費補助金受領者に対する特別研究費交付
事業概要:科学研究費補助金受領者に対し,当該年度補助金額(直接経費)の30%の額を研究費として交付する。

研究者にインセンティブを与え,外部資金獲得へのモチベーション向上を図る。

進捗状況:平成24年度科学研究費補助金受領者の35名に対して「文部科学省科学研究費補助金受領者に対する研究費」を交付した。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:公開講座・公開セミナーの開催
事業概要:6月頃から土曜日を中心に公開講座・公開セミナーを開講する。公開講座として時代を映したテーマによる講演を,公開セミナーとしては本学部教員によるスポーツやコンピュータをテーマとした企画を実施する。また,毎年本学部と習志野市の共催で開催している「防災講座」を平成24年度も開催する。
進捗状況:公開講座では①創設60周年特別講演会として『「私の仕事から」講師 林 真理子(直木賞作家)』②『防災講座2012』,③『高齢期を健康に過ごすために』,の3講座を,公開セミナーでは①『気軽に使おう我が家のパソコン〜今,話題のGoogleを体験しよう〜』,②『生涯スポーツ(ゴルフ)』,③『生涯スポーツ(水泳)』,④『ロボットで遊ぼう』,⑤『少年野球教室』の5セミナーを開催した。参加者総数は917名であった。(達成度:A)
- 事業計画:「ブレイム型地域社会事業」市民講座の開催
事業概要:平成20年度に千葉県,習志野市及び日本建築学会と協定を結んだ「ブレイム型地域社会事業」のサテライトを活動拠点とし,地域住民が身近に感じられる市民講座を提供する。
進捗状況:平成24年度については,ブレイム型地域社会事業最終年度のため,これまでの事業成果の集大成である「県内自治体とのコラボレーションによる地域課題ケーススタディ」をはじめ,事業のとりまとめに関する活動を行った。(達成度:A)
- 事業計画:「夢・化学21」の開催
事業概要:学園祭期間中(11月3日)に,平成24年度子どもゆめ基金「夢・化学21」の助成事業として,「夢・化学21-理科教室への招待」を近隣の小学生を対象に実施する。
進捗状況:「理科教室への招待」-大学の実験室で実験してみませんか」と題し,各40名(小学生)の募集人員の3部構成で小学生81名,父母兄弟70名,合計151名を招待し,理科実験を体験してもらった。(達成度:A)
- 事業計画:「母校を訪ねる会」の開催
事業概要:学園祭期間中に本学部と本学部校友会の共催により,卒業生並びに退職した教職員を招き「母校を訪ねる会」を開催する。
進捗状況:卒業経過年数が50年・40年・30年・20年・10年を経過した卒業生と教員OB並びに在籍教職員により11月3日に開催した。(達成度:A)
- 事業計画:近隣住民への図書館開放
事業概要:近隣住民へ図書館サービスを提供する。
進捗状況:平成6年から実施しており,閲覧及び複写サービスを提供している。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:地球温暖化防止への取組
事業概要:クールビズ,ウォームビズの導入,温度設定管理(冷房温度28℃以上暖房温度20℃以下)の励行,WINCOM(風力発電コンペ)の実施,39号館への太陽光発電装置の設置。
進捗状況:地球温暖化対策を推進し,CO₂などの温室効果ガスの排出量の削減を図り,熱・電気等のエネルギー使用量が

削減できた。太陽光発電装置の設置し、WINCOM の実施し、ECO な学部として社会的な評価を得ることができた。(達成度:A)

○事業計画:AED 講習会の実施

事業概要:AED 講習会を学部内で行うことにより、緊急時に対応する能力を教職員及び学生が培えるようにし、学部内の安全衛生環境の向上を目指す。

進捗状況:AED 講習会を 12 月 22 日(土)に体育館で開催し、38 名が参加した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

○事業計画:創設 60 周年記念事業の開催

事業概要:本学部のこれまでの実績と伝統を継承し、創設 70 周年、100 周年に向けて更なる発展に繋げる。

進捗状況:創設 60 周年記念事業として、次の事業を実施した。(1)10 月 20 日(土)にホルニューオータニ幕張で開催し、約 400 名の参加を得て無事挙行了。(2)創設 60 周年記念ホームcomingデーを各学科ごとに実施した。(3)創設 60 周年記念特別講演会を 5 月 23 日(水)にノーベル化学賞を受賞された根岸英一米国パデュエ大学教授を招待して実施し、学生・教職員・校友合わせて 962 名が参加した。(4)創設 60 周年記念学術講演会を 12 月 1 日(土)に実施し、約 1,900 名が参加した。(5)創設 60 周年記念誌を 10 月 20 日に発行した。(達成度:A)

○事業計画:キャリアデザイン講座の構築

事業概要:就職指導課で実施しているキャリアデザイン講座と正課授業としての講義、さらには生産実習(インターシップ)との連携を図る。

進捗状況:正課授業としての講義と生産実習(インターシップ)との連携により、キャリアデザインに対する学生の自覚を促し、人材育成が図られた。(達成度:A)

○事業計画:生産実習(インターシップ)の実施

事業概要:本学部の特徴である生産工学系科目の必修科目として生産実習(インターシップ)を継続し実施する。

進捗状況:仕事を体験的に理解することで理論と実践の相乗的な教育効果が得られ、社会人基礎力の向上が図られた。(達成度:A)

○事業計画:就職対策講座の実施

事業概要:採用試験の多様化に対応した就職講座を実施する。

進捗状況:企業の採用スケジュールに対応した講座を具体的かつ効果的に実施することにより、学生の就職活動の支援ができた。(達成度:A)

○事業計画:生産工学部就職セミナーの実施

事業概要:採用実績や意欲のある優良企業 312 社を学内に招き、学生と直接面談する機会を設ける。

進捗状況:今年度は開催期間を 3 日間から 4 日間に延ばし 374 社の参加を得て、具体的にきめ細かい面談が行われた。また、教職員の支援により学生と企業とのよりよいマッチングが実現した。(達成度:A)

○事業計画:公務員試験対策講座の実施

事業概要:国家公務員、地方公務員、警察、消防等の志望者を対象とする講座を「実践」、「直前」の 2 段階で設置。

進捗状況:基礎科目や専門科目の一次試験だけでなく、面接や論文の二次試験までを範囲とした総合的カリキュラムにより、公務員への意識改革及び支援ができた。(達成度:B)

○事業計画:生産工学部合同企業セミナーの実施

事業概要:未内定学生のためのフォローアップセミナーを実施して面談・選考の機会を設ける。

進捗状況:雇用環境が厳しい中、採用実績や意欲のある企業を厳選して 11 月に人事担当者を招き、未内定学生に対する面談・選考を行った。その結果、学生と企業とのマッチングが実現し、内定が得られた。(達成度:A)

○事業計画:SPI 講座の実施

事業概要:全国で多数の企業が導入している SPI 適性検査について、模擬試験及び対策講座のほか、教育効果検証作業を実施する。

進捗状況:一斉模擬試験により、学生自身の実力(現状)が把握できた。また、受講希望者を対象とした対策講座では、SPI 言語・非言語系問題の基本知識及び解法スキルの修得が図られ、受講生の正解率が上昇した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:学祖山田顕義コーナーの設置

事業概要:学部創設 60 周年記念事業として学祖山田顕義関連資料の収集と展示のためのコーナーを設置し、学生への自校教育の一環とする。

進捗状況:平成 25 年 2 月に図書館本館入館ゲート脇に設置した。(達成度:A)

○事業計画:学部共用ネットワークリンクの設置

事業概要:図書館内に設置することにより、学習活動を円滑にする。

進捗状況:平成 24 年 6 月に図書館本館受付カウンター脇に設置した。(達成度:A)

○事業計画:アクセスポイントの増設

事業概要:無線 LAN の拡充を行い、図書館内の学習環境の向上を図る。

進捗状況:平成 25 年 1 月に図書館本館に増設した。(達成度:A)

○事業計画:図書館の改革に向けて

事業概要:現有の図書館の改革を検討していく上で建物の改修が必要となる。国内の大学において既存の建物の中で運用を工夫している図書館も多いので、それらの視察を行い参考にする。

進捗状況:平成 24 年 5 月に東京工業大学、明治大学、東京都立大学の図書館視察を行った。(達成度:B)

○事業計画:キャンパス整備計画の策定

事業概要:キャンパス整備計画を策定し、教育・研究・施設のより良い教育研究環境の提供を行う。

進捗状況:建物や附属設備のライフサイクル調査を実施し、キャンパス整備計画並びに修繕計画を策定を行い、教学及び管理運営の将来計画との整合性を図り教育研究環境のよりよい提供を行う基礎作りができた。(達成度:A)

○事業計画:新学科棟(仮称)新築工事—新学科への対応及び教育環境整備の一環として、研究室、実験実習室、演習室を有する 7 階建ての施設(延床面積 9,570 m²)を新設する。

事業概要:教員研究室と実験実習室・演習室が隣接しており、教員と学生との間で緊密な関係が構築でき、新学科の教育研究がより一層強化される。また、多様なコミュニケーションスペースを創出し、多岐に渡る修学・研究活動に適應され、相互評価できる環境が整えられた。

進捗状況:平成 25 年 1 月 29 日に工事が完了した。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:教員の定年制厳守及び再雇用制度導入に係る基本方針に基づき、教員の再雇用の為の教育評価基準の策定を行う。
事業概要:「再雇用教員に関する規程」及び「再雇用教員の資格審査に関する内規」が制定され、教育業績についても再雇用の評価対象とされたことにより、教育評価基準の策定を行う。
進捗状況:人事委員会等において、教員の評価基準に関する検討を行い、複数の案について検討した。(達成度:B)
- 事業計画:適正な教職員採用及び人員配置等の人事計画の検討を行う。
事業概要:(1)多数の教職員が定年退職を迎える中で、後任の補充を必要最小限に抑えることにより、人件費を抑制する。(2)特色ある科目に重点を置いて教員を配置することにより、学部の特徴をアピールする。
進捗状況:(1)各学科の教員数・年齢構成の適正化を図った人事計画に基づき、教員の採用を行った。(2)教員の採用に当たり、新学科に新たに設置した特色ある科目を担当する教員を採用した。(達成度:A)

○生産工学研究科

【教育研究】

- 事業計画:就職セミナー及びキャリアデザイン教育の積極的参加
事業概要:大学院生を対象とした社会人教育を行い、即戦力となるよう養成する。
進捗状況:社会人として即戦力となるための取組の一環として、学部就職セミナーへの積極参加、修士論文研究に関する学外派遣、海外からのインターンシップ学生受入れ、海外大学との連携のための協力協定締結を行った。学部主催の就職セミナーについては平成25年2月に開催し、企業374社が参加して開催し、延べ参加者数2,546名があり大学院生も多く参加した。修士論文研究に関する学外派遣については、11名を実施し、5社の企業、学外研究機関に派遣した。またフランス及び韓国から3名のインターンシップ学生を受け入れて実習させるとともに、交流協定に基づき、米国ケンタッキー州立大学、韓国全南大学校工科大学及び慶尚大学校工科大学、台湾中国科技大学規劃與設計學院及び管理學院と大学院生の交流に向けた取組を推進させるなど、大学が院生の社会人教育のための基盤の構築に一定の成果を得た。(達成度:A)
- 事業計画:特徴ある大学院教育の実施のため教員の参加を広く促す
事業概要:若手教員の登用並びに教養・基礎科学系教員の参画等を図り魅力のある領域の講義・研究指導を実施。
進捗状況:新たに生産工学研究科共通の生産工学系科目群の設置を含んだ新カリキュラムを、平成25年度より実施するための学則改正を行った。生産工学系科目は基盤科目、発展科目、実習科目で構成し、より研究科を特色付ける内容とした。カリキュラム改訂に伴い、専門学科、教養・基礎科学系の若手教員を登用し、大学院教育の充実を図るため、20名超の若手教員について大学院研究科博士前期課程の授業担当資格の認定作業を行い、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:ワークショップの実施
事業概要:大学院カリキュラム改訂を踏まえて、マップを作成する作業を行うことにより、科目間の連動性など教育効果の高いカリキュラム作成を目指す。

進捗状況:博士前期課程と後期課程との一貫教育を明確にするとともに、履修モデルを作成することにより、教育効果の向上を目指すことができた。(達成度:B)

- 事業計画:博士後期課程入学者の関連教員に対するインセンティブ
事業概要:博士後期課程入学者の関連教員に対し、入学時に研究費の補助を行うことで、博士後期課程入学者の研究活動へ専念できる環境を整備することができる。
進捗状況:社会人特別選抜入学者6名及び学内選考入学者2名、計8名の関連教員に対し、申請により指導研究費の交付を行った。実験材料や学会出張費など研究活動に携わる様々な費用に充当させた。(達成度:A)
- 事業計画:新カリキュラムの策定及び改訂後の運用に関する検討
事業概要:ディプロマポリシーやカリキュラムポリシーに則り、平成25年度から全専攻の共通科目としてコースワークを設置し、専門分野を問わない幅広い能力を修得した上で専門性を高めることができる。
進捗状況:共通科目としての各専攻や教養・基礎科学系から科目担当者を募り、幅広い分野から知識を吸収するとともに、専攻を超えた学生間の交流を促す環境を作り出した。(達成度:A)

○生産工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:生産工学研究所の研究成果に関する報告書刊行
事業概要:研究所員の研究成果を「所報」により、研究所員を含む生産工学部教職員の成果を「研究報告A(理系)」、「研究報告B(文系)」の刊行を通じ公表する。生産工学部及び生産工学研究所の研究活動を広く社会にアピールし、生産工学部の社会的評価を高め、新たな外部資金獲得を図る。
進捗状況:所報を12月、研究報告Aを6月、12月、同別冊を3月に、研究報告Bを6月に刊行し、国内外の研究機関に送付した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学部学術講演会の開催
事業概要:学術講演会を開催し、生産工学部専任教員の日頃の研究成果を公表するとともに、ポスト・ドクター等の若手研究者に研究発表の場を設ける。質疑応答や意見交換を通じ生産工学部及び生産工学研究科の教育の向上と研究の発展を図る。また、企業や学外研究機関等共同研究者との交流の場とすることにより、新たな外部資金導入を図る。
進捗状況:12月に津田沼校舎で開催。生産工学部専任教員・大学院学生、学外研究機関所属者等により、分野別で約400件、中国科技大学との合同講演会で8件の研究発表が行われた。(達成度:A)
- 事業計画:学協会賞等受賞研究者への生産工学部学術賞及び学術賞(奨励賞)の授与
事業概要:生産工学部の専任教員が学術的業績等によって学協会賞等を受賞し、生産工学部の研究部門における社会的名誉を著しく高めた場合に、選考により生産工学部学術賞を授与してその業績を表彰する。
進捗状況:学会賞等を受賞した専任教員5名に生産工学部学術賞を授与した。(達成度:A)
- 事業計画:情報関係施設(研究センター入出力室)を利用した研究の実施

事業概要:研究センター入出力室設置の研究機器等を利用した研究を行う。既存の研究機器の更なる活用により、生産工学部の研究活動の一層の活性化を図る。

進捗状況:生産工学研究所研究センター入出力室にグラフィックワークステーション、デジタルビデオ編集装置を設置。赤外線画像解析装置、アイマークレータ等の貸出機器と共広く生産工学部の研究者の用に供した。(達成度:A)

- 事業計画:自動車工学リサーチセンターによる自動車工学研究の推進

事業概要:生産工学研究所に自動車工学リサーチセンターを設置し、本学部の特色ある研究を推進することにより、研究活動の一層の活性化を図る。

進捗状況:将来の自動車工学及び高度道路利用交通システム全般に関する社会的ニーズに対応した先進的研究の遂行と人材育成を目的に自動車工学リサーチセンターを設置。自動車を軸に各学科の教員・学生・学外の研究者が参集し共同で各施設を利用に供している。委託・共同研究を受け入れるとともに、基礎講習会(年間3回)、研究施設・設備見学会及び研究成果報告会を開催した。(達成度:A)

- 事業計画:委託・共同研究の受入れ

事業概要:企業や官公庁からの委託研究、共同研究を受け入れる。外部資金を導入し、生産工学研究所の研究基

盤の維持強化を図る。また、産官学連携により生産工学部の人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を図る。

進捗状況:平成24年度の委託・共同研究の受入れ状況は、受入件数約50件(契約額約7千万円)であった。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:研究・技術交流センターによる産官との研究・技術交流

事業概要:生産工学研究所設置の「研究・技術交流センター」で産官との研究・技術交流を推進する。産官との連携により生産工学部の人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を行うとともに、地域社会へ貢献する。

進捗状況:県等主催の企業交流会での講演・技術相談の実施、センターの広報誌「CERT REPORT」の刊行(7月)及び「千葉エリア産官連携オープンフォーラム2012」の開催(7月)等を通じ、地元企業との連携による大学発の地域事業の創造に向けた取組を行った。(達成度:A)

工学部・工学研究科

○工学部・工学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置(本部)の実施

事業概要:被災した学生に対する学費の減免措置を実施し、経済的支援を行う。

進捗状況:(1)学部-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除69名、住居半壊:授業料等半額免除204名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前学期18名・後学期0名(2)大学院-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除3名、住居半壊:授業料等半額免除11名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前学期0名・後学期0名。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:多様な分野への就職を可能にする各種講座の実施

事業概要:原発の影響で平成24年度課外英会話講座は中止となったが、ほかの各種資格取得講座を検討、実施する。

進捗状況:(1)新たな各種資格取得講座について検討したが就職指導課としては実施困難なため、学科独自で開講している資格取得講座の受講を推奨している。(2)教員採用試験対策講座を開講し、教科ごとに教員採用試験過去問題及び学習指導要領の解説、模擬集団面接を行い、数学5名、理科4名、技術2名、工業15名の受講があった。短期では効果が表れにくい、難関突破への一助となった。(達成度:A)

○工学部

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)等に対する学生生活環境の安全・安心の確保

事業概要:工学部キャンパス内放射線量の一層の低減化や内部被曝を防止するための取組などを実施する。

進捗状況:外部被曝対策としてキャンパス内における空間放射線量の測定及び測定結果の公開、内部被曝対策として学内上水道や学生食堂で取り扱う食材・調理品の放射性物質の測定及びその結果の公開を定期的に行っている。(達成度:A)

- 事業計画:大規模災害に対応できるキャンパスの整備

事業概要:大規模災害に備え、大学-学生間の連絡・通信網の整備・構築や震災対応のための防災用備品の整備を図る。

進捗状況:震災対応のため、防災マニュアルの作成や震災備品を計画に則り整備した。大学-学生間の連絡の補完資料として、全学生に対して「学生連絡先カード」の提出を求めた。日本大学が構築した安否確認システムの導入を検討しているが実施には至っていない。(達成度:B)

- 事業計画:JABEEの継続

事業概要:平成21年度に土木工学科がJABEE受審。

進捗状況:平成24年度も土木工学科においてJABEEを継続し、教育システムの見直し及び改善に努めている。(達成度:A)

- 事業計画:人材の養成

事業概要:履修歴の異なる新入生の基礎学力向上を目指し、入学前教育及びリメディアル教育を行う。

進捗状況:リメディアル教育において、教材の見直しを行った。平成25年度から英語及び数学においては教材の見直しを行い、さらに、国語の重要性に鑑み、平成25年度のプレテストから国語を新たに追加し、正規授業として「国語表現基礎」を設置することとした。(達成度:A)

- 事業計画:高大連携・オープン講座の推進

事業概要:日大東北高校をはじめ、協定校である工業科を有する福島県立高等学校12校との連携事業を充実させて、志願者確保に努める。

進捗状況: 県内連携高校(12校)との高大連携講座では、8講座を開講し、延べ218名の高校生が受講した。隣接する東北高校とのオープン講座では7講座を開講し、延べ1,246名の高校生が受講した。また、3年生の工学部進学予定者を対象に進学学科ごとの特別授業を16講座開講した。これにより、工学への理解及び進路選択の一助となった。(達成度:A)

- 事業計画:工学部独自の奨学金制度の整備・拡充
事業概要:平成24年度は工学部第4種奨学金制度を新設する。

進捗状況:学生が経済的に安心して学べる環境確保のために新設された工学部奨学金(第4種)が平成24年度より運用された。平成24年度は、2~4年次生各12名の計36名が奨学生となり、1人当たり36万円が給付された。(達成度:A)

- 事業計画:多様な学生に社会人として必要な能力を備えさせるための学生支援システムの構築

事業概要:社会人として必要な能力を備えさせるため、学生と教員の接点が多くなるようなシステムを構築する。

進捗状況:映画鑑賞、体育祭、外国人留学生懇親会を実施した。未実施となった食育については、平成25年度実施に向けて、学生生活委員会を中心に企画を進めている。(達成度:B)

- 事業計画:ヨーロッパ研修旅行

事業概要:全学生を対象に参加者を募り、約2週間の日程でヨーロッパ諸国を視察する。

進捗状況:「海外の文化や史跡などに触れ、世界観を養う」ことを目的に、ヨーロッパ研修旅行を企画し、学生40名の参加を得て、平成25年2月20日から3月5日の14日間研修旅行を実施した。(達成度:A)

- 事業計画:インターシップの拡充

事業概要:企業等学外のような機関で実務実習を行わせる。

進捗状況:インターシップの申込件数51件(平成23年度62件)、申込人数42名(同58名)、受入人数43件(同53件)、受入企業数33社(同31社)であった。申込件数、申込人数、受入件数ともに平成23年度と比べ減少したが、学生自らが受入企業を探してくる傾向にあり、専門性を活かした実習を行い、参加学生の満足度は高い。(達成度:A)

- 事業計画:デジタル化に伴う図書館新サービスの構築

事業概要:学術資料のデジタル化に伴う新たな利用者サービスの構築を図る。

進捗状況:平成23年度まで購入していた学術雑誌について、学内LANにより閲覧できるよう、電子ジャーナルに切替えるべく本部と連携して作業を進めている。(達成度:B)

- 事業計画:学科再編の検討

事業概要:工学系志願者層の現状と現行学科の学問分野における社会情勢を見据え、新学科設置を検討する。

進捗状況:「VISION2020検討委員会」において、新学科設置との結論を得たので、学部長に答申を行った。(達成度:A)

- 事業計画:学習支援システムの充実及びサービス環境改善

事業概要:平成24年度は学生サービス向上の観点から「証明書自動発行機」を導入する。

進捗状況:平成24年度に証明書自動発行機を導入し、運用試験を終了した。平成25年度からの運用、サービス環境の改善を図る予定である。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:教養講座

事業概要:各界の著名人を講師として招き、講演会を開催し、一般市民にも開放する。工学部の伝統的文化行事の一つ。

進捗状況:5月10日~6月18日にかけて松木安太郎氏、山崎直子氏、沢知恵氏、川口淳一郎氏を講師に招き計4回の教養講座を開催した。聴講者は延べ2,180名、うち市民の聴講者は361名であった。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:工学部キャンパス内の放射線量低減化への取組

事業概要:キャンパス内の放射線量低減化に向けたシステムを構築する。

進捗状況:平成23年度に実施したキャンパス内の放射能除染の実績を活かして、キャンパスにおける最適な除染方法を確立し、除染を実施した結果、空間放射線量を大きく低減させるなどの成果が得られ、ホームページ上で公開した。今後、さらなる放射線量の低減を検討する。(達成度:A)

- 事業計画:キャンパス環境保全対策

事業概要:原発事故によって汚染された施設の除染活動を徹底する。

進捗状況:平成23年度に引き続き、新設グラウンド等の体育施設の表土除去工事を行った。また、外溝・舗装面の高圧水洗浄や芝生の張替え、教室棟の屋外デッキの洗浄や撤去作業、構内樹木の剪定作業などを行い、除染活動を徹底した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:風評・不安払拭の各種広報戦略の展開

事業概要:原発事故に起因する風評・不安を払拭する広報活動を展開する。

進捗状況:原発事故による風評被害払拭を目指し、学部紹介のTV番組放映(「福工学」全13回)、入試の戦略拠点となる仙台での広告看板の設置等を行い、オープンキャンパス参加者数及び志願者数の回復の一端を担った。(達成度:A)

- 事業計画:入試広報の充実

事業概要:業者に委託しているweb学生募集広告をはじめ、雑誌広告、学部パンフ等の内容の充実を図る。また、テレビCM、高校訪問等を積極的に展開する。

進捗状況:風評被害により減少した志願者を呼び戻すため、オープンキャンパスの告知CM、JR中吊り広告、WEBや雑誌・新聞及びDMによる学部紹介の広報等を積極的に展開し、オープンキャンパス参加者数及び志願者数の回復の一端を担った。(達成度:A)

- 事業計画:各種国家試験対策の充実

事業概要:公務員試験対策講座を充実させる。

進捗状況:(1)国家公務員一般職の専門試験学習のために、解答の解説を例年どおり作成し、CSNaviで公開していつでもどこでも閲覧可能としている。また、工学部校友会と連携し、県庁勤務の本学部OBによる特別講演(公務員の役割と心構え、採用試験のポイント等)を開催し、公務員志望者の増大を目指した。(2)本部企画の公務員模擬試験を実施し、第1回の申込者33名(平成23年度54名)、受験者30名(同53名)、第2回の申込者35名(同55名)、受験者31名(同50名)であり、受験者は延べ61名(同103名)で平成23年度と比べ減少した。(3)公務員合格者は国家一般職0名(平成23年度1名)、地方公務員35名(同27名)、警察官14名(同8名)、消防官2名(同4

名),その他公務員 11 名(同 7 名)の計 62 名(同 47 名)であり,平成 23 年度より 31.9%増員することができた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:老朽化による施設の改修
事業概要:老朽化に伴う施設・設備の改修工事を行う。
進捗状況:老朽化した施設・設備への対策として,本館防災設備の更新工事,54 号館の屋上防水工事及び便所改修工事を行った。また,視聴覚設備の老朽化・陳腐化への対応として,70 号館 4 教室の CALL システムを更新した。(達成度:B)

【財政】

- 事業計画:東京電力(株)に対する賠償請求等の申請
事業概要:原発事故による施設の除染費用及び風評による損害等について賠償請求を申請する。
進捗状況:東京電力に対し風評被害による志願者・入学者の減少による収入減,除染対策等による支出増等の逸失利益に対する損害賠償請求を行い,第 1 回請求分 1,984 万円で合意した。現在,第 2 回請求分として 4 億 5,224 万円を請求中である。(達成度:B)
- 事業計画:学外研究資金の積極的獲得
事業概要:科学研究費補助金,企業等からの研究奨励寄付金・委託研究費を積極的に獲得する。
進捗状況:平成 24 年度科学研究費補助金については,34 件(新規・継続),69,420,000 円と工学部過去最高の結果を出すことができた。また,委託研究,研究奨励寄付金については,文部科学省地域イノベーション事業の採択などにより,多くの研究費を獲得している。さらに,文部科学省最先端・次世代研究開発プログラム事業,JSTA-STEP 事業の獲得等,学外研究資金については,平成 23 年度に比べて大幅に増加する結果となった。(達成度:A)
- 事業計画:引当資金への積極繰入れ並びに本部総合運用制度の積極的活用
事業概要:冗費節減に努め,資金の効率的運用を図る。
進捗状況:平成 24 年度の新入生は原発事故の影響により入学定員を約 100 名割った。そのため,大幅な減収を見込み,事業計画の見直しを行って収支の均衡を図ることに努めることとし,本部総合運用制度への繰入れを見送った。(達成度:D)

○工学研究科

【経営(管理運営)】

- 事業計画:大学院における収容定員の充足を図る
事業概要:収容定員充足に向けて,入学試験制度の見直しや,教授方法の改善を図る。
進捗状況:成績優秀者の大学院進学を確実なものとするため,入試制度の見直しを行い,平成 25 年度においても継続して協議することとした。(達成度:C)

○工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:戦略的研究基盤形成支援
事業概要:(1)文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の対象事業としてロハスの工学に関する研究を新規申請する。(2)文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の対象事業として医療工学系の 2 つの大型プロジェクトを展開する。
進捗状況:(1)「福島県発の災害に強く自立共生が可能な住環境の創成に関する研究」をテーマに新規申請し,採択された。これにより 3 年間の研究プロジェクトが開始されている。(達成度:A)(2)上記プロジェクトは 4 年目を迎え,研究が進められている。平成 24 年 10 月には平成 23 年度の研究成果報告会を開催し,約 80 名の参加者を得た。また,このプロジェクトの成果の 1 つとして,公益大学法人福島県立医科大学を代表機関とする文部科学省地域イノベーション事業も行われ,本大学での更なる研究が推進されている。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:イノベーション・センターの研究成果の結実と地域貢献
事業概要:産学官連携の下,ものづくり系の新事業創出を支援する。
進捗状況:平成 22 年度からイノベーション・センターの運用負担金 60 万円を拠出している。平成 23 年度に引き続き郡山地域の技術者養成講座として,マスターズ・カレッジを開講した。イノベーション・センターでは,本学部教員と企業との間で共同研究等の実績が挙げられている。(達成度:A)

医学部・医学研究科・医学部附属看護専門学校

○医学部

【教育研究】

- 事業計画:「大学病院連携高度医療人養成推進事業」への参加(群馬,信州,独協医科,埼玉医科及び本学の 5 大学が連携した医療人養成プログラム)
事業概要:5 大学が連携し,各大学病院及び関連病院を循環しながら幅広く研修を行い,専門医を取得することができる「医師キャリア形成システム」を構築した。平成 20 年度に文科省大学改革推進事業に採択された 5 年間の事業である。
進捗状況:事業最終年度の平成 24 年度は,50 件を超える交流実績を達成した。大学間の垣根を取り払って,連携して若手医師のスキルアップを支援することができた。また,各大学で担当テーマを設定し,現在の問題点や今後の課題についての指針を示すことができた。(達成度:A)

- 事業計画:東日本大震災に伴う特別措置
事業概要:被災し,経済的に修学が困難になった学生に対し,学費の減免を行う。
進捗状況:被災した学生 2 名に対し,被災状況に応じて,学費全額又は半額の減免を行った。(達成度:A)
- 事業計画:医学部特定医療奨学金など奨学金等制度の整備
事業概要:有為な人材の育成,確保を通して,医療の質の向上を図り,また付属病院の医師不足解消を図る。
進捗状況:今年度,1 名を新規に採用して貸与を開始した。また,今年度,初期臨床研修を修了した 2 名が大学院医学研究科に入学し,外科系産婦人科学(産婦人科専門医取得プログラム)を履修し,産婦人科医の育成に寄与した。(達成度:A)
- 事業計画:選択臨床実習の充実

事業概要:平成23年度から6年次選択臨床実習を開始し、実習時間の拡大による臨床実習の充実を図った。平成24年度以降はコース内容の充実を図る。

進捗状況:平成24年度選択臨床実習では、新たに学外コースで7コース(川口医療センターで、消化器内科コース、循環器科コース、呼吸器内科コース、脳神経外科コース、産婦人科コース、神経内科コースの6コース。春日部市立病院で小児科コースの1コース。)を設置した。地域医療を学ぶ機会となる学外コースの増設により、選択臨床実習の充実が図られた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:学生サークル活動の一環として保育園・幼稚園での保健教育活動を実施

事業概要:保育園や幼稚園で保健教育の普及を図る。

進捗状況:近隣の保育園及び幼稚園並びに学園祭の企画において、子供達に医療に対する親しみと健康に対する意識を育み、また保護者に対して、食育や小児保健教育の普及にも努めた。(達成度:A)

- 事業計画:山岳部が夏季休暇中に徳澤診療所で奉仕活動を行う。

事業概要:診療所において登山者の傷病対応の補助をボランティアとして参加する。

進捗状況:7月20日から8月19日にかけて、長野県にある徳沢診療所を開設し登山者の傷病対応の補助を行った。また、その活躍が信濃毎日新聞に取り上げられた。(達成度:A)

- 事業計画:学園祭企画で、来場者への健康チェック及び救命処置の体験

事業概要:来場した近隣住民等に対し、血圧、骨密度、肺機能、脈波、血管年齢、BMI等の検査を実施し、健康に対する意識の向上を図る。また、心臓マッサージやAEDの操作体験を通して救命処置の普及を図った。

進捗状況:平成24年度翠心祭企画の1日総合病院において、近隣住民等の来場者413名に対して各種健康診断検査を実施した。また、一時救命措置の手技やAEDの操作体験ブースを設け、救命処置の普及に努めた。(達成度:A)

- 事業計画:公開講座の開設

事業概要:地域社会に有用な学習機会の提供及び最新の医学・医療情報の地域への還元。

進捗状況:板橋区との共催による公開講座を開設し、全8回を実施した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:志願者増を図るための事業計画

事業概要:「経済財政改革基本方針2008」(平成20年6月27日閣議決定)を踏まえた地域や診療科の医師確保の観点から、平成21年度入学定員の増員(10名)が文部科学省に認められ、募集人員が110名から120名となったことを踏まえ、ホームページ等を用いたPRを推進する。また、医学部主催のオープンキャンパスの更なる充実及び大学主催の進学相談会や日本私立医科大学協会主催の進学相談会への積極的な参加を行う。

進捗状況:オープンキャンパスの実施、大学主催進学相談会や日本私立医科大学協会主催進学相談会等へ参加を通じ、本学部志願者への直接的なアピールが奏功し、平成25年度入学試験の志願者数は大幅に増加し、平成24年度入学試験に比べ、762名増となった。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:大学院棟解体工事

事業概要:耐震診断により、構造上の危険性が指摘された大学院棟ビロイ部分を解体する工事を実施する。

進捗状況:当該建物の安全性向上に資する大学院棟一部(ビロイ部分)解体工事を完了した。(達成度:A)

- 事業計画:臨床講堂及び図書館棟の耐震診断実施

事業概要:臨床講堂は昭和50年度、図書館棟は昭和54年度の建築であり、いずれも新耐震基準の施行(昭和56年)新耐震基準施行以前に建築された建物であるため、耐震診断を実施する。

進捗状況:臨床講堂及び図書館棟について、今後の耐震対策の指針となる耐震診断を完了した。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:医学部における本部からの借入金計上

事業概要:人件費等の経費増に伴う資金不足のため、本部より15億円の借入金を計上した。

進捗状況:15億円の予算計上が承認された。7月以降、支払資金不足のために計19億円を一時借入れしており、このうちの10億円を3月下旬に返済することで差額の9億円の借入金が残る予定である。(達成度:A)

○医学研究科

【教育研究】

- 事業計画:横断型医学専門教育プログラムの充実

事業概要:大学院教育と並行して専門医資格取得に必要な指導を行う横断型医学専門教育プログラムの開設・推奨(平成20年度開設、4年目)。平成24年度以降はコース内容の充実を図る。

進捗状況:平成24年度大学院履修要項(横断型医学専門教育プログラム)から、日本専門医制評価・認定機構が認定する専門医資格以外に指導可能な資格リストを明記し、プログラムの内容の充実を図った。(達成度:A)

○医学部・総合医学研究所共通

【教育研究】

- 事業計画:研究活動(1)外部資金・公的資金の獲得を目指した研究活動(2)戦略的研究基盤形成支援事業の遂行による先端的医学研究の実践(3)大学の総合性を活かした研究プロジェクトへの参画(4)研究活動状況とその成果に関する情報公開の促進

事業概要:(1)外部資金・公的資金の獲得を目指した研究プロジェクト及びその遂行による研究活動の活性化。(2)最先端の研究のための環境整備及びその実施。(3)学際的研究の実現及び研究活動の新たな創成への期待。(4)情報公開による社会的説明及び国際的情報発信。

進捗状況:(1)科研費等の公的資金による採択状況は、件数・金額ともに昨年度より増加した。(2)戦略的研究基盤形成支援事業では、継続の3課題に加え、新たに1課題が選定された。(3)総長特別研究・理事長特別研究の採択により、学部連携による学際的研究を開始した。(4)研究者情報システム入力促進により、研究活動に関する情報を公開している。(達成度:A)

- 事業計画:国際交流(研究)(1)外国人研究員の積極的な受入れ(2)海外を研究対象とする国際的研究への参画

事業概要:(1)人的な国際交流に基づく研究の国際化の推進。(2)国際的研究を通じた国際交流の促進。

進捗状況:(1)海外研究者招へい制度及び本学研究員等の活用により、外国人研究者を受け入れた。(2)国際共同研究契約の新たな締結があり、国際的研究における今後の示唆が得られた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:特許・技術移転の促進－NUBIC との更なる連携による技術移転の促進
事業概要:技術移転等における研究ニーズと社会ニーズとのマッチングの促進。
進捗状況:知的財産によるNUBICとの連携の下,研究成果の実用化及び技術移転の促進に向けた取組を継続的に実施している。本年度も研究成果展開事業の新規採択があり,新たに事業を開始することができた。(達成度:A)
- 事業計画:特許・工業所有権の取得－特許等への出願を目指した研究の推進
事業概要:研究成果による特許取得可能性の導出及びその応用・実用化を通じた社会貢献。
進捗状況:共同研究・受託研究の積極的な受入れにより,特許出願を見据えて模索している。関連する外部資金への申請を検討する中で,特許出願への促進を継続的に図っている。(達成度:B)
- 事業計画:産官学連携一寄附講座及び共同研究・受託研究の推進による産官学連携の活性化
事業概要:産官学連携に基づく研究内容とその成果の共有・還元及び大学としての社会貢献の増大。
進捗状況:既存の寄附講座における更なる進展及び設置期間延長等によって,産官学連携の新たな取組を導出することができた。(達成度:A)

○総合医学研究所

【教育研究】

- 事業計画:医学研究支援部門の効率的活用に向けた検討
事業概要:研究ニーズとの有機的結合による研究活動の更なる活性化。
進捗状況:効率的活用に向けた継続的な検討に加え,研究施設・機器等の説明会及び研究者からの相談会を随時実施することで,研究活動の活性化を目指した研究ニーズの把握に努めている。(達成度:A)

○医学部附属看護専門学校

【教育研究】

- 事業計画:新カリキュラム(平成21年度実施)の教育体制,教育内容に対する評価を実施し,評価結果に基づいた改善・充実を図る。また,看護の実践者を育成する教育環境の整備強化を行う。

歯学部・歯学研究科・歯学部附属歯科技工専門学校・歯学部附属歯科衛生専門学校

○歯学部

【教育研究】

- 事業計画:歯学系共用試験への対応と実践(臨床実習開始前における共用試験の実施と環境設備の整備)
事業概要:臨床実習開始前における共用試験の実施と環境の整備。
進捗状況:共用試験の実施により,医療人として必要な知識,問題解決能力,基本的技術及び適性・態度について評価を行い,臨床実習教育現場での臨床能力の向上に繋がった。教育上の更なる効果を図るため,共用試験の実施を第5学年から第4学年に変更し,これに伴い第3学年次配当科目も一部変更した。また,試験実施に伴う評価

事業概要:(1)校内実習時のモデル人形等実習機材を充実させ,臨床実践能力の向上を図る。また東京都補助金の獲得を計画する。(2)専門分野の科目に演習時間を増やし必要な機材を設置するとともに東京都補助金の獲得を計画する。(3)統合実習・看護技術項目の卒業時の到達度を導入し,教育内容・方法を改善し,看護実践能力の充実を更に図る。(4)授業評価を実施する。

進捗状況:(1)吸引モデル等東京都補助金で購入し,繰り返し技術練習が可能となった。しかし既存のモデル機材の老朽化により更新が必要で計画的に予算化する。(2)DVDを東京都補助金で購入し,演習時に使用した。また模擬患者によるロールプレイを実施した。(3)卒業時の到達度を明確にし,技術経験録でチェックすることで,評価が明確になり未経験技術の対応を図り,未経験技術は減少した。(4)講義担当者及び実習場に開示することで次の授業へ反映することができた。(達成度:B)

【社会貢献】

- 事業計画:付属病院臨床指導者勉強会,東京都看護教員養成研修生の演習講義,教育実習生への指導,日本大学通信教育部生への介護体験指導等の実施
事業概要:(1)付属2病院の臨床指導者勉強会及び日本大学通信教育講義を年2回実施。(2)東京都看護教員養成研修生2名を演習講義及び実習指導の教育実習を3週間実施。
進捗状況:(1)付属2病院の臨床指導者勉強会を実施することで実習目標の共有と臨床との密接な連携が維持されている。通信教育部の講義は,看護学校の広報につながり教員は専門領域の授業の質向上に結び付いた。(2)東京都看護教員養成研修生は定員割れにより依頼が中止された。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:入学試験日程を3期に分け実施することで入学志願者の増加を図る。
事業概要:本校,付属高校及び一般高校や予備校主催の説明会を実施し,ホームページで広報活動を行う。
進捗状況:本校での学校説明会を2回実施。付属高校12校,一般高校4校,予備校主催2回実施。ホームページは学校行事等随時更新した。入試志願者数は昨年度より増加した。(達成度:A)

者については,数回のワークショップに参加し育成を図った。(達成度:A)

- 事業計画:歯科医療人養成の基礎教育プログラムの実践
事業概要:学生への早期体験実習や少人数によるティートリアル形式の教育による幅広い視野と総合的な判断力の習得
進捗状況:低学年時からの体験実習を通して,医療人としての自覚や職業意識を備え付けた。また,少人数によるティートリアル形式の教育から自己学習能力と問題解決型の総合判断力を養う基礎を育成した。(達成度:A)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置

事業概要:東日本大震災により、学費支弁者の居住する家屋が全壊・半壊等になった者及び福島第一原子力発電所事故により、学費支弁者の居住する家屋が警戒区域・計画的避難区域内に含まれる者に対する授業料等の免除措置。

進捗状況:(1)全壊等に伴う特別措置4名28,800千円(2)半壊等に伴う特別措置6名16,150千円(3)原発事故に伴う特別措置1名4,700千円。(達成度:A)

○事業計画:臨床実地問題への対応と実践

事業概要:臨床実習で学んだ症例、知識及び技能の復習と国家試験への対応。

進捗状況:国家試験過去問題(過去5年間)をCD-Rに収め、学生及び教育診療医へ配付し、臨床実習教育の充実を図る。また、CD-Rの中から問題を抽出し、第1~5教育診療科ごとに毎月試験を実施することで学生の理解度をチェックした。(達成度:A)

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(口腔感染を誘因とする難治性全身疾患発症機序の解明と疫学調査拠点形成)

事業概要:歯周病を誘因とする難治性全身疾患の発症機序の解明とその治療法の開発、東南アジアにおける免疫学調査を実施する。

進捗状況:内因感染症がエイズ進展に深く関与している事、エイズ治療において日和見感染症の治療が重要である事を示した。歯周病がEBV感染症の進展にも影響を及ぼす事を報告し、開発した制限酵素末端断片長解析法(T-RFLP)の改良に取り組み、感度と正確性を格段に向上させることに成功した。歯周病が肥満の原因となることを、世界で初めてのホト研究により明らかとした。(達成度:A)

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

事業概要:難治性慢性口腔感覚異常のより効果的な治療法確立を目指した研究拠点形成。

進捗状況:本事業は最終的には不採択になったが、平成25年度には「細胞移植による口腔感覚機能回復を目指した基礎研究の拠点形成」とより発展的な研究内容にして再度応募中である。(達成度:D)

○事業計画:本大学の海外学術交流協定校である山東大学との「研究者・大学院生の派遣及び受入れに関する申し合わせ」による学術交流の推進

事業概要:学生及び研究者の学術交流の推進を行う。

進捗状況:覚書に基づく事業は次のとおりとなる。①山東大学歯学部准教授の受入れ。期間:平成24年8月1日(水)~8月31日(金)受入講座:歯科保存学第Ⅲ講座②山東大学歯学部准教授受入れ。期間:平成24年9月1日(土)~9月22日(土)受入講座:歯科矯正学講座。(達成度:B)

○事業計画:学内研究費による研究活動の推進

事業概要:①学内研究費である佐藤研究費、上村安男・治子研究費を給付することにより、研究活動の推進を支援する。②研究成果の学内外への発信を目的に「日大歯学」「Journal of Oral Science」「歯学部紀要」「研究業績集」「総合歯学研究所研究費研究成果物報告集」を発行する。進捗状況:①佐藤研究費は26件に総額2,500万円、上村安男・治子研究費(短期研究)は3件に総額840万円を給付した。なお、受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められる。②平成24年度は次の冊子等を作成し、教員に配布した。(1)日大歯学第86巻1号~3号(2)Journal of Oral Science 第54巻1号~4号(3)歯学部紀要第40号(4)総合歯学研究所研究費研究

成果物報告集(CD-ROM)(5)研究業績集(講座別)上記(1)~(4)は関係機関に郵送。(1)・(2)は歯学部ホームページ上に開示。(2)はJ-Stage(科学技術情報発信・流通総合システム)に掲載することにより、広く社会に公表している。(達成度:A)

○事業計画:大学院歯学研究科研究費における共同研究(B)による研究の推進

事業概要:大学院歯学研究科研究費を専任教員に対し給付することにより、共同研究における研究活動の推進を支援する。

進捗状況:大学院歯学研究科研究費(共同研究B)は5件に総額1,000万円を給付した。なお、受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められ、その後、研究成果報告集としてとりまとめられる。(達成度:A)

○事業計画:「大学院歯学研究科研究費」における学生研究費による研究の推進

事業概要:大学院歯学研究科研究費を大学院生に給付することにより、学生の研究活動の推進を支援する。

進捗状況:大学院歯学研究科研究費(学生研究費)は74件に、総額740万円を支給した。なお、受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められ、その後、研究成果報告集としてとりまとめられる。(達成度:A)

○事業計画:総合歯学研究所研究費における研究費(A)、研究費(B)による研究の推進

事業概要:研究費は(A)競争的資金としての性格を持たせることにより、研究者の研究レベル向上に与する。研究費(B)は各講座における研究活動の推進を支援する。

進捗状況:研究費(A)は2件に総額480万円を給付した。研究費(B)は各講座1件を採択し、24件に総額1,200万円を給付した。なお、受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められ、その後、研究成果報告集としてとりまとめられる。(達成度:A)

○事業計画:企業等からの委託研究の積極的な受入れを推進し、併せて本部研究推進部知財課との連携を図る。

事業概要:企業との委託研究による製品開発、特許申請等研究成果の社会への還元を図る。

進捗状況:産官学知財センター経由の本学部のロイヤリティ実績は160,458,663円であった。(達成度:A)

○事業計画:奨学金給付制度の充実

事業概要:歯学部同窓会奨学金基金の創設により、佐藤奨学金を有効活用する。

進捗状況:歯科技工専門学校及び歯科衛生専門学校の第2・第3学年2名ずつ計4名の優秀な人材の学生に佐藤奨学金給付を行った。(達成度:A)

【社会貢献】

○事業計画:公開講座(年2回)の実施

事業概要:身近な話題や時事をテーマとして選定することにより、歯科医療の枠にとらわれない講演会の実施が可能となり、多数の地域住民から好評を得ている。

進捗状況:講演テーマは「口の健康を守ろう!~歯科から見た喫煙の害~(平成24年6実施,参加人数70名)」「福島第一原発事故から1年8ヶ月~現状と課題~(平成24年11月実施,参加人数70名)。(達成度:A)

○事業計画:生涯学習講演会(年2回)の実施,医療従事者を対象とした卒業後における継続的な学習機会の提供

事業概要:医療従事者を対象とした卒業後における継続的な学習機会を提供している。

進捗状況:講演テーマは「今、インプラント治療に求められているもの—NHK クロスアップ 現代を考察する—」(平成24年10月実施,参加人数50名),「高齢者に対する摂食機能療法における歯科病院としての取り組み」平成25年3月実施,参加人数53名。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:電力消費削減の実施
事業概要:東京都の基準排出量削減義務に従い,特定温室効果ガスを削減する。
進捗状況:省エネルギー推進委員会を中心とし,節電や特定温室効果ガス削減の周知を徹底した。(達成度:B)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:志願者増を図るための進学相談会の実施
事業概要:受験対象者及び父母に対し,本学部大会議室を使用した資料閲覧や,教職員による個別相談,施設見学を行う。
進捗状況:①歯科理工専門学校一年間4回の実施予定であったが,単独開催を3回追加することで入学者確保に努めた。②歯科衛生専門学校一年間4回実施したほか,個別の学校見学者対応も積極的に行い,入学者確保に努めた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:歯科病院建替工事(歯学部創設100周年記念事業)
事業概要:当初,老朽化した歯科病院を建て替える計画をしていたが,駿河台病院と隣接する本学部2号館(歯科病院)の両敷地を一括使用して新校舎(歯科病院併設)を建設することとなった。
進捗状況:新病院建設の設計業者が決定し,歯学部新校舎基本計画策定委員会を中心に具体的に検討中。(達成度:B)
- 事業計画:医療コンピュータシステム開発放射線画像フルデジタル化,電子カルテシステム強化及びサーバの入替えを行う。
事業概要:①放射線画像フルデジタル化。②電子カルテシステム強化。③老朽化端末,サーバの入替え及び増設。
進捗状況:①放射線画像が一元管理となっており,データ転送が可能となっている。②プログラムの強化を図り,入院

システムの改造,患者の承諾書の追加,レポートの表示機能の開発により,医療の質及び患者サービスの向上が図られた。③現電子カルテシステム端末を43台と放射線サーバの入替えを行い,演算速度を高め業務の効率化と安定稼働を実現した。(達成度:A)

- 事業計画:1号館 ビジネスホン更新工事
事業概要:メーカーの部品供給停止に伴い,老朽化したビジネスホン主装置及び電話機を更新する。
進捗状況:工事は,平成24年7月7日に着工し,平成24年7月27日に完成。(達成度:A)
- 事業計画:1号館 外壁調査工事
事業概要:老朽化した1号館の外壁が欠落しないか調査する。
進捗状況:外壁調査と改修を同時にできないか再検討することとした。(達成度:D)
- 事業計画:2号館 受変電設備改修工事
事業概要:経年劣化に伴う機能不良箇所があり,法定点検時に指摘されているため整備する。
進捗状況:工事は,平成24年12月16日に実施。(達成度:A)
- 事業計画:2号館 講堂,大診療室1系統冷温水機一次ポンプインバート制御化工事
事業概要:冷温水機ポンプのインバート制御化により省エネを図る。
進捗状況:工事は,平成24年7月12日に着工し,平成24年7月16日に完成。(達成度:A)
- 事業計画:3号館 第5~8講堂照明器具改修工事(各講堂の照明器具をLED化する。)
事業概要:各講堂の照明器具をLED器具に取り替え,省エネを図る。
進捗状況:工事は,平成24年8月6日に着工し,平成24年8月21日に完成。(達成度:A)
- 事業計画:3号館 ホン消火設備用容器弁及び貯蔵ボンベ交換工事
事業概要:消化設備点検要領の改正により,経年により劣化した設備を整備する。
進捗状況:工事は,平成24年10月6日に実施した。(達成度:A)

松戸歯学部・松戸歯学研究科・松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

○松戸歯学部

【教育研究】

- 事業計画:教育・学習総合センター
事業概要:学生教育の質を高めるため,学習者の理解を促進するシステムを構築し,教育上必要かつ有効な情報及び教材を作成,提供する。また,教育・学習の基礎データを分析し,結果を教員並びに学生に還元する。
進捗状況:以下のようなことを実施し,学習支援に貢献。平成25年度カリキュラム編成のためのカリキュラム編成会議を立ち上げ,今年度のカリキュラムの問題点を考察し改善。現行コアカリと新コアカリ,歯科医学教授要綱のすり合わせ。各学年歯科医学総合講義の総合試験及び再試験の問題作成,ブラッシュアップ,印刷,採点,集計。学生個々の成績分布作成。学生連絡メールの管理。学習システム構築のための調査研究。(達成度:A)
- 事業計画:学習支援システムの構築

事業概要:学生個人の様々な情報をデータ化し,それを解析し,教員に学生学習支援の資料として提供するとともに,学生にもフィードバックし,自らの不得意分野を把握させ,勉学意欲を向上させるためのシステム。

進捗状況:学習システム,シラバス入稿システム,作問システム等を平成26年度からの稼働に向けて開発中。(達成度:A)

- 事業計画:特別研究生制度
事業概要:既卒者で歯科医師国家試験不合格者の学習をサポートする制度。
進捗状況:特別研究生在籍者のうち,平成17年度7人中7人,平成18年度3人中2人,平成19年度7人中6人,平成20年度17人中14人,平成21年度19人中8人,平成22年度11人中8人,平成23年度9人中8人と確実に半数以上の合格者を輩出しており,既卒者合格率のアップに貢献している。(達成度:A)
- 事業計画:若手研究者研究支援経費

事業概要:若手教員の研究を支援するための研究費を支給する。

進捗状況:若手研究者に研究費として5名に70万円を支給し、また13名に50万円を支給し研究遂行の一層の充実と若手研究者の育成を図った。(達成度:A)

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除3名、住居半壊:授業料等半額免除5名、原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期0名・後期0名。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:生涯研修
事業概要:松戸歯学部同窓会と連携し同窓会会員・非会員に対する定期的な研修会の開催。
進捗状況:平成24年度は8回開催。(達成度:A)
- 事業計画:公開講座
事業概要:平成24年度は2回開催。
進捗状況:6月「ここまで進んだ最新の入れ歯治療 みんなで知ろう!入れ歯とQOL」講師 日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学教授142名が受講した。10月「子供たちの健康な口腔環境のために～正しく噛むことで不正咬合を予防する～」講師 日本大学松戸歯学部歯科矯正学講座教授54名が受講した。(達成度:A)
- 事業計画:市民まつりへの参加
事業概要:松戸市、松戸市商工会議所が主催する市民まつりに松戸歯学部のブースを出展。地域行事に協力するとともに、市民に松戸歯学部をPRする。
進捗状況:歯科衛生士、歯科医師による歯みがき講習を行い、10月6日・7日の2日間で701名来場。(達成度:A)
- 事業計画:松戸市子ども発達センター摂食指導
事業概要:松戸市長の要請に基づき、同センターの摂食指導事業に対して教員(歯科医師)を派遣。
進捗状況:月2回定期的に歯科医師を派遣。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:教職員・学生等への節電・節水の啓蒙
事業概要:空調の設定温度に対する基準の設定(夏季28℃、冬季20℃)、夏季期間の軽装(ノーネクタイ)の義務付けなど。
進捗状況:教職員、学生全員で取り組んだ。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:校舎棟及び体育館併設食堂棟耐震補強その他工事
事業概要:学生の使用頻度の高い校舎棟及び体育館併設食堂棟の耐震補強工事を行うことにより、使用者の安全性の確保を図る。
進捗状況:平成25年3月13日竣工。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:教員定員数削減
事業概要:5か年計画(平成23年度から)に基づき、平成27年度末までに教員定員数を149名にする。

進捗状況:新規採用専任教員の抑制に努めた。(達成度:B)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:第3号基金組入れ
事業概要:教育研究基金等の組入れ。
進捗状況:すべて目標額に達している。(達成度:A)

○松戸歯学研究科

【教育研究】

- 事業計画:平成20年度～平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
事業概要:口腔機能の維持・機能再生の分子基盤の確立を視野に骨並びに歯の形成制御機構の解明、そのために必要な足場となる新材料の開発と同時に、口腔環境の健康維持に必要な唾液分泌機構、感染制御機能を明らかにし、臨床応用を目指す。
進捗状況:「基質機能研究班」と「口腔環境機能研究班」に大別し、その各研究班にはさらに分化した研究班(歯の形態形成研究班、口腔形成遺伝子研究班、骨形成研究班、新材料研究班、唾液腺機能研究班、口腔環境機能研究班)を配して、分子生物学手法を用いた口腔器官・組織の機能維持に向けた高度な研究を遂行した。(達成度:A)
- 事業計画:記載なし
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名、住居半壊:授業料等半額免除0名、原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期1名・後期1名。(達成度:A)

○松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

【教育研究】

- 事業計画:実習用ユニットの整備
事業概要:基礎実習室の実習用ユニットを増設する。
進捗状況:予算の関係からユニットの増設はできなかったが、故障中のユニットの修理を実施し、稼働台数を増やした。(達成度:B)
- 事業計画:高等学校訪問
事業概要:各高等学校への積極的な啓蒙活動の実施。
進捗状況:松戸市近郊の高等学校を訪問し、進学説明会・進路ガイダンス(模擬授業)を行った。(達成度:B)
- 事業計画:臨地実習現場の開拓
事業概要:幼稚園・小学校・中学校・保健センター等での実習実施。
進捗状況:歯科衛生士として必要な知識と技術を修得させることを目的として、新たな臨地実習現場の開拓のため、幼稚園・保健センター等を訪問し、実習先の拡充を図った。(達成度:B)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除1名。(達成度:A)

生物資源科学部・生物資源科学研究科・獣医学研究科・短期大学部 (生物資源学科)

○生物資源科学部・短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:学部・短大教育研究設備の充実
事業概要:老朽化した教育設備の取替更新。
進捗状況:年次計画により音響・映像システム等の更新を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:大型研究プロジェクトの検証と改善
事業概要:重点領域研究の促進と若手研究者の育成。
進捗状況:平成22年度に設立した生物資源科学部学術助成研究費により研究活動を行うことができる個別研究や、総合研究、拠点等を中心として研究を遂行していく大型研究に区分し、若手研究者の育成や、限られた領域に重点を置く研究が実行できる研究体制が整っている。(達成度:A)
- 事業計画:研究業績評価等に基づく研究費配分方法の検証
事業概要:外部資金の獲得実績や研究業績による研究成果(傾斜配分)導入後の検証。
進捗状況:平成20年度に改正した基準により、今年度も効果的な成果研究費を配分し、個人の研究への更なる発展を促した。(達成度:A)
- 事業計画:研究支援センターの設置と整備充実
事業報告:研究を総合的にサポートするセンターの設置。
進捗状況:研究支援センターは、外部資金獲得のために研究者への研究費公募情報の発信、研究費適正使用の確認、報告書の作成、応募等各種相談を行い研究者が円滑に研究活動を遂行するためのサポートを行っている。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア教育の具現化・推進と就職支援の強化
事業概要:キャリア教育の方針明確化、公務員試験、資格習得講座等の推進及び就職支援関連行事の強化。
進捗状況:1年次に選択科目「キャリアデザイン入門」(2単位)を開設した。(達成度:B)
- 事業計画:学部・短大教育の充実
事業概要:中高大連携教育、入学前教育(DVD教育の導入)、新入生基礎教育及びリメディアル教育の実施促進、単位認定制度の拡大。
進捗状況:入学前教育はDVD教育(通信添削方式による)を推薦入試及びAO入試の入学手続き者を対象に実施している。リメディアル教育は「生物」、「化学」等の科目において、既習熟度別の講義内容を総合教育科目で提供するとともに、一部の学科の専門教育科目においても習熟度別編成を行い、未履修者等に対応している。学習支援センターを開設し履修相談を中心に展開し、補修教育を提供している。(達成度:A)
- 事業計画:生物資源科学部後援会奨学金
事業概要:後援会からの寄付による奨学基金の増額と給付額の増額。
進捗状況:奨学基金の増額は行ったが、給付額の増額には至らず平成23年並みとなった。(達成度:B)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:被災在学者に対する授業料等免除。
進捗状況:(1)学部学生34名、(2)短期大学部学生1名、総額34,345,000円の特別措置を行った。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:学部ネットワーク設備更新
事業概要:老朽化した光ケーブル設備の取替更新。
進捗状況:未実施。(達成度:D)
- 事業計画:学生サービスに供する情報提供等の電算化システム
事業概要:学生基本情報を中心とした総合教育システムの構築。
進捗状況:平成22年度から稼動したWeb履修登録等のキャンパスネットワークシステムを拡張し、平成23年度はポータルサイトを構築した。平成24年度は出席管理システムを導入し、最終的な目標である学生カレッジ導人向けトータル学生システムの構築を目指す。(達成度:A)

○生物資源科学部

【教育研究】

- 事業計画:FD・SDへの組織的な取組
事業概要:教職員の研修会の開催、授業方法及びキャリア教育等に関する研究会の開催。
進捗状況:FD講演会及び男女共同参画推進事業として、意識改革講演会ロールモデル講演会等を計4回実施した。外部の方を講師に招き、内容は人権侵害防止、キャリア形成に関する経験談や、女性研究者の育成等をテーマとしたものであった。延べ約800名の参加者があった。また、SDは、夏季及び年末に研修会を実施し、各種セミナー出席者の報告、普通救命講習会を受講した。(達成度:A)
- 事業計画:フィールドサイエンス教育の充実
事業概要:フィールド実習(新入生対象)による新たな自然科学教育の実践。
進捗状況:平成18年度から導入されている「生物資源科学フィールド実習」において、本学部の付置施設である農場・下田臨海実験所・演習林・富士自然教育センターを活用し、学科の枠を超えて実体験型教育を実施している。参加者は年々増加の傾向にあり、今後も一層の充実を図る。(達成度:A)
- 事業計画:資料館の整備・充実
事業概要:資料館の改装による整備充実、展示物のデータベース化の推進。
進捗状況:標本の寄贈受入れ・作製・購入を行った。照明等展示用機材の整備・充実を図った。データベースは、公開に至らなかった。2回の企画展及び教職員向けの理科実験セミナー2回と、児童・学童を対象のむらさき草の丘サイエンスセミナー2回を行った。(達成度:B)
- 事業計画:教員組織の整備充実
事業概要:教育組織改革の推進、優れた教員の確保及び自己点検・評価の具現化。
進捗状況:執行部及び学科主任等で研修会を設け教員人事、カリキュラム等について検討をしている。(達成度:B)
- 事業計画:教育組織の見直し
事業概要:学科再編と新設の検討。
進捗状況:教育組織検討委員会を設置し教員組織に関する課題について検討、立案を行う。その他、人事委員会及び学務委員会、さらには自己点検・評価委員会と連携し、包括的かつ多面的に検討し教員養成の充実に努めるべく検討を行う。(達成度:B)

- 事業計画:生物資源科学部大森奨学金
事業概要:奨学基金の増額と給付額の増額。
進捗状況:奨学基金の増額は行ったが、給付額の増額には至らず平成23年並みとなった。(達成度:B)
- 事業計画:戦略的研究基盤形成支援事業への計画的参加
事業概要:研究拠点を形成する研究の支援に1件を継続申請。
進捗状況:戦略的研究基盤形成支援事業の継続が認められ、引き続き研究が進められている。また新たに平成25年度1件事業への参加が計画され、現在申請中である。(達成度:A)
- 事業計画:学習支援体制の強化・充実
事業概要:学習支援センターの運営と改善。
進捗状況:「生物学」及び「化学」を講義形式及び個別演習形式により実施し、リメディアル教育の充実を図っている。(達成度:A)
- 事業計画:学術協定校との国際交流の促進
事業概要:単位認定制度の拡大による国際教育・研究の促進。
進捗状況:単位認定制度の拡大は行わなかったが、交流は活性している。(達成度:B)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:家畜(動物)病院の整備・充実
事業概要:診療体制強化、診療収入の適正化、電子カルテの導入、研修医制度見直し。
進捗状況:(1)診療体制強化は、各科長の下、診療科目を細分化(19科目)し、より専門的な診療を目指した。診療件数は、前年度を若干上回る予定である。(達成度:B)(2)診療収入の適正化は、平成25年2月1日より、診療技術等の料金及び薬剤の料金を平均約20%値上げした(5年振り)ことにより、同僚大学と足並みをそろえることとなり、今年度は5%程度の増収が期待される。(達成度:B)(3)電子カルテの導入は、平成19年度からの継続事業であるが、入力作業を軽減するために音声入力導入を進めている。(達成度:C)(4)研修医制度見直しは、今年度の採用数を従来より少ない6名(前年度は8名)に抑え、全体では計28名(1~4年目)となった。全国レベルの獣医学教育改革運動(参加型臨床実習)実施に向け診療件数の増加を大幅に図る必要があり、今後も研修医人数の抑制を継続し、診療経験のある特任助教の採用に振り向ける方針である。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:60周年記念棟(仮称)、新1・2・3号館(仮称)新築工事
事業概要:既存建物撤去費及び新築工事費として計上。
進捗状況:予定どおり進行している。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:未利用校地の整備
事業概要:湘南校地に点在する小区画土地の交換等による整備。
進捗状況:小区画土地の一部については、藤沢市との土地交換を前提に検討を進めている。(達成度:C)
- 事業計画:東京校舎校地の有効利用等
事業概要:世田谷区(下馬・野沢)及び目黒校地の有効利用等。
進捗状況:日本大学全体での活用(新学部設置用地)に供すべく本部へ移管した。(達成度:A)

○生物資源科学研究科・獣医学研究科

【教育研究】

- 事業計画:大学院の改善
事業概要:TAシステムの強化、PD制度の充実、経済的支援の強化、組織の改変への取組。
進捗状況:TAの採用枠を拡大するとともに、管理体制の強化を図るべく努力した。経済的支援の強化については、特別研究生の出願資格を博士前期課程まで拡大するなど給付対象者の拡大を図り、これらの維持に努めている。またカリキュラムの充実を図るため、シラバスの記載内容充実の見直し、さらに学位授与までのプロセスの一層の明確化を目指す。(達成度:B)

○短期大学部

【教育研究】

- 事業計画:教育・学習方法支援体制の充実
事業概要:一学科教育体制の確立、多面的思考の養成と学習支援の強化による教育改善。
進捗状況:1年次におけるゼミナール及び「フィールド」科学実習を通して、少人数教育によるきめ細やかで学生と教員の対話型授業を多く採用し、学生個々のニーズに合った指導体制を構築し、さらに短大将来検討委員会を設置し検討した。(達成度:A)

薬学部・薬学研究科

○薬学部・薬学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:(1)学部-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除6名、住居半壊:授業料等半額免除9名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前期0名・後期0名、(2)大学院-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名、住居半壊:授業料等半額免除0名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前期0名・後期0名。(達成度:A)

○薬学部

【教育研究】

- 事業計画:CBT対策講座
事業概要:薬学共用試験CBTの合格に向けた学力充実のための対策。
進捗状況:4年生を対象にCBT対策講座を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:薬剤師国家試験対策講座
事業概要:外部講師を招へいし、6年次各期に渡り新薬剤師国家試験に向けた対策講座を実施。

- 進捗状況:国家試験対策講座と国家試験模擬試験を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:教育支援システム
- 事業概要:薬学共用試験(CBT)及び薬剤師国家試験合格率向上のため、システムを導入して演習を実施。
- 進捗状況:学生が自身の端末からアクセスし演習を実施した。また、学外からアクセスすることにより自習にも使用できた。(達成度:A)
- 事業計画:薬学部海外研修
- 事業概要:薬学部海外研修。
- 進捗状況:平成25年2月20日(水)から平成25年3月5日(火)の14日間、学部学生40名参加で実施した。(達成度:A)
- 事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
- 事業概要:時間薬学・時間薬理学を基盤とした脳神経疾患治療薬開発拠点の形成。

- 進捗状況:採択されなかった。(達成度:C)

【施設設備】

- 事業計画:3号館空調設備改修工事
- 事業概要:経年劣化した3号館の空調機器の更新。
- 進捗状況:平成24年6月～平成24年10月に実施、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:7号館外壁改修工事
- 事業概要:経年劣化した7号館の外壁を年次計画により補修。
- 進捗状況:平成24年12月～平成25年2月に実施、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:排水処理施設整備工事
- 事業概要:法令の規制に適合した排水処理施設の維持。
- 進捗状況:平成24年7月～平成24年9月に実施、完了した。(達成度:A)

通信教育部

○通信教育部

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
- 事業概要:被災した学生に対し、授業料等の減免措置を実施した。
- 進捗状況:学業の継続ができています。(達成度:A)
- 事業計画:スクーリング開講形態等の改善
- 事業概要:各種スクーリングにおける開講形態や開講時期等の見直し。
- 進捗状況:夏期スクーリングの開講期増加及び冬期スクーリングをはじめとする東京スクーリングの土曜日・日曜日開催を増加したことで、社会人学生等のニーズに対応した。(達成度:A)
- 事業計画:メディア授業の改善と充実
- 事業概要:ニーズの高い主要科目の新規開発。
- 進捗状況:平成24年度は必修科目でニーズも高い「イギリス文学史Ⅰ」と「民法Ⅱ」の2科目4講座を新たに開講した。(達成度:B)
- 事業計画:ポータルサイトの改善
- 事業概要:ポータルサイトからの各種申込手続きの充実。
- 進捗状況:これまで、科目修得試験、スクーリング・メディア授業の申込み及び単位修得状況の確認などの機能を充実してきた。年を追うごとに学生の利用率も増加していることから、学生の利便性向上と業務の効率化に効果をもたらした。(達成度:B)

【社会貢献】

- 事業計画:総合生涯学習センターにおける公開講座事業
- 事業概要:公開講座の開講。
- 進捗状況:平成24年度は、歴史・文学・文化・哲学・芸術・健康・心理学・社会・政治・ライブラリ・国際・語学の分野の講座を、前期12講座、後期12講座、計24講座を開設し、延べ823名が受講した。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:教職員及び学生等への節電・節水の実施並びに啓蒙活動
- 事業概要:掲示等により節電及び節水を喚起するだけでなく、空調の設定温度を管理し、クールビズ等を実施した。

進捗状況:省エネルギーを推進したことで、電力不足への対応だけでなく、環境保護にもつながった。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:入学説明会及び学校訪問の実施
- 事業概要:入学者募集のための説明会及び学校訪問の実施。
- 進捗状況:入学者数については、昨年を若干上回る結果となった。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:3号館非常放送設備取替工事
- 事業概要:経年劣化による3号館非常放送設備の取替。
- 進捗状況:取替工事が予定どおり完了し、安全性が向上した。(達成度:A)
- 事業計画:1・2号館監視カメラシステム交換
- 事業概要:経年劣化による1・2号館監視カメラシステムの交換。
- 進捗状況:交換工事が予定どおり完了し、安全性が向上した。(達成度:A)
- 事業計画:1・2号館講堂学習環境整備
- 事業概要:経年劣化した2講堂分のAV機器及び椅子の交換。
- 進捗状況:交換が予定どおり完了し、学習環境を向上することができた。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:新規職員の採用
- 事業概要:職員の適正な人員配置を行う。
- 進捗状況:職員1名を採用したほか、人事異動を行い事務局の活性化を図り、業務の平準化を進めた。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:第3号基本金への組入れ
- 事業概要:通信教育部研究基金4億円を目標に、平成24年度3千万円、平成25～28年度(毎年度)2千万円を組入れする。
- 進捗状況:組入計画に基づき、平成24年度に3千万円を組入れし、基金残高は3億2千万円となった。(達成度:A)

○通信教育研究所

【教育研究】

- 事業計画:研究紀要の刊行
事業概要:専任教員の研究成果等を公表することにより、学術の発展に寄与する。

付属高等学校・付属中学校

○日本大学高等学校・日本大学中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:シラバスの早期作成と配布
- 事業概要:年度当初に配布し、生徒の主體的な学習の動機付けを図る。
- 進捗状況:教科ごと年度当初の授業で配布、生徒の年間学習計画作成の一助とすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:進路指導の充実
- 事業概要:日本大学相談会の継続実施、卒業生による進路説明会の拡大、進路ノートの活用、FINE SYSTEM の導入等により進路に対する意識付けを行い、「本意進学」を図る。
- 進捗状況:生徒への進路に関する情報提供の機会を拡充。早期の進路意識の醸成に寄与した。(達成度:A)

○日本大学高等学校

【教育研究】

- 事業計画:特別進学クラスの設置
- 事業概要:学習面をリードするクラスの設置により、学年全体の学力の向上を図る。
- 進捗状況:特別進学クラスの実力テストの結果を基に、学習意欲を向上させる成績評価の基準が作成できた。(達成度:A)
- 事業計画:高大連携教育の拡大
- 事業概要:従来協定を結んでいる学部に加え、新たな学部と協定を結び、高大連携教育を拡大する。
- 進捗状況:新たな学部との協定に向けて、校内での指針をまとめる事ができた。法学部を始め科目等履修生として開放科目の受講を勧めた。理工学部の協力による「ポット講習」、「宇宙エレベーターに関する講演」等を実施。生徒に大学進学の意義を実感させ、将来の進路への関心を持たせることができた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:施設開放
事業内容:近隣の保育園に運動会場として体育館を開放。英検・漢検の試験会場として中学棟を開放。
進捗状況:運動会は10月に実施した。英検・漢検は年間を通して実施した。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:イルミネーション設置
事業内容:本館棟屋上からクリスマスイルミネーションを設置し、点灯式を実施。
進捗状況:11月中旬の火入れ式日時に合わせて点灯した。(達成度:A)

進捗状況:2013(平成25)年3月に、専任教員11名の論文とともに、平成24年度内に定年退職した教員の研究成果を掲載した退職記念号の研究紀要を刊行した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:入学生徒のデータ管理
- 事業概要:入学試験データの管理を整備し入学後の生徒データの効率的な運用を図るとともに、募集活動に反映させる。
- 進捗状況:入学試験システムと教務システムの連携により、効率的なデータ移行は達成できた。募集活動への反映については、さらなる工夫が必要となる。(達成度:B)

○櫻丘高等学校

【教育研究】

- 事業計画:国際化に対応した語学教育研修制度
事業概要:(1)ネイティブスピーカーによる週22コマの授業を実施する。(2)夏季休暇期間中にイギリスへの語学研修を実施する。
進捗状況:(1)ネイティブスピーカーによる週22コマの授業を1学年に対して実施した。(2)希望者に対して、夏季休暇期間中にイギリスへの語学研修(7/22～8/6)を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:教員研修制度
事業概要:(1)外部機関の実施する研修会に本校教諭を派遣する。(2)今年度より、英語教諭対象に教育能力の向上を目指し、海外への研修派遣(英語教授法スキルアップ研修会)を実施する。
進捗状況:(1)外部機関の実施する研修会へは、夏季休暇期間・春季休暇期間を中心に各教科により個別に実施した。(2)本部主催の英語教授法スキルアップ研修会(7/23～8/5)は、今年度参加対象外であった。(達成度:A)
- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:(1)文理学部併設校の利点を生かし、1年生全員に体験授業(年一回)を実施する。(2)2年生から大学の講義の一部を科目等履修生として受講する。
進捗状況:(1)体験授業は、1年生全員及び2・3年生の希望者を対象に9月22日文理学部で実施した。(2)高大連携教育に関する協定を結んでいる文理学部、法学部及び経済学部へ2・3年生の希望者が登録・受講した。(達成度:A)
- 事業計画:本校教諭及び外部講師による講習
事業概要:(1)本校教諭による夏期講習(夏季休暇期間中の前半(7月下旬))を実施する。(2)外部講師による特別講習(夏季休暇期間中の後半(8月下旬))を実施する。(3)本校教諭による基礎学力養成講習を夏季休暇期間中の前半(7月下旬)に3日間、冬季休暇直前の2日間に実施する。
進捗状況:(1)全学年の希望者を対象に7月21日～7月31日に実施した。(2)3年生の希望者を対象に8月20日～8月30日に実施した。(3)1・2学年の希望者を対象に7月21日～7月23日及び12月19日・20日に実施した。(達成度:A)
- 事業計画:習熟度別授業の実施

事業概要:英語と理系コースの数学で、生徒の習熟度に合わせた少人数クラスを編成し授業を行う。
進捗状況:理系コースの2・3年生を対象に数学及び英語で実施した。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:文化祭模擬店収益金の寄付
事業概要:文化祭模擬店の収益金及び募金活動によって、ユセフ協会・国境なき医師団等複数の団体への協力を行う。
進捗状況:東日本大震災復興支援、ユセフ協会のほか、毎年実施している複数の団体への協力を行った。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:生徒会を中心とした学校内外の清掃活動
事業概要:生徒会整備美化委員会を中心として学校内外周辺の清掃活動を行う。
進捗状況:毎年継続しており、今年度も生徒会行事として全生徒が分担して行ったほか、整備美化委員会が計画的に実施した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:教務・学納金システムの変更
事業概要:システム導入時より文理学部と共用していた現行システムの使用廃止に伴い、新システムを導入し、業務の効率化を実現する。ただし、教務システムと学納金システムは、別々のパッケージソフトを利用して構築することとした。さらに、学納金システムの一部は、次年度に跨って構築を行う。
進捗状況:教務システムは、システムの仕様(カスタマイズ含む)、運用方法の構築が終了し、旧システムからのデータ移行のみとなっている。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:生徒会館1階生徒ホール改修工事
事業概要:生徒ホールの内部改修及びテーブル、椅子等備品の入替えを行う。
進捗状況:生徒会館が老朽化により建替えが予定されたため、本事業は中止とした。(達成度:D)
- 事業計画:多目的コート改修工事
事業概要:多目的コートにおける外周ネットフェンスの高さ増設(現行の3mから10mに変更)及びコート内人工芝の張替えを行う。
進捗状況:外周ネットフェンスの高さ増設及びコート内人工芝の張替えは、予定どおり完了した。(達成度:A)
- 事業計画:キャンパスマスタープランの構築
事業概要:老朽化した生徒会館の建替えを中心に、キャンパスを有効活用すべく基本構想を構築する。
進捗状況:マスタープランの構築とともに、最初に手がけるべき生徒会館スペースへの建替等計画について具体的に検討した結果、当初の生徒会館の建替えに加えて、体育館の建替えを視野に入れた構想を具体的な仕様を含め再構築することとした。また、平成25年度重要整備計画の申請を行うに至った。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学基金への組入れ
事業概要:生徒へ奨学金の給付を行うため、毎年度100万円を櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学基金(第3号基本金)に組み入れる。

進捗状況:組入計画に基づき、100万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○鶴ヶ丘高等学校

【教育研究】

- 事業計画:新カリキュラムの編成
事業概要:一般入試にも対応できるカリキュラム。
進捗状況:すべての教科での新カリキュラム作成完了及び申請完了。(達成度:A)
 - 事業計画:土曜日の積極的活用
事業概要:1,2年特進はもちろん3年生までのコースによらず、一般受験を目指す生徒を対象とし、土曜日講座はもちろん水曜日・夏・冬の講習も充実させる予定。
進捗状況:一部費用の負担をさせて、平成25年度から実施。(達成度:A)
 - 事業計画:英語力の強化
事業概要:外人講師による少人数教育、英検全員受験、校内スピーチコンテストの充実、海外修学旅行海外語学研修の充実。
進捗状況:海外語学研修については、従来のオーストラリアに加えてニュージーランドも加え、さらに内容の充実を図った。(達成度:A)
 - 事業計画:入試改革の推進
事業概要:推薦・一般入試結果分析・追跡調査から、引き続き検討。
進捗状況:入試小委員会を中心に改革を提案していく。(達成度:B)
 - 事業計画:教員組織の構成の適正化
事業概要:中長期的な計画採用と非常勤講師とのバランス。
進捗状況:年齢構成をみながら採用計画を図る。(達成度:A)
 - 事業計画:高大連携による一貫教育
事業概要:各学部での体験授業・模擬授業・キャリアガイダンスを実施。
進捗状況:積極的に実施され、内容も見直されよくなってきている。(達成度:A)
- ### 【経営(管理運営)】
- 事業計画:生徒の確保とクラス編成
事業概要:普通コース加点優遇の実施と進学率の向上。
進捗状況:出願人数の大幅増加と日本大学進学率を中心に他大学の進学率増加。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:家庭科調理実習室及び3・6号館流し台更新
事業概要:家庭科調理実習室の更新工事及び3・6号館流し台の更新工事。
進捗状況:平成24年8月にて家庭科調理実習室更新工事完了。(達成度:A)平成24年10月にて3・6号館流し台の更新工事完了。(達成度:A)
- 事業計画:記念館の耐震補強工事
事業概要:記念館耐震補強工事。
進捗状況:平成24年8月にて記念館耐震補強工事完了。(達成度:A)
- 事業計画:総合グラウンド改修、万年堀改修
事業概要:総合グラウンド改修、万年堀改修。
進捗状況:平成25年3月にて総合グラウンド改修及び万年堀改修工事完了。(達成度:A)
- 事業計画:グラウンド研修館新築及びグラウンド改修
事業概要:グラウンド研修館新築及びグラウンド改修。

進捗状況:平成23年度より2年計画にてグラウンド、研修館新築及びグラウンド改修完了。(達成度:A)

○藤沢高等学校・藤沢中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:基本的生活習慣の実施
事業概要:基本的生活習慣の実践,挨拶指導,躰教育の実践。
進捗状況:学校の指針に「しつけ教育の徹底」を掲げ,生活指導部を中心に熱心な指導を実施している。(達成度:A)
- 事業計画:国際感覚の育成
事業概要:少人数教育,海外語学研修,学術交流の充実及び英語検定受験の奨励。
進捗状況:英会話の授業では少人数クラスによる細やかな運営を行い,語学研修は中学校と高校の両方により実施した。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:課外活動及び社会貢献の推進
事業概要:クラブ活動の奨励による心身の育成。
進捗状況:クラブ活動の入部を積極的に奨励し,活性化を図り,全国大会等に出場した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:小学校校舎新築その他工事
事業概要:小学校校舎の新築及び高校・中学グラウンドの建設工事。
進捗状況:小学校校舎建設予定地の既存校舎の解体及びグラウンド建設予定地の土砂等搬出工事中。(達成度:B)

○藤沢高等学校

【教育研究】

- 事業計画:基礎学力の養成と大学進学率の向上
事業概要:授業等におけるきめ細かな個人指導の充実。
進捗状況:夏季・冬季休暇中の希望者対象の講習,成績不振者への補習,3年生対象夏季勉強合宿等を実施した。(達成度:A)

○藤沢中学校

【教育研究】

- 事業計画:農業体験の実施
事業概要:農場でのフィールドワークの実施。
進捗状況:生物資源科学部に隣接するリットを活かし,大学の施設や設備を用いた体験授業を行っている。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:併設中学校の設立・募集・教育
事業概要:優秀な生徒の先取り確保。
進捗状況:広報部を中心に進学説明会を積極的に実施し,新入生122名(定員120名)を確保した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:中学校棟新築工事
事業概要:中学校専用の校舎建設による教育環境の整備充実。
進捗状況:平成25年8月に竣工し,9月から使用を開始している。(達成度:A)

○豊山高等学校・豊山中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:中高6か年一貫システムの推進
事業概要:個々の適性にあつたカリキュラムの構築。
進捗状況:発展期(中3)に特進クラスを設置。向上期(高1)には特進クラスのほかに体育クラスを設置。また,応用完成期では文系・理系の科目について個々の能力に応じた指導により学力の充実・強化を図った。(達成度:A)
- 事業計画:教育・研究活動の推進
事業概要:自己点検・自己評価を踏まえ,各学年及び各教科の授業への創意工夫。
進捗状況:各学年及び各教科の指導目標を策定し,年間指導計画を作成している。全教科でシラバスを作成し,4月当初に保護者及び生徒へ配付し授業内容の明確化を図り,保護者から授業に対する信頼を得た。(達成度:A)
事業計画:学力向上推進プロジェクト
事業概要:国・数・英の学力向上対策として,インターネットの利用や教授法の改革。
進捗状況:英語はHP, DVDを中高生とも利用していて中学生は図書館での活用が多く着実に不得意分野の克服に向っている。数学の高3文系進学クラスは学習到達度別授業を实践。徐々にではあるが平均偏差値は向上している。(達成度:B)

【社会貢献】

- 事業計画:近隣小学校との交流
事業概要:学校行事における近隣との交流。
進捗状況:例年,本校の吹奏楽部が近隣小学校へ出向き,児童に鼓笛演奏指導を行い交流を深めている。また,文化祭(豊山祭)において学校説明会場を設け,受験生以外にも広くPR活動をしている。(達成度:B)
- 事業計画:ボランティア活動の推進
事業概要:通学路の交通整理活動及び学祖墓所の清掃等
進捗状況:護国寺駅階段,駅前交差点等の交通整理等の功績に対し,警視庁大塚警察署長より本校の交通安全委員会生徒が表彰を受けた。また,大塚警察署より依頼され,ボランティア団体「日大豊山大塚ビートルズ」結成。全国交通安全週間などの際,大塚警察署員とともに広報(啓蒙)活動実践。本校,生徒会美化委員会の活動としては護国寺境内の学祖墓所等の清掃は年間を通し定期的を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:体育館・温水プール等の施設の貸出し
事業概要:地元住民との融和。
進捗状況:部活動で使用しない時にプールを地元住民へ貸し出し,コミュニケーションや融和に努めた。また,(財)日本英語検定協会本会場及び有名私塾の試験会場として施設の貸出しを行った。(達成度:B)
- 事業計画:同窓会との連携強化
事業概要:同窓会奨学金制度。
進捗状況:同窓会会長・理事長の学校への招待などの相互関係により,学校支援に協力をいただいている。平成24年度は同窓会奨学金の経済困窮給付者はなかった。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:防災活動の充実
事業概要:大規模災害等不測の事態に備えた積極的な防災対策。

- 進捗状況:避難訓練を行うことにより生徒の安全を図った。専任教職員が普通救命講習を受講し、AEDの操作方法を習得した。護国寺・真言宗豊山派宗務所と本校による災害時応援協定を締結し、平成25年1月25日には近隣も含め、小石川消防署主催の「文化財防火デー」に本校自衛消防隊が放水訓練に参加。自衛消防活動の充実により教職員の防災知識の向上を図った。(達成度:A)

- 事業計画:環境教育における他校との連携
事業概要:生徒及び教員が環境体験学習の活動に参加。
進捗状況:東京環境教育実践研究会に所属し、本年度の環境体験学習は「クラ町田工場中央研究所(浄水機器関係)」へ5校90名が参加。本校からは30名が参加し見学後、意見交換及び情報交換会を実施した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:安定した併設中学校からの高校進学(内部進学)
事業概要:高校の定員確保。
進捗状況:学則定員200名のところ、当初約238名の中学入学生を確保したが、内部高校進学者数は221名となり、17名が他校へ進学した。(達成度:B)
- 事業計画:学校説明会等広報活動の工夫と積極的展開
事業概要:中・高6か年在籍による安定的財源確保。
進捗状況:受験生の若干の減少はあるが、中学入試を3回に増やし志願者の質的向上を図っている。ホームページの充実等の効果、学校長自ら都内公立中学校へ訪問するなど学校説明の積極的活動を行っている。平成25年度は、中学入学生189名・高校入学生484名を確保した。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:キャンパス整備事業
事業概要:現校舎の解体及び新校舎の建設。
進捗状況:9月より新校舎建設に着手。1号館及び2号館の解体。(達成度:B)

【人事(人件費)】

- 事業計画:適正な教員採用
事業概要:後任補充の適切な人員配置。
進捗状況:平成24年度は4名の教員を新規採用した。(達成度:B)

○豊山高等学校

【教育研究】

- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:法学部・経済学部・生産工学部の単位を入学後に取得認定。
進捗状況:法学部平成23年1名、平成24年度高1名が受講。経済学部平成23年2名、平成24年度0名が受講。生産工学部平成23年44名、平成24年度25名が履修。(達成度:B)

○豊山中学校

【教育研究】

- 事業計画:3年生特進クラスの増設
事業概要:発展的な内容を取り扱い、高校進学後の更なる生徒育成を図る。
進捗状況:平成24年度より特進クラスを1クラス増設し、2クラスとした。(達成度:B)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:学校説明会実施時期等の見直し
事業概要:学校説明会の実施時期を早め開催回数を増やす。
進捗状況:3回であった学校説明会を11月に1回増やし、4回実施した。(達成度:B)

○豊山女子高等学校・豊山女子中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:ｽｰ教室
事業概要:志賀高原でのｽｰ教室。
進捗状況:12月21日～23日(3日間) 中1～高2までの希望者。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:秋桜祭
事業概要:募金・ﾊﾞﾝﾀﾞｰ 9月。
進捗状況:9月22～23日 入場者数4,877名、募金・ﾊﾞﾝﾀﾞｰ収益金・食堂部門利益寄付、板橋区福祉協議会ほか。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:リサイクル運動
事業概要:エコキャップ運動。
進捗状況:ペットボトルキャップを日常的に回収し、リサイクルしている。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:屋上防水工事
事業概要:5号館、7号館、8号館の屋上防水工事。
進捗状況:各号館の屋上防水工事を順次行い、平成25年3月までに完了した。(達成度:A)
- 事業計画:8号館教室配置変更に伴う新規什器調達及び改修・移転作業
事業概要:8号館教室配置変更に伴う新規什器調達及び改修・移転作業。
進捗状況:中学と高校の教室配置の変更に伴う作業・工事であり、平成25年3月に完了した。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:教員採用
事業概要:新規で1名の専任教員を採用を実施した。平成26・27年度に8名の退職者があるので、順次対応する。
進捗状況:新規採用教員1名。(達成度:A)

○豊山女子高等学校

【教育研究】

- 事業計画:校外学習
事業概要:校外学習(全学年)。
進捗状況:5月1日(1年-八景島シーパラダイス、2年-富士急ハイランド、3年-東京ドイツコース)。(達成度:A)
- 事業計画:芸術鑑賞
事業概要:6月 ミュージカル「エリザベット」。
進捗状況:6月5日ミュージカル「エリザベット」(帝国劇場)。(達成度:A)
- 事業計画:講演会・講習会
事業概要:防犯講演会、STI講習会、テーブルマナー講習会、普通救命講習会。

進捗状況:4月9日防犯講演会(高校1年生対象),7月13日STI(性感染症)予防講習会(高校2年生対象),7月17日テンプルマナー講習会(高校1年生対象),1月25日普通救命講習会(高校1年生対象)。(達成度:A)

○事業計画:理科科特別授業

事業概要:理科科対象。

進捗状況:4月21日高1理科-理化学研究所訪問。(達成度:A),7月13日高1理科-筑波宇宙センター(JAXA)訪問。(達成度:A),7月14日高2理科-生物資源科学部訪問。(達成度:A),7月18日高1数学-文理学部より講師招聘。(達成度:A),12月14日高2数学-理工学部より講師招聘。(達成度:A),2月18日高1理科-日本大学薬学部訪問。(達成度:A)

○事業計画:海外英語研修(カナダ)

事業概要:カナダでの語学研修。

進捗状況:7月23日~8月9日(18日間)。(達成度:A)

○事業計画:修学旅行(高2)

事業概要:修学旅行 沖縄平和学習 4泊5日。

進捗状況:11月12日~16日 沖縄。(達成度:A)

○事業計画:特別講座

事業概要:1月~2月中 5回(高3対象)。

進捗状況:平成25年1月15日-経済学部より講師招聘,1月24日-理工学部より講師招聘,1月25日-医学部より講師招聘,1月28日-大原学園より講師招聘,2月8日-国際関係学部より講師招聘。(達成度:A)

【社会貢献】

○事業計画:授業参観

事業概要:1学期。

進捗状況:5月9日実施。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

○事業計画:8号館教室配置変更

事業概要:8号館を使用する中学と高校の教室配置の変更。

進捗状況:高校3年生への受験指導の充実を目指して平成25年3月に完了した。(達成度:A)

○豊山女子中学校

【教育研究】

○事業計画:習熟度別学習の充実(中3)

事業概要:習熟度別学習の充実(中3)。

進捗状況:数学・英語それぞれ週3時間ずつ,1クラスを2つに分割して習熟度別授業の実施。(達成度:A)

○事業計画:校外学習

事業概要:校外学習年間5回。

進捗状況:5月2日(1年-上野動物園,2年-東京藝術大学 大学美術館,3年-国立科学博物館),6月22日(1年-葛西臨海水族園,2年-生物資源科学部),7月13日(3年-鎌倉 6月22日より順延),9月28日(1年-江戸東京博物館,2年-文理学部 3年-理工学部),10月19日(全学年-映画鑑賞)会場都合により中止,11月17日(1年-日本科学未来館,2年-浅草)。(達成度:A)

○事業計画:芸術鑑賞

事業概要:5月 ミュージカル「美女と野獣」。

進捗状況:5月25日 ミュージカル「美女と野獣」(四季劇場)。(達成度:A)

○事業計画:講習会・講話

事業概要:防犯講演会,保健講話,進路についての講話,ケータイ安全教室。

進捗状況:4月9日-防犯講演会(中学1年生対象),6月中-「心を楽にする工夫」(中学1年生対象),「心の器を育てる」(中学2年生対象),「薬害について」(中学3年生対象),6月20日-「進路について」(中学3年生対象),7月14日-ケータイ安全教室(中学3年生対象)。(達成度:A)

○事業計画:林間学校

事業概要:7月下旬 2泊3日(中学1年生対象)。

進捗状況:7月25日~27日 志賀高原。(達成度:A)

○事業計画:修学旅行(中3)

事業概要:修学旅行 11月中旬 3泊4日。

進捗状況:11月13日~16日 京都・奈良。(達成度:A)

○事業計画:英語スピーチコンテスト

事業概要:英語スピーチコンテスト 1月下旬。

進捗状況:1月23日(全学年参加)。(達成度:A)

○事業計画:書初め展

事業概要:書初め展 1月下旬~2月。

進捗状況:1月26日~。(達成度:A)

○事業計画:かるた大会

事業概要:かるた大会 1月下旬。

進捗状況:1月26日(全学年参加)。(達成度:A)

○事業計画:研究授業

事業概要:新採用教員研修研究授業。

進捗状況:英語科教員1名-平成24年12月14日(金)3時限目。(達成度:A)

【社会貢献】

○事業計画:環境美化

事業概要:清掃活動及び情操教育。

進捗状況:週1回の全員清掃,毎日の当番清掃,学期ごとの全校一斉の大掃除の実施,週1回の教室での花活け。(達成度:A)

○事業計画:授業参観

事業概要:1学期・2学期。

進捗状況:5月9日,10月20日実施。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

○事業計画:8号館教室配置変更

事業概要:8号館を使用する中学と高校の教室配置の変更。

進捗状況:中学生の教育環境の整備充実を目指して平成25年3月に完了した。(達成度:A)

○三島高等学校・三島中学校共通

【教育研究】

○事業計画:インターネット利用の監視

事業概要:インターネットの裏サイト等の管理を専門業者に委託。

進捗状況:専門業者と年間契約を結び,常に裏サイトを監視するよう委託している。学校に不利益な書き込みや個人を中傷するような内容があれば,業者から連絡を受け削除を依頼する。(達成度:A)

○事業計画:日本大学三島後援会奨学金

事業概要:学力・体育・生活困窮奨学金を給付/第1種~第4種。

進捗状況:学力優秀者及びスポーツ能力の高い者や生活困窮者に対して,後援会が支援する。学力奨学生33名・体育奨学生71名・生活困窮6名,計110名に奨学金を給付した。(達成度:A)

○事業計画:生徒による授業評価

事業概要:保護者・生徒に対し結果を開示し,ホームページにも掲載する。

進捗状況:高等学校・中学校の全生徒に対して10月下旬にアンケートを実施した。その結果が12月下旬に本部から送付され内容を確認した。その結果の表・コメント・意見を集約して、2月中旬に生徒経由で保護者に通知を行った。(達成度:A)

【社会貢献】

○事業計画:社会奉仕の推進

事業概要:①日本赤十字献血への協力②大社祭三島が参加③銀杏並木清掃。

進捗状況:①高校3年生の希望者を対象に、平成25年2月に学内にて献血を実施し、55名が行った。(達成度:A)②地域貢献の一環として、生徒会が中心となり地域のお祭りへ協力し、生徒約120名が参加した。(達成度:A)③11月～12月にかけて学校前の通りの落ち葉広いや清掃を行った。(達成度:A)

【環境活動】

○事業計画:環境教育の推進

事業概要:①15%を目標に校内節電を実践②ゴミの分別及び古紙等資源再利用。

進捗状況:①校舎内における昼間の共有スペース・廊下等をこまめに消灯し、冷暖房温度を冷房28度・暖房20度に設定した。(達成度:A)②日常の清掃時からの分別回収の徹底。生徒会が中心となりペットボトルのフタを分別回収し、ポリオのワチンとして提供した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

○事業計画:生徒募集の強化

事業概要:多様な学校説明会(本校開催・地区別開催・進学塾対象)及び学校訪問。

進捗状況:4月～12月の期間に渡り、教員による小学校・中学校・進学塾訪問を実施。8月の学校説会は2,700名の来場があり、地区別説明会(富士・小田原・御殿場)は、111名の来場があった。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:総合体育館新築工事

事業概要:老朽化した体育館と食堂・講堂棟に替わる総合体育館の新築。

進捗状況:平成25年度に総合体育館(仮称)建設委員会を立ち上げ、平成28年3月竣工の予定で事業を進めている。(達成度:D)

【人事(人件費)】

○事業計画:教員の計画的採用

事業概要:定年退職者及び生徒数等を中長期的に勘案し専任及び兼任教員を採用。

進捗状況:専任教員は、教科間の年齢構成、生徒数の推移・クラス数を考慮し、6名を採用した。(達成度:A)

○三島高等学校

【教育研究】

○事業計画:国際化教育の推進

事業概要:①国際クラス海外留学及び豪州留学生の受入れ②海外語学研修の実施。

進捗状況:①国際クラス2年生14名が約1年間のオーストラリアでの留学を終え、平成24年12月に帰国した。平成25年1月には国際クラス1年生10名が留学のため出発した。また、平成24年4月に、約3週間の日程で豪州から4名の

留学生を受け入れ、国際交流を図った。(達成度:A)②海外留学の事前研修として、夏季休暇中に約1か月のオーストラリア語学研修を実施、国際クラス1年生10名が参加した。また別プログラムとして、夏季休暇中に3週間のオーストラリア語学研修を実施し、希望者55名が参加した。(達成度:A)

○事業計画:進路指導の充実

事業概要:①日本大学各学部等進路がインターン②国際関係学部との高大連携教育。

進捗状況:①2年生を対象とした日本大学各学部の模擬授業を3月に行い、3年生を対象した学部説明会を6～7月にかけて行った。(達成度:A)②締結した覚書に基づき、国際関係学部への進学を希望する生徒21名が大学の授業を受講した。大学から提示される複数の科目の中から希望科目を選択し、国際関係学部入学後に単位認定を行う。(達成度:A)

○三島中学校

【教育研究】

○事業計画:語学教育の推進・英語検定試験の受験推進

事業概要:①英語教育国内合宿②欧州修学旅行。

進捗状況:①中学3年生と2年生の希望者を対象に、2泊3日で福島県の語学研修施設、ブリティッシュ・ヒルズで語学研修を実施。3年生13名、2年生31名が参加。また、英検の取得を奨励した結果、2級5名、準2級18名、3級45名、4級43名となった。(達成度:A)②ロンドンでは現地の語学学校のイギリス人とともに班別行動で観光をしながら英語で交流を図り、パリでは事前学習を入念に行い、文化の違いを体験できた。(達成度:A)

○事業計画:きめ細かな学習支援の推進

事業概要:①学習到達度別補習・補講の実施②少人数クラスによる英数授業。

進捗状況:①英語は中学校の英会話においてクラスを2つに分け、ネイティブと日本人教員の2名が週3～4コマの授業を担当した。数学は1クラスを習熟度別に2クラスにして同時展開で授業を行った。(達成度:A)②英語について英検の受験クラスに分けて、補習を行った。また、特に数学・国語においては成績下位者を対象に放課後に特別な補習を行った。(達成度:A)

○明誠高等学校

【教育研究】

○事業計画:教員の質的向上・教科指導の充実化・学習支援体制の確立

事業概要:学校自己点検・評価、生徒の授業評価の実施による教員の自己努力、授業改善を図る。

進捗状況:生徒による授業評価は年度を追うごとに向上しており、平成24年度は全項目に渡ってさらに改善されている。シラバスの活用、補習授業等を実施し学習支援体制の確立に努めた。(達成度:A)

○事業計画:漢字検定及び英語検定の実施

事業概要:国語力・英語力向上のため、1年生全員に漢字検定、2年生全員にTOEIC Bridgeを受検させる。

進捗状況:英語は将来を考慮してTOEIC Bridgeを採用している。実用英語技能検定の受検も奨励し、指導しているが受検者数が伸びていない。全員受検体制は定着しているため、結果の活用が課題である。(達成度:B)

○事業計画:魅力ある学校づくりと社会的評価の向上

事業概要:特進コース・普通コース内容充実を基盤に学力向上及び進学率向上を図る。また、「強歩大会」等地域に根ざした行事により魅力ある学校づくりを図る。

- 進捗状況:特進コースは、特進コース主任制の下で指導体制も徐々に整いつつある。普通コースも1年生に対して、2年次を見据えた補習を行った。平成24年度は、日本大学62.8%、他大学24.1%の進学実績を達成した。(達成度:A)
- 事業計画:研修体制の充実
- 事業概要:校務分掌の研修充実により教員の資質・意識の向上を図る。
- 進捗状況:一人の教員が複数の分掌を受け持っているため負担が大きい。次年度は教員増により少し余裕ができる。授業評価の向上に伴い生徒の質も向上している。教員研修の充実が課題である。(達成度:B)
- 事業計画:キャリア教育の推進
- 事業概要:キャリアガイダンス及び日大各学部との連携による進路指導の充実を図る。
- 進捗状況:「進路ノート」を使用し、LHRを利用してキャリア教育を実施した。また、オープンスクール、学部説明会、学部コーナー(文化祭時)などにより日大と連携した進路指導を行い成果を上げた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:吹奏楽部の地元主催音楽祭等参加
- 事業概要:社会に貢献するための発表会を実施する。
- 進捗状況:吹奏楽部は地元主催音楽祭(「北都留支部吹奏楽祭」等)に積極的に参加し高い評価を得ている。(達成度:A)
- 事業計画:学校施設の開放
- 事業概要:学校施設の地域住民への開放。
- 進捗状況:グラウンドは地域の少年野球やサッカーチーム、幼稚園の運動会、住民の運動会などに、体育館は空手道大会などに貸し出している。(達成度:A)
- 事業計画:生徒会募金活動による天災被災地への支援
- 事業概要:社会に貢献するための義援活動。
- 進捗状況:①東日本大震災に対し文化祭模擬店売上金の一部を日本赤十字社に寄付した。②東日本大震災に対し救援募金活動を行った。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:カーブスの実施や冷暖房の温度抑制など、CO2排出削減に努める
- 事業概要:①夏季における軽装の実施、②エアコン温度の控えめな設定、③教職員への通知、④工事における省エネ配慮。
- 進捗状況:①昨年度に続き、本年度も5月30日から9月末日まで夏季における軽装(ノ上着、ノ初タイ、半袖ワイシャツ)について、教職員はもとより生徒についても実施した。保護者には通知等でご理解いただいている。(達成率:A)②夏季については28度、冬季については20度以下を目途にして、エアコンの設定温度を控えめにしている。掲示等によって周知し、外来者に対してもご協力いただいている。(達成率:B)③夏季・冬季における省エネについて、学校長による朝礼等での口頭周知に加えて、回覧文書においても教職員へ通知を行い、省エネ意識の定着化を図った。また、日本大学本部からの文書にもとづき、ワシントン運動等の地球温暖化対策についても周知を図った。(達成率:B)④空調機器の入替えにおいてはグリーン購入法にもとづく省エネ機器を導入し、工事においても省エネを意識して施工した。(達成率:A)※東日本大震災及び原子力発電所事故を受けた電力需給逼迫状況に対応し、一部照明の消灯・間引きや点灯時間の短縮、トイレ内ハンドドライヤーの運用中止など一層の節電に取り組み、現在も継続している。

- 事業計画:「クリーンキャンペーン(校内外美化活動)」の実施と環境保護の指導徹底
- 事業概要:総合学習の一環としての校内及び通学路の清掃活動により環境美化の精神を育成する。
- 進捗状況:保健衛生部と各学年が指導し、総合学習の一環として、毎年実施しているJR上野原駅から学校までの通学路の清掃・美化活動は、計画通り実施できた。(達成度:A)1学年-平成24年5月2日(水)6校時、2学年-平成24年9月12日(水)〃、3学年-平成24年5月16日(水)〃
- 事業計画:生徒会によるペットボトルキャップ回収活動の実施
- 事業概要:ボランティア活動の一環としてのペットボトルキャップの回収運動により、社会貢献の精神を育成する。
- 進捗状況:平成24年度は日本大学の協力も得て、15万個のキャップを回収し、ポリオワクチン173人分の成果となった。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:健全な経営基盤確立のため募集定員以上の確保
- 事業概要:学校の財政基盤安定と施設設備充実を図る。
- 進捗状況:募集定員以上の確保を目指し、前教職員が努力したが、目標にあと一歩であった。(達成度:B)
- 事業計画:広報活動の充実、学校案内及び学校紹介DVDの制作
- 事業概要:本校の知名度アップや学習環境の良さなどアピールする。
- 進捗状況:毎年度、学校案内や学校紹介DVDを充実しており、的確な学校情報の伝達を図っている。(達成度:A)
- 事業計画:教育システムのプログラム修正
- 事業概要:平成25年度から始まる新しいカリキュラムへ対応する。
- 進捗状況:新しいカリキュラムへの教育システムプログラム修正を行っている。(達成度:B)
- 事業計画:教育内容に影響を及ぼさない範囲でコスト管理を徹底する
- 事業概要:徹底した経費節減を図る。
- 進捗状況:収支改善を目指し、教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:視聴覚棟裏周辺ブロック塀改修工事
- 事業概要:校内西部の裏門脇から視聴覚棟裏周辺に至るブロック塀が、老朽化や地震などでヒビや亀裂が生じていることから、今後の地震による倒壊を防ぎ、生徒・教職員及び隣接する道路通行者の生命・安全を確保するため、危険箇所のブロック積替えと亀裂の修繕等、改修を行う。
- 進捗状況:平成24年7~8月に工事を実施した。当初計画では老朽化したブロック塀全体の改修を予定していたが、予算執行に当たって危険性の高い部分の改修にとどめて実施した。(達成度:B)
- 事業計画:体育館床改修工事
- 事業概要:国際規格変更などに伴うバスケットボールライン及びそれに伴う種々のコートライン張替え、規格変更に伴うバレー支柱用差込口の改修を行う。
- 進捗状況:平成24年7~8月に計画どおりに工事を実施し、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:パソコン教室環境整備
- 事業概要:旧世代OSの陳腐化したパソコンを最新OSのパソコンに入れ替え、授業運営に即したサーバの新設、パワーポイント

によるプレゼンテーション等に対応したスクリーンの新設など、パソコン教室の環境整備を行う。

- 進捗状況:平成24年7~8月に計画どおり整備を行い、完了した。※本件は、平成24年度私立大学等研究設備整備費等補助金(私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費)に申請した結果、約380万円の補助が決定している。(達成度:A)
- 事業計画:教員用パソコンの整備
- 事業概要:教員用の一部のパソコンが陳腐化し動作遅延が発生して業務に支障があるため、該当するパソコンを入れ替える。
- 進捗状況:平成24年4月、計画どおり入れ替を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:その他の工事
- 事業概要:講堂兼体育館ステージ右放送室等天井修繕、野球場ほか屋外放送スピーカー増設工事等。
- 進捗状況:限りある予算の中で、「安心安全な学校」という学校方針に基づき、計画どおり施設設備維持や安全確保のための工事を実施した。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:教員採用長期計画
- 事業概要:①専任教員-教員採用長期計画において、平成24年度は2名採用する。②非常勤講師-各教科の充実を図るため、32名体制を計画。
- 進捗状況:①計画どおり、新規教員2名(地歴・公民科1名、数学科1名)を採用した。(達成度:A)②計画どおり、32名体制とした。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:新校舎及び多目的使用宿泊施設建設資金の積立て
- 事業概要:学校の財政基盤安定並びに施設設備充実を図る。
- 進捗状況:収入増及び経費節減に努めた結果、当初予算どおり蓄財できることになった。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:予算計上の案件についても、執行時に再検討を行い、優先順位に基づく執行を図る。
- 事業概要:収支改善のため支出実行時の経費節約意識を植えつける。
- 進捗状況:全教職員の努力により、募集定員確保に近づけるべく、収入の安定に寄与できた。さらに教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度:A)
- 事業計画:入学者確保による財政基盤の安定を図る。
- 事業概要:志願者増加のため、ホームページの効果的な活用や学校案内・学校紹介DVDの充実、中学校訪問・入試説明会・進学塾説明会を一層充実させ、受験生が入学したくなる高校になるよう常日頃から工夫している。
- 進捗状況:ホームページは、ほぼ毎日更新しており、アクセスは増加の一途である。また、中学校訪問は233校を年2回、入試説明会・オープンキャンパスは年3回、進学塾説明会は年2回開催している。(達成度:A)

○山形高等学校・山形中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:生徒支援の推進
- 事業概要:各種奨学金制度(日本大学山形高等学校・中学校奨学金、コ・コ育英奨学金等)。

進捗状況:学業成績優良で運動能力及び人物が優れ健康な生徒で、他の奨学金の支給、学費の免除を受けていない生徒を対象に奨学金を給付した。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:情報公開の推進
- 事業概要:学校の自己評価に対する取組。
- 進捗状況:学校自己評価を実施することにより、教育環境がより改善されることを期待している。授業に対して生徒がどの程度満足しているかを知り、教員の授業改善や教育内容の向上に繋げている。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:日本大学山形高等学校・中学校奨学金基金の設定継続
- 事業概要:第1種奨学生、第2種奨学生(共に年額12万円給付)。
- 進捗状況:第1種については、学業成績優良又は入学試験の成績が優秀で人物が優れ健康な生徒であること。第2種については、学費支弁が困難である生徒を対象にしており、合わせて14名に対し奨学金を給付。(達成度:A)

【財政】

- 事業計画:経費の見直し
- 事業概要:経費については優先順位をきめ節約する。
- 進捗状況:経費の節約に努めた。(達成度:B)
- 事業計画:人件費等支出削減の推進
- 事業概要:新規教員の採用をしない。
- 進捗状況:人件費の支出減。(達成度:A)

○山形高等学校

【教育研究】

- 事業計画:教員の資質向上の推進
- 事業概要:各種セミナー・研究・国内外研修会への参加、校内研修会の実施。
- 進捗状況:各機関の研修・セミナーに参加し、企画能力並びに問題意識・解決能力を高めつつ、生涯教育・国際化への対応、情報化社会等の問題について自己を再点検するとともに、これからの学校運営や教育活動に役立てることができた。(達成度:A)
- 事業計画:国際化教育の推進
- 事業概要:海外語学研修に参加。
- 進捗状況:春季と夏季にケンブリッジ大学ペンソブルック・カレッジで英語のホール技術を身につけながら、英国の文化・歴史に触れてその雰囲気を経験することにより、語学力及び国際感覚が身につき、勉学に対する取組を向上させることができた。(達成度:A)
- 事業計画:きめ細かな学習指導の推進
- 事業概要:習熟度別・少人数授業、補習、各種模擬試験、新入生オリエンテーション。
- 進捗状況:各種模擬試験を受験させて学力診断を実施した。また、教育情報データベースを利用し、大学の入試情報データを手入して研究検討した上で、生徒及び保護者面談等に活用している。(達成度:A)
- 事業計画:特色ある授業の推進
- 事業概要:体育演習(ゴルフ・スキー)、栄養講習会・AED講習、演劇教室、芸術鑑賞会。
- 進捗状況:運動能力を高め、生涯スポーツの種目としてゴルフやスキー教室等を実践した。情操教育の一環として芸術鑑賞会等を実施した。(達成度:A)

- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:本学出張授業・学部説明会,遠隔授業による高大連携教育。
進捗状況:生産工学部との遠隔授業による高大連携教育を実施し,理解を深めるとともに進学意識を高揚できた。(達成度:A)
- 事業計画:進路指導の推進
事業概要:進路説明会,進学説明会(日本大学,国公立大学,難関私立大学),教育情報データベースの利用。職業講話,就職指導(企業訪問・職場訪問・インターンシップ・模擬面接・公務員講座・先輩学講座)。
進捗状況:3年間を見通した進路選択ステップを見据えて,学年ごとに必要な進路選択の心構えや適切な学習方法を形成するために,各種の説明会を実施し学習意欲・進路意識の向上を図った。また,就職については,各種説明会等に参加させることにより,職業観を培い,さらに公務員試験等に耐えうる学力形成のための講座を開催し,成果を得ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:社会性を持たせるための教育の推進
事業概要:非行防止・交通事故防止の取組,高校生活を有意義なものにするための講演会を開催。
進捗状況:講演を通じてモラルを高めるとともに,社会性や自立性を身につけ有意義な高校生活を送ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:IT教育の推進
事業概要:コンピュータ処理したデータを用いたプレゼンテーション。
進捗状況:生徒のコンピュータリテラシーの向上。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:ボランティア等奉仕活動の推進
事業概要:献血協力,あしなが学生街頭募金,盲導犬育成募金,赤い羽根共同募金,社会福祉施設体験学習,高齢者福祉施設催行事等。
進捗状況:地域社会への無償の奉仕活動は,地域社会への報恩感謝の具体的な表現で地域の人々に理解される。ボランティア活動に対する生徒の理解と関心が高く,善意を寄せ合う心の大切さを学ぶとともに社会へ奉仕することができた。(達成度:A)
- 事業計画:地域社会・同窓会・校友会との連携
事業概要:町内会との情報交換,警察署との情報交換,校友会各支部総会への参加,各地区保護者会総会への参加。
進捗状況:本校の教育活動をPRすることによって,地域社会からの理解が得られた。また保護者の質問に対応することによって協力体制を築くことができた。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:環境教育の推進
事業概要:ゴミ拾い運動,花植え付け・除草作業。
進捗状況:生徒会と環境整備委員及び本校職員(管財係)の協力により事業を推進することができた。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:学校説明会及び入試相談会の推進
事業概要:年5回開催,県内各中学校へ訪問,各中学校主催学校説明会への参加。広報誌発行。
進捗状況:学校説明会を実施することにより,本校を希望する生徒や保護者との距離が縮まる。本校の教育内容

及び入試情報などを提供し,志願者の増加を図る。(達成度:A)

- 事業計画:カウンセリング機能の充実
事業概要:専門のカウンセラーを配置(生徒・保護者等の心理的ケアをする)。
進捗状況:本部から週2回カウンセラーが来校し,カウンセリングを実施した。(達成度:A)
- 事業計画:学校PRの拡大
事業概要:山形駅・天童駅に電飾看板の設置(通年)。
進捗状況:2駅に看板を設置した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:管理棟外壁等改修工事
事業概要:管理棟の外壁を改修する。
進捗状況:改修工事を実施した。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:専任教員採用の検討
事業概要:教員の定年退職に伴う新規の採用を行わない。
進捗状況:人件費の削減につながる。(達成度:A)
- 事業計画:持ちこたえの調整
事業概要:非常勤講師の授業担当数15時間以上を継続する。
進捗状況:補助金の確保により人件費の削減につながる。(達成度:A)

【各種基金(引当資産)】

- 事業計画:スポーツ振興基金の設定継続
事業概要:第1種奨学生(当該年度の授業料相当額給付),第2種奨学生(当該年度の授業料相当額の半額を給付)。
進捗状況:学業成績優良で運動能力及び人物が優れた健康な生徒であり,他の奨学金の支給,学費免除を受けていない生徒を対象に合わせて87名に対し奨学金を給付した。(達成度:A)

○山形中学校

【教育研究】

- 事業計画:教員の資質向上の推進
事業概要:各種セミナー・研究・研修会への参加,校内研修会の実施。
進捗状況:教科・運営・教育活動に役立てるべく県及び市の研究会や各種研修に参加。(達成度:A)
- 事業計画:国際化教育の推進
事業概要:ブリティッシュ・海外修学旅行。
進捗状況:ブリティッシュ・海外修学旅行では英語力・会話力・情操・国際感覚を身に付ける。(達成度:A)
- 事業計画:きめ細かな学習指導の推進
事業概要:TT授業,少人数授業,補習,各種模擬試験・検定試験の実施。
進捗状況:英語及び数学,理科のTT授業による習熟度・少人数学習。各教科の居残り学習・3年生の受験に向けた補習学習及び成績不良者に対する補充学習など落ちこぼれを出さない指導を心掛ける。また各種模擬試験・検定試験を実施し,目標を持たせる指導をした。(達成度:A)
- 事業計画:特色ある授業の推進
事業概要:芸術鑑賞会,野外学習,非行防止教室を開催。ALTと日本人教師による英語授業及び3年生による英語

劇を製作し発表会を実施。総合学習として、集中講座を土曜日に実施し、「情報」の学習をする。
進捗状況:本校(中高)計画の芸術鑑賞会のほか野外学習など県内の施設の研修を実施。また生活指導を目的とした研修・講演会を開催した。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:ボランティア等奉仕活動の推進
事業概要:カーネーション募金,緑の羽根募金,被災地募金等。
進捗状況:生徒会を中心に,学校全体として取り組む。(達成度:A)
- 事業計画:地域社会との連携
事業概要:職場体験学習の実施。山形市花笠パレードの参加。
進捗状況:2年次にキャリア学習を土曜日に組む。夏季休暇に地域企業・商店・保育園・美容室ほかに職場体験学習する。礼儀・人との接し方・社会性などを身に付ける良い機会となっている。全学年が,夏休みに練習を重ね,高校の有志とともに山形市花笠パレードに参加した。(達成度:A)
- 事業計画:青少年赤十字に加入し活動
事業概要:青少年赤十字に加入し活動。
進捗状況:ボランティアなど奉仕活動,被災地募金,書き損じはがき活動等を通じて生徒に敬愛の精神や奉仕する気持ちが芽生えた。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:環境教育の推進
事業概要:ゴミ拾い運動,花植え付け。
進捗状況:常に環境を考え意識した生活を身に付ける。ゴミ分別・ロッカーの整理整頓・清掃の徹底。(達成度:A)
- 事業計画:環境学習の推進
事業概要:総合学習,環境問題の講演会及び環境施設見学会の開催。また環境学習発表会を実施。
進捗状況:環境講演会や県内の施設見学(風力,水力,火力,太陽熱エネルギー)をすることで地域社会に目を向け,環境活動に力を入れた。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:中学校校舎の再利用
事業概要:募集停止に伴い,利用しない教室を高校で利用する。
進捗状況:計画の段階である。(達成度:C)

【人事(人件費)】

- 事業計画:持ちコマ数の調整
事業概要:1年生の授業停止に伴い,高校の授業を兼務する。
進捗状況:人件費抑制。(達成度:B)

○習志野高等学校

【教育研究】

- 事業計画:NP・GA, CST 各コース設置
事業概要:平成18年度入学生から従来の文系・理系に加えて, NP(国公立進学)コース・GA(総合進学)コース・CST(日本大学理工学部進学)コースを設置した。更にコースの特色を生かし授業に取り組む。
進捗状況:NP(国公立進学)コース・GA(総合進学)コース・CST(日本大学理工学部進学)を従来よりも更に各コースの特色を生かし授業に取り組んだ。(達成度:A)

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除4名,住居半壊:授業料等半額免除3名,原発事故避難地区:授業料等全額免除0名。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:ボランティア等奉仕活動及び地域交流の推進
事業概要:ボランティア等奉仕活動及び地域交流に積極的に取り組むことで,社会貢献に寄与する。
進捗状況:(1)献血協力,N.募金,被災地募金,日本赤十字募金の実施,(2)チャリディング部の地元自治会,小中学校との交流。(達成度:A)

【環境活動】

- 事業計画:ゴミの減量対策啓蒙運動
事業概要:平成18年度の文化祭で「エコはじめました」をメインテーマとして設定し,生徒にゴミの減量・資源の再利用について啓蒙活動を行った。平成24年度についても同様に生徒への啓蒙活動を行った。
進捗状況:生徒会によるペットボトルキャップ回収活動の実施。(達成度:A)
- 事業計画:地球温暖化防止への取組
事業概要:クールビズ,ウォームビズの導入,冷房温度28℃以上,暖房温度20℃以下の温度管理の励行。
進捗状況:熱・電気等のエネルギー使用量が削減。(達成度:B)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:広報活動ほかの活発化
事業概要:予算編成基本方針及び予算編成留意事項に基づき,コストバランスのとれた財政の実現を目指し予算編成を行う。志願者を増やすためさらに積極的に広報活動を行う。具体的には千葉県内で実施される進学相談会への参加だけでなく,学習塾や中学校にも積極的に接触を図った。
進捗状況:千葉県内で実施される進学相談会への参加だけでなく,学習塾や中学校にも積極的に接触を図った。理工学部と同時開催のオープンキャンパスの充実を図った。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画:教員の新規採用
事業概要:若手教員の採用を促進し,教員の年齢構成をバランスよくすることによって効率的な人件費の支出を図る。
進捗状況:若手教員の採用を促進し,教員の年齢構成をバランスよくすることによって効率的な人件費の支出を図った。(達成度:B)

【財政】

- 事業計画:寄付金の募集
事業概要:習志野高等学校創設80周年記念事業募金。
進捗状況:今年度は,習志野高等学校80周年記念事業募金においては44件の寄付があった。(達成度:C)
- 事業計画:予算の効率的執行・運用
事業概要:限られた財源を考慮して高校運営に当たるため,従来にも増して予算制度の基本に立ち,経費全体の

徹底した見直しを図った上で、コストパフォーマンスを重視し、効果的かつ実行確実性のある予算編成に努める。

進捗状況:限られた財源を考慮して高校運営に当たるため、従来にも増して予算制度(セパレート予算)の基本に立ち、経費全体の徹底した見直しを図った上で、コストパフォーマンスを重視し、効果的かつ実行確実性のある予算編成に努めた。(達成度:A)

○東北高等学校

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置(本部)の実施
- 事業概要:被災した生徒に対する学費の減免措置を実施し、経済的支援を行う。
- 進捗状況:東日本大震災及び福島原発事故で被災を受け、申請のあった生徒 155 名に対し、次のとおり合計 43,198,950 円の授業料の免除を行い、生徒が経済的に安心して学べる環境を確保した。住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 38 名,住居半壊:授業料等半額免除 109 名,原発事故避難地区:授業料等全額免除 8 名。(達成度:A)
- 事業計画:新入生リエンション
- 事業概要:新入生リエンションを 2泊3日の合宿で実施する。
- 進捗状況:4月10日(火)から12日(木)の2泊3日の日程で磐梯熱海温泉(福島県郡山市)のホテルで合宿形式により実施した。学習指導及び生活指導等を行い本校の理解を深め、友人関係の構築を図った。(達成度:A)
- 事業計画:修学旅行
- 事業概要:2年生を対象とする。4泊5日の国内旅行を実施する。
- 進捗状況:11月15日(木)から20日(火)の期間、2年生を2班に分け5日間の日程で九州(長崎・福岡)への修学旅行を実施した。学習・体験・見学をバランス良く取り入れ、併せて平和教育を取り入れた修学旅行とした。(達成度:A)
- 事業計画:文化行事の実施
- 事業概要:著名人による文化講演会及び演劇等の芸術鑑賞会を開催する。
- 進捗状況:10月18日(木)に郡山市民文化センターにおいて、ビッグバンド「セブンティーン 18」によるジャズ演奏会を実施した。また、10月24日(水)に清水章弘氏による文化講演会「習慣を変えると頭がよくなる～東大生が教える学習習慣～」を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:高大連携・オープン講座の推進
- 事業概要:高大連携事業の一貫として、工学部の基礎講座を受講させる。
- 進捗状況:工学部の協力を得て、2年生を対象として、7月から11月にかけてオープン講座を7講座実施した。また、1月に3年生の工学部進学予定者を対象に進学学科ごとの特別授業を16講座を実施し、工学部進学に対する理解を深めた。(達成度:A)
- 事業計画:アカ祭(文化祭)の実施
- 事業概要:大学及び附属高校の統一行事として実施する。なお、平成24年度は一般公開のみとし、学内公開は実施しない。

進捗状況:7月14日(土)に一般公開として実施した。様々な形での研究発表等を含むアカ祭とし、生徒の自主的な態度を育成するとともに卒業生、地域との関係を深めた。(達成度:A)

- 事業計画:校内体育行事の実施
- 事業概要:マラソン大会及び競技別の体育大会を開催する。
- 進捗状況:7月10日(火)に校内体育大会,9月29日(土)に校内マラソン大会を実施し、体力の向上とクラスの親睦を深めるとともに強固な精神力を涵養した。(達成度:A)
- 事業計画:東北高校独自の奨学金制度の充実
- 事業概要:東北高校の奨学金制度を充実させる。
- 進捗状況:主に学業優秀者に対する奨学金の基金は目標額に達しているが、スポーツに秀でる者に対する奨学金の基金は目標額に達しておらず、毎年基金への組入れを行い充実に努めている。運用利率の低下に伴い、基金の有高増が望まれる。(達成度:B)
- 事業計画:入試事務システム開発
- 事業概要:入試事務システムを新規に開発する。
- 進捗状況:先に導入した新校内管理システム[成績・学籍管理等の教務関係システム]と連携した入試事務システムを開発し、4月から運用を開始することにより、入試業務の負担が軽減された。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:東北高校実験棟A・B・C棟解体工事
- 事業概要:東日本大震災で損壊し、使用禁止になったため解体工事を実施する。
- 進捗状況:東日本大震災で損壊し、危険な状態であった実験棟A・B・C棟の解体工事を6月に完了し、生徒が安心して学べるキャンパス環境を整えた。(達成度:A)
- 事業計画:東北高校特別教室棟空調設備新設工事
- 事業概要:空調設備を新規に設置する。
- 進捗状況:音楽・書道・美術の特別教室棟7教室に14台のエアコンを設置することにより、特別教室棟の全教室に空調設備が完備され、快適な授業環境を整えた。(達成度:A)
- 事業計画:新校舎建設
- 事業概要:校舎群の老朽化により、機能を集約したコンパクトな校舎を新たに建設する。
- 進捗状況:校舎建設実現に係る財源確保のため、前年に引き続き生徒募集活動の充実に努め、教員による中学校訪問、入学説明会等、積極的な募集活動を行った。また、平成25年度工学部予算基本方針における中長期事業計画に、VISION2020検討委員会及び東北高等学校校舎建設委員会から答申した東北高等学校の校舎建設が施策として盛り込まれた内容となっており、校舎建設に向けて一歩前進した。(達成度:B)

【財政】

- 事業計画:引当資金への積極繰入れ並びに本部総合運用制度の積極的活用
- 事業概要:冗費節減に努め、資金の効率的運用を図る。
- 進捗状況:平成24年度は実験棟の解体など、工事関係の臨時的支出があったため、繰り入れを一時停止した。引当資産の合計は平成24年度末で前年度と同額の7億円である。(達成度:D)

幼稚園

【教育研究】

- 事業計画: 幼児の発達上の困難と課題への対応
事業概要: 幼児教育と発達に関する知識と関心を深め実践力を維持向上できるように専門家を迎え研修会を実施。
進捗状況: 発達上の困難さや課題について全教員での共通認識や連携を保ち実践向上に向け取り組むことができ保育の在り方を考える貴重な場となった。(達成度:A)
- 事業計画: 幼児の心身のバランスと自己コントロールする力を育む。
事業概要: 運動・音楽療法(ヘルリズム)及び操作的造形的活動を感覚統合教育の視点から深める。
進捗状況: 幼児の全身の感覚と機能の統合力の育ちが興奮機能と抑制機能に程よいバランスを生む上で有効となることが実践を通じて確かなものとなってきた。(達成度:B)
- 事業計画: 幼児が畑づくりを手掛け季節毎の野菜を栽培・育てることで収穫の楽しみや喜びを分かち合う。
事業概要: 野菜等栽培は幼児の自然への興味や関心を引き出し探究心を湧き立たせ豊かな感性と人間関係も育み引いては表現活動にもつなげていく。
進捗状況: クラスの友達や異年齢交流しながら畑づくりを手掛けることで野菜等栽培への興味や関心が深まり育てる事・収穫する事の楽しさや喜びを周囲の者とともに味わう事ができた。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画: 地域防災計画への参画
事業概要: 災害時の近隣地域における本園役割の明確化と地域貢献並びに災害ボランティア活動参加による社会貢献。
進捗状況: 震災救護所運営連絡会(年6回)及び震災救護所訓練(年1回)に参加したことにより近隣地域との密着した関係が育まれた。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画: 保育後3時間の預かり保育の実施
事業概要: 長時間保育を望む保護者の傾向への対応と志願者増加を図る。
進捗状況: 保護者の要望にでき得る限り応えることができた。また本園選択肢の一因ともなり志願者の増加につながられた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画: 園舎ベランダ床部分の補修・修繕
事業概要: ベランダ床の亀裂修繕等工事。
進捗状況: 夏季休暇期間中に工事完了。(達成度:A)
- 事業計画: 園庭内木製遊具等設備の修繕
事業概要: 園庭内木製遊具等設備について風雨等の影響による腐食に対する補修工事。
進捗状況: 夏季休暇期間中に工事完了。(達成度:A)

【人事(人件費)】

- 事業計画: 教員採用
事業概要: 非常勤教員の採用拡大を図る。
進捗状況: 専任教員2名の欠員補充に対し1名を非常勤教員を補充したことで人件費を抑制できた。(達成度:B)

【財政】

- 事業計画: 東京都等各種補助金・助成金の獲得
事業概要: 補助金・助成金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。
進捗状況: 当初予定していた5種の補助金獲得に加え新たに4種の補助金・助成金を獲得することができた。(達成度:A)

病院等

○医学部付属駿河台病院

【経営(管理運営)】

- 事業計画: 経費の削減—消耗品, 業務委託費, 医療材料費等の削減を図る。
事業概要: ジェネリック医薬品の積極採用, 包括医療制度導入により, 入院時の投薬検査の検証画像配信システムの実施により, 医療材料の削減。
進捗状況: 概ね維持されている。(達成度:B)
- 事業計画: 医療収入の増加—各種委員会で検討し医療収入の増加を図る。
事業概要: 医療連携を強化し, 紹介患者の増加。救急患者受入れプロジェクト委員会設立。手術室運営委員会の設立により手術室の有効利用で手術件数の増加。
進捗状況: 前年度と比較して着実に成果が現われている。(達成度:B)
- 事業計画: 7対1看護体制の維持—適正な稼働病床数を維持し, 看護師の大幅な増員なしに7対1看護体制を維持する
事業概要: 離職率を下げ, 外来との人事異動により, 人員

確保を行っている。

進捗状況: 平成24年度は堅持した。(達成度:A)

○医学部付属板橋病院

【教育研究】

- 事業計画: 専修医・研修医制度の充実(専修医・専修指導医の増員)
事業概要: 専修医・専修指導医の増員。
進捗状況: 専修医・専修指導医の随時採用を行うよう医学部とともに対応をとっている。(達成度:A)
- 事業計画: 充実した初期臨床研修プログラムの提供
事業概要: 臨床研修医の能力向上と人材確保を図る。
進捗状況: 魅力のあるプログラムを提供するために, 本学部学生との意見交換の場を設け, 要望を取り入れ, 研修医の選択自由枠の大きいプログラムを作成している。(達成度:A)
- 事業計画: 看護に求められる臨床研修の推進
事業概要: 看護部職員の能力向上を図る。
進捗状況: 勉強会の開催や, 様々な研修会及び認定看護

師の資格認定への参加を行っている。さらに、海外短期留学・研修制度を設けている。(達成度:A)

- 事業計画:臨床検査技師の研修の充実
事業概要:臨床検査技師の能力の向上を図る。
進捗状況:様々な研修会,学会への積極的参加及び発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得ができるよう支援を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:薬剤師の研修の充実並びにがん専門薬剤師,救急認定薬剤師等の育成
事業概要:薬剤部門の体制を充実,薬剤師の能力の向上を図る。
進捗状況:研修会,学会への参加及び発表を行っている。新たに,がん専門薬剤師,糖尿病療養指導士,感染制御認定薬剤師の育成が成された。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画:大学病院の地域貢献
事業概要:特定機能病院の特性を活かした地域社会への貢献を図る。
進捗状況:ホームページ,診療案内,病院だよりを発刊している。高度ながん診療,高度の救急医療等を提供し,地域の医療機関との医療連携を密にしている。(達成度:A)
- 事業計画:医療安全の充実及び院内感染対策の体制強化
事業概要:特定機能病院の役割,社会的責務の履行を図る。
進捗状況:医療安全について,他の私立,国公立医科大学との交流,院内講習会,事例検討会の実施。(達成度:A)
- 事業計画:各拠点病院認定に伴う公開講座の開設
事業概要:医学・医療情報の地域還元を図る。
進捗状況:地域がん診療連携拠点病院,臨床治験拠点病院として,公開講座,セミナーを実施。(達成度:A)
- 事業計画:医師による国際学会における発表とその支援
事業概要:医師による国際学会の参加。
進捗状況:毎月多数の医師が国際学会に参加している。(達成度:A)
- 事業計画:JICAなどを介して海外医療従事者の研修の受け入れ。
事業概要:医師,看護師,臨床検査技師の受け入れ。
進捗状況:医師,看護師,臨床検査技師の円滑な受け入れ,研修を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:国内における講習会,治験説明,啓発事業などでの招聘要請に対する職員の派遣
事業概要:各種医療機関からの医師,認定看護師,薬剤師の派遣。
進捗状況:一定の規定に基づいて選択し,積極的に対応している。(達成度:A)
- 事業計画:治験拠点病院として治験環境の整備・充実を図り,国際競争力のある研究開発環境を整備する。
事業概要:厚生労働省の治験活性化5か年計画に基づく,治験拠点病院(全国三十施設)として積極的に治験事業に参画を行う。
進捗状況:数多くの治験を受けて行っており,全国的にも高度の治験拠点病院として評価を得ている。平成24年,厚生労働省の本治験5か年計画が終了。新たな臨床研究中核病院計画が開始されており,参画を目指して医学部と共同で体制整備を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:地域医療機関,医師会と本病院において外来化学療法の充実と地域連携パス(各種がん,脳卒中,糖尿病等)への取組の連携を図る。
事業概要:紹介患者等の増加を目指し,医療収入の増加

を図る。

進捗状況:情報提供書の発行も高い水準にある。地域連携パスを用いた医療連携を行っている。(達成度:A)

- 事業計画:骨髄バンクの継続運用
事業概要:白血病等の症例の治癒,救命を目的に骨髄移植推進財団と臍帯血バンクネットワークとの連携。
進捗状況:骨髄移植推進財団と臍帯血ネットワークが発足した当時から良好な関係を保ち,昨年は10名のドナーの骨髄採取に協力している。また,ほぼ同数の骨髄提供をバンクを介して受け,当院で移植を実施している。臍帯血に関しては分離保存施設としてネットワークの一施設として多大な貢献を果たしており高く評価されている。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画:患者未収入金回収事業
事業概要:弁護士事務所による患者未収入金回収事業。
進捗状況:患者未収入金の減少が得られた。弁護士費用は成功報酬であり,病院収入の増収に貢献している。3つの法律事務所と契約をし,約120万回収した。法律事務所からの督促は一定の効果がみられ,患者側の意識も今後変化していく事が予想される。(達成度:A)
- 事業計画:二次救急医療の強化
事業概要:救急車で搬送される二次救急患者の受け入れを強化する。
進捗状況:受け入れ患者数,救急車数は前年度に比較し大きく増えてはいないが,2次救急を担当する病院規模からみて,現状数が少ないわけではない。今後,さらに二次救急の受け入れを増加させ,入院数増加につなげるためにはER(emergency room)センター化による効率化が不可欠である。(達成度:B)
- 事業計画:7対1看護体制の維持
事業概要:看護師の安定的採用により,7対1看護体制を維持する。
進捗状況:7対1看護体制の経常的維持が可能となっており,この体制維持を続行する。(達成度:A)
- 事業計画:経費の削減
事業概要:消耗品,医療材料費等の削減を図る。
進捗状況:薬品の価格交渉を行って,約1億6千万円の経費削減が図れた。(達成度:A)
- 事業計画:患者用電動ベッドの購入
事業概要:老朽化したベッドを毎年度更新する。
進捗状況:平成24年度は20台更新した。(達成度:A)
- 事業計画:特定機能病院の特徴を生かした高度先進医療への取組
事業概要:効率化,高質化のなお一層の推進を図る。
進捗状況:数件の増加に止まっている。(達成度:B)
- 事業計画:専門診療体制への取組
事業概要:新たな特化した専門診療科を設置して付加価値を高める。
進捗状況:院内表示ではあるが,熱傷センター,外傷センター,川崎病長期フォローアップセンター,ニューロモジュレーションセンターなどの継続表示および地域への周知,患者数増加を図った。(達成度:A)
- 事業計画:セクトオペニオン制度への対応
事業概要:セクトオペニオンによる納得の医療の提供。
進捗状況:順調に受け入れを行っている。(達成度:A)
- 事業計画:診療環境の改善
事業概要:適正病床数と環境改善を検討。患者の権利と安全確保。
進捗状況:患者の権利と安全確保のために依頼があれば

- 加開示の対応を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:地域医療機関との連携の充実・強化
事業概要:診療案内, 紹介患者の増加を図る。
進捗状況:医療連携室の充実を図っている。地域及び院内での連携の周知と使用数増加による医療連携強化を図っている。(達成度:A)
 - 事業計画:ホームページの充実
事業概要:ホームページを充実させ, 外部への情報発信を積極的に行う。
進捗状況:内容の随時更新し, 様々な情報を外部に発信している。病院の理念, 基本方針などを, より分かり易く改変し掲載した。(達成度:A)
 - 事業計画:地域への情報発信
事業概要:外部に対する情報提供可能な施設を目指す。
進捗状況:ホームページ, 診療案内, 病院だよりの発刊等を行っている。(達成度:A)
 - 事業計画:国の医療政策としてあげられている5疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞, 糖尿病, 精神疾患)及び5事業(小児医療, 救急医療, 災害医療, 周産期医療等)の各拠点病院化に向けての院内整備
事業概要:都医療計画に基づき, 上記の5疾病, 5事業(へき地医療を除く)の地域医療連携を積極的に推進し, そのために必要な院内設備を進める。
進捗状況:へき地医療以外の4疾病, 5事業については高度の医療を達成している。(達成度:A)
 - 事業計画:変革する医療制度への対応
事業概要:(1)患者治療後の退院時調整のための二次医療圏内の医療機関との更なる連携を図るべく, 医療連携室の充実を図る。退院支援センターの新設及び退院支援ナ

スの配置。(2)医療機関としての機能・役割に関する情報管理。(3)地域がん診療連携拠点病院として「医療機関に対する研修制度」, 「がん等の治療成績情報の管理」, 「緩和ケアの充実」, 「患者相談の対応」等の更なる充実を図る。(4)災害拠点病院としての機器の整備を図る。(5)院内通信設備(PHSの充実)による7対1看護体制の下, 情報伝達の向上と医療安全の向上を図る。
進捗状況:医療連携の充実に関しては, 現在, 病院システムの改善を行っており, より良好な医療連携システムの構築がなされつつある。他の項目についてはいずれも良好な充実, 整備が図られている。(達成度:A)

○歯学部附属歯科病院

【施設設備】

- 事業計画:歯科病院診療室改修工事
事業概要:歯科病院4階歯科矯正科診療室及び第4技工室を改修するとともに老朽化した歯科診療用ユニット16台を更新した。
進捗状況:工事は, 平成24年4月2日に着工し, 平成24年5月28日に完成。(達成度:A)

○松戸歯科附属病院

【経営(管理運営)】

- 事業計画:医療情報システム更新
事業概要:システム更新による, 安定した情報管理及び処理のスピード化により, 患者サービスの向上が期待される。
進捗状況:システムの更新が完了し, 患者サービスの向上が図られた。(達成度:A)

本部

【教育研究】

- 事業計画:学部の入学定員変更
事業概要:(1)歯学部の学科の入学定員を以下のとおり変更した。・歯学科 入学定員 160人→130人(収容定員960人→780人)(2)松戸歯学部の学科の入学定員を以下のとおり変更した。・歯学科 入学定員 160人→130人(収容定員960人→780人)。
進捗状況:平成23年5月31日付け本学公発第16号により入学定員の変更について届出を行い, 平成24年4月から定員を変更した。(達成度:A)
- 事業計画:大学院研究科の入学定員変更
事業概要:(1)歯学研究科の専攻の入学定員を以下のとおり変更した。・歯学専攻 入学定員 42人→30人(収容定員168人→120人)(2)松戸歯学研究科の専攻の入学定員を以下のとおり変更した。・歯学専攻 入学定員 40人→30人(収容定員160人→120人)。
進捗状況:平成23年5月31日付け本学公発第17号により入学定員の変更について届出を行い, 平成24年4月から定員を変更した。(達成度:A)
- 事業計画:短期大学部の入学定員変更
事業概要:短期大学部の学科の入学定員を以下のとおり変更した。・商経学科 入学定員 150人→80人(収容定員300人→160人)。
進捗状況:平成23年5月31日付け本学公発第18号により入学定員の変更について届出を行い, 平成24年4月から定員を変更した。(達成度:A)
- 事業計画:短期大学部の学科の名称変更

事業概要:短期大学部の学科の名称を以下のとおり変更した。・建設学科→建築・生活デザイン学科, ・基礎工学科→ものづくり・サイエンス総合学科, ・応用化学科→生命・物質化学科。
進捗状況:平成23年4月27日付け本学公発第6号により名称変更について届出を行い, 平成24年4月から名称を変更した。(達成度:A)

- 事業計画:大学院研究科の設置
事業概要:薬学研究科博士課程の専攻を以下のとおり設置した。・薬学専攻 入学定員5名(収容定員20名)。
進捗状況:平成23年5月31日付け本学公発第15号により薬学研究科の専攻の設置について届出を行い, 平成24年4月に設置した。(達成度:A)
- 事業計画:FD活動の全学的・組織的推進
事業概要:(1)FD推進センター活動体制の再編による機能強化(2)『日本大学FDガイドブック』(学生編・教職員編)の新規発行並びに改訂版の検討(3)「日本大学FD NEWSLETTER」の新規発行(4)『日本大学FD研究』の新規刊行(5)ティーチング・ポートフォリオの普及並びにその手助けをするメンター養成プログラムの企画・実施(6)学生参加型FD活動の企画・実施(7)「FD等教育開発推進関連組織に関する調査」の実施(8)平成24年度全学FDシンポジウムの開催(9)平成24年度新任教員FDセミナーの開催。
進捗状況:(1)機能別に再編した3WG(調査・分析WG, プログラムWG, 教育情報マネジメントWG)体制に移行した。WGリーダー会議で各WGの活動に跨るFD推進センター中期計画を協議するなど, 各WG間の連携を強化し, FD推進センター全体の施策

へと着実に展開しつつある。(達成度:B) (2)平成 24 年 4 月に『日本大学 FD がいどブック 2012』(『Learning Guide』, 『Teaching Guide』)を新規発行した。その内容に関し、各学部等からの意見及び学生を交えた意見交換会でのコメント等を踏まえ、平成 25 年 4 月発行の『日本大学 FD がいどブック 2013』に向け改訂に関する検討・編集を行った。(達成度:A) (3)平成 24 年 4 月に「日本大学 FD NEWSLETTER」(創刊号)を新規発行した。続く「第 2 号」に係る企画・編集を行い、同号を平成 24 年 9 月に発行した。さらに、上記(1)に鑑み、FD 推進センター長と各 WG リーダーとの座談会を特集記事とした平成 25 年 4 月発行の「第 3 号」に係る企画・編集も行った。(達成度:A) (4)「投稿要項」及び「執筆要領」の制定並びに投稿原稿の募集、査読者の選定や全体構成の検討等を経て、平成 25 年 3 月に『日本大学 FD 研究』を創刊した。FD 推進センターウェブサイトによる公開をはじめ、学内外関係機関に広く冊子を配布し、本学における高等教育研究等の成果の共有に努めた。(達成度:A) (5)平成 24 年度は FD 推進センターとしてティンソグ・ポートフォリオ(TP)作成のためのワークショップ(WS)を開催しなかったが、歯学部において TPWS が開催され、同学部以外の学部からの参加者も含めて実践的に行われた。次年度以降は、FD 推進センターと学部との共催あるいは単独開催で TPWS を開催することを検討している。(達成度:C) (6)「学生と教職員による FD 座談会-「良い授業とは」-学生及び教員の視点から」を平成 25 年 2 月 26 日に開催した。教員及び学生からの事例報告の後、「良い授業とは」をテーマに学生及び教職員による自由闊達な意見交換が行われた。(達成度:A) (7)FD 推進センター基本計画(長期計画)に鑑み、全国の国公私立大学を対象にして、各大学の FD に対する位置づけを取組内容と組織形態、運営方法などから把握し、本学独自の FD 推進の方向性を見出すことを目的に調査を実施(回収率 60.4%)した。同調査結果を分析し、概要を『日本大学 FD 研究』(第 1 号)に投稿し学内外に公開するとともに、「調査報告書」を本学内限定で公開した。次年度以降、同調査結果を更に深く精査していくこととしている。(達成度:B) (8)学生による授業評価の活用方法に関する基調講演及びミニワークショップにより、各学部等や専門領域の特性を踏まえたより効果的な学生による授業評価アンケートの活用方策を探ることを目的として、平成 25 年 2 月 26 日に平成 24 年度全学 FD シンポジウムを開催し、151 名の教職員が参加した。(達成度:A) (9)各学部等における 3 つのポリシー(AP・CP・DP)の下で各教員の教育理念を明確化することを目的として、平成 24 年 12 月 22 日に平成 24 年度新任教員 FD セミナーを開催し、134 名の対象教員(平成 23 年度及び平成 24 年度新規採用専任教員)が参加した。(達成度:A)

○事業計画:短期海外研修の実施

事業概要:夏期休暇期間を利用して、英国、米国及び豪州において短期海外研修を実施し、国際人として求められる思考力、異文化間交流能力及び英語力の向上を目指す。研修では、ネイティブスピーカーから直接英語や専門科目を学び、英語で思考し、発言する機会を作ることにより、より効果的な学習機会を与える。

進捗状況:【英国】平成 24 年度ケンブリッジ大学ペンソブルック・カレッジ サマースクールは、SL コース(参加者 67 名)を 8 月 7 日(火)～9 月 4 日(火)の 29 日間、大学院コース(参加者 7 名)を 8 月 7 日(火)～8 月 28 日(火)の 22 日間で開催した。学生の理解度について、事後アンケートによれば、講義科目は科目によってばらつきが出たものの、68～86%(昨年は 60～80%)、語学クラスでは 86%(昨年は 80%)の高い理解度を示してい

ることからも、当初の目的は達成したといえる。【米国】平成 24 年度エリザベス・スタウン・カレッジ サマースクールは、8 月 1 日(日)～8 月 21 日(水)の 21 日間で実施し、20 名が参加した。英語学習のみならず、現地研修を通じて米国人が持つ日本人との視点の違いを理解する一方で、自分の意見をはっきり持ち伝えることの重要性を学んだ。【豪州】平成 24 年度オーストラリア短期海外研修は、平成 25 年 2 月 9 日(土)～3 月 16 日(土)の 36 日間、ボンド大学語学研修機関にて実施し、学部 1 年生 20 名が参加した。英語授業、世界各国の留学生との交流、ホームステイ並びに日本大学独自の社会貢献活動を通じ、本研修による広い経験と異文化理解の涵養から、多様な価値観を見出し、今後の自己の方向性を見つめ直す機会となった。(達成度:A)

○事業計画:留学生受入れ環境整備の充実並びに広報活動の強化

事業概要:交換留学生の受入数を増やし、提携大学との交流を促進する。また国費留学生の研究指向を把握し、受入れの促進を各学部・研究科に働きかける。

進捗状況:本年度、アイルランド国立大学メイヌス校、デンマーク・オーフス大学との新規協定を締結した。また、提携校である台湾 2 大学との新規交換留学制度を整え、募集を開始した。(達成度:A) 国費留学生の受入れ促進については、本年度は実施できなかったものの、今後は現在実施している外国大学との国際交流に関する調査を手がかりに、学部・研究科との連携を強化した上で広報活動を展開していきたいと考えている。(達成度:C)

○事業計画:ケンブリッジ大学ペンソブルック・カレッジ「英語教授法スキルアップ 研修会」

事業概要:附属校の英語教諭が、英語及び外国語としての英語教育の授業等を受けることにより、ケンブリッジ大学独自の英語教授法を習得し、自身の英語力及び英語教育における資質の向上を図る。

進捗状況:平成 24 年 7 月 23 日(月)～8 月 5 日(日)の 14 日間において教員 12 名が参加し、研修を行った。(達成度:A)

○事業計画:ケンブリッジ大学ペンソブルック・カレッジ「附属高校生のサマー・プログラム」

事業概要:附属高校生が、ケンブリッジ大学ペンソブルック・カレッジのプログラムによる英語、歴史及び文化の授業を受けることにより、英語の表現力・伝達力の向上とより一層の国際的な感覚を身に付けるためのプログラム。

進捗状況:平成 24 年 7 月 21 日(土)～8 月 6 日(月)の 17 日間において男子生徒 16 名、女子生徒 34 名の計 50 名が参加し、無事終了した。(達成度:A)

○事業計画:ケンブリッジ大学ペンソブルック・カレッジ「附属高校生のイースター・プログラム」

事業概要:附属高校生が、ケンブリッジ大学ペンソブルック・カレッジのプログラムによる英語、歴史及び文化の授業を受けることにより、英語の表現力・伝達力の向上とより一層の国際的な感覚を身に付けるためのプログラム。

進捗状況:平成 25 年 3 月 18 日(月)～4 月 3 日(水)の 17 日間において男子生徒 22 名、女子生徒 50 名の計 72 名が参加し、無事終了した。(達成度:A)

○事業計画:教科研修会(附属高等学校等夏季教科研修会、附属高等学校等秋季教科研修会)

事業概要:附属高等学校等における当該教科に関する学習指導の強化、教員の資質向上を図るための研修会。

進捗状況:夏季教科研修会は 8 月 21・22 日の 2 日間、国語、地歴・公民、数学、理科、保健体育、英語の教員 361 名が参加。秋季教科研修会は 9 月 24 日に習志野高等学校で数学

- の教員 28 名, 10 月 12 日に明誠高等学校で保健体育の教員 27 名が参加。(達成度:A)
- 事業計画:校務分掌研修会(付属高等学校生活指導研修会)

事業概要:付属高等学校等における生活指導の強化, 教員の資質向上を図るための研修会。

進捗状況:付属高等学校生活指導研修会は, 中堅教員研修会のテーマが生活指導であったため, 規定に基づき実施しなかったが, 中堅教員研修会では, 生活指導をテーマとした研修に 18 名の教員が参加し意見交換等を行った。(達成度:A)
 - 事業計画:付属高等学校中学校教員採用内定者オリエンテーション・新規採用教員研修会・3 年次研修会・中堅教員研修会

事業概要:付属高等学校等教員の資質向上を目的に, 教員としての必要な基礎知識, 技能及び心構え等を習得するとともに, 組織の一員としての意識を高め, 今後の業務遂行に資するための研修会。

進捗状況:いずれの研修会も幹事校を定め, それぞれの研修会の目的が達成できるよう研修内容を検討し, 述べ 160 名が参加する有意義な研修会となった。(達成度:A)
 - 事業計画:付属高等学校事務担当者研修会, 特別・準付属高等学校事務担当者研修会

事業概要:付属高等学校等関係事務職員の資質向上及び事務業務の合理化並びに職員間の交流を図るための研修会。

進捗状況:付属高等学校事務担当者研修会は 12 月 7 日(金), 鶴ヶ丘高等学校で 25 名が参加し, 特別・準付属高等学校事務担当者研修会は 11 月 22 日(木), 大垣日本大学高等学校で 29 名が参加し, 無事に終了した。(達成度:A)
 - 事業計画:英語スピーチコンテスト, 文芸コンクール

事業概要:付属高校生の英語力及び国語力の向上と付属高等学校等相互の交流と親睦を図ることを目的とした英語スピーチコンテスト及び文芸コンクール。

進捗状況:英語スピーチコンテストは 10 月 5 日(金)に各付属校の代表 25 名により, 文芸コンクールは俳句・短歌・詩・小説・読書感想文の 5 部門で, 96, 884 作品の投稿により実施された。(達成度:A)
 - 事業計画:入学願書受付処理業務(日本大学入試センター)

事業概要:同一願書による複数学部の出願を可能にすることにより, 志願者の負担軽減と学部における受付処理業務の簡素化による経費削減を主な目的として, 平成 20 年度入試より同センターで実施している。

進捗状況:昨年度に受付処理業務委託業者の見直しを行い, 大幅な経費の削減が実現できた。また, 同センターが受付処理業務を受託してから今年度で 6 年目を迎え, これまでのノウハウの蓄積により安定的な運営が確立されている。(達成度:A)
 - 事業計画:平成 25 年度日本大学一般入学試験 N 方式の実施

事業概要:複数学部の入試を同一試験日, 同一問題, 複数試験場で実施することで, 受験生の利便性の向上, 総合大学としての統一性のアピール, 効率的な入試運営を図る。

進捗状況:今年度新たに法学部第二部が N 方式に参加し, 今年で 3 回目を迎えた。今年度は実人数及び延べ人数とも志願者数が過去最高を記録し, 徐々に N 方式が定着し始めている。(達成度:A)
 - 事業計画:就職未内定者に対するフォローアップ 就職セミナーの実施

事業概要:学部及び大学院在籍者で, 就職活動を継続し
- ている就職未内定者をフォローアップするための就職セミナーを 10 月・12 月と年 2 回実施。
- 進捗状況:本行事は, 従来 10 月に実施し, 未内定者に好評を得ていたが, 倫理憲章に伴う就職活動の長期化により, 12 月に未だ内定を取れない学生のフォローが必要と考え, 2 回のセミナーを実施した。(達成度:A)
- 事業計画:公務員試験支援センター主催講座等の内容変更

事業概要:当センター主催の従来講座を見直し, 1・2 年次の学生に対し, 公務員の仕事を理解することができる参加型がイブニング講習を実施し, 国家公務員(総合職)受験者の増加を目指す。

進捗状況:平成 25 年度から駿河台・湘南プラザで実施予定。(達成度:B)
 - 事業計画:平成 24 年度日本大学全学文化行事(2012NU 祭)

事業概要:総合大学である本学の特性を活かすため, 人的・知的財産創出の舞台としての文化行事を大学・高校等の全部科校で実施する。

進捗状況:統一テーマの基, 全部科校の学生・生徒が人的・知的財産を結集し, 総合閉会式において全学的文化行事として成果を結実させた。全学による募金活動では, 国連難民高等弁務官事務所から感謝状を授与された。(達成度:A)
 - 事業計画:日本大学体育大会

事業概要:大学(短期大学部を含む), 附属専門学校, 付属高等学校及び付属中学校参加による体育大会。

進捗状況:生徒, 学生及び教職員の健康管理, 体力向上へ意識を高めるとともに, 普段は交流の少ない部科校間の交流を行うことができ, 帰属意識を高めることができた。(達成度:A)
 - 事業計画:日本大学本部所属学生団体活動

事業概要:本部学生支援部に所属する文化団体連合会 13 団体, 体育団体連合会 6 団体の活動。正課教育以外の学術・文化, 体育活動の充実を図ることを目的とする。

進捗状況:平成 24 年度から新たに 2 つの体育団体が加入。課外活動の充実, 行事等の円滑な運営が図られている。本部の団体のため, 各学部から学生が集まることにより, 学部の枠を越えた交流ができています。(達成度:A)
 - 事業計画:学生・生徒に対するメンタルヘルズ支援

事業概要:(1)本部学生相談センターでのカウンセリングの実施及び部科校相談室へのカウンセラー派遣(2)学生へのメンタルヘルズ調査の実施と結果返却面接(3)全学生への学生相談室パンフレットの配布。

進捗状況:(1)本部学生相談センターは月曜日から土曜日まで開室しカウンセリングを実施。また, 部科校へは部科校からのカウンセラー派遣要請に基づきカウンセラーを派遣し, 学生・生徒に対するメンタルヘルズ支援, 部科校相談業務への指導, 生徒・教職員への講演を行った。(達成度:A)(2)メンタルヘルズ調査を実施したいという希望があった 2 大学院・9 学部・2 短期大学部・1 専攻科・4 専門学校の各年次に対して実施した。また, 学生の自己理解が深まるようカウンセリングが結果返却面接を行った。(達成度:A)(3)学生へ本学の学生相談体制を周知するため, 学生相談室パンフレットを作成し, 全学生へ配布した。(達成度:A)
 - 事業計画:学生・生徒に対するメンタルヘルズ支援充実のための教職員への啓蒙活動

事業概要:教職員への学生相談研修会及びインテーカー認定者研修会の実施。

- 進捗状況:教職員に対して学生相談研修会及びインター認定者研修会を年 1 回ずつ開催し、学生・生徒に対する支援向上を図った。(達成度:A)
- 事業計画:学生・生徒に対するメンタルヘルス支援充実のための教職員への啓発
- 事業概要:(1)発達障がい支援パンフレットの作成及び教職員への配布(2)生徒サポートブックの刊行及び教職員への配布。
- 進捗状況:(1)教職員へ配布する発達障がい学生への支援パンフレットを作成すべく検討を重ねてきたが、文書での啓発に対し、より有効な方法が検討され、作成を見送った。(達成度:C)(2)付属高等学校・中学校教職員へ生徒サポートブックに新しい項目を追加し配布。生徒に対するメンタルヘルス支援の向上を図った。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学創立 100 周年記念外国人留学生奨学金
- 事業概要:所属する学部・大学院の留学生に授業料相当額を支給。
- 進捗状況:受給者は所属長からの推薦に基づいて奨学生を決定している。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学付属高等学校奨学金
- 事業概要:付属高校生徒のうち、本学進学志望者で家計困窮者に 24 万円を給付する。
- 進捗状況:本学に進学を志す本学付属高等学校の生徒で家庭困窮など学業の継続が困難である生徒に対して経済的支援をすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学古田奨学金
- 事業概要:大学院生のうち人物、学業成績の優れている者に 20 万円を給付する。
- 進捗状況:各研究科 1 名、計 22 の研究科(修士前後期・博士課程)に在籍する大学院生の中から学業成績・人物が優れている者を選考し、給付することにより、当該大学院生の学術・研究を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学ハート・F・ケネディ奨学金
- 事業概要:大学院生のうち人物、学業成績の優れている者に 20 万円を給付する。
- 進捗状況:各研究科 1 名、計 22 の研究科(修士前後期・博士課程)に在籍する大学院生の中から学業成績・人物が優れている者を選考し、給付することにより、当該大学院生の学術・研究を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学小澤奨学金
- 事業概要:法、経済、商学部学生のうち国家試験の受験を志す者に 12 万円給付する。
- 進捗状況:国家試験(司法試験、公認会計士、税理士試験等)の受験を志す学生に対し、対象学部各 3 名(計 9 名)を選考の上、給付し、当該学生の国家試験対策を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学オジガ設計奨学金
- 事業概要:理工、生産工、工学部の学生のうち国家公務員採用試験の受験を志す者に 20 万円を給付する。
- 進捗状況:国家公務員採用試験総合職の受験を志す学生に対し、対象学部各 2 名(計 6 名)を選考の上、給付し、当該学生の国家公務員試験対策をすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学 N. (エドワート)奨学金
- 事業概要:入学時の成績が優秀でかつ経済的支援が必要と認められる学部 1 年次生(外国人留学生を除く)に 36 万円を給付する。
- 進捗状況:平成 24 年度は東日本大震災に伴い、各学部の判断により被災した新入生への支援奨学金に充当してよいこととした。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学桜樹奨学金
- 事業概要:東京都(島しょ部を除く)、神奈川、埼玉、千葉県以外の出身、国際関係学部は静岡県以外、工学部は福島県以外の出身で、入学時の成績が優秀でかつ経済的支援が必要と認められる学部 1 年次生に 36 万円を給付する。
- 進捗状況:平成 24 年度は東日本大震災に伴い、各学部の判断により被災した新入生への支援奨学金に充当してよいこととした。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学アサヒ奨学金
- 事業概要:保健体育審議会に入会予定の者又は所属している学生で、第一種は入学前の競技成績が特に優れた学部 1 年次生、第二種は同等の競技成績を残した 2 年次生以上を対象とした奨学金。
- 進捗状況:第一種奨学生 5 名、第二種奨学生 10 名にそれぞれ入学金・授業料・施設設備資金相当額及び図書費を給付。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学の傷害及び死亡事故等に関する給付金
- 事業概要:本学に在籍する学生の正課・課外教育中に発生した事故等に対して給付を行う。
- 進捗状況:事務取扱改正により、治療期間の延長や医歯系学部における臨床実習中の事故等に対しても給付対象となり、本大学院、学部、通信教育部、短期大学部、専攻科及び専門学校に在籍するより多くの学生が治療費給付金を受給できた。(達成度:A)
- 事業計画:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置(授業料等減免)
- 事業概要:東日本大震災(東京電力福島第一原子力発電所事故による災害を含む)により被災し、経済的に修学困難になった学生に入学金免除及び授業料等の減免を行った。
- 進捗状況:本学に在学する被災学生に経済的支援をすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置(支援寄付金交付)
- 事業概要:東日本大震災(東京電力福島第一原子力発電所事故による災害を含む)により被災し、経済的に修学困難になった学生に校友会、教職員、父母、篤志家等からの寄付金を募り平成 23 年度の交付に引き続き、平成 23 年度に授業料減免等を受けた学生・生徒に交付を行った。
- 進捗状況:本学に在学する被災学生に経済的支援をすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:「譽誌」の刊行
- 事業概要:本学の歴史資料に関する論文を掲載する雑誌。
- 進捗状況:刊行済。(達成度:A)
- 事業計画:「日本大学略年表」「大学史編纂課だより」「学祖山田顕義と法律」の刊行
- 事業概要:本学の歴史を学内外にわかりやすく知らしめ、本学に対する理解度を高める冊子。
- 進捗状況:「日本大学略年表」は、より効果的に周知するために発行部数・公開方法を再検討中。他の 2 誌は刊行済。(達成度:B)
- 事業計画:本学の歴史に関する史跡・資料等の調査

事業概要:資料及び資料情報を収集し、教育研究や普及振興活動に活用。

進捗状況:学内関係部署の大学史に関する資料の受入れ及び外部所蔵本学関係資料の調査を実施。また校友やその親族からの資料受入れが増加した。収集資料については刊行物で部分的に公開している。(達成度:A)

○事業計画:学術研究戦略プロジェクトの実施

事業概要:日本大学・学術研究戦略の目標実現の為、平成21年度より日本大学学術研究戦略プロジェクト(M研究プロジェクト)を実施し、平成24年度は5年計画の4年目の研究を実施した。

進捗状況:平成21年度より実施された日本大学学術研究戦略プロジェクト(M研究プロジェクト)は、理工学部を中心とした学部間連携に基づき、ナノ技術をコアとして情報・エネルギー・医療と多岐に亘る分野において研究成果が得られた。それら研究成果は、Nature, Nature Photonics, Journal of the American Chemical Society, Physical Review Letter 等へ論文掲載される等、着実に社会的評価を得ている。また、平成25年度への研究継続審査にあたり、プロジェクト代表者へヒアリングを行い、最終年度の研究では、具体的・象徴的研究成果を求めると同時に、研究期間終了後の当該プロジェクトの在り方についても、検討しておく必要があること及び単に研究成果を公開するだけでなく、本学としての研究に関する魅力を広く社会に伝えることも併せて実施することが提言された。(達成度:A)

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実施

事業概要:国の「私立大学戦略的基盤形成支援事業」の助成を受け、研究基盤の整備及び研究機能の高度化を図る。

進捗状況:平成24年度の私立大学戦略的基盤形成支援事業の実績として、4件申請のうち、2件が選定された。上記の新規選定事業を併せて11事業が国からの助成を受け、総合大学としての特性を活かした様々な最先端の研究を推進した。(達成度:A)

○事業計画:学術研究助成の実施

事業概要:学術研究助成金を交付することにより、本学の学術の振興を図る。

進捗状況:申請に基づき、学術研究助成金審査委員会の審査により採択選定し実施した。平成24年度の実績は総合研究16件、一般研究(高校の部)2件である。一般研究(大学の部)、共同研究、学術論文出版助成金、総長指定の特別出版助成の募集は、平成22年度より当面の間募集を停止している。(達成度:A)

○事業計画:総長特別研究・理事長特別研究の実施

事業概要:総長特別研究においては、学術研究戦略の基本方針、理念、目標を基に継続して学術研究を推進しているが、総長が社会や本学の状況を鑑み、本学が今後3年間、特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進する。理事長特別研究においては、本学の研究成果を広く社会に還元するとともに、本学の教育研究及び運営にも積極的に利用できる研究を推進する。

進捗状況:総長特別研究2件、理事長特別研究4件が採択された。採択決定が7月になった為、平成24年度の研究期間が1年を欠くことになったが、各プロジェクトにおいては平成24年度の研究成果を発表するシンポジウムが行われる等、順調に研究が進んでいる。また、理事長特別研究については、新たに職員が研究プロジェクトの構成メンバーとして参画することで、本学の総合性を活かした研究を実務に反映できる新たな試みとして行われ、成果をあげている。(達成度:A)

○事業計画:産学官連携による競争的研究資金の獲得と受託・共同研究の推進による研究活動の促進

事業概要:産業界等との受託・共同研究の実施や外部研究支援機関からの競争的研究資金の獲得など、産学官連携と研究推進を一体的に行うことにより研究活動を促進する。

進捗状況:NUBICにおいて受け入れた受託・共同研究は、件数は昨年度より下回ったが、金額は前年度実績を上回った。また、競争的研究資金については、前年度に比べて金額は下回ったが、件数においては約1.5倍となり、積極的な資金獲得に向けた活動成果が得られた。(達成度:A)

○事業計画:日大WAN(広域ネットワーク)運用・管理

事業概要:部科校内の情報基盤(ネットワーク)の強化・拡充を図り、教育研究及び事務業務等に必要な電子情報を迅速に提供する。また、安全で安定したネットワークを維持管理する。

進捗状況:平成23年度に引き続き、高速ネットワーク網の安定した運用ができた。(達成度:A)

○事業計画:統一認証システムの運用・管理

事業概要:認証システムを統一することにより、各システムの連携を可能とし、学習・教育・研究活動の利便性を向上させ、セキュリティ管理の徹底を図る。

進捗状況:9月に認証システムの負荷分散機能にサービス停止の障害が発生し、2日間システムが停止した。このため、負荷分散機能を二重化し、今後の障害発生時の復旧時間の短縮を図る対策を講じた。また、他システムとの連携も調整を図りながら徐々に進めている。(達成度:B)

○事業計画:遠隔授業の実施

事業概要:日大WANとテレビ会議システムを利用した同時双方向通信システムにより遠隔地を結び、学生がキャンパス間を移動せず受講可能な授業を配信する。

進捗状況:平成24年度は、9学部12キャンパスが参加し、前期は芸術学部、後期は商学部の授業を配信した。視聴環境をリニューアルし、より鮮明な映像配信が可能となり学生の理解度向上を促進できた。(達成度:A)

○事業計画:新全学共通図書館システムの開発

事業概要:全学の図書館システムを統一化し、利用者サービスの向上と教育研究環境の整備拡充を実現する。

進捗状況:平成23年度に全学部での導入が完了した。現在は共通のプラットフォームとして同システムが順調に稼働している。(達成度:A)

○事業計画:電子ジャーナルデータベース及び電子ブックの導入・有効活用

事業概要:全学図書館での利用講習会の実施、学部学生へのリテラシー教育等を通じて利用促進を図り、スケールメリットを生かした大学一括契約と競争入札等で経費節減を実現する。

進捗状況:継続参加している国立情報学研究所の学術認証連携により、本学の教職員学生が学外から利用できる電子ジャーナルデータベース及び電子ブックの増加等、利用環境の向上に取り組んでいる。電子ジャーナルデータベース及び電子ブックの契約では、コンソーシアムに参加し、より有利な条件での契約締結や積極的な見積り合わせを実施し、経費節減を図っている。全国規模で実施された学術情報の利用調査(SCREAL2011)に参加し、本学における電子ジャーナル・デー

ベース及び電子ブックの利用調査を実施することで有効利用を図った。(達成度:A)

【社会貢献】

- 事業計画: 日本大学軽井沢テニスクラブ
事業概要: 大学と地域社会の交流として、保健体育審議会テニス部の協力の下、近隣の高校生、研修所周辺住民等を対象にテニスを通じて交流を図る。
進捗状況: 研修所周辺の住民や高校生等が参加し、地域に貢献している。初心者、中級者、上級者とレベルに合った指導をしており、好評を得ている。(達成度:A)
- 事業計画: 日本大学プレミアムカレッジの実施
事業概要: 本学が有する人的資源を活用・提供することにより、本学への認知度の深化を図る。
進捗状況: 平成 24 年度は札幌会場・郡山会場と 2 地区で実施した。両会場共に多数の参加者があり、当初の目的は達成した。(達成度:A)
- 事業計画: 部科校等における本学の歴史に関する普及活動
事業概要: 本学並びに学祖山田顕義の事蹟に関する講演や展示。
進捗状況: 複数の部科校において講演を実施。また萩市立萩図書館における展示への協力と、それに関連した講演を実施した。(達成度:A)
- 事業計画: 学部が所在する地域における産学官連携の促進による地域社会への貢献
事業概要: 地域との連携を強化することで地域における産学官連携研究を促進し、大学の知の社会還元により地域社会に貢献する。
進捗状況: 工学部・ふくしま郡山地域における地域連携活動を継続実施、本学の 4 学部が所在する千葉地域にて産学官連携フォーラムの共催及び生物資源科学部のある神奈川県における関係機関との連携強化活動の一環として、独立行政法人科学技術振興機構にて、研究成果の実用化促進を目的とした新技術説明会を開催した。(達成度:A)
- 事業計画: 技術移転可能性を重視した研究成果の権利化及び権利の維持管理による効率的・効果的な知的財産活動の推進
事業概要: 技術移転可能性を重視した厳格な審査による産業財産権の取得、産業財産権の維持管理に係る外部資金の積極的活用、保有する権利の活用可能性を重視した厳選・精選等を行うことにより、維持経費が軽減されるとともに、効率的・効果的な知的財産活動を推進する。
進捗状況: 知的財産の活用可能性をより重視した知的財産管理を行うべく、案件評価等の基準を設け、特許性、活用可能性等のほか、案件に関する技術移転状況等を加味した審議を行うことにより効率的・効果的な知的財産の維持・管理を行った。(達成度:A)
- 事業計画: 学内における知的財産活動等に関する啓発活動の実施
事業概要: 知的財産活動の意義や知的財産制度等に関する啓発活動により、発明者の裾野を広げ、研究成果の社会還元を促進する。
進捗状況: 平成 18 年度に教職員向けに作成した発明に関する手引書の改訂作業を進めている一方、学部連携を目的とした若手研究者のボースタセッションにコーディネーターが参加する等、知的財産活動等に関する啓発活動に努めた。(達成度:A)
- 事業計画: 学内における産学連携活動に係る利益相反マネジメントの適正な運用

事業概要: 学内における適切な利益相反マネジメントにより、安心・安全に研究活動に注力できる環境を整備し、産学官連携研究による研究成果の社会還元を促進する。
進捗状況: 諸規程等は整備され運用しているが、更なる運用改善を図るべく、学外のシンポジウムや講演会に積極的に参加し情報収集に努めた。(達成度:B)

【環境活動】

- 事業計画: 省エネルギー化の促進と現状の把握、電力削減対策の実施
事業概要: エネルギーの合理的な使用を総合的に進めるとともに、電力消費削減対策を実施する。
進捗状況: 電力削減対策として、クールビズの実施期間を例年より長くすることで節電や省エネ化に取り組み、エネルギー使用量の削減を図った。また、自治体からの調査への回答、地球環境対策に係るセミナー等にも積極的に参加した。(達成度:B)
- 事業計画: コンプライアンス(法令遵守)の徹底
事業概要: 情報管理等に関するリーフレット配布や規程等を整備し、個人情報を含む情報管理等コンプライアンスの意識向上を図る。
進捗状況: リーフレットの内容を時代の趨勢に照らしながら改善し、情報管理に関して陥りやすい項目や特に注意すべき項目を掲げて意識向上を図った。情報管理に関する規程等は現在検討中である。(達成度:B)
- 事業計画: ハラスメントのない就学・就業環境の構築
事業概要: 役教職員、学生・生徒等の就学・就業環境の維持向上及び人権に関する意識向上を図るため、巡回講演会や人権啓発ポスターコンクールを開催、その他人権啓発リーフレットを全役教職員、学生・生徒等へ配布する。
進捗状況: 昨年度より多い 12 部科校にて巡回講演会を実施した。人権啓発ポスターコンクールは大学生、高校生、中学生から幅広く応募があり、学生・生徒の人権に対する意識向上の一助となった。これら啓発活動により、人権相談オフィスにおける相談件数は減少傾向にある。(達成度:A)

【経営(管理運営)】

- 事業計画: 大学・短期大学部・専門学校自己点検・評価の実施
事業概要: 本部・学部等単位で自己点検・評価を実施し、この結果を基に全学としての自己点検・評価結果総括を作成するとともに、大学改善意見を抽出して、今後の活性化・合理化を進める上での基礎資料とする。
進捗状況: 次回の認証評価受審を見据え、新たな「点検・評価項目」及び「評価の視点」による自己点検・評価を実施し、その結果を改善意見と併せて報告書にまとめた。(達成度:A)
- 事業計画: 付属高等学校・中学校、幼稚園自己点検・評価の実施
事業概要: 自己点検・評価を行い、「自己点検・評価報告書」を作成する。
進捗状況: 当初の予定どおり自己点検・評価を実施した。特に幼稚園自己点検・評価では、従来の評価項目を文部科学省「幼稚園における学校評価ガイドライン」を参考に直直し、新たな評価項目で自己点検・評価を実施した。(達成度:A)
- 事業計画: 付属高等学校・中学校外部評価の実施
事業概要: 外部の視点による評価を受けることで、各校における自己点検・評価結果の妥当性を検証するとともに更なる改善改革を推進する。

進捗状況:各校の資料,学校見学及び生徒との面談等により外部評価を実施し,その結果を報告書にまとめ,今後の改善改革を推進するために部科校に送付した。(達成度:A)

- 事業計画:自己点検・評価の見直し
事業概要:自己点検・評価の更なる機能向上を図るため,大学評価専門委員会及び高校評価専門委員会にそれぞれ作業部会を設け,内容や方法等を検討する。
進捗状況:全学自己点検・評価の実施に当たり,作業部会で自己点検・評価方法等を見直し,改善した。また,幼稚園においても文部科学省のガイドラインを参考に評価項目を見直した。(達成度:A)
- 事業計画:防災備蓄品の整備
事業概要:防災備蓄・備品を整備し,学生教職員の帰宅待機に対応する。
進捗状況:日大会館内 EV3 基に防災キャビネットを設置したほか,本部所属教職員にヘルメット等防災セット及び1日分の非常食を配付した。その他非常用トイレ等防災備品の整備を行った。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学公式ホームページリニューアルの実施
事業概要:ホームページリニューアルを引き続き実施し,構造・機能の改善,コンテンツの充実などに取り組むことで,本学の総合力を多角的に社会へアピールする。
進捗状況:トップページ等の変更,新型 CMS の導入,スマートフォン対応などを盛り込み,平成 24 年 5 月公開。(達成度:A)
- 事業計画:「日大テレビ」の番組制作・配信及び学内視聴環境整備
事業概要:学生,校友,教職員向けに各部科校のイベントや校友紹介等の番組を制作・ネット配信し,大学の広報活動を推進する。また,学内の視聴環境向上を目指す。
進捗状況:4 月の入学式ライブに始まり,計 13 回の番組配信を行った。また,各学部の視聴用プラスディスプレイは,経年劣化により故障が多発していたが,平成 24 年度に全て液晶ディスプレイに更新したことで,視聴環境が向上した。(達成度:A)
- 事業計画:外部データセンター及びネットワーク上の仮想サーバ利用(クラウド)を活用した情報システムの管理
事業概要:重要な情報システムを外部データセンターやクラウドを利用することにより,想定されるリスクからの保護やセキュリティ対策を講じる。
進捗状況:公式ホームページ用の WWW サーバを外部クラウドで運用し,重要なシステムである財務管財システムを外部データセンターに移行することにより,情報システムのセキュリティリスクを低減することができた。(達成度:A)
- 事業計画:情報機器端末及びソフトウェアの適正な運用管理
事業概要:ソフトウェアの不正使用・不正コピーを防止し,適正な管理を効率的に実施するため,管理ツール等を利用してソフトウェアの棚卸しを実施する。また,費用対効果を検討し,ソフトウェアの包括契約を推進する。
進捗状況:各部科校においてソフトウェアの棚卸しを実施し,不正がないことを確認した。また,利用度の高いソフトウェアは包括契約を行い,不正使用を防止し,併せて経費の節減を図った。(達成度:A)
- 事業計画:情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)認証の維持・運用
事業概要:情報資産の適正な管理・運用を図るために,国際規格である ISMS (ISO27001) の第 3 者機関による監査・評価プログラムを実施する。
進捗状況:11 月に ISMS 認証の継続審査を受け,認証が継続された。また,タブレット PC・スマートフォン端末管理ツールを導入

し,新たな情報セキュリティリスクの低減を図った。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:新学部開設に伴う新校舎建設工事
事業概要:新学部開設に伴い,旧生物資源科学部東京校舎にある既存建物を解体し,新校舎を建設する。
進捗状況:校舎等の設計に関しては基本設計が完了し,実施設計に移っている段階であり,これと並行して解体工事を着工している。(達成度:A)
- 事業計画:新病院建設
事業概要:新病院の建設。
進捗状況:新築工事を発注し,平成 26 年度完成に向けて工事遂行中である。(達成度:B)
- 事業計画:通信教育部新校舎建設
事業概要:新校舎の建設。
進捗状況:新築工事の設計が完了し,工事発注業務遂行中である。(達成度:B)

【財政】

- 事業計画:経営戦略委員会から答申された「経営改革策」を含む幅広い収支改善策の実行による,法人全体の消費収支の均衡の実現
事業概要:学校法人の永続的な維持を鑑み消費収支の均衡を実現するため,徹底的に無駄を省き,支出の削減を進め,かつ,新たな視点で収入源を広く模索し,積極的な増収を図る。
進捗状況:経営戦略委員会から答申された経営改革案を順次実行するとともに,財務関係諸会議などにおいて,経常的な支出の削減・収入の増加に向けての指導・助言を随時行った。(達成度:A)
- 事業計画:法人全体における過去の決算の検証に基づく効率的な予算配分の徹底
事業概要:限られた経営資源を,効果的・効率的に割り当てることにより,教育・研究活動等の充実を実現する。
進捗状況:財務関係諸会議などにおいて,ゼロベース予算方式を徹底するなど,効率的な予算配分に向けた指導・助言を随時行った。(達成度:A)
- 事業計画:グラフ・図表の活用による,ホームページでの理解しやすい財務情報の公開
事業概要:公益的法人としての説明責任を果たすため,ホームページ閲覧者がより正しく本学の財政状態等を理解できるように,公開内容を充実させる。
進捗状況:資金収支・消費収支計算書,貸借対照表の理解を深めるため,企業会計との違いや勘定科目の説明を加えた。また,グラフの立体化や図表のカラー化など資料の見易さに配慮した。(達成度:A)
- 事業計画:本部における費用対効果の積極的検証による一層の収支改善へ向けた予算配分の徹底
事業概要:収支安定の指標である消費支出比率(消費支出/帰属収入)は,法人が示す 95%を実現するため,部局単位で,教育研究経費支出及び管理経費支出の平成 22 年度決算比マイナス 5%を目標とする。
進捗状況:各部局との予算折衝において,平成 22 年度の事業に要した費用を再評価し,限りある財源の効果的・効率的配分により収支均衡に努めた。(達成度:A)
- 事業計画:本部における幅広い収支改善策の一環として,冗費の節減を継続すると共に,スクラップアンドビルドや受益者負担の原則に基づく積極的予算配分
事業概要:節電・節水などによる施設設備に関するランニングコストの節減,物品調達に当たっての規格の共通化・一括

購入などによる冗費の節減を積極的に図り、また、本部と部科校が協力して実施する事業の経費については、部科校にも相応の負担を求めていくことを積極的に検討する。

進捗状況:各部局の協力を得て、本部経常予算としては、経営資源の有効活用と経常経費の削減により、消費支出比率 95%以内を維持した。(達成度:A)

- 事業計画:受配者指定寄付金制度や税額控除制度の幅広い周知により募金活動を積極的に推進する。

事業概要:受配者指定寄付金制度を8学部、2高等学校及び本部で活用するとともに、税額控除制度を全学的に周知することで募金活動の積極的な推進を図る。

進捗状況:平成24年度特別寄付金収入は、20億4,244万6,004円となり、そのうち、受配者指定寄付金収入は、3億7,531万円であった。(達成度:A)

- 事業計画:補助金等競争的資金を積極的に獲得する。
事業概要:諸活動に際し、文部科学省、厚生労働省、日本私立学校振興・共済事業団など国庫補助金及び東京都、

神奈川県、千葉県など地方公共団体補助金の積極的な申請を行う。

進捗状況:平成24年度補助金収入は、168億1,801万2,865円となった。(達成度:A)

- 事業計画:総合運用資金制度を積極的に活用する。
事業概要:部科校が管理・保管する1年以上使用予定のない諸引当資産を、理事長が直接管理し、効率的な運用を行う。

進捗状況:部科校保有の諸引当資産のうち、75%を総合運用制度にて運用できた。(達成度:A)

- 事業計画:「日本大学創立130周年記念事業募金」の募集
事業概要:「日本大学創立130周年記念事業募金」の募金活動を開始。

進捗状況:平成24年12月に教職員に対し「日本大学創立130周年記念事業募金」の趣意書を配付したのを皮切りに、在学生の父母・法人・団体・非常勤講師等についても順次趣意書を配付し募金活動を行った。その結果、5億円(中間集計)の寄付があった。(達成度:B)

Ⅲ 事業の概要 (データ編)

1 一般入学試験志願者数

学部第一部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	720	8,917	8,789	101.5
文理学部	964	16,346	15,924	102.7
経済学部	665	10,465	9,406	111.3
商学部	625	10,898	9,028	120.7
芸術学部	434	2,261	2,194	103.1
国際関係学部	375	1,501	1,691	88.8
理工学部	838	15,393	14,081	109.3
生産工学部	630	7,066	5,910	119.6
工学部	555	2,585	1,806	143.1
医学部	102	4,132	3,364	122.8
歯学部	88	382	393	97.2
松戸歯学部	48	335	260	128.8
生物資源科学部	685	9,764	9,570	102.0
薬学部	115	2,134	1,847	115.5
合 計	6,844	92,179	84,263	109.4

学部第二部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	170	329	251	131.1
合 計	170	329	251	131.1

短期大学部

学科名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
ビジネス教養学科	25	43	72	59.7
食物栄養学科	25	71	54	131.5
建築・生活デザイン学科	30	128	103	124.3
ものづくり・サイエンス総合学科	25	99	139	71.2
生命・物質化学科	25	107	129	82.9
生物資源学科	60	175	150	116.7
合 計	190	623	647	96.3

合 計

学部・短期大学部 合計	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
	7204	93131	85161	109.4

2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数

※（ ）内は9月修了者数。グローバル・ビジネス研究科は8月，2月修了含む

修了者数

大学院研究科

研究科	博士前期・ 修士課程	博士後期・ 博士課程	専門職学位課程	合計
総合科学	—	3	—	3 (0)
法学	31	0	—	31 (0)
新聞学	11 (1)	—	—	11 (1)
文学	58 (2)	6	—	64 (2)
総合基礎科学	52	1	—	53 (0)
経済学	24	0	—	24 (0)
商学	28	1	—	29 (0)
芸術学	72	7	—	79 (0)
国際関係	9	2	—	11 (0)
理工学	502 (2)	21 (1)	—	523 (3)
生産工学	163	4	—	167 (0)
工学	113	4 (1)	—	117 (1)
医学	—	27	—	27 (0)
歯学	—	27	—	27 (0)
松戸歯学	—	27	—	27 (0)
生物資源科学	98	8	—	106 (0)
獣医学	—	6	—	6 (0)
薬学	—	2	—	2 (0)
グローバル・ビジネス	47 (8)	—	—	47 (8)
総合社会情報	36 (1)	5	—	41 (1)
法務	—	—	50 (8)	50 (8)
知的財産	—	—	26	26 (0)
計	1,244 (14)	151 (2)	76 (8)	1,471 (24)

卒業者数

学部

学部	卒業者数
法	1,688 (26)
文理	1,991 (43)
経済	1,324 (43)
商	1,166 (68)
芸術	911 (10)
国際関係	720 (18)
理工	1,997 (70)
生産工	1,558 (7)
工	1,068 (3)
医	114
歯	117
松戸歯	128
生物資源科	1,590 (13)
薬	205 (32)
(小計)	14,577 (333)
法(第二部)	236 (4)
経済(第二部)	99 (3)
(小計)	335 (7)
合計	14,912 (340)

通信教育部

学部	卒業者数
法	84 (30)
文理	152 (57)
経済	40 (11)
商	74 (35)
計	350 (133)

短期大学部

学科	卒業者数
商経	99
食物栄養	114
建設	61 (3)
基礎工	60 (2)
応用化	47
生物資源	149
計	530 (5)

短期大学部専攻科

専攻	修了者数
食物栄養	9

幼稚園

学校	卒園者数
日本大学	59

高等学校

学校	卒業生数
日本大学	417
櫻丘	461
鶴ヶ丘	410
藤沢	371
豊山	492
豊山女子	254
三島	712
明誠	336
山形	472
習志野	438
東北	484
計	4,847

専修学校

学校	卒業生数
医学部附属看護専門学校	92
歯学部附属歯科技工専門学校	24
歯学部附属歯科衛生専門学校	33
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	32
計	181

中学校

学校	卒業生数
日本大学	297
藤沢	104
豊山	229
豊山女子	159
三島	37
山形	18
計	844

博士学位授与者数

専攻分野の名称	論文博士		課程博士		合計
	24年度授与者数	累計(A)	24年度授与者数	累計(B)	(A)+(B)
環境科学	0	0	0	1	1
生命科学	0	0	2	5	5
法学	0	16	0	5	21
政治学	2	2	0	3	5
文学	1	102	2	26	128
社会学	0	1	0	9	10
教育学	1	11	2	12	23
心理学	0	11	2	45	56
経済学	0	37	0	13	50
商学	0	21	1	26	47
芸術学	1	10	7	80	90
国際関係	1	34	2	33	67
工学	13	926	25	620	1,546
理学	1	116	7	203	319
医学	9	2,932	27	1,473	4,405
歯学	40	2,374	54	1,789	4,163
生物資源科学	3	58	8	87	145
農学	0	162	0	91	253
獣医学	0	148	6	97	245
薬学	1	43	2	44	87
総合社会文化学	0	6	5	47	53
学術	1	10	1	5	15
計	74	7,020	153	4,714	11,734

3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数

海外学術交流提携校

※平成25年3月31日現在

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
大 学	マッコーリ大学	オーストラリア	協定
	クィーンズランド大学	オーストラリア	協定
	サンパウロ大学	ブラジル	協定
	トロント大学	カナダ	協定
	成都大熊猫繁育研究基地	中国	協定
	中国管理科学学会	中国	協定
	中国伝媒大学	中国	協定
	福建師範大学	中国	協定
	福建富閩基金会及び福建省対外友好協会	中国	協定
	遼寧大学	中国	協定
	北京大学	中国	協定
	遼寧省人民政府	中国	協定
	山東大学	中国	協定
	新疆医科大学	中国	協定
	鄭州大学	中国	協定
	オーフス大学	デンマーク	協定
	ラッペンランタ大学	フィンランド	協定
	アヴィニョン大学	フランス	協定
	ガーナ大学	ガーナ	協定
	ベルリン自由大学	ドイツ	協定
	ヨハネス・ゲーテンベルク大学	ドイツ	協定
	アイルランド国立大学メイヌース校	アイルランド	協定
	高麗大学校	韓国	協定
	慶熙大学校	韓国	協定
	延世大学校	韓国	協定
	モスクワ国立国際関係大学	ロシア連邦	協定
	ロシア科学アカデミー	ロシア連邦	協定
	マドリード・コンプルテンセ大学	スペイン	協定
	バリャドリード大学	スペイン	協定
	ストックホルム大学	スウェーデン	協定
	国立中興大学	台湾	協定
	国立台湾大学	台湾	協定
	ケンブリッジ大学	英国	協定
	エリザベスタウン・カレッジ	アメリカ合衆国	協定
	ジョージ・メイソン大学	アメリカ合衆国	協定
	アラバマ大学バーミンガム	アメリカ合衆国	協定
	カリフォルニア大学サンタバーバラ校	アメリカ合衆国	協定
	ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	協定
	オレゴン大学	アメリカ合衆国	協定
	ワシントン州立大学	アメリカ合衆国	協定
ウェスタンミシガン大学	アメリカ合衆国	協定	
法	北京大学国際関係学院	中国	覚書
	アヴィニョン大学	フランス	覚書
	新羅大学校	韓国	覚書
	カリフォルニア大学ヘイスティングス校	アメリカ合衆国	覚書
	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校	アメリカ合衆国	覚書
	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	アメリカ合衆国 及びカナダ	覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
文 理	華東師範大学	中国	覚書
	北京大学	中国	覚書
	高麗大学校文科大学	韓国	覚書
	新羅大学校	韓国	覚書
	国立台湾師範大学	台湾	覚書
	トラキア大学	トルコ	覚書
	ケント大学	英国	覚書
	モンゴル国立大学	モンゴル	覚書
	カンザス大学	アメリカ合衆国	覚書
	ワシントン大学文理学部	アメリカ合衆国	覚書
経 済	対外経済貿易大学	中国	覚書
	復旦大学日本研究センター	中国	覚書
	フランス経済商科大学	フランス	覚書
	ボーフム大学経済学部及び東アジア学部	ドイツ	覚書
	スケマビジネススクール	フランス	覚書
	高麗大学校政治経済学部	韓国	覚書
	西江大学校経済学部	韓国	覚書
	マッセイ大学	ニュージーランド	覚書
	フィリピン大学ディリマン校経済学部	フィリピン	覚書
	コルドバ大学法経営経済学部	スペイン	覚書
	マドリード・コンプルテンセ大学経済・経営学部	スペイン	覚書
	タマサト大学経済学部	タイ	覚書
	ケンブリッジ大学	英国	覚書
	ノッティンガム大学経済学部	英国	覚書
オーバン大学経営学部	アメリカ合衆国	覚書	
ブダペスト・コルビヌス大学	ハンガリー	覚書	
商	オデンシア・ナント・マネジメントスクール	フランス	覚書
	フロリダ州立大学	アメリカ合衆国	覚書
芸 術	グリフィス大学	オーストラリア	覚書
	中国伝媒大学	中国	覚書
国 際 関 係	マッコリー大学	オーストラリア	覚書
	ノルテ大学	コロンビア	覚書
	北京大学国際関係学院	中国	覚書
	フランス経済商科大学	フランス	覚書
	西カトリック大学	フランス	覚書
	ヨハネス・ゲーテンベルク大学	ドイツ	覚書
	ゴア大学	インド	覚書
	インドネシア教育大学	インドネシア	覚書
	慶熙大学校国際・経営学部	韓国	覚書
	デ・ラ・サール大学（マニラ校）教養学部	フィリピン	覚書
	バリャドリード大学	スペイン	覚書
	アサンプション大学	タイ	覚書
	カリフォルニア大学サンタバーバラ校	アメリカ合衆国	覚書
	フェリシアン大学	アメリカ合衆国	覚書
	ニューヨーク州立ストーニーブルック大学	アメリカ合衆国	覚書
	セント・ノーバート・カレッジ	アメリカ合衆国	覚書
ペンシルヴェニア州立大学	アメリカ合衆国	覚書	
モンタナ州立大学	アメリカ合衆国	覚書	
国際関係 短期 大学部（三島）	ウェスタン・インスティテュート・オブ・テクノ ロジー・アット・タラナキ	ニュージーランド	覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
理 工	西安建築科技大学	中国	覚書
	西安理工大学	中国	覚書
	ダルムシュタット工科大学	ドイツ	覚書
	全北大学校工科大学	韓国	覚書
	韓国海洋大学校海洋科学技術大学・工科大学	韓国	覚書
	フィリピン工科大学	フィリピン	覚書
	ミネソタ大学理工学部	アメリカ合衆国	覚書
生 産 工	ケント州立大学	アメリカ合衆国	覚書
	慶尚大学校工科大学	韓国	覚書
	全南大学校工科大学	韓国	覚書
	中国科技大学 規畫與設計學院・管理學院・資訊学院	台湾	覚書
工	ルーヴァン・カソリック大学工学部	ベルギー	覚書
	ウメヲ大学理工学部	スウェーデン	覚書
	テキサス大学オースチン校工学部	アメリカ合衆国	覚書
医	中国医科大学	中国	覚書
	中国医学科学院心血管病研究所・阜外医院	中国	覚書
	華中科技大学同済医学院	中国	覚書
	清華大学医学院	中国	覚書
	ボーフム大学附属ノルトラインウェストファーレン州立バートユーンハウゼン心臓病センター	ドイツ	覚書
	ヨルダン大学医学部	ヨルダン	覚書
	嘉泉医科大学	韓国	覚書
	ハワイ大学医学部	アメリカ合衆国	覚書
歯	ヘルスサイエンス大学	ラオス	覚書
	山東大学歯学部	中国	覚書
	慶北大学校歯学部	韓国	覚書
松 戸 歯	マギル大学歯学部	カナダ	覚書
	武漢大学口腔医学院	中国	覚書
	天津医科大学口腔医学院	中国	覚書
	台北医学大学口腔医学院	台湾	覚書
	タマサト大学歯学部	タイ	覚書
生 物 資 源 科	海南大学海洋学院・生命科学農学院	中国	覚書
	大韓民国農村振興庁普及支援研究部	韓国	覚書
	ワシントン大学森林資源学部	アメリカ合衆国	覚書
	カントー大学農学部	ベトナム	覚書
ビコール大学農林学部	フィリピン	覚書	
大 学 院 総 合 基 礎 科 学 研 究 科	国立ストラスブール高等物理学院（ルイ・パスツール大学）	フランス	覚書
	マーストリヒト大学大学院統治管理研究科及び経済・経営管理学部	オランダ	覚書
大学院グローバル・ビジネス研究科	西南交通大学	中国	覚書
法 務 研 究 科	全北大学校法学部	韓国	覚書
計	135大学等	30か国1地域	

*協定：大学（全体）単位での提携

覚書：学部等単位での提携

*太字は平成24年度新規提携校

*大学等の合計は、重複する提携先機関を各々1校として数えた。

外国人留学生数

※平成24年5月1日現在

大学院研究科

研 究 科	博士前期・修士・専門職学位課程				博士後期・博士課程						合 計
	1年次	2年次	3年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計	
総合科学	—	—	—	—							
法 学	3	6	—	9				—	—		9
新聞学	6	2	—	8				—	—		8
文学	1	6	—	7	2	2	4	—	—	8	15
総合基礎科学	1	1	—	2			1	—	—	1	3
経済学	1	2	—	3	1		1	—	—	2	5
商 学	24	22	—	46			4	—	—	4	50
芸術学	12	16	—	28		8	3	—	—	11	39
国際関係	4	7	—	11	2	1	1	—	—	4	15
理工学	21	17	—	38	3	6	6	—	—	15	53
生産工学	2	5	—	7				—	—		7
工 学	2	1	—	3				—	—		3
医学	—	—	—	—		1			—	1	1
歯 学	—	—	—	—					—		
松戸歯学	—	—	—	—			5	4	—	9	9
生物資源科学	4	5	—	9	5	2			—	7	16
獣医学	—	—	—	—	1				—	1	1
薬 学			—			1	1		—	2	2
グローバル・ビジネス	27	17	—	44	—	—	—	—	—	—	44
法 務					—	—	—	—	—	—	
知的財産	2		—	2	—	—	—	—	—	—	2
計	108	107		217	14	21	26	4		65	282

学部

学部	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	14	27	27	33	—	—	101
文 理	35	33	13	12	—	—	93
経 済	47	45	44	33	—	—	169
商	25	38	24	31	—	—	118
芸 術	28	35	23	26	—	—	112
国際関係	18	67	38	24	—	—	147
理 工	61	53	37	37	—	—	188
生産工	10	9	10	18	—	—	47
工	7	3	2	6	—	—	18
医 歯							
松戸歯							
生物資源科	6	1	5	8	—	—	20
薬							
計	251	311	223	228			1,013

短期大学部

学科	1年次	2年次	計
商 物 栄 養	3	1	4
食 物 栄 養			
建 設			
基 礎 工	1		1
応 用 化			
生 活 環 境			
計	4	1	5

地域別外国人留学生数

大学院研究科（博士前期・修士課程）

地域	アジア	北米	南米	ヨーロッパ	計
人数	207	2	1	2	212

大学院研究科（博士後期・博士課程）

地域	アジア	中近東	アフリカ	計
人数	51	1	1	53

大学院研究科（専門職学位課程）

地域	アジア
人数	7

学部

地域	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	南米	ヨーロッパ
人数	1004	2	1	4	2	1	5

短期大学部

地域	アジア
人数	6

（参考）

アジア	ミャンマー、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、韓国、モンゴル、ベトナム、中国、カンボジア、ラオス、台湾、ネパール、バングラデッシュ、スリランカ
中近東	トルコ、イスラエル、アラブ首長国連邦
アフリカ	ケニア、カメルーン
オセアニア	オーストラリア、ニュージーランド、トンガ
北米	カナダ、アメリカ
南米	ブラジル、コロンビア
ヨーロッパ	フィンランド、イギリス、フランス、ロシア、ラトビア、アゼルバイジャン

4 学内奨学金制度

大学院研究科・学部

種 別	年 額	人 数	給付総額(円)
古 田 奨 学 金	20万円	21	4,200,000
ロバート・F・ケネディ奨学金	20万円	21	4,200,000
エヌドット奨学金 (東日本大震災被災者に対する特別対応を含む)	36万円ほか	116	35,980,000
桜 樹 奨 学 金 (東日本大震災被災者に対する特別対応を含む)	36万円ほか	175	52,560,000
ア ス リ ー ト 奨 学 金	入学金, 授業料及び施設設備資金	15	31,810,000
大学院法務研究科特別奨学金	50万円	4	2,000,000
小 澤 奨 学 金	12万円	9	1,080,000
オリジナル設計奨学金	20万円	6	1,200,000
創立100周年記念外国人留学生奨学金	授業料相当額	32	23,100,000
法 学 部 永 田 奨 学 金	12万円	15	1,800,000
法 学 部 奨 学 金	第1種 30万円	22	6,600,000
	第2種 授業料1年分を上限とする	1	325,000
	第3種 往復航空運賃+留学先授業料1年分相当額を上限とする	2	278,400
法 学 部 山 岡 奨 学 金	12万円	12	1,440,000
法 学 部 校 友 会 奨 学 金	半期授業料相当額	4	1,225,000
文 理 学 部 奨 学 金	第1種 学部 24万円・12万円	51	12,120,000
	大学院 40万円	4	1,600,000
	第2種 学部 24万円	2	480,000
	大学院 40万円	1	400,000
第3種 学費相当額を限度とする	2	670,000	
文 理 学 部 後 援 会 奨 学 金 (東日本大震災被災者に対する特別対応を含む)	学費支弁の困難な者 24万円	45	12,240,000
	東日本大震災被災対象者 24万円	5	1,200,000
文 理 学 部 大 学 院 特 別 奨 学 金	授業料相当額	4	2,560,000
経 済 学 部 奨 学 金	第1種 36万円	2	720,000
	第2種 24万円	5	1,200,000
	第3種 24万円	20	4,800,000
	12万円(後期採用者)	2	240,000
経 済 学 部 後 援 会 奨 学 金	第1種 24万円	32	7,680,000
	12万円(後期採用者)	0	0
	第2種 36万円	0	0
経 済 学 部 校 友 会 奨 学 金	12万円	14	1,680,000
経 済 学 部 特 別 研 究 生 奨 学 金	授業料相当額+図書費+施設設備資金相当額(大学院)	2	2,440,000
商 学 部 後 援 会 奨 学 金	授業料の半額	25	8,125,000
商 学 部 校 友 会 奨 学 金	授業料の半額	2	650,000
校 友 会 準 会 員 商 学 部 奨 学 金	授業料の半額	29	9,425,000
商 学 部 菅 奨 励 金	30万円	2	600,000
商 学 部 奨 学 金	第1種 授業料相当額	16	10,075,000
	第2種 授業料相当額	12	7,800,000
	第3種 授業料の半額	29	9,360,000

種 別	年 額		人 数	給付総額(円)
芸 術 学 部 奨 学 金	第1種	学部 授業料相当額	10	10,200,000
	第2種	学部 50万円	0	0
		学部 30万円	1	300,000
		大学院 50万円	0	0
		大学院 30万円	1	300,000
芸術学部ジェームス&道子・ダン奨学金	10万円		2	200,000
国 際 関 係 学 部 奨 学 金	第1種	大学院 授業料1年分の半額相当	0	0
		学部 授業料1年分の半額相当	3	1,140,000
		短大 授業料1年分の半額相当	0	0
	第2種	大学院 授業料1年分の半額相当	0	0
		学部 授業料1年分の半額相当	0	0
		短大 授業料1年分の半額相当	0	0
	第3種	大学院 授業料1年分の半額相当	0	0
		学部 授業料1年分の半額相当	1	380,000
		短大 授業料1年分の半額相当	0	0
国際関係学部柳川海外交流奨学金	第1種	50万円	1	500,000
	第2種	50万円 (大学院)	0	0
三 島 後 援 会 特 別 奨 学 金	下宿補助	大学院 12万円	0	0
		学部 12万円	133	15,960,000
		短大 12万円	19	2,280,000
	新幹線通学補助	大学院 12万円	0	0
		学部 12万円	43	5,160,000
		短大 12万円	1	120,000
	静岡駅利用者	大学院 8万円	0	0
		学部 8万円	4	320,000
		短大 8万円	2	160,000
国 際 関 係 学 部 校 友 会 奨 学 金	第1種	学部 25万円	15	3,750,000
		短大 25万円	2	500,000
	第2種	学部 25万円	15	3,750,000
		短大 25万円	2	500,000
日 本 大 学 三 島 同 窓 会 奨 学 金	スポーツ(個人競技)	学部 5万円	2	100,000
		短大 5万円	0	0
理 工 学 部 奨 学 金	第1種	学 部 40万円	30	12,000,000
		短 大 40万円	2	800,000
		大学院 50万円	90	45,000,000
	第3種(留学生)	学 部 40万円	2	800,000
		短 大 40万円	0	0
		大学院 50万円	5	2,500,000
理工学部後援会奨学金	50万円		40	20,000,000
理工学部校友会奨学金	12万円		9	1,080,000
生 産 工 学 部 奨 学 金	第1種	60万円	9	5,400,000
	第2種	前 期 30万円	5	1,500,000
		後 期 30万円	4	1,200,000
	第3種(留学生)	60万円	2	1,200,000
生産工学部校友会奨学金	30万円, 20万円, 10万円から経済的困窮度に応じ		15	4,000,000

種 別	年 額		人 数	給付総額(円)	
工 学 部 奨 学 金	第1種	60万円(大学院)	12	7,200,000	
	第2種	授業料相当額(学部)	0	0	
	第3種	授業料の20%相当額(留学生)	3	460,000	
	第4種	36万円(学部)	36	12,960,000	
工 学 部 父 母 会 奨 学 金	半期25万円		8	2,000,000	
工 学 部 五 十 嵐 奨 学 金	10万円		12	1,200,000	
医 学 部 土 岐 奨 学 金	20万円		3	600,000	
医 学 部 永 澤 奨 学 金	20万円		2	400,000	
医学部同窓会60周年記念医学奨励金	40万円		4	1,600,000	
医 学 部 特 定 医 療 奨 学 金	60万円		1	600,000	
歯 学 部 佐 藤 奨 学 金	第1種	20万円	5	1,000,000	
		10万円	20	2,000,000	
	第2種	10万円	5	500,000	
	第3種	海外50万円以内	12	2,565,000	
歯 学 部 同 窓 会 奨 学 金	学部	10万円	3	300,000	
	大学院	5万円	5	250,000	
松 戸 歯 学 部 鈴 木 奨 学 金	第1種	10万円	34	3,400,000	
	海外研修	20万円	1	200,000	
	第2種	海外	50万円以内	12	2,510,570
		国内	5万円以内	56	2,152,250
生 物 資 源 科 学 部 奨 学 金	授業料・施設設備資金相当額		7	9,000,000	
生 物 資 源 科 学 部 大 森 奨 学 金	20万円		11	2,200,000	
生 物 資 源 科 学 部 特 別 研 究 生 奨 学 金	大学院	授業料相当額	14	9,350,000	
生 物 資 源 科 学 部 後 援 会 奨 学 金	25万円以上55万円以内		45	18,100,000	
生 物 資 源 科 学 部 校 友 会 奨 学 金	20万円		25	5,000,000	
薬 学 部 奨 学 金	第1種	大学院博士後期課程 50万円	2	1,000,000	
	第2種	30万円	6	1,800,000	
	第3種(留学生)	30万円	0	0	
薬 学 部 校 友 会 奨 学 金	20万円		2	400,000	
薬 学 部 校 友 会 準 会 員 奨 学 金	30万円		6	1,800,000	
薬 学 部 校 友 会 (桜 薬 会) 奨 学 金	20万円		2	400,000	
通 信 教 育 部 奨 学 金	授業料相当額		9	810,000	
通 信 教 育 部 坂 東 奨 学 金	授業料相当額		2	180,000	
大学院総合社会情報研究科坂東奨学金	20万円		3	600,000	
計			1,599	497,501,220	

本学独自の奨学金（貸与）大学院研究科・学部

種 別	年 額	人 数	貸与総額(円)	
歯 学 部 佐 藤 奨 学 金	授業料相当額を限度	2	5,500,000	
松 戸 歯 学 部 鈴 木 奨 学 金	〃	2	4,400,000	
計			4	9,900,000

高等学校

学 校	名 称	年 額 (円)		人数	給付総額 (円)
付 属 1 1 校	日本大学付属高等学校奨学金	240,000		53	12,720,000
日 本 大 学	日本大学高等学校奨学金	第1種	200,000	8	1,600,000
		第2種		2	400,000
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000		8	400,000
	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	100,000	12	1,200,000
		第2種		3	300,000
日本大学高等学校・中学校同窓会奨学金	第1種	100,000	3	300,000	
	第2種		2	200,000	
櫻 丘	櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学金	100,000		5	500,000
	櫻丘高等学校後援会奨学金	第1種	100,000	5	500,000
第2種		4		400,000	
鶴 ヶ 丘	鶴ヶ丘高等学校奨学金	第1種	420,000	8	3,360,000
		第2種		6	2,520,000
	鶴ヶ丘高等学校英明奨学金	第1種	150,000	12	1,800,000
藤 沢	藤沢高等学校奨学金	第1種	100,000	17	1,700,000
		第2種		2	200,000
		第3種		4	400,000
	藤沢高等学校特待生	学力A特待生	438,000	6	2,628,000
		学力B特待生	219,000	8	1,752,000
技能B特待生	8	1,752,000			
豊 山	豊山高等学校育友奨学金	第1種	150,000	5	750,000
			120,000	5	600,000
			90,000	1	90,000
			70,000	1	70,000
	第2種	241,500	1	241,500	
第3種	564,000	13	7,332,000		
豊 山 女 子	豊山女子高等学校・中学校奨学金	第1種	100,000	8	800,000
			100,000	11	1,100,000
三 島	三島後援会奨学金	第1種	480,000	11	5,280,000
		第2種	240,000	15	3,600,000
		第3種	160,000	25	4,000,000
		第4種	120,000	56	6,720,000
明 誠	明誠高等学校奨学金	120,000		10	1,200,000
	明誠高等学校永田奨学金	100,000		14	1,400,000
山 形	山形高等学校スポーツ奨学金	第1種	360,000	30	10,800,000
	山形高等学校・中学校奨学金	第2種	180,000	57	10,260,000
		第1種	120,000	12	1,440,000
習 志 野	石川奨学金	第1種	348,000	6	2,088,000
		第4種		1	348,000
	習志野高等学校後援会奨学金	第1種	100,000	15	1,500,000
		第3種		5	500,000
東 北	東北高等学校奨学金	第1種	324,000	14	4,536,000
		第2種		1	324,000
	東北高等学校スポーツ奨学金	324,000		1	324,000
	東北高等学校桜蕾会奨学金	324,000		28	9,072,000
計				527	109,757,500

中学校

学 校	名 称	年 額 (円)		人数	給付総額 (円)
日 本 大 学	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	100,000	4	400,000
		第2種		1	100,000
藤 沢	藤沢高等学校奨学金	第1種	100,000	3	300,000
	藤沢高等学校特待生	学力A特待生	438,000	2	876,000
		学力B特待生	219,000	2	438,000
豊 山	豊山高等学校育友奨学金	第1種	150,000	2	300,000
			120,000	2	240,000
			90,000	1	90,000
			70,000	1	70,000
豊 山 女 子	豊山女子高等学校・中学校奨学金	第1種	100,000	4	400,000
三 島	三島高等学校・中学校奨学金	第2種	120,000	1	120,000
	三島後援会奨学金	第4種	120,000	3	360,000
山 形	山形高等学校・中学校奨学金	第1種	120,000	2	240,000
計				28	3,934,000

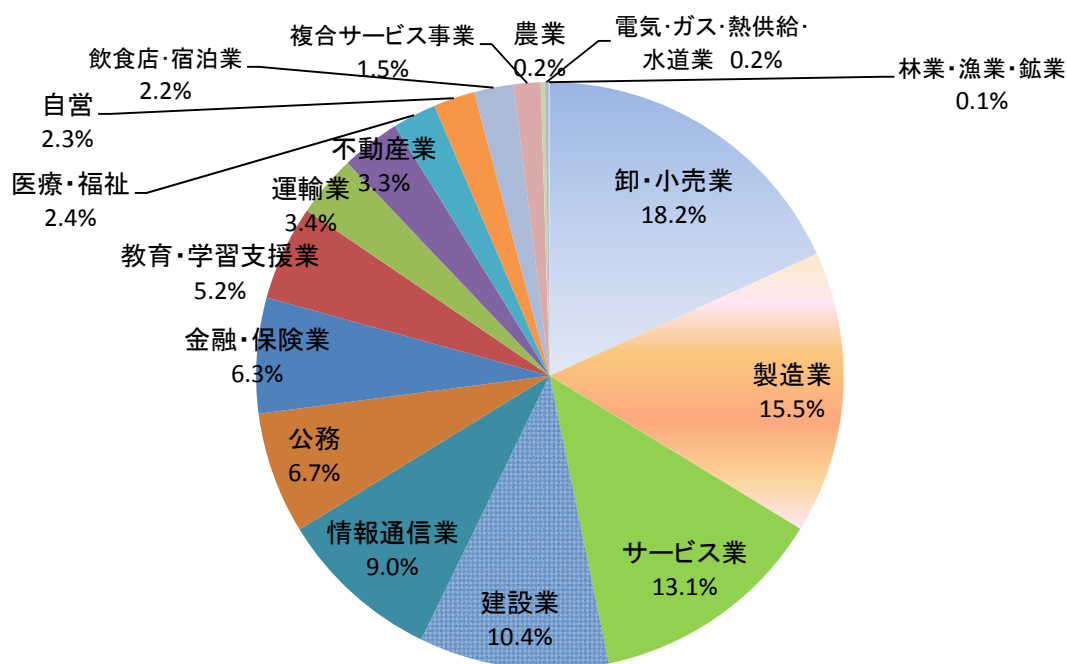
5 就職状況

※平成25年3月31日現在

学部名	卒業者数	就職者数 ①	就職活動中 ②	就職希望者 (①+②=③)	就職率 ①/③
法学部	1,688	1,102	110	1,212	90.92%
文理学部	1,991	1,344	125	1,469	91.49%
経済学部	1,324	994	158	1,152	86.28%
商学部	1,166	879	62	941	93.41%
芸術学部	911	529	218	747	70.82%
国際関係学部	720	492	81	573	85.86%
理工学部	1,997	1,273	64	1,337	95.21%
生産工学部	1,558	1,086	102	1,188	91.41%
工学部	1,068	829	54	883	93.88%
生物資源科学部	1,590	1,104	169	1,273	86.72%
薬学部	205	195	3	198	98.48%
合計	14,218	9,827	1,146	10,973	89.56%

※ 法学部と経済学部は第一部のみ
 ※ 9月卒業者は含まない

(内定先業種別割合)



6 保健体育審議会所属競技部の主な成績

団体優勝部

競技部名	大会	
陸上競技部	日本学生対校選手権大会(男子総合・多種目・トラック・フィールド) 関東学生対校選手権大会(男子総合・多種目・トラック・フィールド)	
ボート部	全日本大学選手権大会(総合団体・エイト・舵手無フォア・舵手無ペア・舵手付ペア・クォドルブル・ダブルスカル) 全日本選手権大会(エイト・舵手付ペア・クォドルブル)	
相撲部	全国学生選手権大会 全日本大学選抜宇和島大会 全国大学選抜宇佐大会 全国選抜大学・社会人対抗九州大会 全国選抜大学・実業団対抗和歌山大会	全日本大学選抜金沢大会 全日本大学選抜十和田大会 全国選抜大学・実業団刈谷大会 東日本学生リーグ戦 東日本学生女子選手権大会
馬術部	全日本学生三大大会(総合団体・賞典馬場競技・賞典総合競技) 関東学生三大大会(総合団体・賞典馬場競技・賞典総合競技) 関東学生争覇戦 関東学生女子競技大会(総合団体・馬場馬術競技) 東都学生大会(総合団体・障害飛越競技・馬場馬術競技・複合競技)	
自転車部	全日本大学対抗選手権大会(総合団体・トラック・ロード)	
空手部	和道全国大会(男子団体・女子団体)	関東大学選手権大会
体操部	東日本学生選手権大会(鉄棒)	
射撃部	全日本学生選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・50mP60M・10mS60M) 日本学生選抜選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・50mP60M・10mS60M)(女子10mS40W) 春季関東学生選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・50mP60M)(女子総合団体・50m3×20W) 秋季関東学生選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・50mP60M・10mS60M)(女子総合団体・50m3×20W)	
重量挙げ部	東日本大学対抗選手権大会	
スケート部	関東学生選手権大会(女子フィギュア)	
ヨット部	関東学生春季選手権大会(スナイブ級)	関東学生女子秋季選手権大会(スナイブ級)
フェンシング部	全日本学生選手権(女子フルーレ)	関東学生選手権大会(女子フルーレ)
バドミントン部	全日本学生王座決定戦(女子サーブル)	関東学生リーグ戦(女子総合団体)
バドミントン部	東日本学生選手権大会	

個人優勝者

競技部名	氏名	大会	種目
陸上競技部	宮内育大	日本学生対校選手権大会	砲丸投
	川元 奨	日本学生対校選手権大会	800m
	ダニエル・ムイバキトニー	日本学生対校選手権大会	1500m
水泳部	安江雄輔	日本学生選手権大会	100mバタフライ
	小堀勇氣	日本学生選手権大会	200mバタフライ
ボート部	宮崎真次	全日本大学選手権大会	シングルスカル
柔道部	原沢久喜	ベルギー国際大会	100kg超級
相撲部	遠藤聖大	全日本選手権大会	
	上田幸佳	世界選手権大会	無差別級
馬術部	柿澤小夜子	全日本学生三大大会	学生賞典馬場競技
自転車部	安達康将	全日本アマチュア選手権大会	ロードレース
	末木浩二	全日本大学対抗選手権大会	ケイリン・1kmタイムトライアル
	橋本凌甫	全日本アマチュア選手権大会	スプリント
射撃部	高橋誠	全日本学生選手権大会	50m3×40M・50mP60M
	船雅斗	全日本学生選手権大会	10mS60M
	湯浅菜月	全日本学生選手権大会	50m3×20W
重量挙げ部	藤原和朋	全日本大学対抗選手権大会	105kg級クリーン&ジャーク・トータル
	本間章吾	全日本大学対抗選手権大会	94kg級クリーン&ジャーク
	数陽一	世界大学選手権大会	62kg級スナッチ・クリーン&ジャーク・トータル
ボクシング部	柏崎刀翔	全日本アマチュア選手権大会	ライトフライ級
スキー部	竹内瑠美	全日本学生選手権大会	大回転
	千葉あおい	宮様国際競技会	回転
	飯塚剛	全日本学生チャンピオン大会	1.2kmスプリント
	渡部弘晃	全日本選手権大会	ラージヒル
スケート部	町田恵介	全日本選手権大会	スーパー大回転
	長谷川翼	JAPAN CUP第4戦	500m
レスリング部	飯島千晶	NYACホリデー国際大会	フリースタイル67kg級
	岡倫之	全日本選手権大会	フリースタイル120kg級
	橋本千紘	全日本学生選手権大会	フリースタイル67kg級
	池田智	全日本選抜選手権大会	フリースタイル60kg級
	村田夏南子	ゴールデンGP決勝大会	フリースタイル55kg級
	山本康稀	全日本選抜選手権大会	フリースタイル96kg級
ゴルフ部	小野田 享也	中部オープン選手権	

7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業

校友数

校友数 1,079,563名 (正会員9,894名)

※ 平成25年3月現在

校友会組織

日本大学校友会 (校友会本部事務局)

都道府県支部 (65支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・十勝・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一:千代田・中央・港・新宿・文京・台東), (東京都第二:品川・大田)
(東京都第三:目黒・世田谷), (東京都第四:渋谷・中野・杉並)
(東京都第五:豊島・北・板橋・練馬), (東京都第六:墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川)
(東京都第七:23区以外全域)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会 (16部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信教育部

職域別部会 (4部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会 (81団体)

鴻池組桜門会桜鴻会, 八丁堀警備桜門会, ライフ桜門会, 東京トリムテック(株)品川桜門会, 大木建設(株)桜門会, 町田桜門会, フジハスク(株)世田谷桜門会, 土浦桜門会, 日本大学櫻門三崎倶楽部, 日本大学相撲桜門会, 日本大学全国相撲桜門会, 柔道桜門会, フェニックス桜門会, 関東工桜門会, 桜門六会会, 日大テニス桜門会, 日本大学応援団本部(桜応会), 日本大学剣道部桜門会, 日本大学弓道桜門会, 日本大学準硬式野球部桜門会, 体操桜門会, 重量挙げ桜門会, 山岳部桜門会, スキー部桜門会, 日本大学スケート部桜門会, 日本大学バスケットボール桜門会, レスリング桜門会, 八幡山サッカー桜門会, ヨットクラブ桜門会, 日本大学フェンシング部桜門会, ハンドボール桜門会, 木内建設(株)桜門会, 飛鳥桜門会, 射撃部桜門会, 桜門・報道クラブ, 六興電気(株)桜門会, 日本大学湘南桜門会, ホクシング部桜門会, 日本大学自動車部桜門会, 不動産・建設桜門会, 成田桜門会, TSUCHIYA桜門会, 日本大学合唱団桜門会, 全国社会保険労務士桜門会, (株)アビーズみちのく桜門会, 新生テクニクス桜門会, NBS桜門会, (株)ライクス桜門会, 新菱桜門会, ニッケン桜門会, レディース桜門会, 沼津桜門会, 日本大学櫻下桜門会, 日本大学スカウト桜門会, 日本大学拳法部桜門会, 桜門建築連合会, 日本大学空手部桜門会, 佐藤工業桜門会, 行政書士桜門会, ラグビー桜門会, 日立ビルシステム桜門会, 日本大学税理士桜門会, 日本大学ハレーホール部桜門会, 村本建設桜門会, (株)加賀田組桜門会校友会, 日本大学自転車部桜門会, ゴルフ部桜門会, 大林組桜門会, 東京美装興業桜門会, ホート部桜門会, 池田建設桜門会, 桜門会N.L.C.21, 宮崎日本大学学園桜門会, 高砂桜門会, 桜門社長会, アイング桜門会, 国際ラント桜門会, ファミリーマート桜門会, 日本電設工業桜門会, 坂田桂三ゼミ桜門会, しんきん桜門会

海外特別支部 (8支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク・インドネシア

校友会関係行事

地 区	行 事	実 施 日 (場 所)
校友会本部	全国校友大会	11/12(東京ドームホテル)
	校友会役員総会	7/13(東京ドームホテル)
	校友会常任委員会 (2回)	6/15, 12/14(日本大学桜門会館)
	校友会会長・副会長会 (3回)	6/15, 12/14, 25/3/8(日本大学会館他)
	校友会常任会 (8回)	4/6, 5/11, 6/1, 10/5, 11/2, 12/7, 25/2/1, 25/3/1(日本大学桜門会館)
	総務委員会 (8回)	4/11, 5/9, 6/13, 11/21, 12/12, 25/1/23, 25/2/13, 25/3/13(日本大学桜門会館)
	財務委員会 (3回)	5/21, 11/29, 25/1/22(日本大学桜門会館)
	企画委員会 (1回)	7/18 (日本大学桜門会館)
	広報委員会 (2回)	7/11, 25/2/13(日本大学桜門会館)
	組織委員会 (3回)	5/25, 7/18, 11/27(日本大学桜門会館)
	桜門会館運営委員会 (2回)	11/27, 25/2/14(日本大学桜門会館)
スポーツ振興特別委員会 (4回)	5/25, 10/12, 11/9, 25/3/8 (日本大学会館他)	
北 海 道	札幌支部総会	7/5(札幌パークホテル)
	旭川支部総会	7/4(ロワジュールホテル旭川)
	小樽支部総会	10/27(ニュー三幸)
	苫小牧支部総会	25/2/22(グランドホテルニュー王子)
	釧路支部総会	10/26(釧路全日空ホテル)
東 北	青森県支部総会	5/26(ラ・プラス青い森)
	岩手県支部総会	9/23(ホテルメトロポリタン盛岡本館)
	宮城県支部総会	7/25(ホテルメトロポリタン仙台)
	秋田県支部総会	9/30(秋田キャッスルホテル)
	山形県支部総会	7/20(山形グランドホテル)
関 東	茨城県支部総会	4/15(水戸京成ホテル)
	栃木県支部総会	8/10(二荒山会館)
	群馬県支部総会	7/21(前橋テルサ)
	埼玉県支部総会	25/3/20(ラフォーレ清水園)
	千葉県支部総会	10/13(京成ホテルミラマーレ)
	神奈川県支部総会	7/27(ローズホテル横浜)
	川崎支部総会	7/18(川崎日航ホテル)
	山梨県支部総会	25/2/7(ベルクラシック甲府)
東 京	東京都第一支部総会	6/20(アルカディア市ヶ谷)
	東京都第二支部総会	10/24(銀座アスター蒲田賓館)
	東京都第四支部総会	6/13(日本大学桜門会館)
	東京都第五支部総会	10/5(池袋東武百貨店)
	東京都第六支部総会	6/12(亀戸アンフェリシオン)
	東京都第七支部総会	6/30(八王子エルシイ)
東 海	岐阜県支部総会	7/8(大垣日本大学高校)
	愛知県支部総会	11/19(名鉄ニューグランドホテル)
	三重県支部総会	25/2/17(プラザ洞津)
北 信 越	新潟県支部総会	7/29(ホテルイタリア軒)
	富山県支部役員総会	7/22(ホテルニューオータニ高岡)
	石川県支部役員会	25/1/11(大友楼)
	福井県支部総会	10/14(ユアーズホテルフクイ)
	長野県支部役員会	25/3/23(松本館)
近 畿	滋賀県支部総会	6/2(クルーズ船megumi号)
	京都支部総会	10/13(東華菜館本店)
	大阪支部総会	11/17(大阪キャッスルホテル)
	兵庫県支部総会	6/16(東天紅)
	奈良県支部総会	6/16(菊水楼)
	和歌山県支部総会	7/7(華月殿)
中 国	鳥取県支部総会	7/15(ホテルセントパレス倉吉)
	島根県支部総会	4/15(松江東急イン)
	岡山県支部総会	11/17(岡山ロイヤルホテル)
	広島県支部総会	8/25(グランラッセレ東広島)
四 国	徳島県支部総会	4/15(阿波観光ホテル)
	愛媛県支部総会	25/1/20(松山全日空ホテル)
	高知県支部総会	25/3/9(ホテル日航高知旭ロイヤル)

地 区	行 事	実 施 日 (場 所)
九 州	福岡県支部総会	10/20(平和楼天神本店)
	北九州支部総会	11/17(ステーションホテル小倉)
	佐賀県支部総会	11/16(旅館あけぼの)
	長崎支部総会	8/18(京華園)
	佐世保支部総会	8/17(JAホール佐世保)
	熊本県支部総会	8/25(熊本交通センターホテル)
	大分県支部総会	7/14(レンブラントホテル大分)
	宮崎県支部総会	25/1/26(ホテルメリージュ)
	鹿児島県支部総会	9/14(山形屋)
	沖縄県支部総会	8/22(ホテルロイヤルオリオン)
	学部別部会	本部・大学院校友会役員会
法学部校友会総会		5/12(日本大学桜門会館)
経済学部校友会役員総会		5/22(日本大学桜門会館)
商学部校友会総会		6/14(ハイアットリージェンシー東京)
芸術学部校友会総会		6/30(芸術学部)
国際関係学部校友会総会		7/7(みしまプラザホテル)
理工学部校友会総会		6/22(東京ガーデンパレス)
生産工学部校友会総会		6/16(市川グランドホテル)
工学部校友会総会		4/21(工学部50周年記念館)
医学部同窓会総会		4/15(駿河台日本大学病院)
歯学部同窓会総会		5/27(歯学部)
松戸歯学部同窓会総会		6/17(日本大学桜門会館)
生物資源科学部校友会総会		7/14(生物資源科学部)
薬学部校友会総会		6/23(薬学部)
通信教育部校友会総会		5/26(日本大学桜門会館)
職域別部会	全国桜師会総会・研修会	7/27(日本大学桜門会館)
	日本大学法曹会総会	5/25(日本大学桜門会館)
	桜門会計人会総会	7/10(日本大学桜門会館)
	全国桜門スポーツ部会総会	6/4(日本大会館)
桜 門 会	町田桜門会総会	4/14(ホテルラポール千寿閣)
	成田桜門会総会	5/12(成田ビューホテル)
	TSUCHIYA(株)桜門会総会	6/2(龍宮城スパホテル三日月)
	全国社会保険労務士桜門会総会	6/27(日本大学桜門会館)
	沼津桜門会総会	10/19(ホテル沼津キャッスル)
	税理士桜門会総会	6/9(日本大学桜門会館)
	アイング桜門会総会	5/14(アイング(株))

校友会事業

会報

会報誌名	配布対象	発行回数	発行部数
k i z u n a	校友	年1回	55万部
桜 縁	正会員・準会員	年2回	各15万部

校友会正会員事業

- 1 校友子女入試の推進
- 2 全国校友大会の開催
- 3 箱根駅伝を含む日大スポーツの振興と推進

校友会準会員事業

- 1 スポーツ優勝者表彰
- 2 スポーツに対する奨励金交付
- 3 全学文化事業(NU祭)支援
- 4 校友会(準会員)の診療費助成
- 5 校友会独自の奨学制度
- 6 校友子女入試における特別優待生制度の拡大
- 7 就職活動への支援

8 公開講座

名 称	テ ー マ
第35回日本大学軽井沢公開講座 後援：軽井沢町 軽井沢町教育委員会	「自由と帝国 ～ローマ，イギリス，そしてアメリカ～」 「お口の健康からはじまるイキイキとした生活 一歯周病予防は全身の健康増進にも貢献する一」
文理学部公開講座 前期統一テーマ： 「自然災害を考える」	気候変動と気象災害 河川の流出現象と洪水・濁水 火山噴火がもたらすもの 地盤災害：平地の宿命，山地の宿命
後期統一テーマ： 「防災と代替エネルギー」	「東日本大震災」における津波と人々の対応 地球温暖化とその対策 人間の経済活動と資源・エネルギー 自然エネルギーの活用
商学部公開講演会 「“知識”と“暮らし”の融合8」 後援：世田谷区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	祖師ヶ谷に根ざすネットワーク構築とその応用 ーウルトラマン商店街は地域に根ざしていけるか？ー
芸術学部江古田校舎公開講座「墓・ 吊い今昔物語」 主催：芸術学部 練馬区	神道のお墓 墓標よ，激しく追憶をせよ！ 日本人の靈魂観と鎮魂の儀式
芸術学部所沢校舎公開講座 「林芙美子・文学散歩のすすめ」	林芙美子と神社 『浮雲』の深層舞台を歩く 林芙美子のアジア放浪
国際関係学部 上期市民公開講座 統一テーマ：「伊豆再発見」 後援：三島市，三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 協賛：日本大学総合生涯学習センター (しずおか県民カレッジ連携講座)	「伊豆再発見」ー伊豆から日本の近現代史は始まるー 老舗温泉旅館の新しい取り組み ディアナ号が結ぶ伊豆とロシア 伊豆の民俗芸能 「わが母の記」と伊豆
下期市民公開講座 統一テーマ：「日本はどこに行くのか」 後援：三島市，三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 協賛：日本大学生涯学習センター (しずおか県民カレッジ連携講座)	エネルギー政策と日本の成長戦略 わが国の税制改革の視点と方向 「流通業の今日的戦略と今後の方向性」ー大手チェーン小売業を中心にー 日本の環境政策の今後について 日本のフードシステムの展望と課題
理工学部 第51回公開市民大学講座 「東日本大震災からの復興と安全な 暮らしへPart.2」～理工学部復興支 援プロジェクト～ 後援：千葉県・船橋市・習志野 市・鎌ヶ谷市・八千代市 教育委員会 東葉高速鉄道株式会社	巨大地震から建物を守る耐震・免震・制震技術のおはなし テニス教室 初心者向けゴルフ教室 初めてのOffice (Word編) 災害時における交通・通信システムと帰宅困難者対策 災害時における情報システムの役割～あなたを守る情報とは 初めてのOffice (Excel編)
生産工学部 公開講座(前期) 協力：習志野市	公開講座Ⅰ 防災講座2012
生産工学部 公開セミナー	公開セミナーⅠ 気軽に使おう我が家のパソコン！ ～今，話題のGoogleを体験しよう～ 公開セミナーⅡ 生涯スポーツ (ゴルフ) 公開セミナーⅢ ロボットで遊ぼう 公開セミナーⅣ 生涯スポーツ (水泳) ～泳げるようになろう・楽に泳ごう～
生産工学部 公開講座(後期)	創設60周年記念講演 私の仕事から 公開講座Ⅰ 高齢期を健康に過ごすために 公開セミナーⅠ 少年野球教室

名 称	テ ー マ
工学部 教養講座 総合テーマ「新たな力を求めて」	負けてたまるかサッカー人生 山崎直子の宇宙の授業 いのちとこころをうたでつなぐ 「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	口の健康を守ろう！～歯科から見た喫煙の害～
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	福島第一原発事故から1年8カ月～現状と課題～
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(12)」	今、インプラント治療に求められているもの—NHKクローズアップ現代を考察する—
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(13)」	高齢者に対する摂食機能療法における歯科病院としての取り組み
松戸歯学部 公開講座 後援：松戸市教育委員会、 千葉県歯科医師会 松戸歯科医師会	ここまで進んだ最新の入れ歯治療 みんなで知ろう！入れ歯とQOL 子供たちの健康な口腔環境のために～正しく噛むことで不正咬合を予防する～
科学技術公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	クマとシカと森林
市民講座 統一テーマ：「自然災害・復興と備えのための農林水産業—生物資源科学・地域計画学の視点から考える—」 共催：藤沢市教育委員会	森林資源科学研究の立場から、支援の現状とこれからの対応を考える 村づくり研究の立場から、復興再生の途を考える—原発災害地飯館村と津波災害地大船渡市を事例に— 宮城県仙台平野の農業地域における津波被害とその後—名取市の近郊農業を中心として— 森は海の恋人—森・里・海連関に基づく復興のあり方— 東日本大震災の教訓—藤沢の明日の防災に向けて—
日本大学短期大学部(湘南)・六会公民館共催講座 テーマ：「バラを育てる」	「春の手入れ」—ブラインド・ベアサルシュート処理、花後の処理、お札肥を中心に— 「病害虫防除、挿し木繁殖」—病害虫防除と駆除、挿し木繁殖を中心に— 「夏から秋の手入れ」—夏剪定、施肥を中心に秋の開花までの管理— 「冬の手入れ」—冬剪定、寒肥を中心に— 「新苗の植え付けと鉢替え」—新苗の植え付け、鉢物の植え替えを中心に—
生物資源科学部 全国農村サミット2012 全体テーマ： 「地域の復興再生力と大学の役割 パート2」 後援：藤沢市	基調講演：「東日本大震災後の日本社会と農の役割」 報告：「東日本大震災からの復興再生」 報告：「再生可能エネルギーによる地域再生」 報告：「地域振興と大学の役割」 報告：「脱原発による地域の復興・再生と大学の支援」 報告：「多様な新たな公共組織による地域再生と大学の支援」 報告：「野生鳥獣による地域振興の試みと大学の支援」
薬学部 公開講座 協賛：(公社)日本薬学会 後援：(社)千葉県薬剤師会	講演会 「水の消毒と健康」施設公開 薬用植物園
第14回薬学部薬草教室	講演会 「ハーブの栽培と利用」 薬用植物園ガイド
第15回薬学部薬草教室	講演会 「冬の養生」 薬用植物園ガイド
大学院総合社会情報研究科 公開講座	日米経済の行方 —ドル・円相場を占う— 従業員が自発的に働く職場をめざすには 寺子屋 —日本を発信した明治の出版— 21世紀の高齢化社会
日本大学総合生涯学習センター 春期公開講座	江戸時代史—8代将軍吉宗政権の成立 ・吉宗、将軍となる—行政の整備 ・米将軍—赤字財政への対策 ・江戸の市政 ・国家制度の充実 ・官学の奨励と洋書の解禁 日本史の「謎」に挑む～古代・中世の『天災』『人災』と『ケガレ』悪霊にたちむかう陰陽 ・スサノオの天津罪・国津罪—神話における罪と罰 ・怨霊と祟り—御霊会の成立— ・陰陽師・安倍晴明と平安貴族のケガレ ・説話のなかの陰陽師—平安貴族の『しきたり』を読む— ・『鎌倉の平和』（バクス・カマクラナ）達成にむけた寺社勢力と陰陽師の活躍

名 称	テ ー マ
	新古今和歌集の世界（四） ・新古今集卷十二恋歌二 ・新古今集卷十二恋歌二 ・新古今集卷十二恋歌三 ・新古今集卷十二恋歌三 ・新古今集卷十二恋歌四
	E. M. フォースターのわかりにくさについて考える ・フォースター入門―伝記的背景など ・ケンブリッジ時代とブルームズベリー・グループ ・初期の長編 2 作 ・代表的長編 2 作をめぐって ・評論に表れた核心的思想
	実践 小説の創作教室 ～新人賞にチャレンジ～ ・作家の武器 ・一人称と三人称 ・小説を書く上での負の財産・正の財産 ・説明文と解説文について ・純文学とエンターテインメント小説
	落語を聞いて、江戸を学ぼう！ ・落語と江戸の食生活 ・落語と江戸の働く人たち ・落語と江戸の恋人たち ・落語と江戸の超常現象 ・落語で、明治、大正、昭和を学ぶ
	生と死を考える～自然との共生～ ・聖書の自然観 ・西洋近代の自然観 ・東洋的自然観 ・日本の自然観 ・自然との共生
	ここまで進んだ歯周病予防・治療の最前線 ―口腔の健康と生活習慣病の科学から― ・解明されてきた歯周病の正体と全身疾患への影響 ・歯周病と全身疾患 ・歯周病のリスクと生活 ・歯周病予防・治療の最前線
	役に立つ心理学とは ～臨床心理士として見えてくること～ ・脳とこころ ・住まいとこころ ・色とこころ ・話とこころ ・愛とこころ
	日本における政党政治の変容と民主主義 ・政党制と日本政治 ・戦後日本の政党―5 5 年体制に至る経緯 ・5 5 年体制から多党制へ―連立の時代への移行 ・連立の時代へ―自民党時代の終焉と日本政治 ・政権交代と政党制―日本にふさわしい政党制は
	「老後の笑顔」は自分でつくる！ ・ライフプランから考える介護 ・介護 ～施設介護編～ ・介護 ～在宅介護編～ ・介護に必要な成年後見制度 ・エンディングノートを使った介護準備
	国連とミレニアム開発目標 ・ミレニアム開発目標って何？ ・MDG 4―子どもの健康 ・MDG 5―妊産婦の健康の推進 ・MDG 6―感染症対策 ・国連の役割、日本の役割
日本大学総合生涯学習センター 秋期公開講座	江戸時代史 ―田沼意次の登場と展開～9 代家重・10 代家治の時代～ ・復活する側用人政治―9 代家重と大岡忠光 ・田沼意次の登場と政治 ・田沼意次の政治と評価 ・浅間山噴火と天明の大飢饉 ・明和事件
	日本史の「謎」に迫る～古代・中世の『民間信仰』と風聞（うわさ）～ ・『風土記』の時代の言い伝えと信仰 ・蘇民将来の信仰とその広がり ・平安時代の庶民信仰―設楽神と八幡神― ・『怨霊』と風聞―後鳥羽上皇の怨霊― ・『起請文』に現れた中世庶民の切なる願いと神仏との交信

名 称	テ ー マ
	新古今和歌集の世界（五） ・巻第十五 恋五1336～1434 ・伊勢物語的展開 ・夢に寄せる恋 ・王朝的恋歌群 ・空虚な情
	東西文化圏における竜の相違～西洋と漢文化圏の竜～ ・西洋の竜 ・キリスト教文化圏 ・中国の竜 ・中国の竜 ・日本の竜
	ものの見方と考え方～東洋と西洋の比較～ ・哲学は〈驚異〉から始まる ・哲学は〈懐疑〉から始まる ・哲学は〈苦悩〉から始まる ・哲学は〈悲哀〉から始まる ・〈学〉としての哲学と〈教〉としての哲学
	身近な心理学～臨床心理士として、今一度考えたいこと～ ・経済と心理学 ・司法と心理学 ・環境と心理学 ・教育と心理学 ・福祉・医学と心理学
	テレビ政治の時代～より良いテレビの使い方～ ・テレビ政治の時代 ・テレビ局の考査と自主規制 ・細川内閣の誕生とテレビ ・小泉政権とテレビの相互利用 ・テレビ政治の時代にどのように関わっていくのか
	落語・講談で識る江戸～人々の暮らしと生き方を学ぶ～ ・落語、講談の誕生と江戸の文化人たち ・落語に見る江戸の暮らし～衣食住 ・講談に見る男の生き方～赤穂義士伝を読む ・落語に見る女の生き方～袈裟御前を読む ・お江戸は文化の花盛り～お洒落、美食、歌舞伎、吉原
	リスクと信頼の社会学～信頼とはどういうことか～ ・リスクの種類と定義、信頼とはどういうことか ・人間関係の信頼 ・秘密の信頼 ・信頼を計ってみる
	シルバーエイジの法律問題 ・争続を避けるための遺言 ・事業やお墓をどうしますか ・公的年金制度の動向と老後資金プラン ・医療・介護保険制度の動向とセカンドライフのリスクマネジメント ・振り込め詐欺を防ぐための地域づくり
	国際社会の光と影～国連と企業の視点から～ ・総合商社の戦略 ・ボランティアとは？ ・国際社会の情報格差 ・日本の国際化 ・国連の目指す『私たちが望む未来』
	韓国ドラマOSTで学ぶ韓国語 ・韓国ドラマと韓国文化 ・韓国ドラマOSTから学ぶ韓国語（1） ・韓国ドラマOSTから学ぶ韓国語（2） ・韓国ドラマOSTから学ぶ韓国語（3） ・韓国ドラマOSTから学ぶ韓国語（4）

9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産

学外研究費採択状況

文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業一科研費一

学部	採択(新規)		採択(新規・継続)				
	件数	交付額 (千円)	件数	直接経費	間接経費	交付額 (千円)	
大学	法	3	7,540	9	9,000	2,700	11,700
	文理	20	45,470	55	115,000	31,980	146,980
	経済	6	15,600	23	46,300	13,890	60,190
	商	8	10,400	20	28,600	8,580	37,180
	芸術	2	4,160	6	6,800	1,920	8,720
	国際関係	1	4,680	7	11,800	3,540	15,340
	理工	26	48,250	66	79,300	23,310	102,610
	生産工	12	22,260	38	39,400	11,250	50,650
	工	12	33,930	35	54,200	16,260	70,460
	医	35	80,210	85	139,000	41,700	180,700
	歯	37	73,580	77	95,800	28,740	124,540
	松戸歯	11	25,870	50	59,600	17,880	77,480
	生物資源	24	58,520	69	103,030	29,919	132,949
	薬	7	15,600	20	23,000	6,900	29,900
	通信教育	0	0	1	600	180	780
	本部	3	5,980	12	18,100	5,430	23,530
小計	207	452,050	573	829,530	244,179	1,073,709	
短期大学部	三島	0	0	1	1,000	300	1,300
	船橋	0	0	2	4,500	1,350	5,850
	湘南	0	0	1	400	120	520
	小計	0	0	4	5,900	1,770	7,670
合計	207	452,050	577	835,430	245,949	1,081,379	

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況

採択年度	学部	研究組織	事業の別	研究課題	事業費 (千円)
24年度	工学部	工学研究所	地域に根差した研究	福島県発の災害に強く自立共生が可能な住環境の創成に関する研究	115,947
24年度	医学部	総合医学研究所 (システム神経科学グループ)	研究拠点を形成する研究	ニューロモデレーションセンターの構築と医療連携	70,000

大学教育・学生支援関係プログラム等の取組状況

プログラム等名称	申請学部等	取組名称等	期間
大学病院連携型高度医療人養成推進事業	医学部 ※1	関東・信州広域循環型専門医養成プログラム	平成20年度～平成24年度
大学間連携共同教育推進事業	工学部 ※2	ふくしまの未来を拓く「強い人材」づくり共同教育プログラム	平成24年度～平成28年度
	生物資源科学部 ※3	グローバル社会を担う次世代型獣医学系大学教育機構の構築	平成24年度～平成28年度

※1 群馬大学, 信州大学, 獨協医科大学及び埼玉医科大学と共同

※2 福島大学ほか14の大学・短大・高等専門学校と共同

※3 東京大学, 日本獣医生命科学大学, 麻布大学と共同

日本大学総長特別研究・理事長特別研究

日本大学総長特別研究は、日本大学学術研究戦略の基本方針、理念、目標をもとに継続して学術研究を推進している中、総長が社会や本学の状況を鑑み、特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進するため、研究テーマを『日本大学のもつ学問領域の幅広さを活かし、未来の地球環境、ヒトの生命、生活のために求められる、あるいは新たに提案する総合的・統合的な研究課題を求める。』とし、①アジアを中心とした国際社会における日本のあり方及び、「安心・安全」な国際システムを構築する視点からの研究、②第一次産業再生のための先端的・国際的研究、③グリーン・イノベーションに立脚する環境・エネルギー・資源確保等の次世代ライフの質向上に資する総合的研究、④ライフイノベーションに立脚する高度医療、介護、高齢者対策等、法的・経済的支援を含む総合的視点から、『人を守る』ことを基軸とした研究、⑤21世紀における強靱な政治・経済両面にわたる社会的基盤形成の複合的研究に関する研究プロジェクトを学内で募集し、ネットワークを用いて教職員の投票を行い審査の基礎とする等、本学が一体となって推進するプロジェクトとして、平成24年度より実施された。併せて理事長特別研究は、本学の研究成果を広く社会に還元すると共に、本学の教育研究及び運営にも積極的に活用できる研究を推進するため、組織運営、危機管理、人事管理、広報管理、教育方法、教育支援、研究支援等の本学の教育研究活動及び運営に対して、直接的または間接的に活かすことができるプロジェクトとして、教員・職員が共同してプロジェクトを組織する新たな研究プロジェクト組織を構築して実施された。

総長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
高齢化社会におけるインフルエンザ感染および重症化対策の総合的研究	教授 橋本 修	医学部, 理工学部, 歯学部, 松戸歯学部	75,000
遠隔医療システムを活用したアジア基盤型EBM研究の構築	教授 中島 一郎	歯学部, 医学部, 生物資源科学部	29,523

理事長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
電力削減と教育環境整備の両立を目指した省エネルギー型キャンパスの創成に関する総合研究	教授 鈴木 正彦	教員: 文理学部, 理工学部, 工学部 職員: 文理学部, 工学部, 本部管財部	63,830
日本大学の自校史教育における教育担当者養成の実践的研究 -建学の精神の実現をめざして-	教授 加藤 直人	教員: 文理学部, 医学部, 生物資源科学部, 山形高校 職員: 医学部	7,075
キャリアウェイ～理系女子学生のキャリア教育と活躍促進のための環境整備に関する研究	教授 落合 豊子	教員: 医学部, 文理学部, 理工学部, 工学部, 生産工学部, 歯学部, 松戸歯学部, 薬学部, 生物資源科学部, 短期大学部, 豊山女子高校 職員: 生産工学部, 本部校友会事務局	40,000
日本大学におけるeラーニングの戦略的活用の研究 -高大連携, 入学前教育, 学部教育そして大学院教育等におけるeラーニング導入の必要性和パイロットプログラムによる実証的研究-	教授 福田 弥夫	教員: 通信教育部, 法学部, 文理学部, 商学部, 理工学部, 松戸歯学部, 大学院総合社会情報研究科, 日大高校, 櫻丘高校, 山形高校, 豊山女子高校, 明誠高校 職員: 商学部, 通信教育部, 本部学務部, 総合学術情報センター情報事務局	42,600

日本大学学術研究戦略プロジェクト

本学の総合性を活かし、日本大学発イノベーションの具現化を図ることに努め、健やかな未来の創造に寄与すること、また、社会に活力を与える人材を育成することを目的に、平成21年度より学内資金による大型研究プロジェクトとしてスタートしたものであり、平成24年度は5年計画の4年目である。

研究課題	研究分野構成	事業費（千円）
ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追求	極限追求系 情報班（超高密度・超高速記録）、エネルギー班（太陽・水素エネルギー）、医療班（DNA医療、光、X線診断、治療法） ナノ基盤系 超分子・自己組織班、ナノ物質・ナノデバイス班、量子理論・計算班	120,000/年 プロジェクト総額 600,000

初年度の平成21年には、情報分野で超高速記録に関連した研究がアメリカ物理学会のPhysicsに紹介され、医療分野の遺伝子ネットワークの解析がNatureに掲載されるなどの成果があった。平成22年は、情報分野で量子情報に関連した研究が、Nature Photonicsに掲載され、外部資金として総務省の戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）の採択につながった。平成23年度にも、情報分野の研究がさらに大きく進展し、量子通信実験でいくつか世界新記録が達成され、また、超高速記録に関する論文がNatureに掲載された。ボーズ粒子に関する論文がJ. Phys. B誌のHighlight of 2011に選ばれた。4年目の平成24年度は、熱のみで磁化反転がおこるプロセスが発見されNature Communicationに掲載されるなど、情報分野の研究では大きな成果があがっている。医療分野では、PIポリアミドに関する論文が、日本薬学学会誌平成24年優秀論文に選出された。理論分野でも、量子力学の基本的な謎をひとつ解明した論文が、英国物理学会のIOPセレクトに選出され、欧州物理学会のEurophysics Newsに取り上げられる予定。総括して平成24年度の成果は、112報の査読付き論文、著書5件、特許出願4件、招待講演29件、学会発表277件。メンバーが研究代表者として獲得した平成24年度の外部資金は27件、44,275千円（日本大学からの助成は除く。複数年度資金の場合は平成24年分のみ。私立大学基盤形成支援事業も除く。）上記のうち、メンバー共著による成果は、論文22報、特許出願3件、学会発表131件、外部資金10件で、このうち複数学部にまたがる成果は、論文5件、学会発表18件、外部資金1件である。

発明・技術移転

※平成25年3月31日現在

発明関係

発明届出件数	特許出願件数		計	(単年度)
	国内	国外		
86	79	33	112	

情報開示件数

904

保有特許件数

国内	外国	〔 情報開示件数及び保有特許 件数は、いずれも累計数 〕
335	99	

技術移転関係

技術移転件数	ロイヤルティー		(単年度)
	延べ件数	入金額（円）	
15	104	225,127,592	

10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数

主な工事

部 科 校 名	工 事 内 容
本 部	お茶の水総合開発(第1期)に伴う旧お茶の水スクエアB・C館地下解体工事 総合学術情報センター外壁改修工事 保健体育審議会野球部練習場改修工事 保健体育審議会ヨット部学生寮新築工事 学生寮：鉄筋コンクリート造 地上3階建 延床面積 767.79㎡ 艇庫：鉄骨造 平家建 延床面積 59.26㎡ 物干場(構築物)
法 学 部	三崎町校舎本館耐震補強設計及び工事(工事) 三崎町校舎本館改修工事
文 理 学 部	4号館耐震補強及び屋上防水その他工事
経 済 学 部	3・5号館代替施設改修工事
商 学 部	図書館電気設備改修工事
松 戸 歯 学 部	体育館併設食堂棟耐震補強その他工事 校舎棟耐震補強その他工事
生 物 資 源 科 学 部	下田校舎宿泊棟耐震補強その他工事
薬 学 部	3号館空調設備改修工事
鶴ヶ丘高等学校	総合グラウンド改修工事
藤 沢 中 学 校	校舎新築工事 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階建 延床面積 5,493.47㎡
東 北 高 等 学 校	実験棟(A・B)(含むボンベ室)及び実験棟(C)解体工事

土地・建物延面積

部 科 校 名	土地(実測面積) (㎡)	建物(公簿延面積) (㎡)
本部	906,992.64	108,099.67
法学部	183,063.25	70,757.87
文理学部	168,455.99	112,645.50
経済学部	125,825.79	55,101.33
商学部	124,034.81	49,064.48
芸術学部	147,547.75	93,216.71
国際関係学部	215,231.17	78,971.51
理工学部	638,705.30	185,058.44
生産工学部	224,083.77	138,994.03
工学部	402,364.47	131,666.41
医学部	56,082.58	43,475.80
総合健診センター	386.54	2,877.63
板橋病院	0	55,767.82
駿河台病院	0	15,362.60
歯学部	29,647.38	20,727.65
歯科病院	0	6,222.48
松戸歯学部	47,964.37	41,263.78
松戸歯科病院	2,830.71	9,638.17
生物資源科学部	27,685,256.61	188,523.63
薬学部	52,071.00	31,844.43
通信教育部	887.71	6,129.02
横浜学園	37,984.93	29,242.87
豊山学園	50,883.34	10,775.64
豊山女子学園	36,497.96	17,338.03
明誠高等学校	103,800.91	13,383.53
山形学園	75,035.99	23,383.51
幼稚園	1,902.57	1,650.33
計	31,317,537.54	1,541,182.87

土地購入

理工学部10号館敷地（理工学部）

東京都千代田区神田駿河台四丁目2番1 1筆 278.97m²

生物資源科学部藤沢校地敷地（焼塚A・乳牛舎周辺）（生物資源科学部）

神奈川県藤沢市石川字焼塚3822番1 計7筆 1658.00m²

蔵書数

※平成25年3月31日現在

部科校名	種類	一般教育図書（冊）	専門図書（冊）	学術雑誌・その他（冊）	合計（冊）
本	部	1	199,323	78,384	277,708
法	学 部	95,091	246,451	162,828	504,370
文	理 学 部	347,039	352,828	244,527	944,394
経	済 学 部	65,463	218,204	155,078	438,745
商	学 部	93,564	260,425	110,172	464,161
芸	術 学 部	107,670	258,780	59,363	425,813
国	際 関 係 学 部	179,177	227,646	56,491	463,314
	（ 国 際 関 係 学 部 ）	（ 29,758 ）	（ 161,135 ）	（ 26,358 ）	（ 217,251 ）
	（ 短期大学部（三島） ）	（ 109,854 ）	（ 66,511 ）	（ 26,282 ）	（ 202,647 ）
	（ 三島高等学校 ）	（ 38,546 ）	（ 0 ）	（ 3,789 ）	（ 42,335 ）
	（ 三島中学校 ）	（ 1,019 ）	（ 0 ）	（ 62 ）	（ 1,081 ）
理	工 学 部	119,097	290,296	203,501	612,894
	（ 理 工 学 部 ）	（ 70,736 ）	（ 257,078 ）	（ 183,221 ）	（ 511,035 ）
	（ 短期大学部（船橋） ）	（ 17,079 ）	（ 33,218 ）	（ 18,510 ）	（ 68,807 ）
	（ 習志野高等学校 ）	（ 31,282 ）	（ 0 ）	（ 1,770 ）	（ 33,052 ）
生	産 工 学 部	47,000	84,894	104,169	236,063
工	学 部	164,468	95,734	109,810	370,012
	（ 工 学 部 ）	（ 132,264 ）	（ 95,734 ）	（ 107,938 ）	（ 335,936 ）
	（ 東北高等学校 ）	（ 32,204 ）	（ 0 ）	（ 1,872 ）	（ 34,076 ）
医	学 部	11,537	39,677	154,961	206,175
総	合 健 診 セ ン タ ー	0	0	0	0
板	橋 病 院	0	0	0	0
駿	河 台 病 院	0	0	0	0
歯	学 部	49,260	29,562	82,638	161,460
歯	科 病 院	0	0	0	0
松	戸 歯 学 部	34,285	41,853	69,617	145,755
松	戸 歯 科 病 院	0	0	0	0
生	物 資 源 科 学 部	113,062	119,190	111,120	343,372
	（ 生 物 資 源 科 学 部 ）	（ 55,821 ）	（ 105,852 ）	（ 108,012 ）	（ 269,685 ）
	（ 短期大学部（湘南） ）	（ 9,030 ）	（ 13,338 ）	（ 3,058 ）	（ 25,426 ）
	（ 鶴ヶ丘高等学校 ）	（ 27,440 ）	（ 0 ）	（ 50 ）	（ 27,490 ）
	（ 藤沢高等学校 ）	（ 20,771 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 20,771 ）
薬	学 部	13,077	26,094	30,072	69,243
通	信 教 育 部	0	6,538	177	6,715
横	浜 学 園	17,869	0	890	18,759
	（ 日本大学高等学校・中学校 ）				
豊	山 学 園	13,555	0	0	13,555
	（ 豊山高等学校・中学校 ）				
豊	山 女 子 学 園	37,624	0	0	37,624
	（ 豊山女子高等学校・中学校 ）				
明	誠 高 等 学 校	4,874	0	0	4,874
山	形 学 園	18,984	0	0	18,984
	（ 山形高等学校・中学校 ）				
日	本 大 学 幼 稚 園	719	0	0	719
計		1,533,416	2,497,495	1,733,798	5,764,709

IV 財務の概要

(注)

備考：「IV 財務の概要」を構成する次の計算書類は、東陽監査法人の監査を受けて承認された計算書類を基に作成したものである。

- 1 平成24年度資金収支計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）
- 2 平成24年度消費収支計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）
- 3 貸借対照表（平成25年3月31日現在）
- 4 財産目録（平成25年3月31日現在）

1 平成 24 年度資金収支計算書

〔平成 24 年 4 月 1 日から
平成 25 年 3 月 31 日まで〕

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金収入	105,480,110,000	103,858,846,223	1,621,263,777
手数料収入	3,671,710,000	3,752,261,928	△ 80,551,928
寄付金収入	5,060,910,000	4,109,183,312	951,726,688
補助金収入	17,260,020,000	16,818,012,865	442,007,135
資産運用収入	2,566,380,000	2,516,451,121	49,928,879
資産売却収入	431,540,000	416,877,518	14,662,482
事業収入	2,739,510,000	3,041,831,248	△ 302,321,248
医療収入	45,792,530,000	46,095,618,883	△ 303,088,883
雑収入	5,662,630,000	6,332,632,878	△ 670,002,878
借入金等収入	1,500,000,000	1,500,000,000	0
前受金収入	18,305,290,000	18,196,220,361	109,069,639
その他の収入	39,371,300,000	39,984,356,433	△ 613,056,433
資金収入調整勘定	△ 29,453,160,000	△ 31,956,164,371	2,503,004,371
当年度収入合計	218,388,770,000	214,666,128,399	3,722,641,601
前年度繰越支払資金	35,711,230,000	36,198,848,995	△ 487,618,995
収入の部合計	254,100,000,000	250,864,977,394	3,235,022,606

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費支出	106,910,380,000	105,052,045,519	1,858,334,481
教育研究経費支出	58,253,490,000	57,378,477,639	875,012,361
(教育研究経費支出)	(45,614,660,000)	(43,702,244,400)	1,912,415,600)
(医療経費支出)	(12,638,830,000)	(13,676,233,239)	(△ 1,037,403,239)
管理経費支出	6,956,660,000	6,831,163,569	125,496,431
借入金等利息支出	270,000 84,220,000	84,481,780	8,220
借入金等返済支出	1,040,800,000	1,040,800,000	0
施設関係支出	14,897,680,000	13,087,660,454	1,810,019,546
設備関係支出	110,560,000 4,187,160,000	4,297,719,594	406
資産運用支出	22,208,640,000	22,152,488,722	56,151,278
その他の支出	9,058,760,000	11,246,040,804	△ 2,187,280,804
予備費	(110,830,000) 889,170,000		889,170,000
資金支出調整勘定	△ 10,577,120,000	△ 11,871,852,208	1,294,732,208
当年度支出合計	214,020,670,000	209,299,025,873	4,721,644,127
次年度繰越支払資金	40,079,330,000	41,565,951,521	△ 1,486,621,521
支出の部合計	254,100,000,000	250,864,977,394	3,235,022,606

(注) 予算額の上段数字は予備費の使用額を示す。

2 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他諸活動に対応するすべての収支内容並びに支払資金の収支のてん末を明らかにするものである。

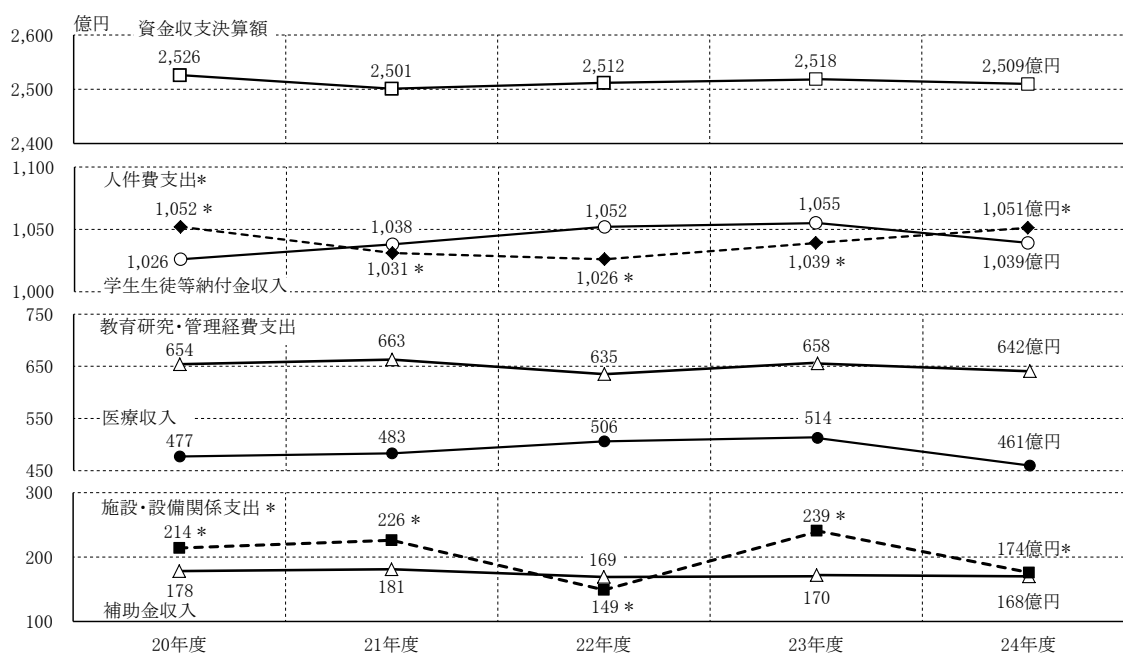
平成24年度の資金収支決算総額は、2,508億6,497万7,394円になり、予算対比で32億円の減少になった。

予算対比での主な増減額・増減事由を見ると、収入の部では、学校法人の収入の根幹を成すべき学生生徒等納付金収入が16億

円の減収、補助金収入が私立大学等経常費補助金の減少により4億円の減収になったが、事業収入が受託研究の増加により3億円の増収になった。

支出の部では、人件費支出が教職員数の減少により19億円の支出減、教育研究経費支出が耐震補強工事の修繕工事減少により9億円の支出減、施設関係支出が工事の繰延べにより18億円の支出減になった。

平成20年度～平成24年度 資金収支決算の推移



— 活動区分別キャッシュ・フロー計算書について —

キャッシュ・フロー計算書は、資金収支計算書を、活動区分別に分類したものである。すなわち、学校法人の諸活動を①教育研究活動、②施設等整備活動、③財務活動に区分し、それぞれの活動区分に対応するキャッシュ・フロー（資金の増減）と、事業キャッシュ・フロー（① + ②）及び当年度キャッシュ・フロー（① + ② + ③）の状況を明らかにしている。

平成24年度決算では、教育研究活動キャッ

シュ・フローは165億円の収入超過になった。この収入超過額は、施設等整備活動キャッシュ・フローの支出超過額158億円に充当され、事業キャッシュ・フローは7億円の収入超過になった。

この結果、事業キャッシュ・フローに財務活動キャッシュ・フローの収入超過額47億円を加えた当年度キャッシュ・フローは、54億円の収入超過になり、次年度繰越支払資金は増加した。

平成24年度 活動区分別キャッシュ・フロー計算書

1 教育研究活動によるキャッシュ・フロー

(単位：円)

教育研究活動による支出	金額	教育研究活動による収入	金額
人件費支出	105,052,045,519	学生生徒等納付金収入	103,858,846,223
教育研究経費支出	57,378,477,639	手数料収入	3,752,261,928
管理経費支出	6,831,163,569	寄付金収入(1)	3,615,058,312
借入金等利息支出	84,481,780	補助金収入(2)	15,163,667,865
その他の支出(5)	11,073,586,128	資産運用収入	2,516,451,121
資金支出調整勘定(6)	△ 11,490,359,670	事業収入	3,041,831,248
		医療収入	46,095,618,883
		雑収入	6,332,632,878
		前受金収入	18,196,220,361
		その他の収入(3)	13,498,159,467
		資金収入調整勘定(4)	△ 30,598,633,371
小計(イ)	168,929,394,965	小計(ア)	185,472,114,915

教育研究活動による
キャッシュ・フロー〔(ア)-(イ)=①〕

16,542,719,950

2 施設等整備活動によるキャッシュ・フロー

施設等整備活動による支出	金額	施設等整備活動による収入	金額
施設関係支出	13,087,660,454	特別寄付金収入(1:施設等整備)	395,555,000
設備関係支出	4,297,719,594	補助金収入(2:施設等整備)	1,654,345,000
その他の支出(5:施設等整備)	172,454,676	資産売却収入	416,877,518
資金支出調整勘定(6:施設等整備)	△ 381,492,538	その他の収入(3:施設等整備)	209,891,000
		資金収入調整勘定(4:施設等整備)	△ 1,357,531,000
小計(B)	17,176,342,186	小計(A)	1,319,137,518

施設等整備活動による
キャッシュ・フロー〔(A)-(B)=②〕

△ 15,857,204,668

事業キャッシュ・フロー
〔① + ②〕

685,515,282

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による支出	金額	財務活動による収入	金額
借入金等返済支出	1,040,800,000	特別寄付金収入(1:基金設定)	98,570,000
資産運用支出	22,152,488,722	借入金等収入	1,500,000,000
		各種引当資産からの繰入収入(3)	26,276,305,966
小計(b)	23,193,288,722	小計(a)	27,874,875,966

財務活動による
キャッシュ・フロー〔(a)-(b)=③〕

4,681,587,244

当年度キャッシュ・フロー
〔① + ② + ③〕

5,367,102,526

前年度繰越支払資金

36,198,848,995

次年度繰越支払資金

41,565,951,521

(注) (1) 施設等整備と基金設定に相当する特別寄付金額は、寄付金収入から控除し、施設等整備活動と財務活動に計上している。

(2) 施設等整備に相当する補助金額は、補助金収入から控除し、施設等整備活動に計上している。

(3) 施設等整備に相当する前期末未収入金収入額と各種引当資産からの繰入収入額は、その他の収入から控除し、施設等整備活動と財務活動に計上している。

(4) 施設等整備に相当する期末未収入金額は、資金収入調整勘定から控除し、施設等整備活動に計上している。

(5) 施設等整備に相当する前期末未払金支払支出額は、その他の支出から控除し、施設等整備活動に計上している。

(6) 施設等整備に相当する期末未払金額は、資金支出調整勘定から控除し、施設等整備活動に計上している。

3 平成 24 年度消費収支計算書

〔平成 24 年 4 月 1 日から〕
〔平成 25 年 3 月 31 日まで〕

消費収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	105,480,110,000	103,858,846,223	1,621,263,777
手 数 料	3,671,710,000	3,752,261,928	△ 80,551,928
寄 付 金	5,227,110,000	4,370,419,283	856,690,717
補 助 金	17,260,020,000	16,818,012,865	442,007,135
資 産 運 用 収 入	2,566,380,000	2,516,451,121	49,928,879
資 産 売 却 差 額	0	195,871,312	△ 195,871,312
事 業 収 入	2,739,510,000	3,041,831,248	△ 302,321,248
医 療 収 入	45,792,530,000	46,095,618,883	△ 303,088,883
雑 収 入	5,662,630,000	6,349,727,225	△ 687,097,225
帰 属 収 入 合 計	188,400,000,000	186,999,040,088	1,400,959,912
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 13,100,000,000	△ 6,950,004,088	△ 6,149,995,912
消 費 収 入 の 部 合 計	175,300,000,000	180,049,036,000	△ 4,749,036,000

消費支出の部

(単位：円)

	予 算 額	決 算 額	差 異
人 件 費	103,457,030,000	100,970,983,310	2,486,046,690
教 育 研 究 経 費	75,067,440,000	74,078,975,280	988,464,720
(教 育 研 究 経 費)	(62,428,610,000)	(60,402,697,041)	2,025,912,959)
(医 療 経 費)	(12,638,830,000)	(13,676,278,239)	(△) 1,037,448,239)
管 理 経 費	7,622,120,000	7,492,709,124	129,410,876
借 入 金 等 利 息	270,000 84,220,000	84,481,780	8,220
資 産 処 分 差 額	891,960,000	2,301,712,077	△ 1,409,752,077
徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	77,230,000	10,726,985	66,503,015
徴 収 不 能 額	0	4,167,858	△ 4,167,858
予 備 費	(270,000) 999,730,000		999,730,000
消 費 支 出 の 部 合 計	188,200,000,000	184,943,756,414	3,256,243,586
当 年 度 消 費 収 入 (△ 支 出) 超 過 額	△ 12,900,000,000	△ 4,894,720,414	
前 年 度 繰 越 消 費 収 入 (△ 支 出) 超 過 額	△ 262,152,740,000	△ 262,152,733,419	
翌 年 度 繰 越 消 費 収 入 (△ 支 出) 超 過 額	△ 275,052,740,000	△ 267,047,453,833	

(注) 予算額の上段数字は予備費の使用額を示す。

4 消費収支計算書の概要

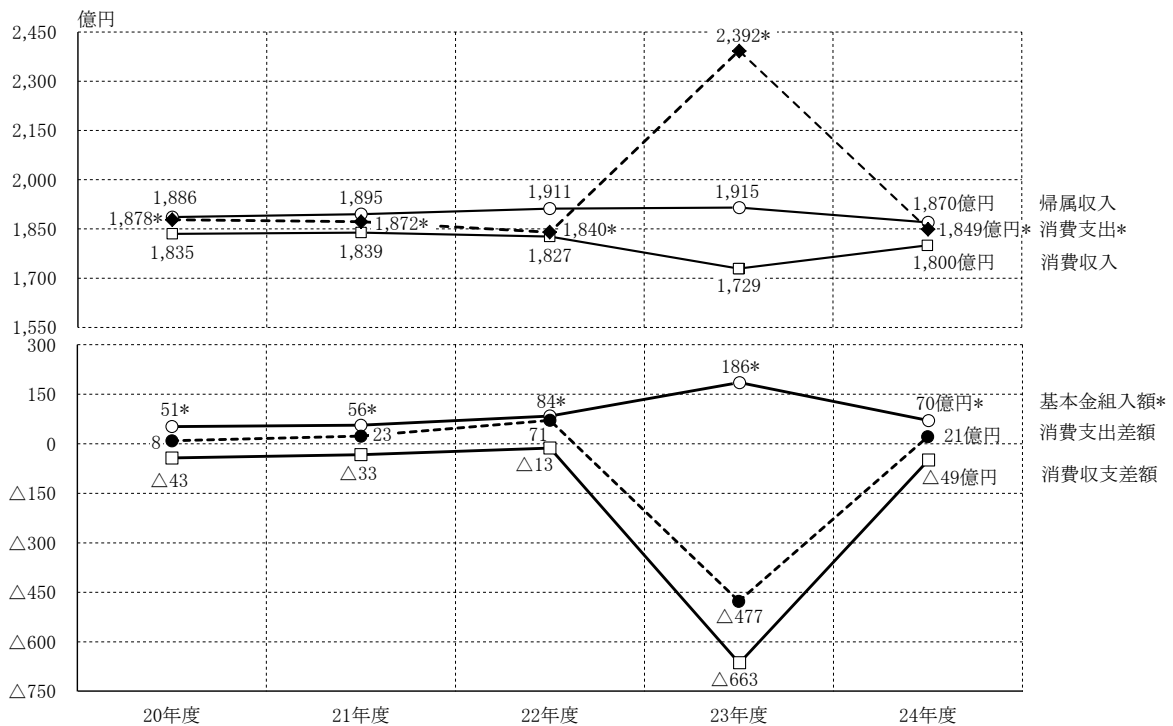
消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を示すものである。

平成24年度の消費収支決算額は、帰属収入が予算対比で14億円減少の1,870億円になり、帰属収入から基本金組入額70億円を控除して算出した消費収入は1,800億円になった。また、消費

支出は、予算対比で33億円減少の1,849億円になった。

当該会計年度の経営状況を表す、帰属収入と消費支出を対照した消費支出差額は、21億円の収入超過になり、予算対比で収入超過額が19億円増加した。

平成20年度～平成24年度 消費収支決算の推移



(注) 平成23年度の消費支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれており、消費支出差額及び消費収支差額についても、特別繰入額を含み計算されている。

5 貸借対照表（平成25年3月31日現在）

資産の部

（単位：円）

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
固 定 資 産	666,086,713,076	672,748,608,406	△ 6,661,895,330
有 形 固 定 資 産	414,804,599,928	416,874,631,143	△ 2,070,031,215
土 地	128,196,304,186	127,080,529,432	1,115,774,754
建 物	201,162,647,920	203,273,228,873	△ 2,110,580,953
構 築 物	11,988,443,583	12,558,822,824	△ 570,379,241
教育研究用機器備品	19,513,310,568	21,138,516,997	△ 1,625,206,429
その他の機器備品	766,894,565	788,903,366	△ 22,008,801
図 書	50,449,839,838	50,386,068,292	63,771,546
建設仮勘定	2,622,336,658	1,544,654,434	1,077,682,224
そ の 他	104,822,610	103,906,925	915,685
その他の固定資産	251,282,113,148	255,873,977,263	△ 4,591,864,115
借 地 権	2,381,672,678	2,449,507,125	△ 67,834,447
施設利用権	467,895,307	477,745,538	△ 9,850,231
教育研究用ソフトウェア	676,857,767	804,958,987	△ 128,101,220
その他のソフトウェア	137,551,415	132,383,544	5,167,871
敷 金 ・ 保 証 金	5,278,104,071	5,335,876,961	△ 57,772,890
長 期 貸 付 金	775,065,336	978,528,693	△ 203,463,357
退職給与引当資産	44,951,753,750	46,788,231,744	△ 1,836,477,994
施設設備拡充引当資産	5,910,000,000	6,410,000,000	△ 500,000,000
第3号基本金引当資産	93,431,520,000	92,979,170,000	452,350,000
その他の引当資産	96,928,617,450	99,168,306,700	△ 2,239,689,250
そ の 他	343,075,374	349,267,971	△ 6,192,597
流 動 資 産	56,967,516,494	50,686,870,774	6,280,645,720
現 金 預 金	41,565,951,521	36,198,848,995	5,367,102,526
未 収 入 金	14,057,706,920	13,024,506,863	1,033,200,057
短 期 貸 付 金	339,802,000	325,705,300	14,096,700
棚 卸 資 産	408,311,775	406,691,439	1,620,336
前 払 金	543,070,979	638,135,966	△ 95,064,987
仮 払 金	52,673,299	92,982,211	△ 40,308,912
資 産 の 部 合 計	723,054,229,570	723,435,479,180	△ 381,249,610

負債の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
固 定 負 債	118,822,086,709	123,096,476,590	△ 4,274,389,881
長 期 借 入 金	6,020,000,000	5,560,000,000	460,000,000
退 職 給 与 引 当 金	99,892,786,110	103,973,848,319	△ 4,081,062,209
そ の 他	12,909,300,599	13,562,628,271	△ 653,327,672
流 動 負 債	35,359,599,513	33,521,742,916	1,837,856,597
短 期 借 入 金	1,040,000,000	1,040,800,000	△ 800,000
未 払 金	10,955,072,925	10,101,170,392	853,902,533
前 受 金	18,226,441,139	17,960,646,834	265,794,305
そ の 他	5,138,085,449	4,419,125,690	718,959,759
負 債 の 部 合 計	154,181,686,222	156,618,219,506	△ 2,436,533,284

基本金の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
第 1 号 基 本 金	724,834,477,181	717,836,823,093	6,997,654,088
第 2 号 基 本 金	5,910,000,000	6,410,000,000	△ 500,000,000
第 3 号 基 本 金	93,431,520,000	92,979,170,000	452,350,000
第 4 号 基 本 金	11,744,000,000	11,744,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	835,919,997,181	828,969,993,093	6,950,004,088

消費収支差額の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
翌年度繰越消費支出超過額	267,047,453,833	262,152,733,419	4,894,720,414
消費収支差額の部合計	△ 267,047,453,833	△ 262,152,733,419	△ 4,894,720,414

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	723,054,229,570	723,435,479,180	△ 381,249,610

6 貸借対照表の概要

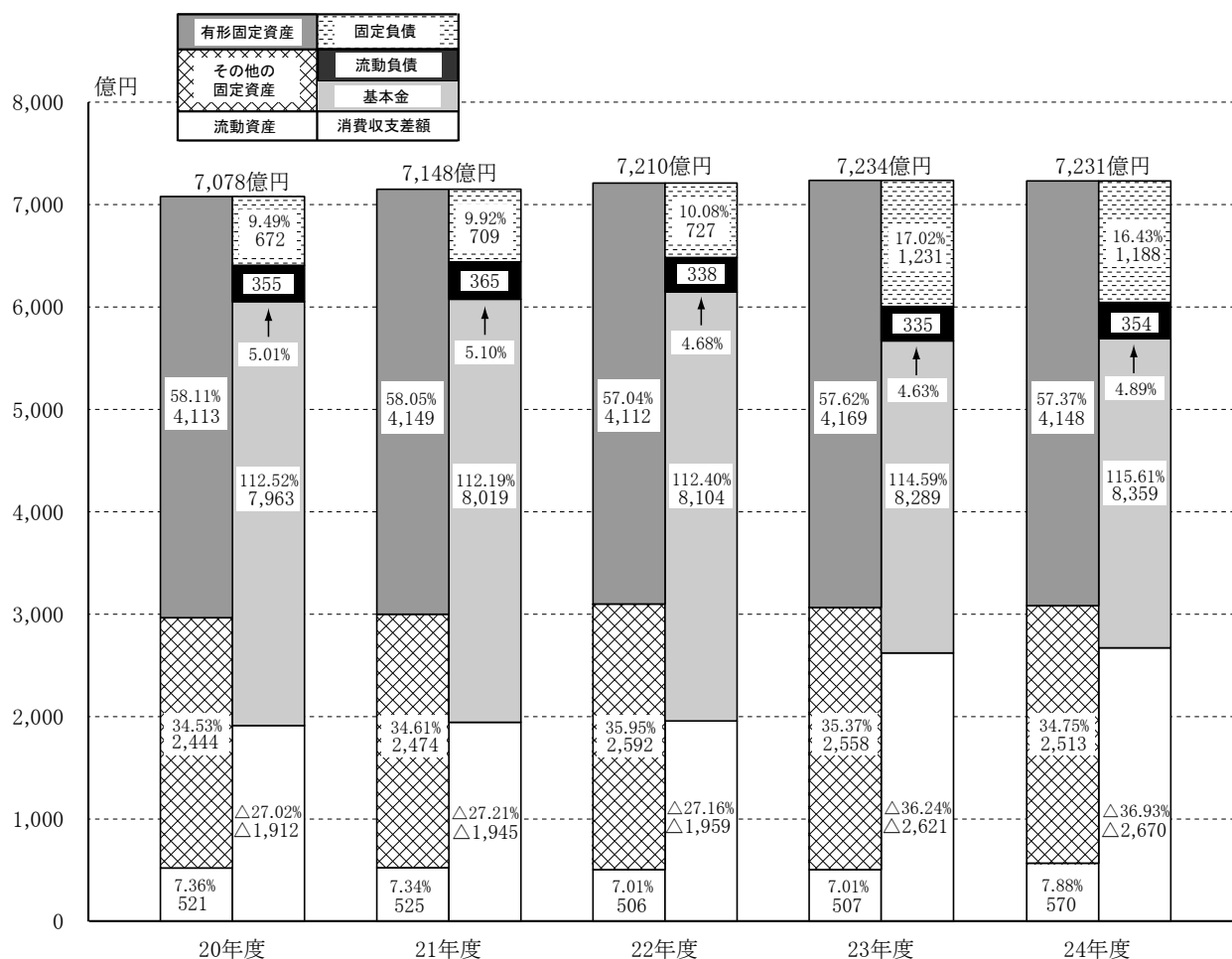
貸借対照表は、平成25年3月31日現在の財政状態を示している。

本年度末の資産総額は7,231億円で、前年度末に比較して3億円減少した。負債総額は1,542億円で、前年度末に比較して24億円減少した。この結果、資産総額から負債総額を差し引いた純資

産額は5,689億円で、前年度末に比較して21億円増加した。

また、基本金は8,359億円で、前年度末に比較して70億円の増加、翌年度へ繰り越す消費収支差額は、消費支出超過額が前年度末より49億円増加し2,670億円になった。

平成20年度～平成24年度 貸借対照表構成比率の推移



7 財産目録（平成25年3月31日現在）

財産目録は、平成25年3月31日現在の基本財産、運用財産、負債額を示している。

I 資産総額	723,054,229,570 円
内 基本財産	429,762,057,450 円
運用財産	293,292,172,120 円
II 負債総額	154,181,686,222 円
III 純資産	568,872,543,348 円

科 目	数 量	年 度 末
(一) 基 本 財 産		429,762,057,450 円
1 土 地	31,317,537.54 m ²	128,196,304,186 円
2 建 物	1,541,182.87 m ²	201,162,647,920 円
(1) 校 舎	1,150,007.98 m ²	152,679,569,410 円
(2) 図 書 館	75,718.33 m ²	10,431,155,648 円
(3) 講 堂 ・ 体 育 館	112,771.72 m ²	11,057,967,157 円
(4) そ の 他	202,684.84 m ²	26,993,955,705 円
3 図 書	5,764,709 冊	50,449,839,838 円
4 教 具 ・ 校 具 ・ 備 品	312,217 点	20,280,205,133 円
5 構 築 物	5,975 件	11,988,443,583 円
6 そ の 他		17,684,616,790 円

科 目	年 度 末
(二) 運 用 財 産	293,292,172,120 円
1 現 金 預 金	41,565,951,521 円
2 積 立 金	141,880,371,200 円
3 第 3 号 基 本 金 引 当 資 産	93,431,520,000 円
4 有 価 証 券	237,699,090 円
5 貸 付 金	1,114,867,336 円
6 未 収 入 金	14,057,706,920 円
7 そ の 他	1,004,056,053 円

科 目	年 度 末
(三) 負 債 額	154,181,686,222 円
1 固 定 負 債	118,822,086,709 円
(1) 長 期 借 入 金	6,020,000,000 円
(2) 退 職 給 与 引 当 金	99,892,786,110 円
(3) 預 り 金	12,122,269,423 円
(4) そ の 他	787,031,176 円
2 流 動 負 債	35,359,599,513 円
(1) 短 期 借 入 金	1,040,000,000 円
(2) 前 受 金	18,226,441,139 円
(3) 未 払 金	10,955,072,925 円
(4) 預 り 金	5,094,985,134 円
(5) そ の 他	43,100,315 円

科 目	年 度 末
(四) 基 本 財 産 + 運 用 財 産	723,054,229,570 円
(五) 純 資 産 (四 - 三)	568,872,543,348 円

8 参考資料

① 平成20年度～平成24年度 財務比率の推移

消費収支計算書 財務比率の推移						
名称	算式	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
(1) 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	55.1	53.9	53.2	80.9	54.0
(2) 人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}} \times 100$	101.3	98.4	96.6	146.8	97.2
(3) 借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
(4) 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	39.9	40.4	38.7	39.5	39.6
(5) 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	3.8	3.7	3.6	3.8	4.0
(6) 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}} \times 100$	9.4	9.6	8.8	8.9	9.0
(7) 消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}} \times 100$	102.3	101.8	100.7	138.4	102.7
(8) 消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}} \times 100$	99.5	98.8	96.3	124.9	98.9
貸借対照表 財務比率の推移						
(9) 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}} \times 100$	108.4	109.0	109.1	118.7	117.1
(10) 固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}} \times 100$	97.5	97.6	97.6	97.5	96.9
(11) 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	146.8	143.9	149.7	151.2	161.1
(12) 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}} \times 100$	14.5	15.0	14.8	21.6	21.3
(13) 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}} \times 100$	17.0	17.7	17.3	27.6	27.1
(14) 消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}} \times 100$	△ 27.0	△ 27.2	△ 27.2	△ 36.2	△ 36.9

(注) 平成23年度の人件費及び消費支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

② 平成20年度～平成24年度 資金収支決算の推移

(単位：千円)

区分	科目	20年度		21年度		22年度		23年度		24年度	
		決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)
収入	1 学生生徒等納付金収入	102,597,904	40.62	103,768,869	41.49	105,218,167	41.89	105,489,768	41.90	103,858,846	41.40
	2 手数料収入	3,740,427	1.48	3,912,540	1.56	3,822,208	1.52	3,507,907	1.39	3,752,262	1.50
	3 寄付金収入	3,511,413	1.39	4,083,031	1.63	3,692,089	1.47	3,774,770	1.50	4,109,183	1.64
	4 補助金収入	17,826,382	7.06	18,114,953	7.24	16,851,047	6.71	17,000,172	6.75	16,818,013	6.70
	5 資産運用収入	5,235,245	2.07	3,899,625	1.56	3,143,387	1.25	2,732,190	1.09	2,516,451	1.00
	6 資産売却収入	549,112	0.22	117,991	0.05	3,638	0.00	1,597	0.00	416,878	0.17
	7 事業収入	2,926,176	1.16	2,693,113	1.08	2,882,670	1.15	2,915,756	1.16	3,041,831	1.21
	8 医療収入	47,687,306	18.88	48,275,908	19.30	50,625,251	20.16	51,350,933	20.40	46,095,619	18.37
	9 雑収入	4,553,673	1.82	4,425,600	1.77	4,462,512	1.79	4,355,556	1.72	6,332,633	2.53
	10 借入金等収入	1,400	0.00	4,500,800	1.80	3,200,000	1.27	0	0.00	1,500,000	0.60
	11 前受金収入	19,179,147	7.59	19,118,577	7.64	18,529,965	7.38	17,940,973	7.13	18,196,220	7.25
12 その他の収入	40,342,946	15.97	30,689,378	12.27	31,480,053	12.53	37,134,471	14.75	39,984,356	15.94	
13 資金収入調整勘定	△ 31,914,939	△ 12.64	△ 31,641,734	△ 12.65	△ 31,357,163	△ 12.49	△ 31,431,057	△ 12.48	△ 31,956,164	△ 12.74	
当年度収入合計	216,236,192	85.62	211,958,651	84.74	212,553,824	84.63	214,773,086	85.31	214,666,128	85.57	
14 前年度繰越支払資金	36,318,736	14.38	38,173,742	15.26	38,603,173	15.37	36,983,227	14.69	36,198,849	14.43	
収入の部合計	252,554,928	100.00	250,132,393	100.00	251,156,997	100.00	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	
支出	1 人件費支出	105,206,646	41.66	103,063,318	41.20	102,644,359	40.87	103,911,760	41.27	105,052,045	41.88
	2 教育研究経費支出	58,934,965	23.33	59,912,605	23.97	57,302,174	22.82	59,064,087	23.47	57,378,477	22.88
	(1) (教育研究経費支出)	44,651,764	17.67	44,870,990	17.96	42,712,812	17.01	44,433,617	17.66	43,702,244	17.43
	(2) (医療経費支出)	14,283,201	5.66	15,041,615	6.01	14,589,362	5.81	14,630,470	5.81	13,676,233	5.45
	3 管理経費支出	6,454,933	2.56	6,362,114	2.54	6,179,374	2.46	6,669,238	2.65	6,831,164	2.72
	4 借入金等利息支出	36,005	0.01	24,152	0.01	74,695	0.03	98,974	0.04	84,482	0.03
	5 借入金等返済支出	484,010	0.19	483,010	0.19	783,810	0.31	1,101,400	0.44	1,040,800	0.41
	6 施設関係支出	16,794,923	6.65	14,810,130	5.92	10,080,890	4.01	18,411,994	7.31	13,087,660	5.22
	7 設備関係支出	4,569,800	1.81	7,831,367	3.13	4,777,938	1.90	5,450,206	2.16	4,297,719	1.71
	8 資産運用支出	21,930,700	8.68	20,592,532	8.23	29,447,535	11.72	20,929,763	8.31	22,152,489	8.83
	9 その他の支出	8,188,387	3.24	9,683,176	3.87	11,750,177	4.68	10,925,748	4.34	11,246,041	4.48
10 資金支出調整勘定	△ 8,219,183	△ 3.25	△ 11,233,184	△ 4.49	△ 8,867,182	△ 3.53	△ 11,005,756	△ 4.37	△ 11,871,852	△ 4.73	
当年度支出合計	214,381,186	84.88	211,529,220	84.57	214,173,770	85.27	215,557,414	85.62	209,299,025	83.43	
11 次年度繰越支払資金	38,173,742	15.12	38,603,173	15.43	36,983,227	14.73	36,198,849	14.38	41,565,952	16.57	
支出の部合計	252,554,928	100.00	250,132,393	100.00	251,156,997	100.00	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	

③ 平成20年度～平成24年度 消費収支決算の推移

(単位：千円)

区分	科目	20年度			21年度			22年度			23年度			24年度		
		決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)
消費収入の部	1 学生生徒等納付金	102,597,904	54.39		103,768,869	54.76		105,218,167	55.04		105,489,768	55.09		103,858,846	55.54	
	2 手数料	3,740,427	1.98		3,912,540	2.06		3,822,208	2.00		3,507,907	1.83		3,752,262	2.01	
	3 寄付金	3,759,676	1.99		4,322,432	2.28		3,948,405	2.07		4,058,591	2.12		4,370,419	2.34	
	4 補助金	17,826,382	9.45		18,114,953	9.56		16,851,047	8.81		17,000,172	8.88		16,818,013	8.99	
	5 資産運用収入	5,235,245	2.78		3,899,625	2.06		3,143,387	1.64		2,732,190	1.43		2,516,451	1.35	
	6 資産売却差額	305,328	0.16		90,654	0.05		2,379	0.00		30	0.00		195,872	0.10	
	7 事業収入	2,926,176	1.55		2,693,113	1.42		2,882,670	1.51		2,915,756	1.52		3,041,831	1.63	
	8 医療収入	47,687,306	25.28		48,275,908	25.47		50,625,251	26.48		51,350,933	26.82		46,095,619	24.65	
	9 雑収入	4,562,533	2.42		4,436,165	2.34		4,672,340	2.45		4,422,142	2.31		6,349,727	3.39	
	帰属収入合計	188,640,977	100.00		189,514,259	100.00		191,165,854	100.00		191,477,489	100.00		186,999,040	100.00	
消費収入の部合計	△ 5,137,863	△2.72		△ 5,581,748	△2.95		△ 8,433,243	△4.41		△ 18,599,877	△9.71		△ 6,950,004	△3.72		
消費収入の部合計	183,503,114	97.28		183,932,511	97.05		182,732,611	95.59		172,877,612	90.29		180,049,036	96.28		
消費支出の部	1 人件費	103,932,403	55.10	55.35	102,087,563	53.87	54.53	101,655,879	53.18	55.24	154,842,718	80.87	64.73	100,970,983	54.00	54.60
	2 教育研究経費	75,310,599	39.92	40.11	76,475,586	40.36	40.86	74,069,161	38.74	40.24	75,567,957	39.47	31.59	74,078,975	39.60	40.05
	(1) (教育研究経費)	61,027,280	32.35	32.50	61,433,758	32.42	32.83	59,479,799	31.11	32.31	60,937,272	31.83	25.47	60,402,697	32.29	32.66
	(2) (医療経費)	14,283,319	7.57	7.61	15,041,828	7.94	8.03	14,589,362	7.63	7.93	14,630,685	7.64	6.12	13,676,278	7.31	7.39
	3 管理経費	7,120,325	3.77	3.79	7,075,990	3.73	3.78	6,877,502	3.60	3.74	7,358,600	3.84	3.08	7,492,709	4.01	4.05
	4 借入金等利息	36,005	0.02	0.02	24,152	0.01	0.01	74,695	0.04	0.04	98,974	0.05	0.04	84,482	0.05	0.05
	5 資産処分差額	1,226,078	0.65	0.65	1,474,192	0.78	0.79	1,281,813	0.67	0.70	1,243,894	0.65	0.52	2,301,712	1.23	1.24
	6 徴収不能引当金繰入額	106,541	0.06	0.06	63,362	0.03	0.03	79,190	0.04	0.04	70,236	0.04	0.03	10,727	0.01	0.01
	7 徴収不能額	36,268	0.02	0.02	3,288	0.00	0.00	2,443	0.00	0.00	22,018	0.01	0.01	4,168	0.00	0.00
	消費支出の部合計	187,768,219	99.54	100.00	187,204,133	98.78	100.00	184,040,683	96.27	100.00	239,204,397	124.93	100.00	184,943,756	98.90	100.00
当年度消費収入(△支出)超過額	△ 4,265,105			△ 3,271,622			△ 1,308,072			△ 66,326,785			△ 4,894,720			
前年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 186,981,150			△ 191,246,255			△ 194,517,877			△ 195,825,949			△ 262,152,734			
翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 191,246,255			△ 194,517,877			△ 195,825,949			△ 262,152,734			△ 267,047,454			

(注) 平成23年度の人件費には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

④ 平成20年度～平成24年度 貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目	20 年 度		21 年 度		22 年 度		23 年 度		24 年 度	
	決 算 額	構成比 (%)	決 算 額	構成比 (%)	決 算 額	構成比 (%)	決 算 額	構成比 (%)	決 算 額	構成比 (%)
固 定 資 産	655,665,555	92.64	662,309,948	92.66	670,440,922	92.99	672,748,608	92.99	666,086,713	92.12
有 形 固 定 資 産	411,262,207	58.11	414,940,521	58.05	411,225,763	57.04	416,874,631	57.04	414,804,600	57.37
その他の固定資産	244,403,348	34.53	247,369,427	34.61	259,215,159	35.95	255,873,977	35.37	251,282,113	34.75
退職給与引当資産	49,506,414	6.99	48,628,234	6.80	47,738,602	6.82	46,788,231	6.47	44,951,754	6.22
その他の引当資産	184,863,017	26.12	188,299,917	26.34	200,907,822	27.87	198,557,477	27.45	196,270,137	27.14
その他の固定資産	10,033,917	1.42	10,441,276	1.47	10,568,735	1.46	10,528,269	1.45	10,060,222	1.39
流 動 資 産	52,085,758	7.36	52,501,280	7.34	50,551,418	7.01	50,686,871	7.01	56,967,517	7.88
現 金 預 金	38,173,742	5.39	38,603,173	5.40	36,983,227	5.13	36,198,849	5.00	41,565,952	5.75
その他の流動資産	13,912,016	1.97	13,898,107	1.94	13,568,191	1.88	14,488,022	2.01	15,401,565	2.13
資 産 の 部 合 計	707,751,313	100.00	714,811,228	100.00	720,992,340	100.00	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00
固 定 負 債	67,156,915	9.49	70,901,304	9.92	72,683,262	10.08	123,096,477	17.02	118,822,087	16.43
長 期 借 入 金	785,210	0.11	4,502,200	0.63	6,600,800	0.92	5,560,000	0.77	6,020,000	0.83
退職給与引当金	55,007,126	7.77	54,031,371	7.56	53,042,891	7.36	103,973,848	14.37	99,892,786	13.82
その他の固定負債	11,364,579	1.61	12,367,733	1.73	13,039,571	1.80	13,562,629	1.88	12,909,301	1.78
流 動 負 債	35,485,528	5.01	36,490,928	5.10	33,764,911	4.68	33,521,743	4.63	35,359,600	4.89
短期借入金	483,010	0.07	783,810	0.11	1,101,400	0.15	1,040,800	0.14	1,040,000	0.14
前 受 金	19,186,501	2.71	19,118,841	2.67	18,564,729	2.57	17,960,647	2.48	18,226,441	2.52
その他の流動負債	15,816,017	2.23	16,588,277	2.32	14,098,782	1.96	14,520,296	2.01	16,093,159	2.23
負 債 の 部 合 計	102,642,443	14.50	107,392,232	15.02	106,448,173	14.76	156,618,220	21.65	154,181,687	21.32
第 1 号 基 本 金	685,794,370	96.90	690,608,278	96.61	700,140,446	97.11	717,836,823	99.23	724,834,477	100.25
第 2 号 基 本 金	7,610,000	1.08	7,710,000	1.08	6,010,000	0.83	6,410,000	0.89	5,910,000	0.82
第 3 号 基 本 金	91,206,755	12.89	91,874,595	12.85	92,475,670	12.83	92,979,170	12.85	93,431,520	12.92
第 4 号 基 本 金	11,744,000	1.65	11,744,000	1.65	11,744,000	1.63	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62
基 本 金 の 部 合 計	796,355,125	112.52	801,936,873	112.19	810,370,116	112.40	828,969,993	114.59	835,919,997	115.61
消費収支差額の部	△ 191,246,255	27.02	△ 194,517,877	27.21	△ 195,825,949	27.16	△ 262,152,734	36.24	△ 267,047,454	36.93
負債・基本金・消費収支差額の部合計	707,751,313	100.00	714,811,228	100.00	720,992,340	100.00	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00

大学施設等所在地一覧(平成 25 年 3 月 31 日現在)

<学部(含本部)>

- 本部(日本学生会館)
〒102-8275 千代田区九段南 4-8-24
- 同(日本学生会館第二別館)
〒102-8251 千代田区五番町 12-5
- 法学部
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 文理学部
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 経済学部
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 商学部
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 芸術学部
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 同 所沢校舎
〒359-8525 所沢市中富南 4-21
- 国際関係学部, 短期大学部
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 理工学部
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 同 船橋校舎, 短期大学部
〒274-8501 船橋市習志野台 7-24-1
- 生産工学部
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 同 実叅校舎
〒275-8576 習志野市新栄 2-11-1
- 工学部
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 医学部
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 歯学部
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部, 短期大学部
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 薬学部
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1
- 通信教育部
〒101-8354 千代田区三崎町 2-2-3

<大学院>

- 大学院グローバル・ビジネス研究科
〒102-8275 千代田区九段南 4-8-24
- 大学院総合科学研究科
〒102-8251 千代田区五番町 12-5
- 大学院法務研究科
〒110-0062 千代田区神田駿河台 1-6
- 大学院総合社会情報研究科
〒359-0003 所沢市中富南 4-25
- 大学院法学研究科
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 大学院文学研究科
- 大学院総合基礎科学研究科
- 大学院理工学研究科(地理学)
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 大学院経済学研究科
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 大学院商学研究科
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 大学院芸術学研究科
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 大学院国際関係研究科
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 大学院理工学研究科
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 大学院生産工学研究科
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 大学院工学研究科
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 大学院医学研究科
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 大学院歯学研究科
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 大学院松戸歯学研究科
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 大学院生物資源科学研究科
- 大学院獣医学研究科
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 大学院薬学研究科
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1

<付属高等学校・中学校・幼稚園>

- 日本大学高等学校・中学校
〒223-8566 横浜市港北区箕輪町 2-9-1
- 櫻丘高等学校
〒156-0045 世田谷区桜上水 3-24-22
- 鶴ヶ丘高等学校
〒168-0063 杉並区和泉 2-26-12
- 藤沢高等学校・中学校
〒252-8505 藤沢市亀井野 1866
- 豊山高等学校・中学校
〒112-0012 文京区大塚 5-40-10
- 豊山女子高等学校・中学校
〒174-0064 板橋区中台 3-15-1
- 三島高等学校・中学校
〒411-0033 三島市文教町 2-31-145
- 明誠高等学校
〒409-0195 上野原市上野原 3200
- 山形高等学校・中学校
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘 4-55
- 習志野高等学校
〒274-8504 船橋市習志野台 8-35-1
- 東北高等学校
〒963-1165 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 幼稚園
〒167-0032 杉並区天沼 1-31-14

<専修学校>

- 医学部附属看護専門学校
〒173-0032 板橋区大谷口上町 71-12
- 歯学部附属歯科技工専門学校, 歯科衛生専門学校
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1

<附属病院>

- 医学部付属板橋病院
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 医学部付属駿河台病院
〒101-8309 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 医学部付属練馬光が丘病院
〒179-0072 練馬区光が丘 2-11-1
- 医学部付属総合健診センター
〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-7-3
- 歯学部付属歯科病院
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部付属病院
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部付属家畜病院
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866

<関連施設>

- 日本大学総合学術情報センター
〒359-0003 所沢市中富南 4-25

<関連組織>

- 株式会社日本大学事業部
〒156-0044 世田谷区赤堤 5-23-1

<学生寮・セミナーハウス・厚生施設等>

- 武蔵俊英学寮
〒180-0014 東京都武蔵野市関前 3-1-18
- 軽井沢研究所(本部)
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1052-1
- 塩原研修所(本部)
〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原 198
- 蓼科高原セミナーハウス(法学部)
〒384-2309 長野県北佐久郡立科町大字
芦田八ヶ野字屋敷幅 1140
- 山中湖セミナーハウス(文理学部)
〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村
平野字向切詰 506-296
- 菅平研修所(経済学部)
〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-467
- 館山セミナーハウス(芸術学部)
〒294-0306 千葉県館山市加賀名 97
- 八海山セミナーハウス(理工学部)
〒949-7121 新潟県南魚沼市山口 1666
- 横芝セミナーハウス(生産工学部)
〒289-1735 千葉県山武郡横芝光町屋形東雲 5348-10
- 演習林水上実習所(生物資源科学部)
〒379-1727 群馬県利根郡みなかみ町大穴 171-1
- 下田臨海実験所(生物資源科学部)
〒415-0014 静岡県下田市須崎池ノ段 1237-1
- 富士自然教育センター(生物資源科学部)
〒418-0107 静岡県富士宮市佐折字狂入 632-3